

新潟市立上山中学校校舎増築工事  
設計施工仕様書

新潟市

令和5年6月



# 1 工事概要

工事名称	◆新潟市立上山中学校校舎増築工事
工事場所	◆新潟市中央区女池上山5丁目地内（上山中学校敷地内）
敷地条件	◆敷地面積 21,016 m <sup>2</sup> ◆地域・地区 市街化区域 第一種住居地域・準住居地域 ◆防火指定等 指定なし、建築基準法第22条地域 ◆建蔽率 60% ◆容積率 200%
施設概要 (増築棟)	◆主要用途 中学校 ◆構造 鉄骨造 2階建て 増築部分床面積：470 m <sup>2</sup> 程度（屋外階段含まず） ※床面積は、各社の規格により多少の変動は差し支えないものとする。
工 期	◆契約日から 令和6年3月15日まで ※建物は、令和6年3月7日から部分使用を開始するものとする。

# 2 設計条件

## (1) 建築工事

構造規模	◆教室棟 鉄骨造（準耐火建築物） 2階建て 430 m <sup>2</sup> 程度 廊下棟① 鉄骨造（耐火建築物） 2階建て 25 m <sup>2</sup> 程度 廊下棟② 鉄骨造（準耐火建築物） 2階建て 15 m <sup>2</sup> 程度 ◆積載荷重は、教室等において建築基準法施行令第85条第1項表(3)による。 ◆積雪荷重は、新潟市建築基準法施行細則別表第2によるものとし、単位重量は30N/cm/m <sup>2</sup> とする。 ◆重要度係数を1.25として地震力を割り増すこと。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 【構造材・外部仕上材】

構造部材は、計算で確かめられた強度以上のものを使用すること。ただし、各社仕様により安全・性能が確認された場合はこの限りでない。

構造材は、構造耐力上支障のある錆または腐れが生じないように対策を講じること。なお、特記なき構造部材の防錆・防腐処理はメーカー仕様による。

構造材は、下記仕様と同等以上のものとする。

基礎・杭	鉄筋コンクリート造布基礎 (コンクリート設計基準強度 21N/mm <sup>2</sup> 、SL15程度) ※地盤想定 地耐力：50 KN/m <sup>2</sup> ※契約後、サウンディング調査を行い、地耐力の確認を行うこと。 その結果、基礎の変更・杭が必要な場合は協議の上で契約変更を行う。
柱梁材	◆教室棟 : 鉄骨（不燃材料） ◆廊下棟① : 鉄骨（耐火構造（1時間） ロックウール吹付 厚 25 mm

	◆廊下棟② : 鉄骨 (不燃材料)
床	<p>【 1 階 】</p> <p>土間コンクリート : 厚 120 mm 金鍍押え  異形鉄筋 : D10 @150 mm程度  硬質ポリスチレンボード : 厚 40 mm以上  ポリエチレンフィルム : 厚 0.15 mm (床下部)  ※各室のフロアレベルを同じとし、段差が生じないものとする。</p> <p>【 2 階 】</p> <p>◆教室棟及び廊下棟②: 準不燃材料とする。  ◆廊下棟①: 耐火構造とする。</p>
外壁	<p>◆教室棟 (準不燃材料)</p> <p>外面 : 断熱金属サイディング 厚 35 mm以上  内部 : グラスウール (32k) 厚 50 mm以上</p> <p>◆廊下棟① (耐火構造 (1 時間))</p> <p>外面 : 軽量気泡コンクリートパネル 厚 50 mm以上 複層塗材 E  内部 : ウレタンフォーム吹付 厚 20 mm以上</p> <p>◆廊下棟② (準不燃材料)</p> <p>外面 : 金属サイディング 厚 15 mm程度  内部 : グラスウール (32k) 厚 50 mm以上</p>
屋根	<p>◆教室棟 : 不燃材料</p> <p>溶融 55%アルミニウム亜鉛合金メッキ鋼板 : 厚 0.5~0.8 mm程度  (折板葺き)</p> <p>裏面ポリウレタンフォーム : 厚 4.0 mm程度</p> <p>◆廊下棟① : 耐火構造 (30 分間)</p> <p>溶融 55%アルミニウム亜鉛合金メッキ鋼板 : 厚 0.5~0.8 mm程度  (折板葺き)</p> <p>無機質高充填フォーム : 厚 4.0 mm程度</p> <p>◆廊下棟② : 不燃材料</p> <p>溶融 55%アルミニウム亜鉛合金メッキ鋼板 : 厚 0.5~0.8 mm程度  (折板葺き)</p> <p>裏面ポリウレタンフォーム : 厚 4.0 mm程度</p> <p>※亜鉛メッキ仕上げ雪止めアングル付き</p>
窓	<p>アルミサッシ引違窓 (クレセント付)</p> <p>有効高さ : 教室棟: 1,500 mm程度  廊下棟: 1,200 mm程度</p> <p>ガラス : 教室棟: 透明強化ガラス 厚 4 mm + 空気層 6 mm程度 +  透明強化ガラス 厚 5 mm (遮熱 Low-e)  廊下棟: 透明強化ガラス 厚 4 mm</p> <p>※JIS 等級により、耐風圧性 S-4、気密性 A-4、水密性 W-4 とする。  ※既存校舎及び増築校舎において、建築基準法の延焼の恐れのある部分内の  開口部については防火設備とすること。</p>
出入口 (勝手口)	<p>【 1 階教室棟廊下 】</p> <p>アルミサッシ引違戸 有効高さ 2,000 mm程度</p>



	幅 4,500 mm×高さ 1,200 程度とする。 アルミ枠平面とする。 ノンタッチハンガー10ヶ、チョークボックス2ヶ共
連絡黒板	普通教室3室及び多目的室1室に設置すること。 幅 760 mm×高さ 1,170 程度とする。 アルミ枠平面、白線入りとする。
生徒用ロッカー	スチール製 普通教室3室及び多目的室1室に設置すること。(各室40人) ロッカー1個当たりの大きさは、幅 500 mm×高さ 350 mm×奥行 500 mm 程度とする。
掃除用具入れ	スチール製 普通教室3室及び多目的室1室に設置すること。(各室1個) 掃除用具入れ1個当たりの大きさは、幅 500 mm×高さ 2,000 mm ×奥行 500 mm程度とする。
カーテン (日よけ)	ポリエステル製 防災品 1.5倍ひだ シングルカーテンレール(アルミ製)共 手引き(ふさ掛け、タッセル共)(各教室)
雑巾掛け	普通教室3室及び多目的室1室に設置すること。(各室1ヶ所) (SUS製パイプ φ20 mm L=3,600 mm程度(各教室))
室名札	各教室出入口前の廊下に設置すること。(計4ヶ所) アクリル/SUS受金具共 260 mm×80 mm×t5 mm程度の突出型とする。
男女トイレ	【配置計画】 ゆったりトイレを各階男女に1ヶ所設置する。 【トイレブース】 表面材 : ポリエステル化粧合板 心材 : ペーパーハニカム コーナーエッジはR型アルミ製、巾木タイプ(ステンレス)とする。 ブースの広さ及び高さは、 横入り : 間口 1,300~1,500 mm程度×奥行き 1,000 程度 ×高さ 2,000 mm 縦入り : 間口 1,000 mm程度×奥行き 1,300~1,500 程度 ×高さ 2,000 mm ※ゆったりトイレ : 1,100 mm程度×1,800 mm程度 戸は有効幅 800 mm程度以上を確保 フック付戸当たり、予備ペーパー置き棚、 スライドボルト鍵(非常時開錠装置付)共 【トイレ用具入れ】 (男女各1ヶ所) モップ掛け(ステンレス製)、S環、予備ペーパー収納棚共 【手摺】 洋風便器用 : L型手摺 樹脂被覆タイプ 700×700×120D 程度 (男女各1ヶ所)

	<p>小便器用 : SUS 製小便器用手摺 両側設置 樹脂被覆タイプ W600 mm×D550 mm程度 (男 1ヶ所)</p> <p>【床】 長尺塩ビシート 厚 2.0 mm～2.5 mm貼 ※男子トイレの小便器下範囲のみ、 防汚性長尺塩ビシート 厚 2.0 mm～2.5 mm貼</p> <p>【壁】 シーリング石膏ボード 厚 12.5 mm + 化粧ケイ酸カルシウム板 厚 6.0 mm (目地アルミジョイナー) 巾 木 : 床材巻上 高さ 100 mm</p> <p>【ライニング壁】 シーリング石膏ボード 厚 12.5 mm + 化粧ケイ酸カルシウム板 厚 6.0 mm (目地アルミジョイナー) + メラミンポストフォームライニング膳板 厚 19 mm程度 巾 木 : 床材巻上 高さ 100 mm ※設備器具・手摺等が取り付け場所は、T1 合板 厚 12 mmで補強する。 ※LGS 壁下地の種類は、 配管バック 100 型、間仕切壁 65 型、外壁面 50 型を標準とする。</p> <p>【遮音界壁(教室面)】 上部床までの遮音仕様 : LGS 型千鳥 + GW 充填 + 石こうボード厚 12.5 mm×2 両面</p> <p>【天井】 化粧石こうボード貼 厚 9.5 mm 天井裏 : グラスウール (32k) 厚 50 mm以上 天井高さ : 2,500 mm程度 ※換気扇の機械点検等のために、適宜天井点検口を設置する。</p>
水呑場	<p>ステンレスシンク 水栓 6ヶ所用 ボトルホルダー (既製品) 3ヶ所 (背面:化粧ケイ酸カルシウム板 (目地アルミジョイナー)) 下部収納 (扉付) 床面・壁面取り合い部の隙間を塞ぐこと。</p>
屋外階段	<p>鋼製メッキ仕上げ 幅 900 mm以上 蹴上 160 mm以下 踏面 260 mm以上 手摺高さ 1,200 程度</p>
消防設備	<p>図面による</p>
既存部改修	<p>既存校舎に接続する渡り廊下の両側に特定防火設備を新設する。 本建物の設置に係る接続部の既存施設の改修工事も本契約に含む。</p>
仮囲い	<p>図面による</p>

※上記寸法は、有効寸法とする。



### 3 施工条件

#### (1) 施工範囲

本工事の範囲は、本仕様書及び参考資料に示された各工事である。(設計、施工にあたり、都市計画法、建築基準法及び消防法等の関係法規を遵守すること。)

#### (2) 作業範囲

安全上また復旧等を考慮して、必要最小限の作業範囲で工事を行うこと。

#### (3) 質疑要項の処理

疑義が生じた場合は、発注者と協議の上で決定し、迅速な処理を計ること。

#### (4) 工程・工事計画

ア 着手に先立ち工程表及び施工計画書を提出し、施工計画（仮設計画共）について監督員の承諾を受けること。

イ 施工に先立ち、施工図及び材料承認願いを提出し監督員の承諾を受けてから施工するものとし、品質に関わるものについては事前に監督員と協議すること。

ウ 学校敷地内に現場事務所や工事車両の駐車場を設ける場合は、監督員と協議の上、位置や規模を決定すること。ただし、学校運営中の工事となるため、学校敷地内にそれらの場所の確保を保証するものではない。不足する場合は、学校敷地外で受注者の負担で確保すること。

エ 学校敷地内への大型の工事車両の出入りは、学校と協議すること。

オ 工事期間中、屋内体育館につながる渡り廊下は、北側または南側のどちらか一方を使用できるよう計画すること。

#### (5) 工事の安全措置

工事中は事故等の発生が起きないように、工事スペース及びその周辺の安全に十分注意し、仮囲い養生等の適切な処置を行った上で施工を行うこと。

交通誘導員等は、工事期間中常駐とする。

#### (6) 施工図・製作図

施工上必要な図面は、遅滞なく作成し監督員の承諾を受ける。

#### (7) 養生

施工中損傷の恐れのある既成部分等は、適切な方法で養生すること。(搬入経路共)

#### (8) 工事報告

工事の進捗上、必要な書類は監督員の指示によって提出すること。

#### (9) 工事写真

完成後、破壊しなければ検査できない箇所については施工方法が適正であると確認できるものを撮影すること。

撮影に関しては、最新の営繕工事写真撮影要領を参照すること。

#### (10) 工事関係書類

新潟市ホームページ掲載の工事関係書類提出リストに基づき提出すること。

## 4 共通事項

- (1) 竣工後に取扱説明書を作成すること。機器故障時の運用や連絡先を明記すること。
- (2) 建築基準法に基づく計画通知等の諸手続きは受注者の負担により行うものとし、契約後の設計完了時及び工事完了時には、手続きに要した書類の写しを1部提出すること。  
なお、必要に応じて、建築物省エネ法に基づく通知書、景観計画区域内における行為の通知書等の手続きについても同様に行うこと。なお、建築物省エネ法の通知を行うにあたり、本増築建物において、BEI=1.0を下回るよう計画を行う。
- (3) 消防法・下水道法等に基づく検査を受検すること。

## 5 内訳明細書の作成

### (1) 内訳明細書

以下のとおり内訳明細書（金額入り）を作成し、1部提出すること。

- ① 内訳書の細目項目については特に定めないが、仕様及び数量が確認できるものとする。
- ② 内訳書の細目数量は、小数点以下第1位とし100以上は整数とする。  
また、端数処理については四捨五入とする。  
(建築数量積算基準・同解説 (財)建築コスト管理システム研究所発行 参照)
- ③ 工事種別など区分については、下記項目がわかるように構成する。

工事区分	工事種別	工事科目の内訳
建築工事	直接仮設工事	本体工事にかかる仮設など
	本体工事	土工、コンクリート、鉄筋、型枠、鉄骨、防水、金属など
	仕上ユニット工事	黒板、家具、カーテンなど
	既存改修工事	既存建物・外構等の改修・復旧など
	解体工事	既存建物・外構等の解体など
設備工事	電気設備工事	電灯、動力、弱電、自火報など
	給排水設備工事	給水、排水、ガス、消火設備など
	冷暖房・換気設備工事	冷房、暖房、換気など
諸経費	共通仮設費	仮囲い、ゲートなどの指定仮設など
	諸経費	現場経費、一般管理費、契約保証費など

### (2) その他

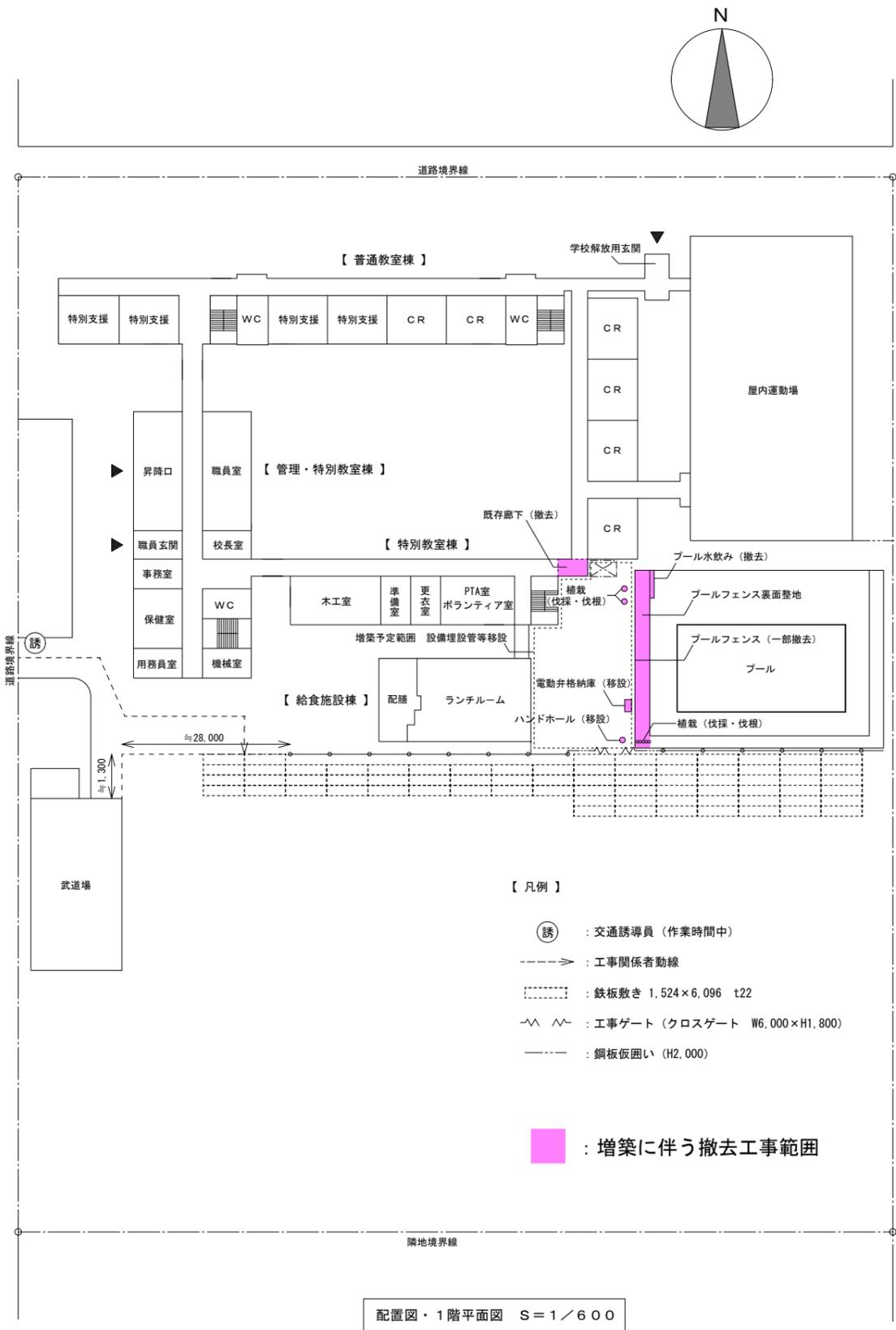
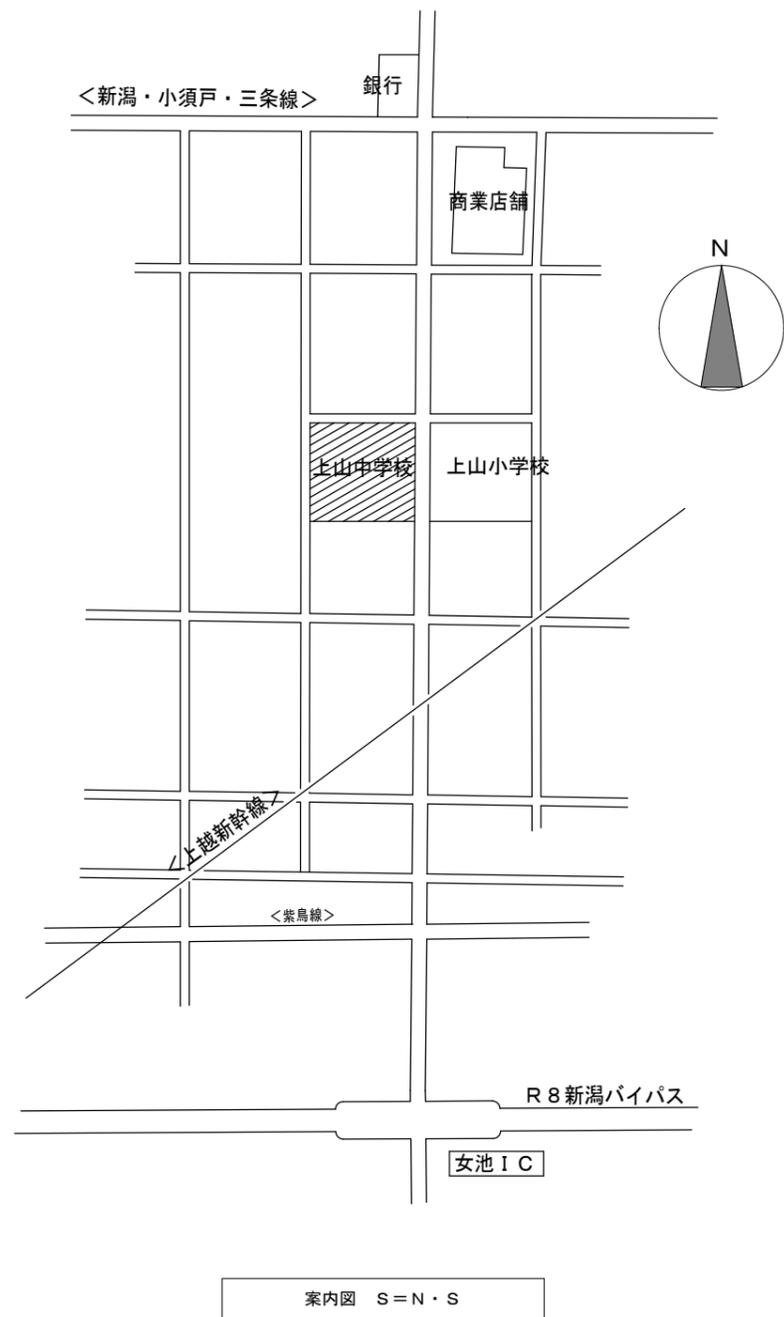
- ① 設計見積時には参考図や現場の状況を十分考慮の上、設計を行うこと。
- ② 設計見積時に要した費用は全て受注者の負担とする。
- ③ 工事内容の変更については、両者協議の上、受注者が設計図書を作成すること。

## 6 成果品

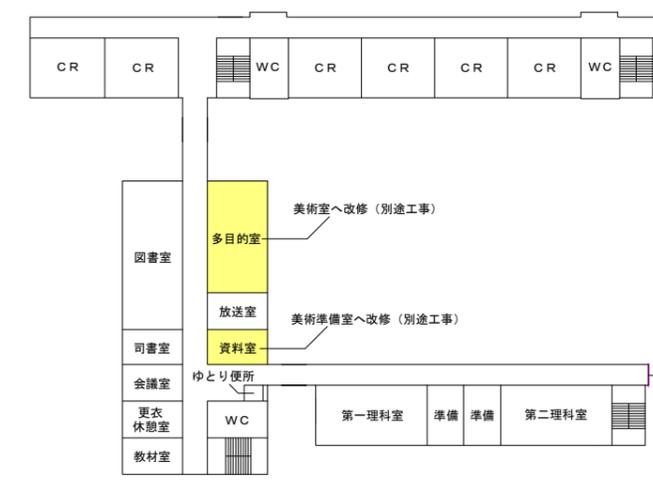
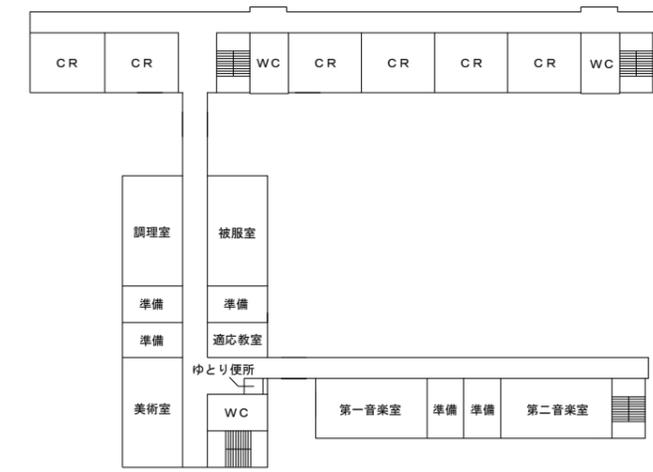
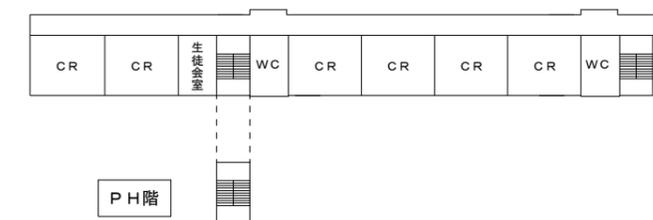
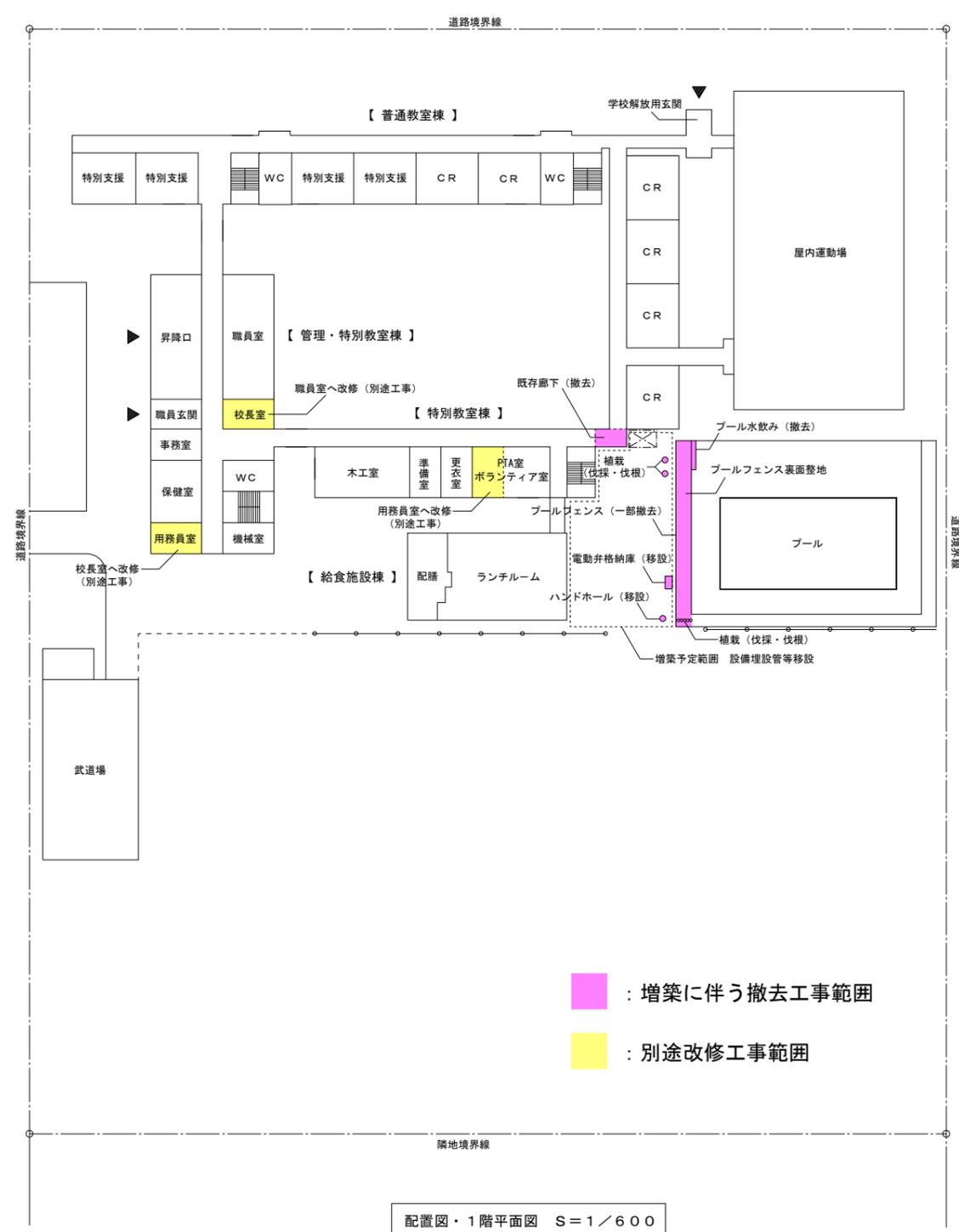
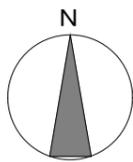
### (1) 主な成果品

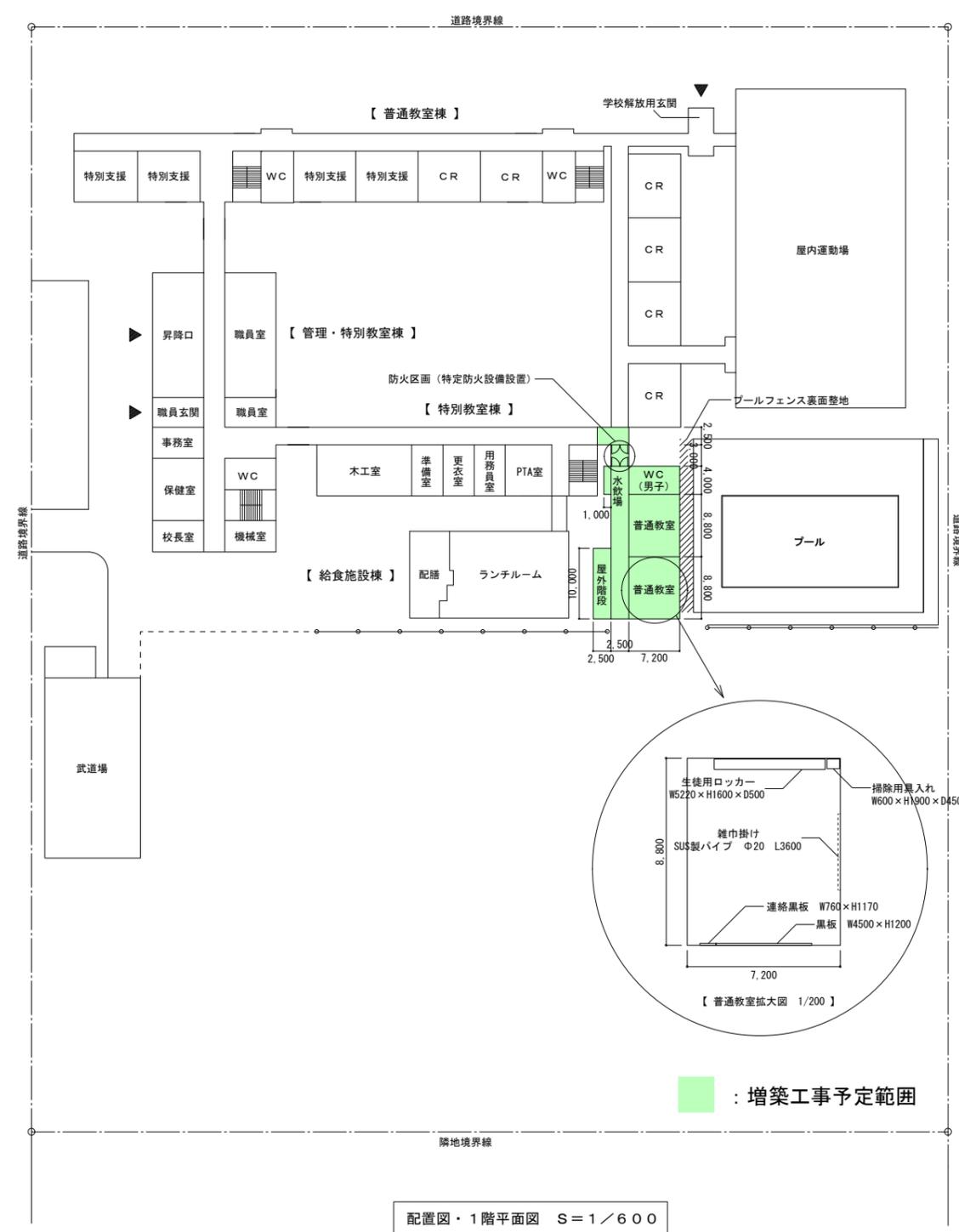
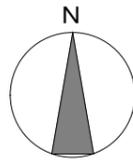
	審査図		竣工図		その他
	白図 A3判	データ	製本A3判 2つ折り	データ	原紙
内訳明細書（金額入り）					1
意匠図（設計概要及び仕上表、面積表及び求積図、敷地案内図、配置図、法チェック表、平面図、断面図、立面図、天井伏図、建具表、詳細図等）	2	1	2	1	
構造図一式	2	1	2	1	
電気設備図一式	2	1	2	1	
機械設備図一式	2	1	2	1	
構造計算書					1
計画通知図書					2
各種手続き書類の写し （計画通知図書除く）					1
着手前写真・竣工写真					3

- ① 上記以外の提出書類については、「工事関係書類提出リスト（建築一式・建築設備）」による。「工事関係書類提出リスト（建築一式・建築設備）」及び「工事関係書類様式集」が掲載されているホームページアドレスは次のとおり。  
<https://www.city.niigata.lg.jp/business/doboku/siyousho/kouji-syorui.html>
- ② 成果品の提出場所は、教育委員会施設課とする。
- ③ 審査図は設計時、竣工図は工事完了時に提出するものとし、提出期限は監督員と協議の上決定し、遅延なく提出するものとする。
- ④ データは、JW-CAD 及び PDF とする。

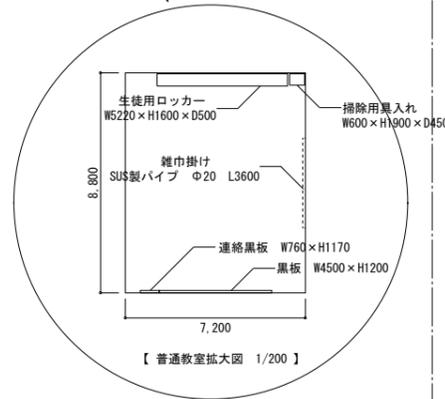


- 【凡例】
- Ⓣ : 交通誘導員 (作業時間中)
  - : 工事関係者動線
  - ⋯⋯ : 鉄板敷き 1,524×6,096 t22
  - ⋈ ⋈ : 工事ゲート (クロスゲート W6,000×H1,800)
  - : 鋼板仮囲い (H2,000)
  - : 増築に伴う撤去工事範囲

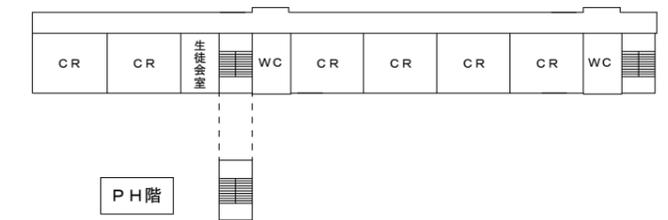




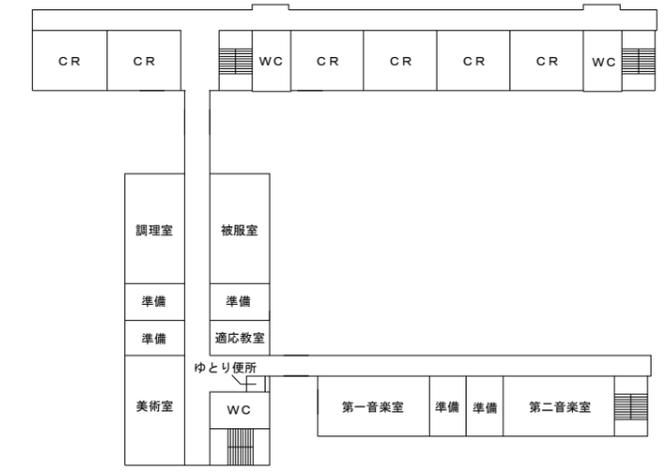
配置図・1階平面図 S=1/600



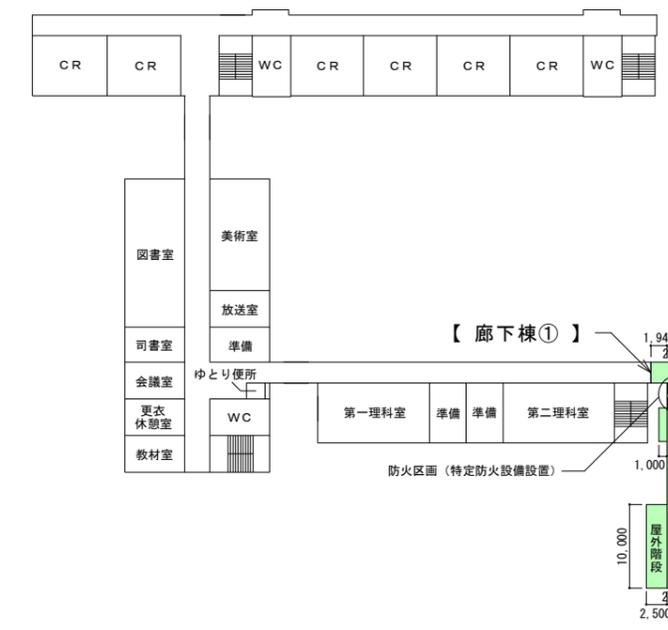
■ : 増築工事予定範囲



4階平面図 S=1/600



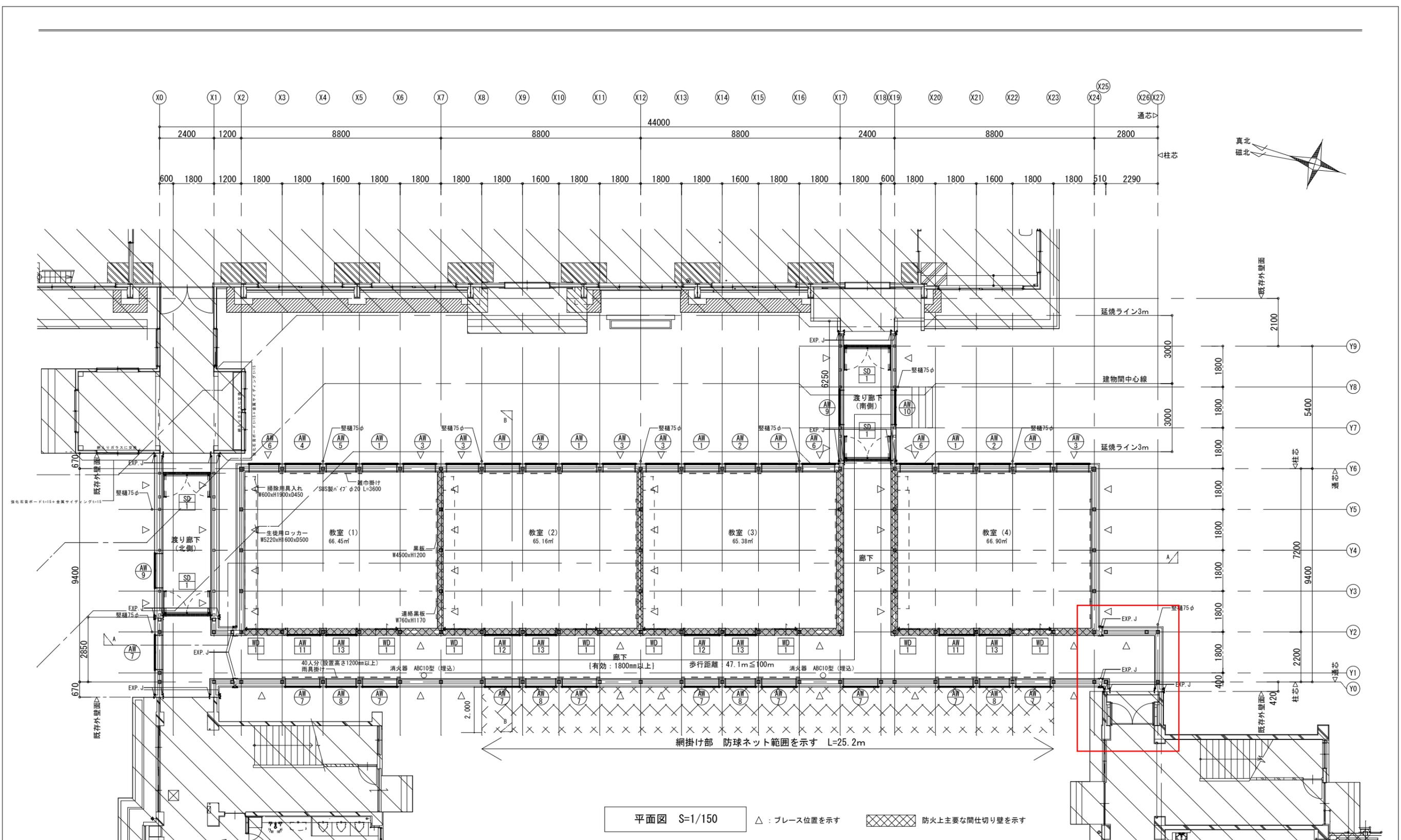
3階平面図 S=1/600



2階平面図 S=1/600







平面図 S=1/150    △ : プレース位置を示す    [ハッチ] 防火上主要な間仕切り壁を示す

※地域開放玄関棟の延焼の恐れのある外壁、開口部の仕様  
 外壁：金属サイディングt=15+石膏ボードt=15 (防火構造：PC030NE-0084)  
 開口部：網入りガラスt=6.8に変更

※収容人員  
 職員数：50人、生徒数：721人

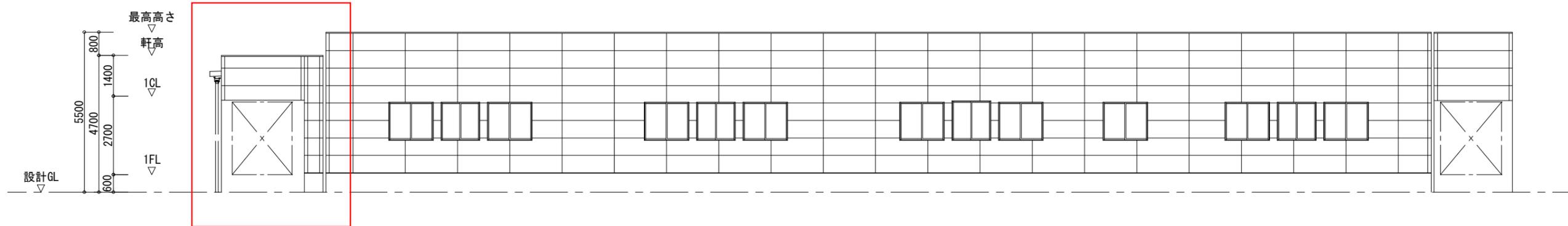
訂正事項	年月日	担当	訂正事項	年月日	担当	工事名称	受領印
						新潟市立上山中学校校舎増築工事	
						図面名称 平面図	
						作成年月日 2021-03-15	
						依頼番号 70-N16-0006	
						縮尺 A1:1/75 A3:1/150	年月日

**大和リース株式会社**  
 最高責任者 一級建築士事務所  
 一級建築士事務所 新潟県事務所 (〒) 1668号 担当

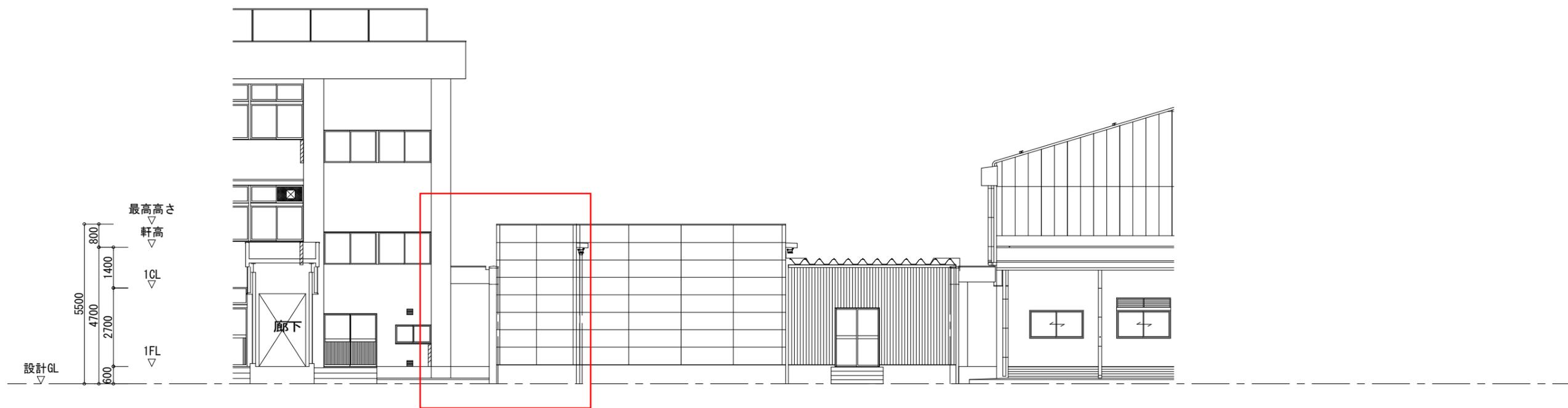
大和リース株式会社  
 一級建築士 第364478号  
 代表となる設計者 我妻 重

図面番号  
 図面番号 A-07





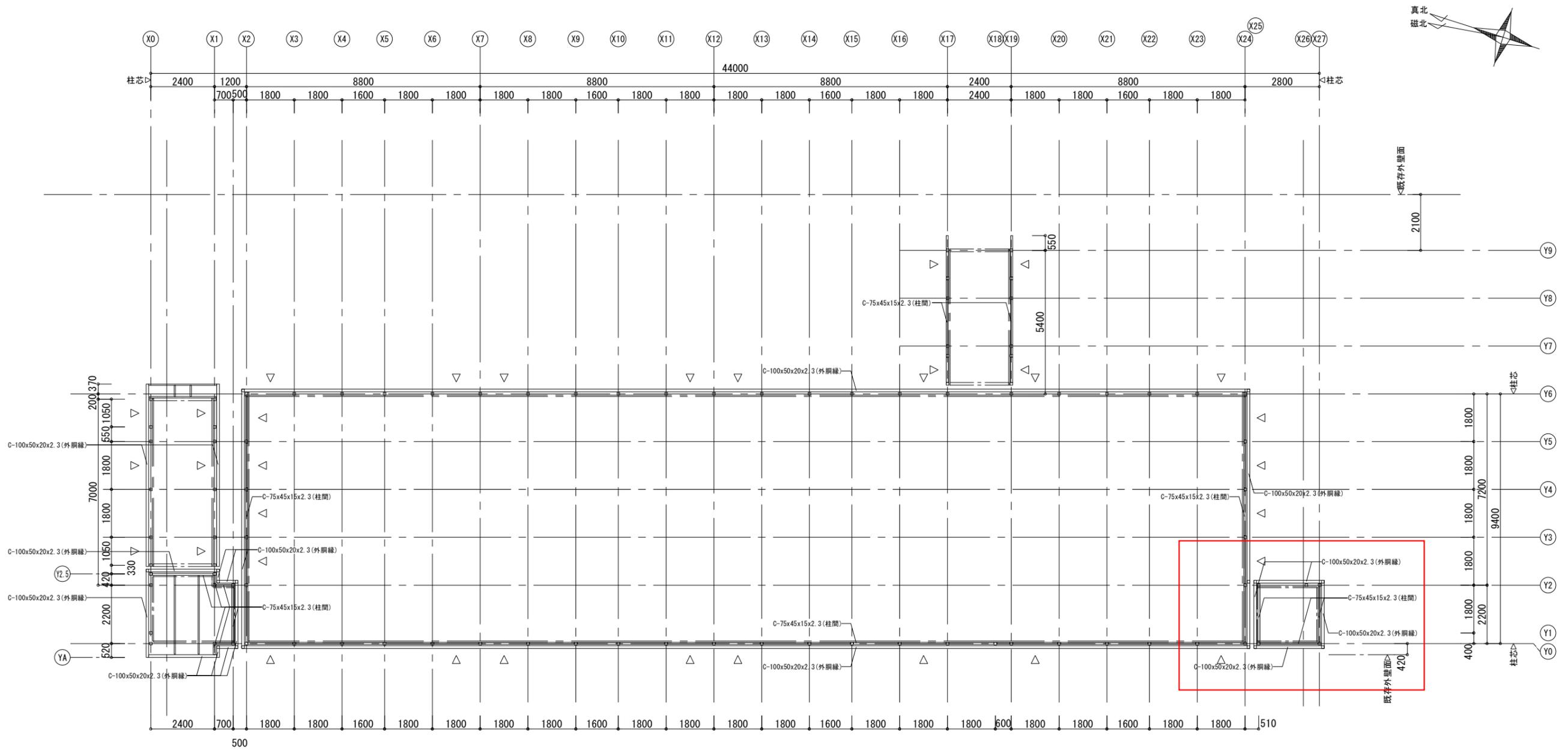
西側 立面図 S=1/150



南側 立面図 S=1/150

訂正事項	年月日	担当	訂正事項	年月日	担当	<b>大和リース株式会社</b> 新潟支店 一級建築士事務所 一級建築士事務所 新潟県知事登録 (特) 1688号 照査 担当	大和リース株式会社 一級建築士 第364478号 代表となる設計者 我妻 薫	工事名称	新潟市立上山中学校校舎増築工事			受領印	
								図面名称	立面図-1	縮尺	A1:1/75 A3:1/150	年 月 日	
								作成年月日	2021-03-15	依頼番号	70-NIG-0006		図面番号



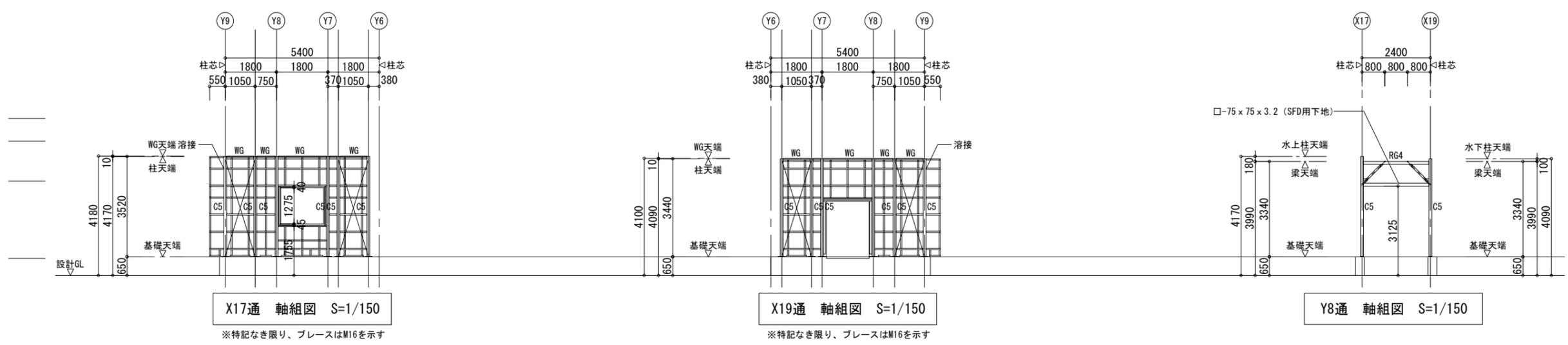
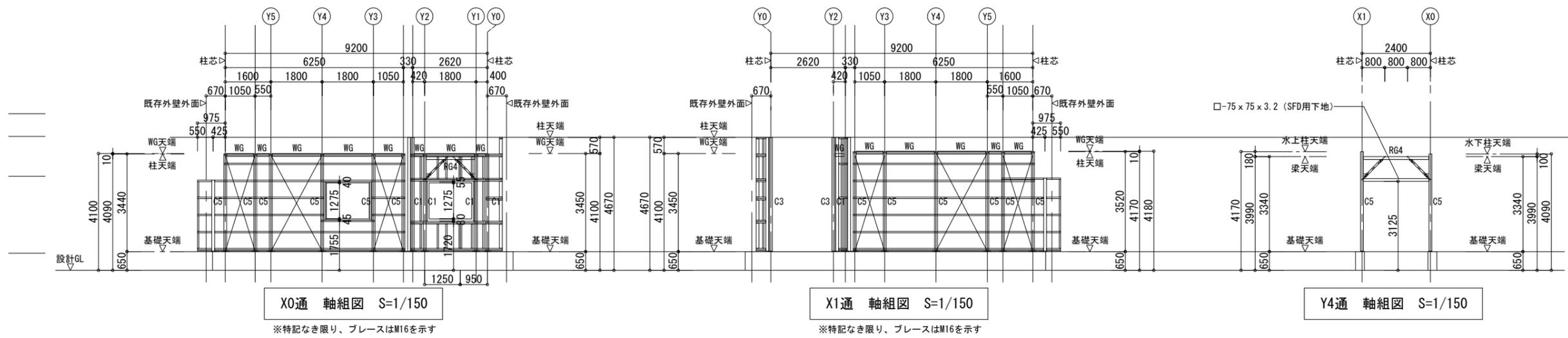
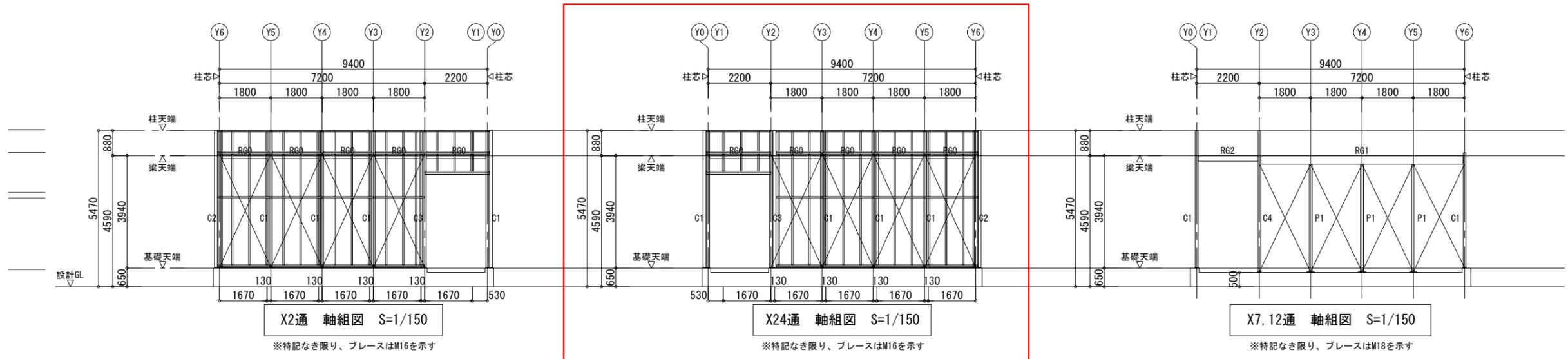


小屋伏図 S=1/150

△ : プレース位置を示す (M16)  
▲ : プレース位置を示す (M18)

訂正事項	年月日	担当	訂正事項	年月日	担当	<b>大和リース株式会社</b> 新潟支店 一級建築士事務所 一級建築士事務所 新潟県 新潟市 (〒) 1668号 担当	大和リース株式会社 一級建築士 第364478号 代表となる設計者 我妻 直 大和リース株式会社 一級建築士 第319254号 その他の設計者 小川 秀一	工事名称	新潟市立上山中学校校舎増築工事	受領印	
								図面名称	網線図-1	縮尺	A1:1/75 A3:1/150
								作成年月日	2021-03-15	依頼番号	70-N16-0006
										図面番号	D-01
										年月日	





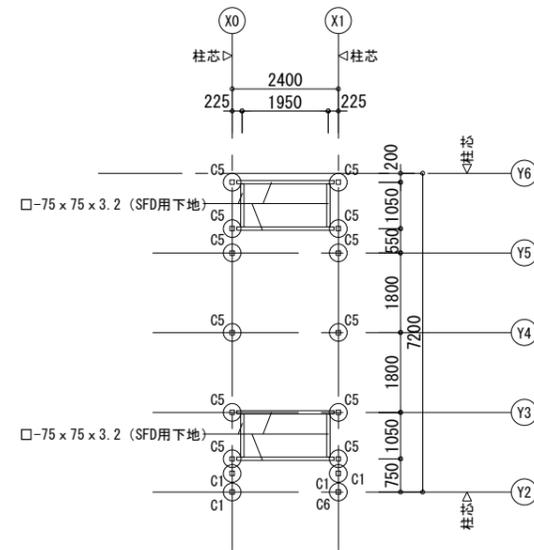
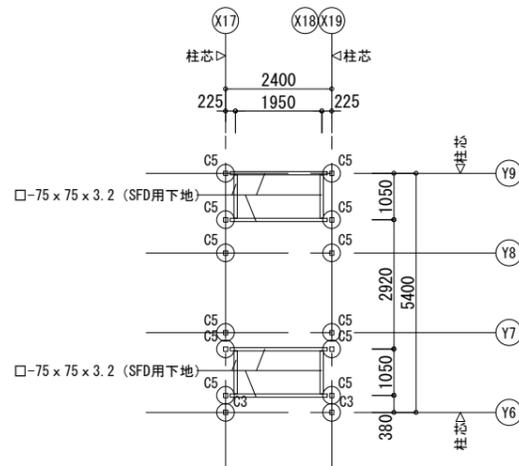
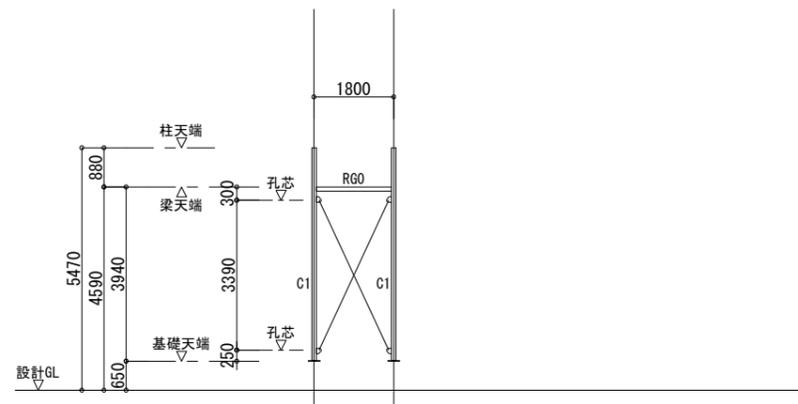
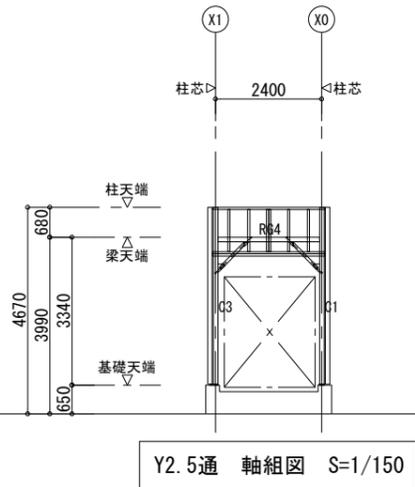
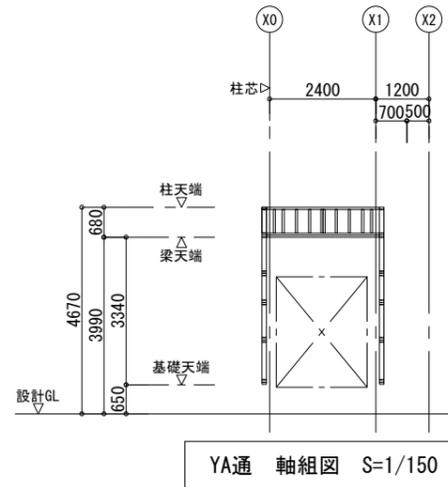
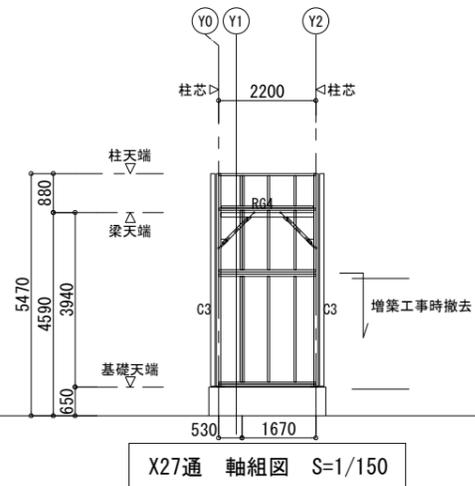
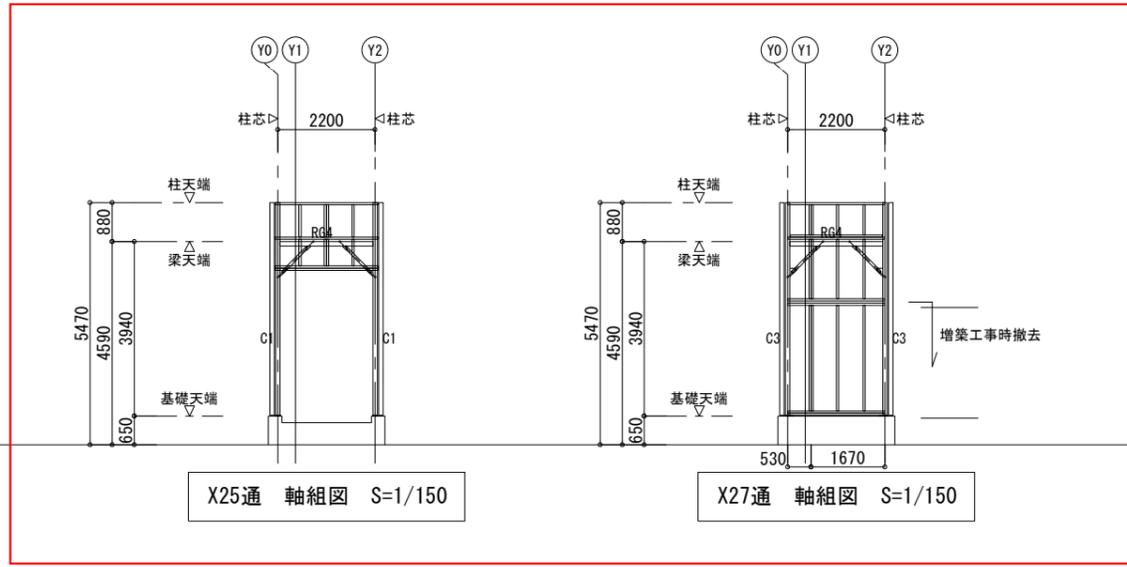
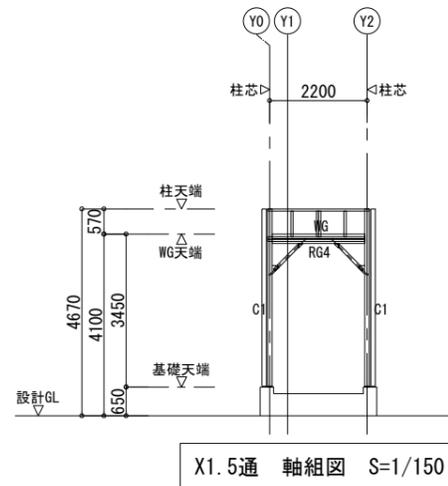
訂正事項	年月日	担当	訂正事項	年月日	担当
	-	-		-	-
	-	-		-	-
	-	-		-	-
	-	-		-	-

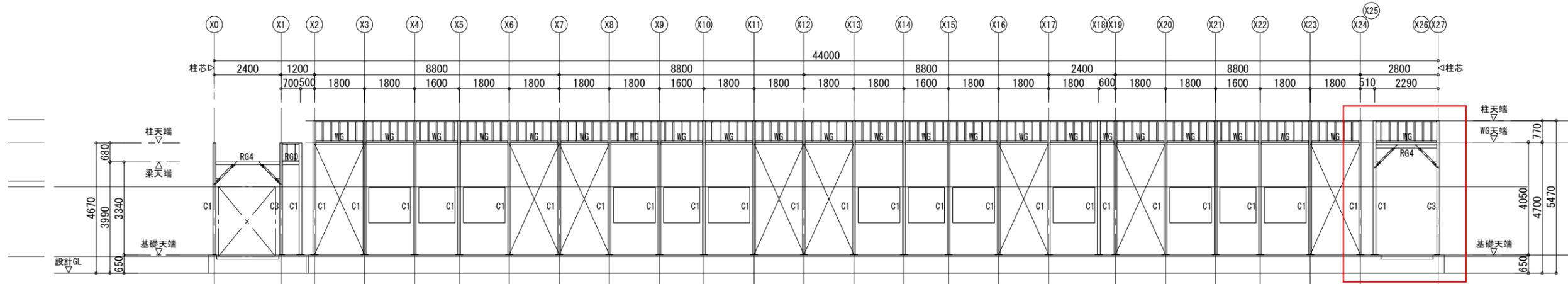
<b>大和リース株式会社</b>		大和リース株式会社 代表となる設計者 我妻 重
〒165-8501 東京都豊島区新井 1-1-1	〒165-8501 東京都豊島区新井 1-1-1	第364478号
一級建築士事務所 新潟県知事登録 (〒) 1668号	一級建築士事務所 新潟県知事登録 (〒) 1668号	第319254号
担当	担当	小川 秀一

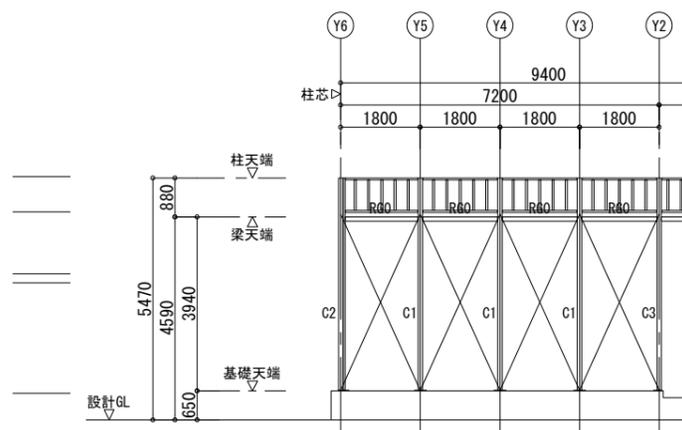
工事名称	新潟市立上山中学校校舎増築工事	受領印
図面名称	網線図-3	縮尺 A1:1/75 A3:1/150
作成年月日	2021-03-15	依頼番号 70-N16-0006
		図面番号 D-03
		年月日



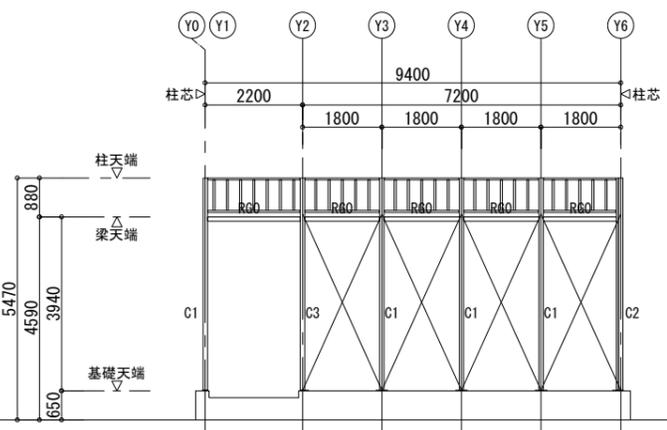
訂正事項	年月日	担当	訂正事項	年月日	担当	大和リース株式会社				工事名称	受領印	
						大和リース株式会社 代表となる設計者 我妻 重 大和リース株式会社 一級建築士 第319254号 小川 秀一				新潟市立上山中学校校舎増築工事	縮尺 A1:1/75 A3:1/150	
						図面名称	図面番号	作成年月日	依頼番号	図面番号	年月日	
						網線図-4	70-N16-0006	2021-03-15		D-04		



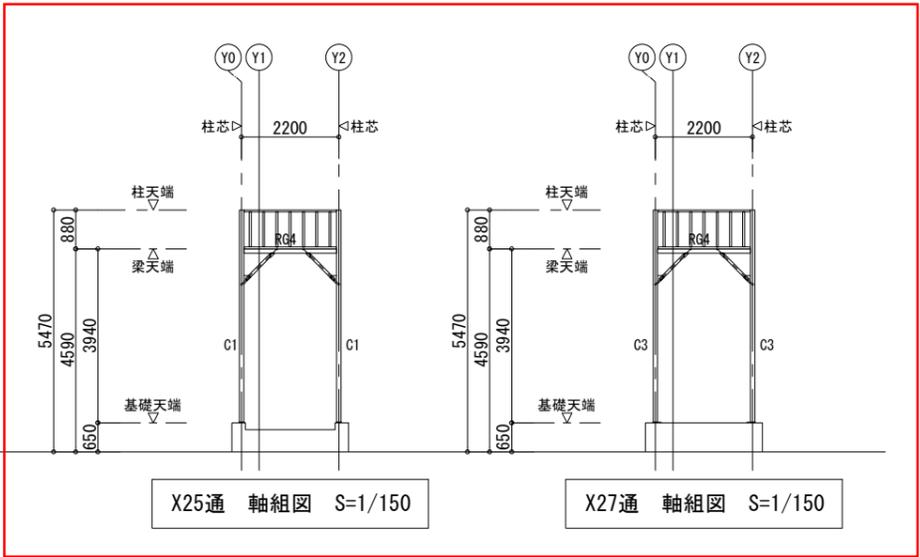
Y0通 軸組図 S=1/150



X2通 軸組図 S=1/150

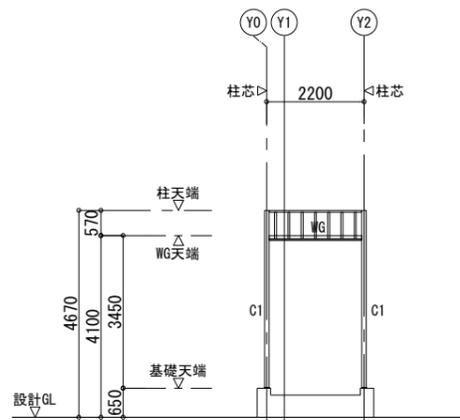


X24通 軸組図 S=1/150

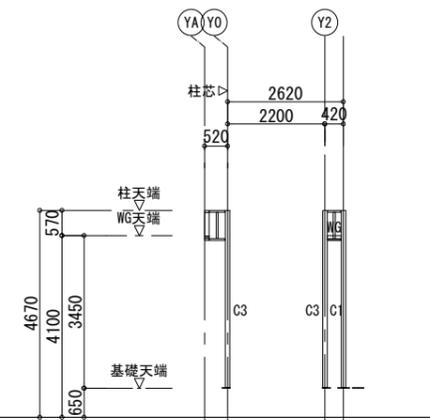


X25通 軸組図 S=1/150

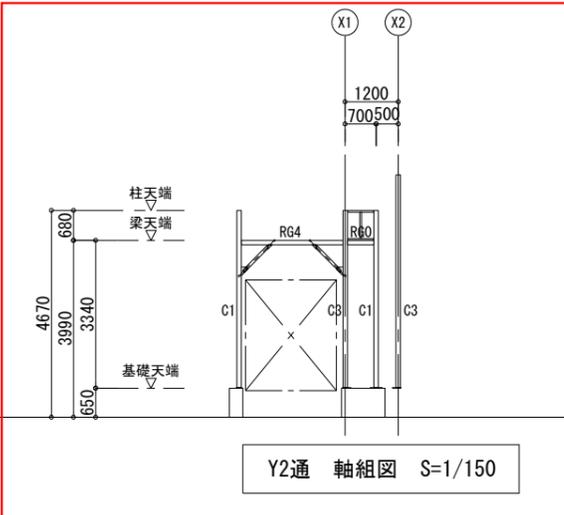
X27通 軸組図 S=1/150



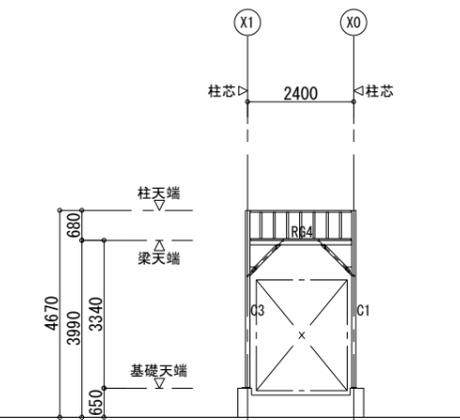
X1.5通 軸組図 S=1/150



X1通 軸組図 S=1/150

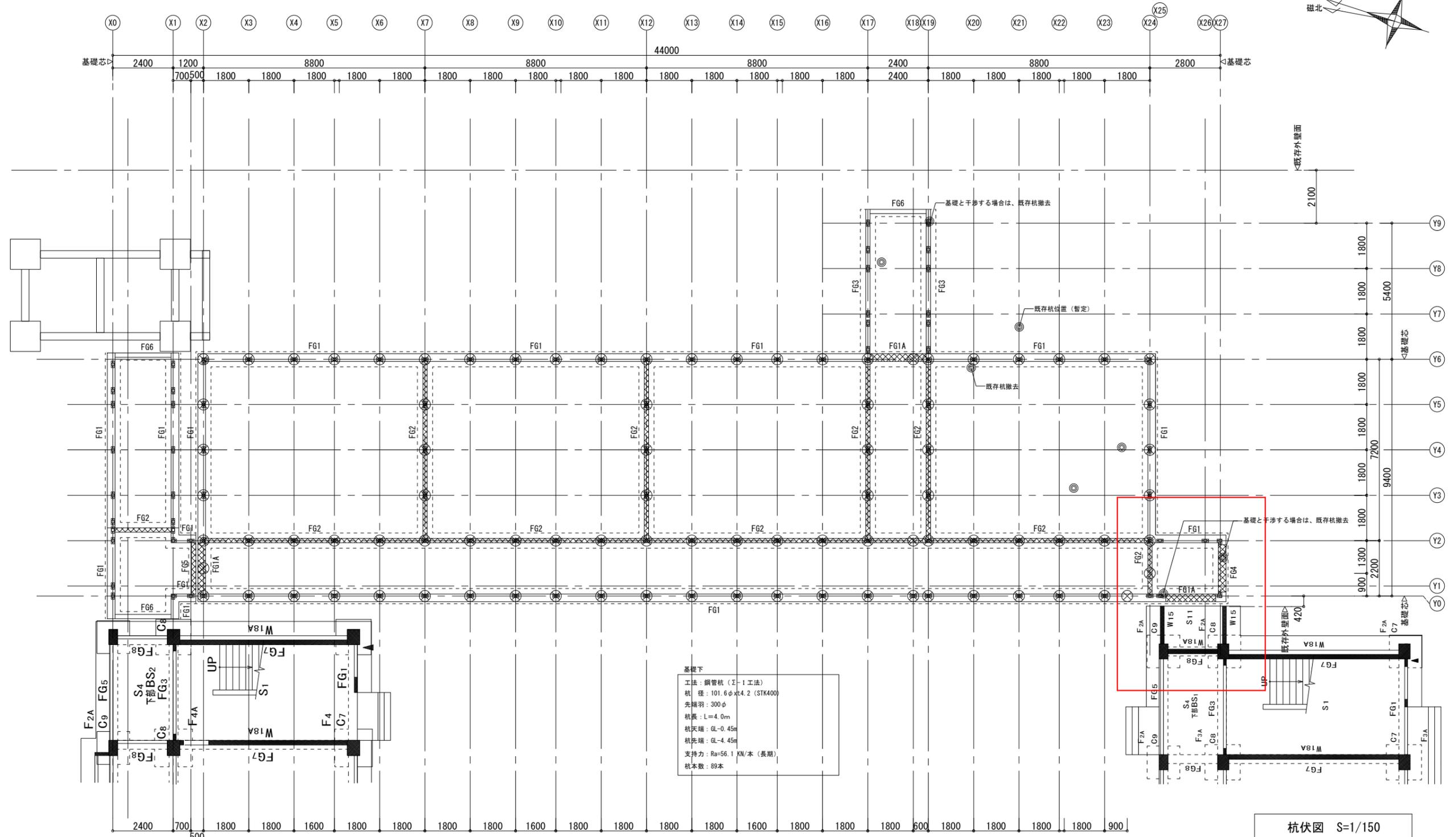
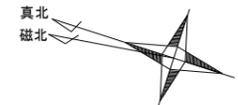


Y2通 軸組図 S=1/150



Y2.5通 軸組図 S=1/150

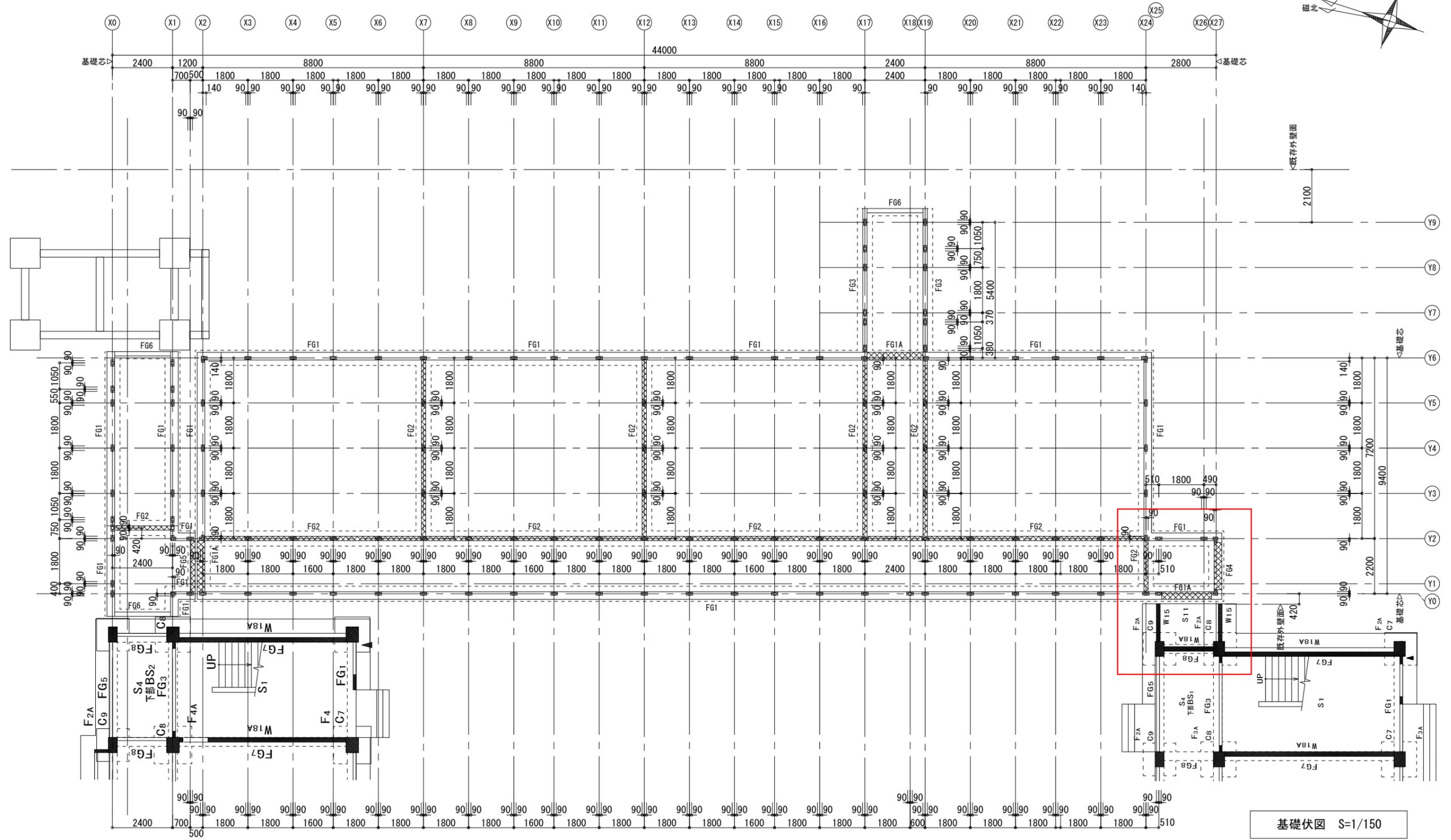
訂正事項	年月日	担当	訂正事項	年月日	担当	<b>大和リース株式会社</b> 代表取締役 我妻 重 一級建築士事務所 新潟県 新潟市 中央区 西 1-1-1 (〒) 951-8588 担当	大和リース株式会社 一級建築士 第364478号 代表となる設計者 我妻 重 大和リース株式会社 一級建築士 第319254号 その他の設計者 小川 秀一	工事名称 新潟市立上山中学校校舎増築工事 図面名称 網線図-5 作成年月日 2021-03-15	縮尺 A1:1/75 A3:1/150 図面番号 D-05	受領印 年月日



基礎下  
 工法：鋼管杭 (Σ-I 工法)  
 杭径：101.6φ x t4.2 (STK400)  
 先端羽：300φ  
 杭長：L=4.0m  
 杭先端：GL-0.45m  
 杭先端：GL-4.45m  
 支持力：Ra=56.1 KN/本 (長期)  
 杭本数：89本

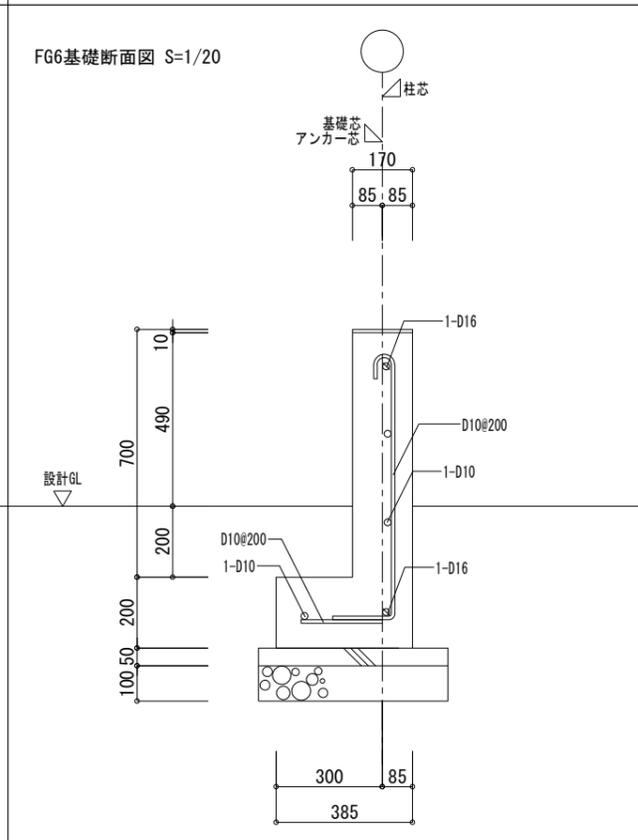
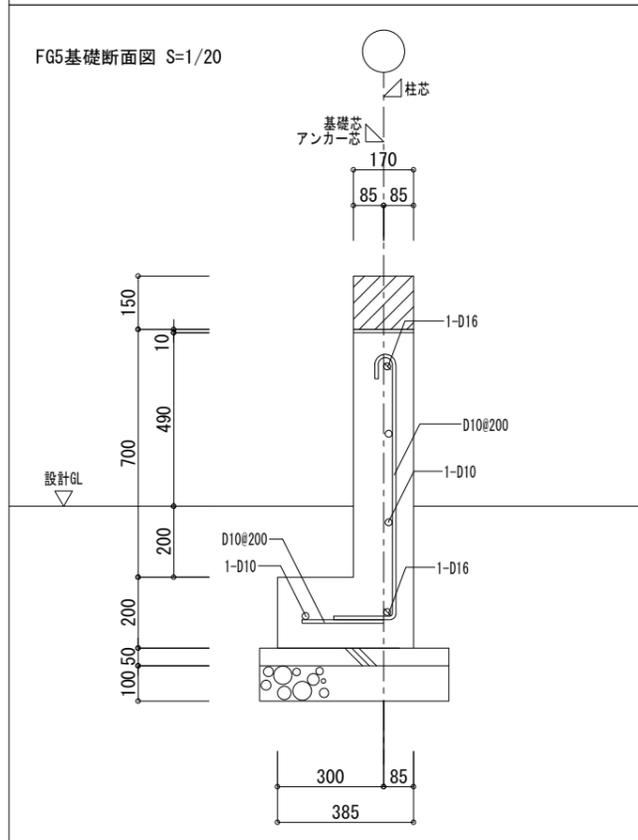
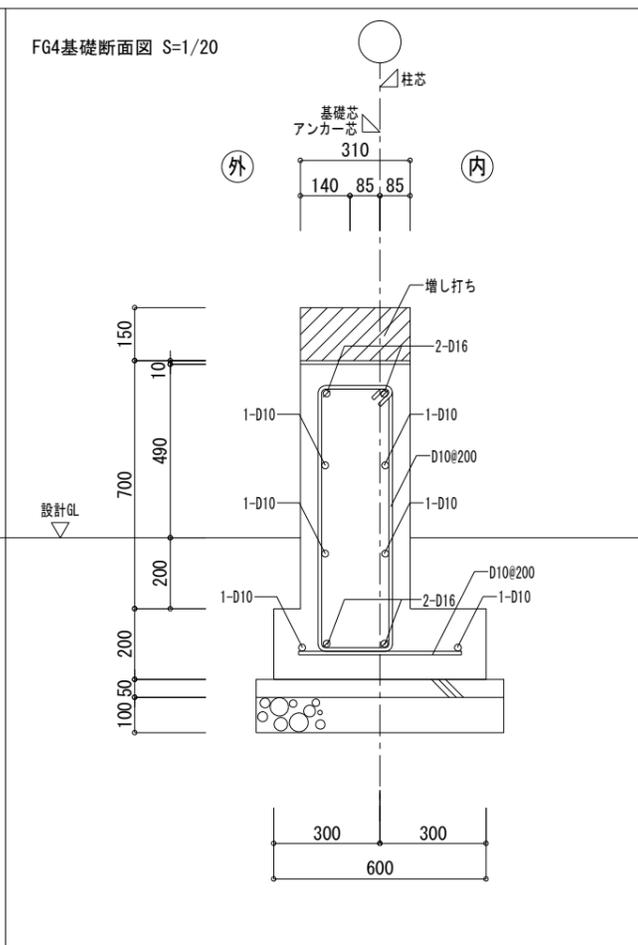
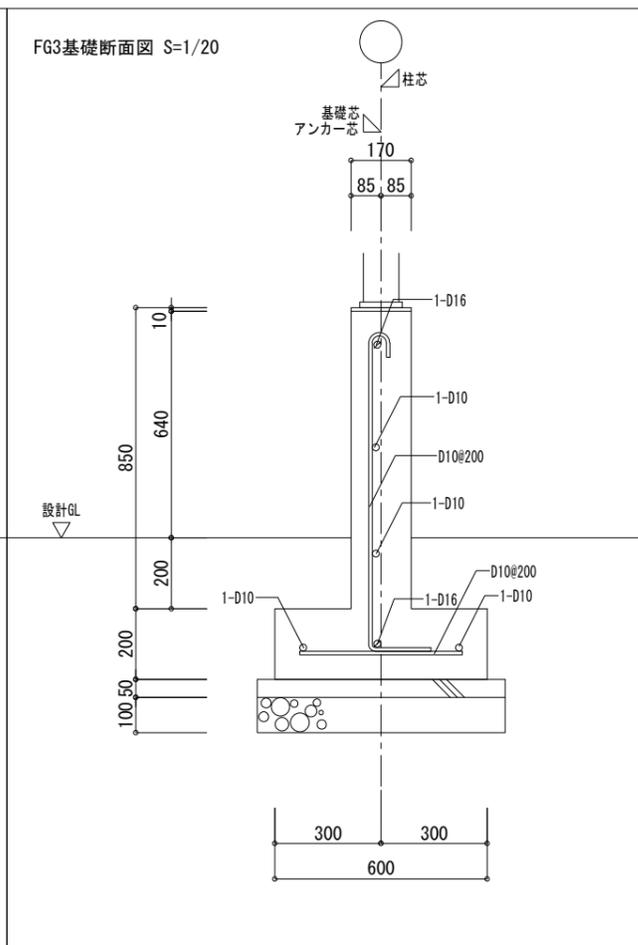
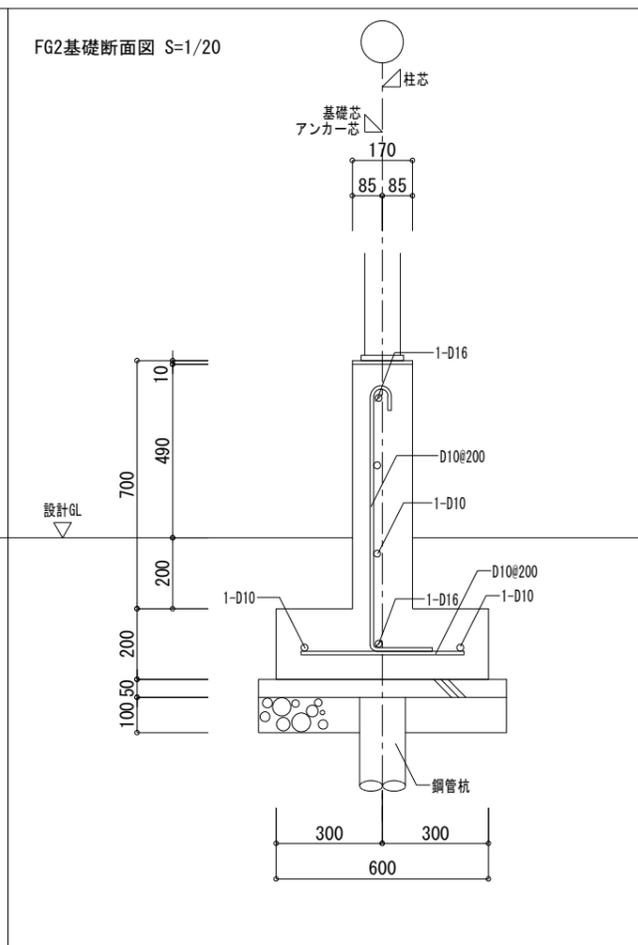
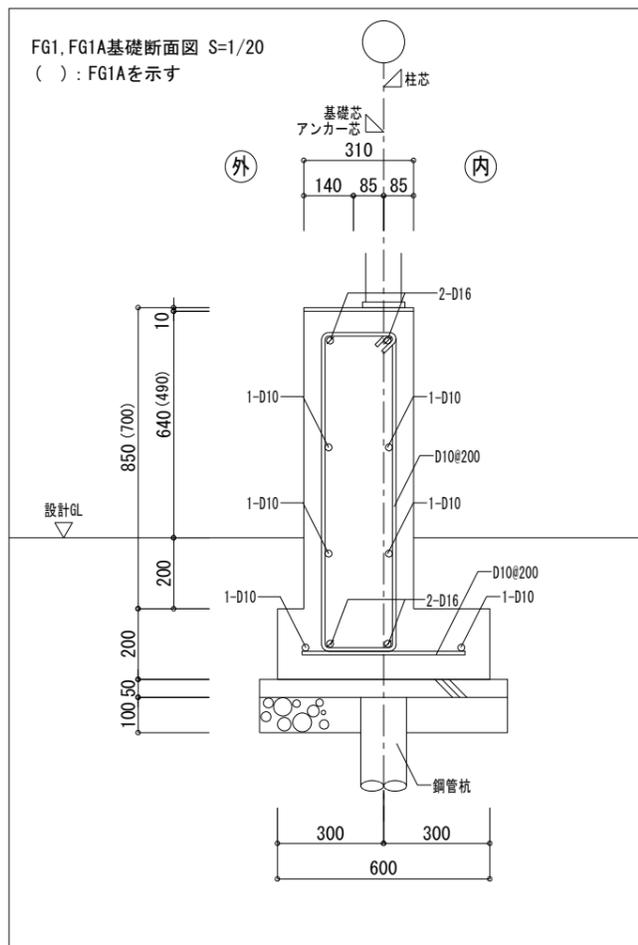
杭伏図 S=1/150

訂正事項	年月日	担当	訂正事項	年月日	担当	<b>大和リース株式会社</b> 代表取締役 兼 代表となる設計者 我妻 重 一級建築士事務所 新潟県 新潟市 中央区 西 1-1-1 1668号 担当 大和リース株式会社 一級建築士 第319254号 その他の設計者 小川 秀一	工事名称	新潟市立上山中学校校舎増築工事	受領印	
							図面名称	杭伏図	縮尺	A1:1/75 A3:1/150
							作成年月日	2021-03-15	依頼番号	70-N16-0006
							図面番号	S-01	年月日	

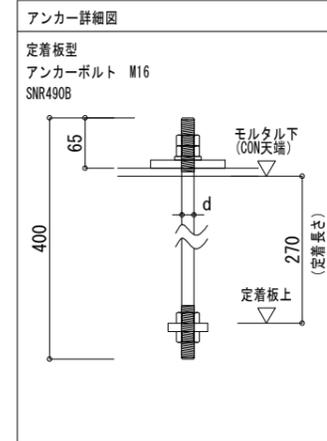


基礎伏図 S=1/150

訂正事項	年月日	担当	訂正事項	年月日	担当	<b>大和リース株式会社</b> 新潟支店 一般建築士事務所 一級建築士事務所 新潟県 登録番号 (〒) 1668号 担当	大和リース株式会社 一級建築士 第364478号 代表となる設計者 我妻 重 大和リース株式会社 一級建築士 第319254号 その他の設計者 小川 秀一	工事名称	新潟市立上山中学校校舎増築工事	受領印	
								図面名称	基礎伏図	縮尺	A1:1/75 A3:1/150
								作成年月日	2021-03-15	依頼番号	70-N16-0006
										図面番号	S-02
										年月日	



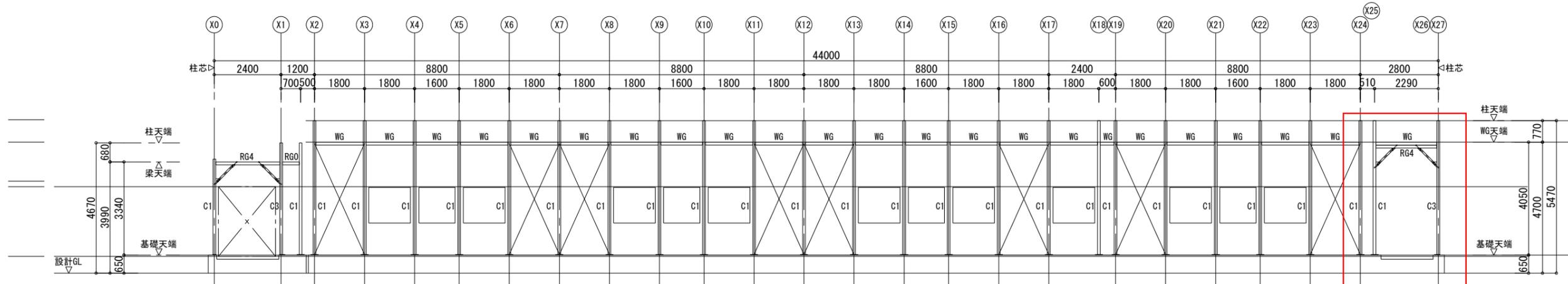
※使用材料  
 コンクリート：  
 (基礎) FC21+mSn (構造体強度補正值)  
 (土間) FC18  
 鉄筋：SD295A (D16以下)  
 アンカーボルト SNR490B (転造ネジ)  
 長期地耐力：50kN/m<sup>2</sup>  
 短期地耐力：100kN/m<sup>2</sup>  
 幅止筋D10@1000mm内外  
 土間コンクリート仕様  
 土間コンクリート金ゴテ押え t=120  
 ワイヤーマッシュφ6x150x150  
 押出法ポリスチレンフォーム保温板 1種b t=30  
 防湿ポリエチレンフィルム t=0.15  
 砕石 t=100



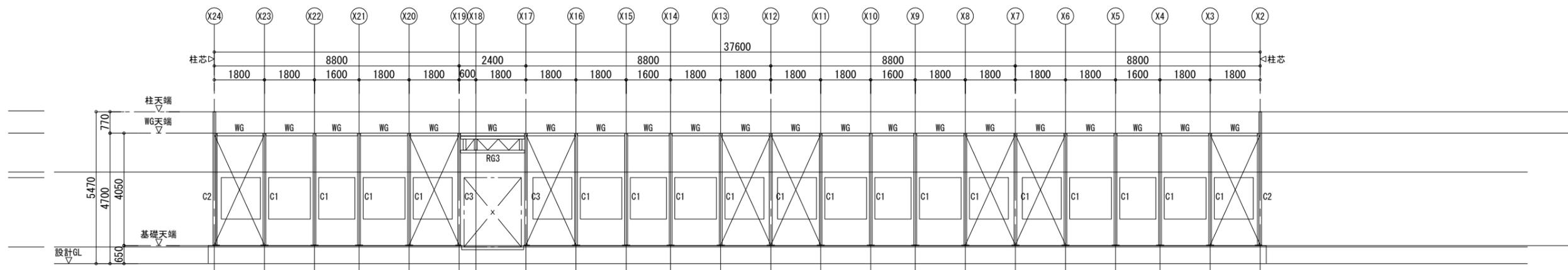
訂正事項	年月日	担当	訂正事項	年月日	担当	大和リース株式会社 新潟支店 一級建築士事務所 一級建築士事務所 新潟県知事登録 (子) 1688号	大和リース株式会社 一級建築士 第364478号 代表となる設計者 表裏 薫	大和リース株式会社 一級建築士 第319254号 その他の設計者 小川 秀一	工事名称 新潟市立上山中学校校舎増築工事	図面名称 基礎断面詳細図	縮尺 A1:1/0 A3:1/20	受領印
						照査			作成年月日 2021.03.15	依頼番号 70-NIG-0006	図面番号 S-03	年月日



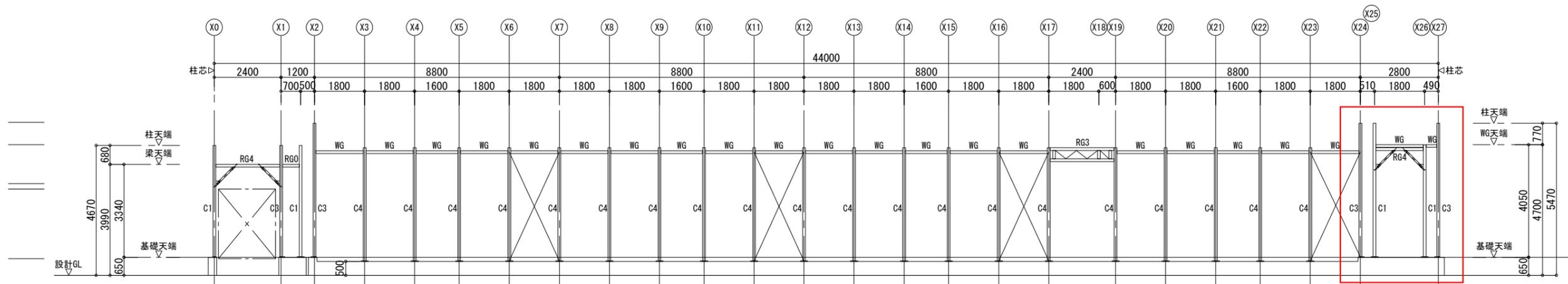
記号	C1	C2	C3	C4	C5	P1			C1, C4, C5, P1	C2 柱脚部
形状										
使用部材	□-100x100x3.2 STKR400	□-100x100x3.2 SSC400 STKR400 2C-100x50x20x2.3	□-100x100x3.2 STKR400	□-100x100x3.2 STKR400	□-100x100x3.2 STKR400	□-100x100x3.2 STKR400				
	A. BOLT 2-M16	A. BOLT 2-M16	A. BOLT 2-M16	A. BOLT 2-M16	A. BOLT 2-M16	A. BOLT 2-M16			T. PL-6 BOLT 4-M12 (SS400)	
	B. PL-16 (SS400)	B. PL-16 (SS400)	B. PL-16 (SS400)	B. PL-16 (SS400)	B. PL-16 (SS400)	B. PL-16 (SS400)				
記号	RG0	RG1	RG2	RG3	RG4	RG5			C3 柱脚部	
形状										
使用部材	[-100x50x5x7.5 SS400	H-300x150x6.5x9 SS400	H-200x100x5.5x8 SS400	上下弦材: □P-100x100x3.2 束材: □P-100x100x3.2 ラチス材: □P-100x50x2.3 STKR400	H-100x100x6x8 SS400 方杖: □P-60x30x3.2	H-100x100x6x8 SS400				
	G. PL-6 BOLT 2-M12	G. PL-6 BOLT 3-M12	G. PL-4.5 BOLT 2-M12	G. PL-4.5 BOLT 4-M12	G. PL-4.5 BOLT 2-M12	G. PL-4.5 BOLT 2-M12				
記号	M	WG								
形状										
使用部材	C-100x50x20x3.2 @1800 タイトフレーム@1800 SSC400	[-100x50x5x7.5 SS400								
	G. PL-4.5 BOLT 1-M12	G. PL-6 BOLT 2-M12								
記号	胴縁	V								
形状										
使用部材	C-75x45x15x2.3 SSC400 C-100x50x20x2.3	C-75x45x15x2.3 SSC400		<del>SNR400B SN400B M20</del>	SNR400B SN400B M18	SNR400B SN400B M16	SNR400B SN400B M12			
		G. PL-4.5 BOLT 1-M12		羽子板PL-9 B. S PL-9 H. T. B. 1-M20 (F10T)	羽子板PL-9 B. S PL-9 H. T. B. 1-M20 (F10T)	羽子板PL-6 B. S PL-6 H. T. B. 1-M16 (F10T)	羽子板PL-6 B. S PL-6 BOLT (10.9) 1-M16			
									使用材料	
									鉄骨 SSC400 STKR400 SS400 SNH400 SNR400B SN400B	
									鉄部: 錆止塗装 (JIS K 5674 1種) 2回、見掛り部FE塗装	
									(アンカー以外のボルト) BOLT 4.8 (戻止め: ばね座金) H. T. BOLT F10T (支圧接合) BOLT 10.9	



Y0通 軸組図 S=1/150  
 ※特記なき限り、ブレースはM16を示す

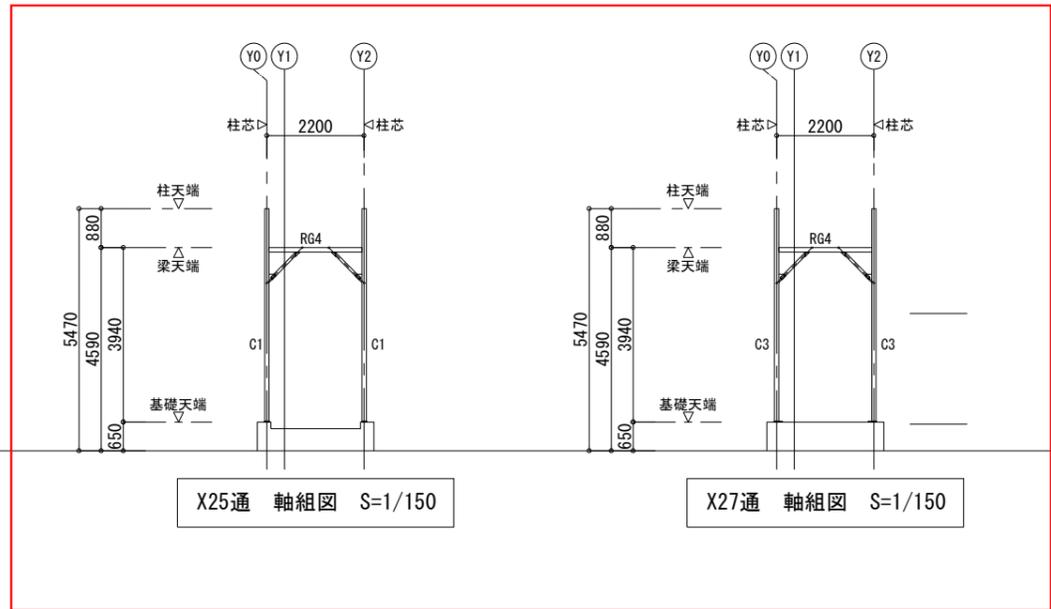
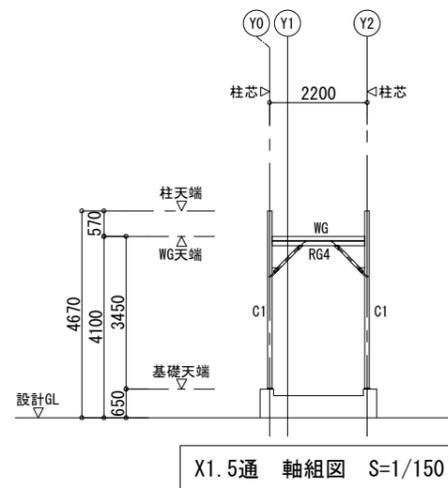


Y6通 軸組図 S=1/150  
 ※特記なき限り、ブレースはM16を示す



Y2通 軸組図 S=1/150  
 ※特記なき限り、ブレースはM18を示す

訂正事項	年月日	担当	訂正事項	年月日	担当	<b>大和リース株式会社</b> 代表となる設計者 我妻 直 一級建築士事務所 新潟県 新潟県 1668号 担当 大和リース株式会社 一級建築士 第319254号 その他の設計者 小川 秀一	工事名称 新潟市立上山中学校校舎増築工事 図面名称 軸組図-1 作成年月日 2021-03-15	縮尺 A1:1/75 A3:1/150 図面番号 S-06	依頼番号 70-N16-0006 年 月 日



訂正事項	年月日	担当	訂正事項	年月日	担当

<b>大和リース株式会社</b>		大和リース株式会社 第364478号 一級建築士 代表となる設計者 我妻 重	大和リース株式会社 第319254号 一級建築士 その他の設計者 小川 秀一
〒168-8501 東京都豊島区池袋1-1-1	〒168-8501 東京都豊島区池袋1-1-1	〒168-8501 東京都豊島区池袋1-1-1	〒168-8501 東京都豊島区池袋1-1-1
電話 03-3568-1111	電話 03-3568-1111	電話 03-3568-1111	電話 03-3568-1111
ファクス 03-3568-1112	ファクス 03-3568-1112	ファクス 03-3568-1112	ファクス 03-3568-1112
URL http://www.wakari.co.jp	URL http://www.wakari.co.jp	URL http://www.wakari.co.jp	URL http://www.wakari.co.jp

工事名称	新潟市立上山中学校校舎増築工事			受領印
図面名称	軸組図-3	縮尺	A1:1/75 A3:1/150	年 月 日
作成年月日	2021-03-15	依頼番号	70-N16-0006	
		図面番号	S-08	

外部仕上表		改 修 前	改 修 後
屋 上	平面：モルタル防水 目地 アスファルトコンパウンド15×20 立上り：モルタル防水		既存目地アスファルトコンパウンド撤去 樹脂モルタル充填20×30 平面：既存モルタル防水面高圧水洗浄 樹脂モルタル薄塗り t=3 合成高分子ルーフィング防水、密着工法（歩行用） 塩化ビニル樹脂シート t=2張り 立上り：既存モルタル防水面高圧水洗浄 樹脂モルタル薄塗り t=3 合成高分子ルーフィング防水、密着工法（歩行用） 塩化ビニル樹脂シート t=2張り
外 壁	コンクリート打放し リシン吹付け 柱型：モルタル塗刷毛引き リシン吹付け		外壁改修部分：既存塗膜除去（モルタル面、コンクリート打放し面共3種あり）・高圧水洗浄・下地調整※ リン酸系フッ素塗布下地 複層仕上塗材E-P-G塗り（W2・W3）一部モルタル面ピン注入工法（特別教室棟4面改修） 耐震補強工事部分：押出成型セメント版t=60.0 複層仕上塗材E-P-G塗り（一部一般改修部共）
屋上パラベット	正面：コンクリート打放し リシン吹付け 軒裏：コンクリート打放し リシン吹付け 笠木天端：防水モルタル金鎖		笠木、立下り面共 既存塗膜除去・高圧水洗浄・下地調整※ リン酸系フッ素塗布 フッ素樹脂珪藻土塗り一部ピン注入工法
窓 庇	庇上：防水モルタル金鎖 庇裏：コンクリート打放し リシン吹付け		一般改修工事部分：庇上 高圧水洗浄・樹脂モルタル薄塗りt=3下地 アクリル樹脂エナメル塗り 庇裏 既存塗膜除去・高圧水洗浄・下地調整※ リン酸系フッ素塗布 フッ素樹脂珪藻土塗り一部ピン注入工法 耐震補強工事部分：一部撤去 高圧水洗浄・樹脂モルタル塗りt=5下地 複層仕上塗材E
地 覆	モルタル刷毛引き		既存のまま ※但し高圧水洗浄
犬走り・階段	モルタル金鎖		既存のまま
煙 突	コンクリート打放し リシン吹付け 笠 PL-4.5 L=50×50×4 750×650		既存煙突笠撤去 新規煙突役物カバー SUS304製 t=1.5加工 取付
外廻り建具	アルミサッシ		一般改修部分：既存のまま 一部撤去・新設（建具表参照） 耐震補強工事部分：新規アルミ製サッシ取付
ルーフトレ 堅 種	φ100 鋳鉄製 堅型平皿付 硬質塩ビパイプφ100 厚肉VP 取付金物 既製品@1,000		改修用ドレインに取替え 既存たて種撤去 硬質塩ビパイプφ100、φ75厚肉VP 取付金物SUS 既製品@1,000新設
屋 上 金 網	フェンス：フェンス支柱・支柱：@1,500以下 ネット：菱形金網		既存フェンス撤去 新設フェンス設置：独立コンクリ基礎 支柱@2,000以下 支柱@3,000以下 ぐりり防止パイプ2段

内部仕上表												
棟	階	室 名	仕 上		床	巾 木	巾木高	壁	天 井	天井高	廻り縁	備 考
			種別									
特 別 教 室 棟	1階	木工室	改修前		モルタル下地 フローリングブロックt=15 一部 人研ぎ	モルタル金鎖仕上 A-Emp塗 木製巾木 SOP塗	100 100	モルタル金鎖仕上 A-Emp塗 ラワン合板t=5.5 SOP塗 ラワン合板t=5.5下地 掲示用クロス貼り	LGS下地 化粧PBt=9.0張り 塗型：モルタル塗仕上 A-Emp塗	3,000	目透し	撤去：黒板、掲示板、掃除用具入、人研流し、作品保管棚、整理棚、 木製建具、室名札、OHPスクリーン 脱着：カーテン、カーテンレール
			改修後		既存フローリングブロックt=15 研直し（目違い直し）PU3回塗 人研ぎ面 研ぎ直し	既存モルタル金鎖仕上 E-P塗替 既存木製巾木面 E-P-G塗替 新規木製巾木面 E-P-G塗	100 100 100	既存モルタル金鎖仕上 E-P塗替 既存ラワン合板t=5.5面 ラワン合板t=5.5増張りの上 掲示用クロス貼り 新規木軸下地組 ラワン合板t=5.5目透し張り E-P-G塗・掲示用クロス貼り 新規木軸下地組 ラワン合板t=5.5張り 掲示用クロス貼り	既存仕上材撤去 既存天井下地調整のうえ 新規化粧PBt=9.5張り 塗型：既存プラスター面 新規木軸下地 構造用合板（I-1）t=12下地 化粧合板張り t=2.5	3,000	塩ビ製	新規：黒板、掲示板、掃除用具入、アルミスクリーンボックス、室名札、木製建具、 流し台、作品保管棚、整理棚、OHPスクリーン 脱着：カーテン、カーテンレール、 煙突穴モルタル詰め 電気設備用スイッチボックスのモルタル埋め（4ヶ所）
		多目的室 （旧木工室）	改修前		モルタル下地 フローリングブロックt=15	モルタル金鎖仕上 A-Emp塗 木製巾木 SOP塗	100 100	モルタル金鎖仕上 A-Emp塗 ラワン合板t=5.5 SOP塗	LGS下地 化粧PBt=9.0張り 塗型：モルタル塗仕上 V-Emp塗	3,000	目透し	撤去：黒板、掲示板、掃除用具入、万力台、整理棚、木製建具、室名札、OHPスクリーン 脱着：アルミスクリーンボックス、OHPスクリーンボックス、 カーテン、カーテンレール
			改修後		既存フローリングブロックt=15 研直し（目違い直し）PU3回塗	既存モルタル金鎖仕上 E-P塗替 既存木製巾木面 E-P-G塗替 新規木製巾木面 E-P-G塗	100 100 100	既存モルタル金鎖仕上 E-P塗替 既存ラワン合板t=5.5面 ラワン合板t=5.5増張りの上 掲示用クロス貼り 新規木軸下地組 ラワン合板t=5.5目透し張り E-P-G塗・掲示用クロス貼り 新規木軸下地組 ラワン合板t=5.5張り 掲示用クロス貼り	既存仕上材撤去 既存天井下地調整のうえ 新規化粧PBt=9.5張り 塗型：既存プラスター面 新規木軸下地 構造用合板（I-1）t=12下地 化粧合板張り t=2.5	3,000	塩ビ製	新規：黒板、掲示板、掃除用具入、アルミスクリーンボックス、室名札、木製建具、 手洗い流しライニング壁、OHPスクリーン 脱着：カーテン、カーテンレール、
		耐震補強部分	改修前		既存床材（下地モルタル t=35共）撤去 モルタル金鎖下地 t=35 新規フローリングブロックt=15無塗装品 PU塗装（3回塗）	既存モルタル金鎖仕上 E-P塗替 新規木製巾木面 E-P-G塗	100 100	新規LGS下地組 PB t=9.5下地ラワン合板t=5.5目透し張り E-P-G塗	既存仕上材撤去 既存天井下地調整のうえ 新規化粧PBt=9.5張り	3,000	塩ビ製	撤去：カーテンボックス、人研流し台 脱着：カーテン、カーテンレール 新規：カーテンボックス 電気設備用スイッチボックスのモルタル埋め（2ヶ所）
			対象外		モルタル下地 フローリングブロックt=15	モルタル金鎖仕上 A-Emp塗 木製巾木 SOP塗	100 100	モルタル金鎖仕上 A-Emp塗 ラワン合板t=5.5 SOP塗	LGS下地 化粧PBt=9.0張り 塗型：モルタル塗仕上 V-Emp塗	2,700	目透し	撤去：木製建具、室名札 新設：木製建具、室名札
	2階	第一理科室	改修前		モルタル下地 フローリングブロックt=15 一部 人研ぎ	モルタル金鎖仕上 A-Emp塗 木製巾木 SOP塗	100 100	モルタル金鎖仕上 A-Emp塗 ラワン合板t=5.5 SOP塗	LGS下地 化粧PBt=9.0張り 塗型：モルタル塗仕上 V-Emp塗	3,000	目透し	撤去：黒板、掲示板、掃除用具入、人研流し、観察台（人研）、背面機材棚、木製建具、室名札、 OHPスクリーン 脱着：カーテン、カーテンレール 煙突穴モルタル詰め
			改修後		既存フローリングブロックt=15 研直し（目違い直し）PU3回塗 人研ぎ面 研ぎ直し	既存モルタル金鎖仕上 E-P塗替 既存木製巾木面 E-P-G塗替 新規木製巾木面 E-P-G塗	100 100 100	既存モルタル金鎖仕上 E-P塗替 既存ラワン合板t=5.5面 ラワン合板t=5.5増張りの上 掲示用クロス貼り 新規木軸下地組 ラワン合板t=5.5目透し張り E-P-G塗・掲示用クロス貼り 新規木軸下地組 ラワン合板t=5.5張り 掲示用クロス貼り	既存仕上材撤去 既存天井下地調整のうえ 新規化粧PBt=9.5張り 塗型：既存プラスター面 新規木軸下地 構造用合板（I-1）t=12下地 化粧合板張り t=2.5	3,000	塩ビ製	新規：黒板、掲示板、掃除用具入、アルミスクリーンボックス、室名札、木製建具、 流し台、観察台、収納棚、OHPスクリーン 脱着：カーテン、カーテンレール 電気設備用スイッチボックスのモルタル埋め（4ヶ所）

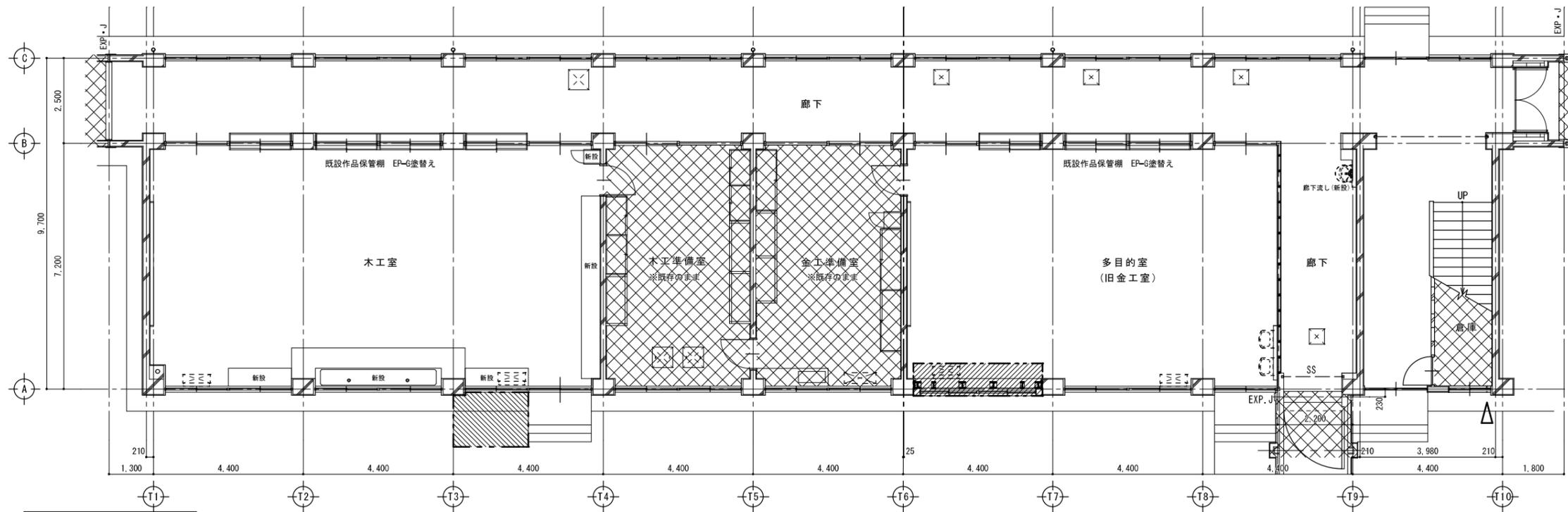
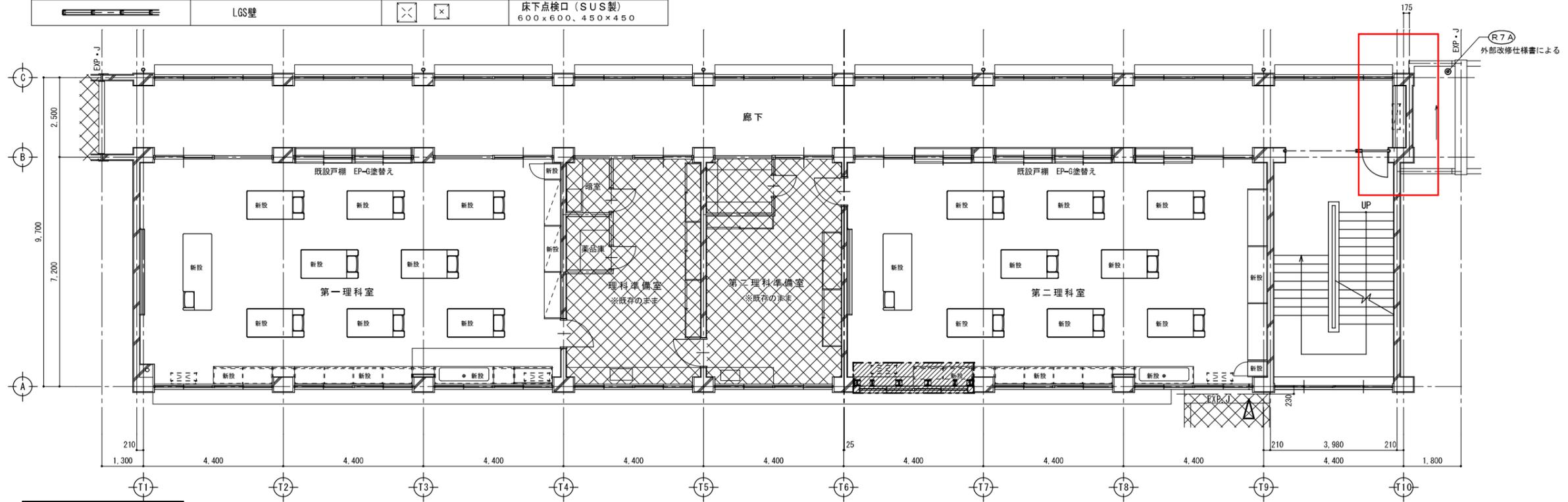
内部仕上表												
棟	階	室名	仕上		床	巾木	巾木高	壁	天井	天井高	廻り縁	備考
			種別									
特別 教室 棟	2階	第2理科室	改修前		モルタル下地 フローリングブロックt=15	モルタル金鍍仕上 V-Emp 塗 木製巾木 SOP 塗	108 108	モルタル金鍍仕上 A-Emp 塗 ラワン合板t=5.5 SOP 塗	LGS下地 化粧PBt=9.0張り 梁型：モルタル塗仕上 A-Emp 塗	3.000	目透し	撤去：黒板、掲示板、掃除用具入、人研流し台、観察台(人研)背面機材棚、木製建具、 室名札、OHPスクリーン 脱着：カーテン、カーテンレール
			改修後		既存フローリングブロックt=15 研直し(目違い直し) PU3回塗	既存モルタル金鍍仕上 E-P 塗替 既存木製巾木 E-P-G 塗替 新規木製巾木 E-P-G 塗	100 100 100	既存モルタル金鍍仕上 E-P 塗替 既存ラワン合板t=5.5面 ラワン合板t=5.5増張りの上 掲示用クロス貼り 新規木軸下地組 ラワン合板t=5.5目透し張り E-P-G 塗・掲示用クロス貼り 新規木軸下地組 ラワン合板t=5.5張り 掲示用クロス貼り	既存仕上材撤去 既存天井下地調整のうえ 新規化粧PBt=9.5張り 梁型：既存プラスチック面 新規木軸下地 構造用合板(T=1)t=12下地 化粧合板張り t=2.5	3.000	塩ビ製	新規：黒板、掲示板、掃除用具入、流し台、アルミスクリーンボックス、OHPスクリーン 室名札、木製建具、観察台、収納棚 脱着：カーテン、カーテンレール 電気設備用スイッチボックスのモルタル埋め(3ヶ所)
			耐震補強部分		既存床材(下地モルタル t=35共)撤去 モルタル金鍍下地 t=35 新規フローリングブロックt=15無塗装品 PU塗装(3回塗)	既存モルタル金鍍仕上 E-P 塗替 新規木製巾木面 E-P-G 塗	100 100	新規LGS下地組 PB t=9.5下地ラワン合板t=5.5目透し張り E-P-G 塗	既存仕上材撤去 既存天井下地調整のうえ 新規化粧PBt=9.5張り	3.000	塩ビ製	撤去：カーテンボックス、観察台 脱着：カーテン、カーテンレール 新規：カーテンボックス、観察台
	2階	理科準備室 第2理科準備室	対象外		モルタル下地 フローリングブロックt=15	モルタル金鍍仕上 A-Emp 塗 木製巾木 SOP 塗	100 100	モルタル金鍍仕上 A-Emp 塗	LGS下地 化粧PBt=9.0張り	2.700	目透し	撤去：木製建具、室名札 新設：木製建具、室名札
	3階	第1音楽室	改修前		モルタル下地 フローリングブロックt=15	モルタル金鍍仕上 A-Emp 塗 木製巾木 SOP 塗	100 100	ロックウール吸音板t=25 有孔ラワン合板t=5.5 SOP ラワン合板t=5.5下地 掲示用クロス張り	LGS下地 PBt=9.0下地無機質繊維成形板t=12張り 梁型：ロックウールt=25 穴明ベニヤ SOP	3.000	目透し	撤去：黒板、掲示板、掃除用具入、木製建具、室名札 OHPスクリーン 煙突穴モルタル詰め
			改修後		既存フローリングブロックt=15 研直し(目違い直し) PU3回塗	既存モルタル金鍍仕上 E-P 塗替 既存木製巾木面 E-P-G 塗替 新規木製巾木面 E-P-G 塗	100 100 100	既存ラワン合板t=5.5面 ラワン合板t=5.5増張りの上 掲示用クロス張り 既存ラワン合板t=5.5面 既存掲示用クロス撤去 下地処理の上 掲示用クロス張り 新規木軸下地組 ラワン合板t=5.5張り E-P-G 塗・掲示用クロス張り 新規 有孔ラワン合板t=5.5張り E-P-G 塗 既存 有孔ラワン合板面 EP-G 塗替	既存仕上材撤去 既存天井下地調整のうえ 新規PBt=9.5+岩綿吸音板t=12.0張り 梁型：既存合板面 EP-G 塗替	3.000	塩ビ製	新設：ホワイトボード、掲示板、掃除用具入、アルミスクリーンボックス、室名札、木製建具、 OHPスクリーン 脱着：カーテン、カーテンレール、スピーカー台 給油口ボックス撤去コンクリート穴埋め 電気設備用スイッチボックスのモルタル埋め(4ヶ所)
		第2音楽室	改修前		モルタル下地 フローリングブロックt=15	モルタル金鍍仕上 A-Emp 塗 木製巾木 SOP 塗	100 100	ロックウール吸音板t=25 有孔ラワン合板t=5.5 SOP ラワン合板t=5.5 SOP 塗	LGS下地 PBt=9.0+岩綿吸音板t=12.0張り 梁型：ロックウールt=25 穴明ベニヤ SOP	3.000	塩ビ製	撤去：黒板、掲示板、背面楽器収納棚、掃除用具入、アルミスクリーンボックス 、スクリーン 木製建具、室名札 ステージ段(コンクリート共)
			改修後		既存フローリングブロックt=15 研直し(目違い直し) PU3回塗	既存モルタル金鍍仕上 E-P 塗替 既存木製巾木面 E-P-G 塗替	100 100	既存ラワン合板t=5.5面 ラワン合板t=5.5増張りの上 掲示用クロス張り 既存ラワン合板t=5.5面 既存掲示用クロス撤去 下地処理の上 掲示用クロス張り 新規木軸下地組 ラワン合板t=5.5張り E-P-G 塗・掲示用クロス張り 新規 有孔ラワン合板t=5.5張り E-P-G 塗 既存 有孔ラワン合板面 EP-G 塗替	既存仕上材撤去 既存天井下地調整のうえ 新規PBt=9.5+岩綿吸音板t=12.0張り 梁型：既存合板面 EP-G 塗替	3.000	塩ビ製	新設：ホワイトボード、掲示板、背面楽器収納棚、掃除用具入、アルミスクリーンボックス 、室名札、木製建具 OHPスクリーン 脱着：カーテン、カーテンレール、スピーカー台 電気設備用スイッチボックスのモルタル埋め(1ヶ所)
	第1音楽室準備室 第2音楽室準備室	対象外		モルタル下地 フローリングブロックt=15	モルタル金鍍仕上 A-Emp 塗 木製巾木 SOP 塗	100 100	ロックウール吸音板t=25 有孔ラワン合板t=5.5 SOP ラワン合板t=5.5下地 掲示用クロス張り	LGS下地 化粧PBt=9.0張り	2.700	目透し	撤去：木製建具、室名札 新設：木製建具、室名札	
				改修前		モルタル金鍍下地 アクリル系塗床	モルタル金鍍仕上 A-Emp 塗 木製巾木 SOP 塗	100 100	モルタル金鍍仕上 A-Emp 塗 ラワン合板t=5.5 SOP 塗	LGS下地 化粧PBt=9.0張り	2.500	目透し
1~3階	廊下		改修後		既存塗床面3種ケレン・清掃 ビニル床シートt=2.5張り 一部剥離部 樹脂モルタル補修	既存モルタル金鍍仕上 E-P 塗替 既存木製巾木面 E-P-G 塗替	100 100	既存モルタル金鍍仕上 E-P 塗替 既存ラワン合板t=5.5面 E-P-G 塗替 既存ラワン合板t=5.5面 掲示用クロス張り	既存仕上材撤去 既存天井下地調整のうえ 新規化粧PBt=9.5張り	2.500	塩ビ製	新規天井点検口
1~3階	階段	改修前		既存ビニル床タイルt=2.0貼り	モルタル金鍍仕上 A-Emp 塗	100	モルタル金鍍仕上 A-Emp 塗	段裏：プラスチック E-P 塗 最上階：木毛セメント板打込み プラスター	3.320 2.500			
		改修後		既存ビニル床タイルt=2.0撤去 新規ビニル床シートt=2.5貼り 下地既存モルタル面調整	既存モルタル金鍍仕上 E-P 塗替	100	既存モルタル金鍍仕上 E-P 塗替	段裏：既存プラスチック面 E-P 塗替 最上階：既存木毛セメント板面 E-P 塗替	3.320 2.500			新設：アルミ+半硬質塩ビ製 取付金物(アルミ)共40φ ステンレスノンスリップ <sup>®</sup> ：W=50(コ <sup>®</sup> ムタイヤ付)カハ <sup>®</sup> 一工法

共通事項	塗装凡例	記号凡例
・本仕上は、各室の主仕上を記載しており、細部は各詳細図による。	内壁：ひび割れ幅が1.0mm以上 外壁：ひび割れ幅が0.5mm以上 Uカット、可とう性エポ <sup>®</sup> キシ樹脂充填工法	t 材厚 @ ビッチ φ 直径 RC 鉄筋コンクリート CB 既製コンクリートブロック SUS ステンレス St スチール LGS 軽量鉄骨材(建築用鋼製下地材) PB 石膏ボード
・各図に記載した製作を必要とする部分は、現場調査を十分に行い、監督員の承諾を受ける事。	ビン注入工法(内壁モルタル浮き部分) ヒ <sup>®</sup> ン注入補強工法(内壁1.6本/m <sup>2</sup> ) アンカーピ <sup>®</sup> ン：SUSヒ <sup>®</sup> ン φ4 L=40~60 エポ <sup>®</sup> キシ樹脂充填量 2.5ml/箇所	
・在来モルタル面・在来木部面は付着物除去及び穴埋め補修下地処理とする。		
・既存天井仕上取外し部分の天井補強は、LGS材で行う。		
・木製建具の枠は、全てE-P-G塗替とする		
・在来塗床面に長尺塩ビシートを貼る場合の下地処理は、3種ケレン(電動ポリッシャー、サンダー等により塗膜の浮きを除去)の上、目直しを行う。		
・新設長尺塩ビシート部分はポリッシャー清掃の上ワックス掛けとする。		
・内部プラスチック・モルタル等の仕上材については、工事着手前に剥離・浮き等の調査を十分に行う。		

新潟市建築設計協同組合 担当設計事務所 管理建築士一級建築士第69716号 今井 孝一 (株) 堤建築設計事務所	新潟市建築部公共建築第2課	工事名 上山中学校大規模改造・耐震補強工事	図名 特別教室棟 内部仕上表(2)
		年月日 2010.3	縮尺 NON
		図面番号 特D-02	

凡例 ※特記無き壁は下記による

	鉄筋コンクリート壁
	コンクリートブロック壁
	木軸壁
	LGS壁
	床下点検口 (SUS製) 600×600、450×450



新潟市建築設計協同組合

管理建築士一級建築士第69716号 今井 孝一

担当設計事務所

(株)堤建築設計事務所

新潟市建築部公共建築第2課

工事名

上山中学校大規模改修・耐震補強工事

図名

特別教室棟  
1階・2階平面図(改修後)

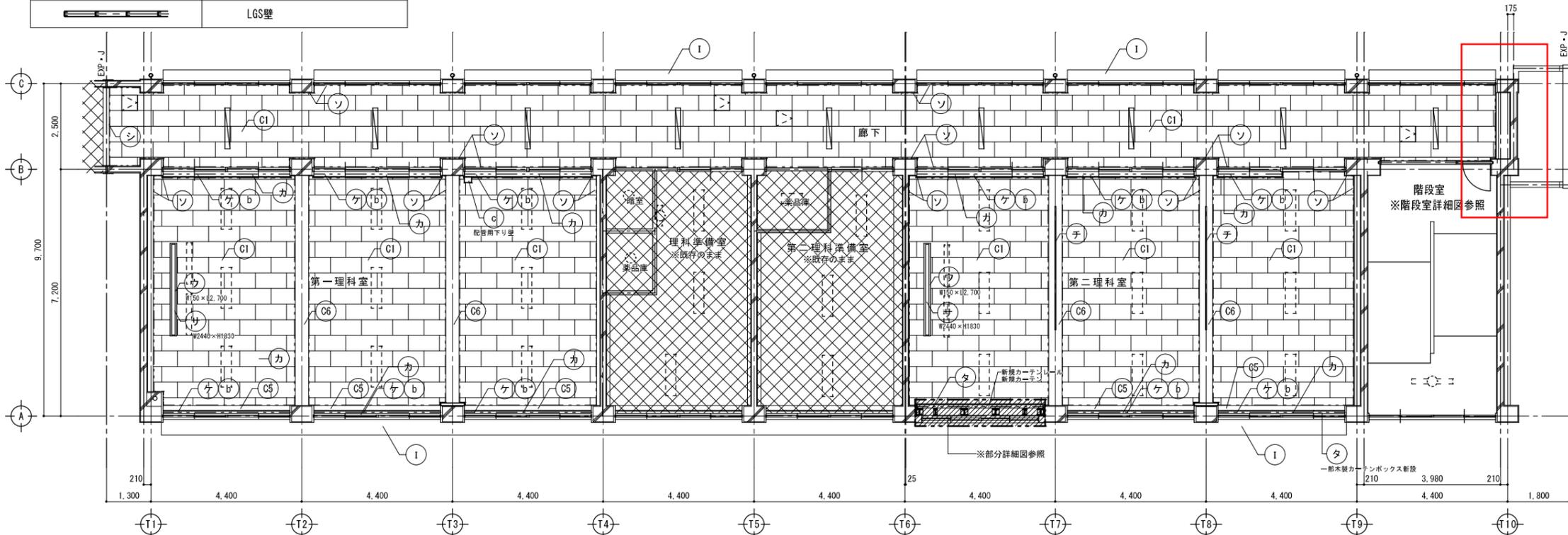
年月日 2010.3

縮尺 1/100

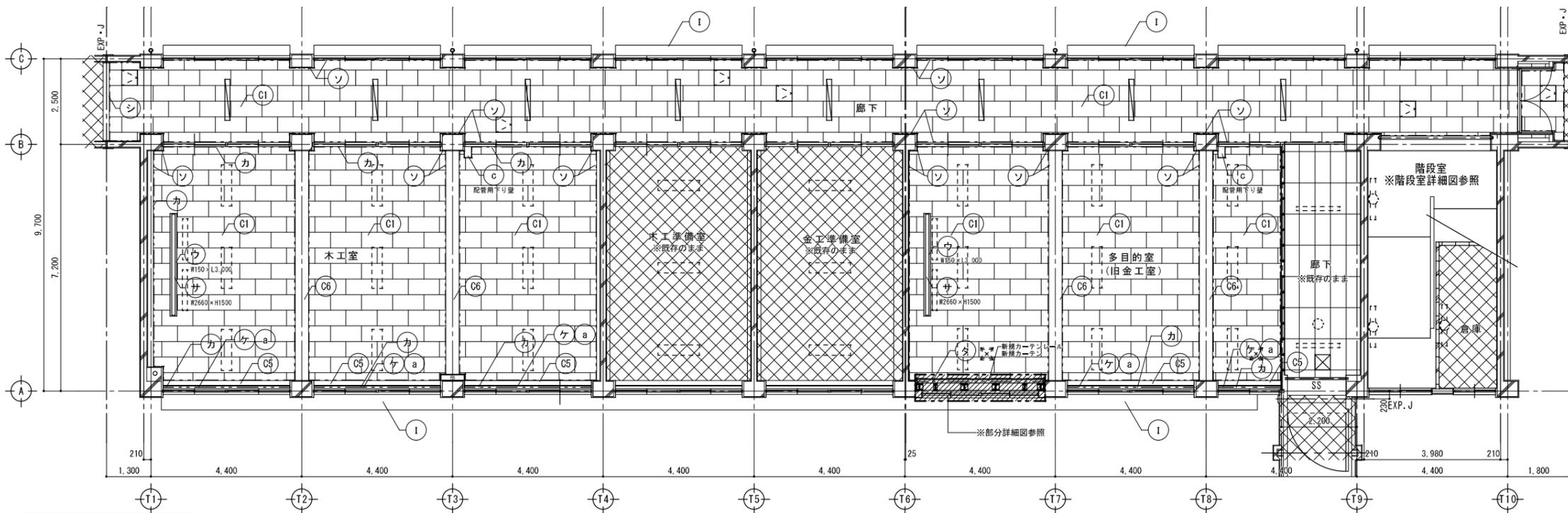
図面番号 特D-09

凡例 ※特記無き壁は下記による

	鉄筋コンクリート壁
	コンクリートブロック壁
	木軸壁
	LGS壁



2階天井伏図(改修後) S=1/100



1階天井伏図(改修後) S=1/100

改修リスト 特記無きものは、下記に依る。

- |     |                    |                                              |
|-----|--------------------|----------------------------------------------|
| 天井上 | C1                 | 既存LGS天井下地調整 化粧PBt=0.5張り (455×910)            |
|     | C2                 | 新規LGS天井下地組 化粧PBt=0.5張り (455×910)             |
|     | C3                 | 新規LGS天井下地組 化粧PBt=0.5張り (455×910)             |
|     | C4                 | 既存LGS天井下地調整 PBt=0.0下地岩綿吸音板t=12.0張り (303×606) |
|     | C5                 | 既存モルタル金網面 EP塗替                               |
|     | C6                 | 梁型改修部：構造用合板t=12+化粧ベニヤt=2.5張り                 |
|     | C7                 | 柱型ふかし部：T1ラワン合板t=5.5張り EP-G塗り                 |
| その他 | ア                  | 新規上下スチール黒板 2,700×1,800                       |
|     | イ                  | 新規上下スチール五線黒板 2,700×1,800                     |
|     | ウ                  | 新規スクリーンボックス(アルミ製) サイズは表記による                  |
|     | エ                  | 既存OHPスクリーン・取外し再取付                            |
|     | オ                  | 煙突掃除口・煙突挿入口：モルタル詰めt=50                       |
|     | カ                  | 既存木製カーテンボックス・図掛け EP-G塗替                      |
|     | キ                  | 新規木製見切縁 30×55 EP-G塗り                         |
|     | ク                  | 掲示板用アルミ製押縁                                   |
|     | ケ                  | 既存カーテンレール取外し再取付 (雑詳細図(3)リスト参照)               |
|     | コ                  | 新規雑巾掛け SUS製パイプφ20                            |
|     | サ                  | 新規OHPスクリーン取付                                 |
|     | シ                  | 新規EXP.金物取付                                   |
|     | ス                  | 電気分電盤穴モルタル詰                                  |
|     | セ                  | 既存 木製掲示板 (610×710×20) 取外し再取付                 |
|     | ソ                  | 樹脂製天井見切り縁                                    |
|     | タ                  | 新規木製カーテンボックス・図掛け EP-G塗り                      |
|     | チ                  | スチール製パイプ 既設のまま                               |
|     | ア                  | 既存カーテン 取外し再取付 (雑詳細図(3)リスト参照)                 |
|     | イ                  | 既存暗幕 取外し再取付 (雑詳細図(3)リスト参照)                   |
| ウ   | 新設 LGS天井(下り天井) 19型 |                                              |

凡例

	アルミ製天井点検口 450×450
	開口部補強 150×1,235
	電気照明器具直付位置(電気工事)
	天井換気扇(機械工事) 開口部補強350×350

外部改修リスト 特記無きものは、下記に依る。

- |   |                                                      |
|---|------------------------------------------------------|
| A | 新規 犬走りコンクリート打ち間隔金網仕上t=150 鉄筋D10φ250タテ・ヨコ共再生体 t=100敷込 |
| B | 新規 煙突天端役物加工：スチール(SUS304) PL-1.5加工                    |
| C | 新規 高圧洗浄の上 樹脂モルタルt=5 複数塗材E塗り(ゆず肌)                     |
| D | 制震部ピン注入工法処理後高圧洗浄 ポリマーセメント系塗膜防水塗                      |
| E | 在来塗膜除去(3種別) 高圧洗浄 下地調整 外装仕上塗材塗り(複層仕上塗材Eゆず肌) (W2)(W3)  |
| F | 在来塗膜除去(3種別) 高圧洗浄 下地調整 外装仕上塗材塗り(薄付仕上塗材E砂壁吹) (W1)      |
| G | 在来塗膜除去(3種別) 高圧洗浄 下地調整 77樹脂モルタル塗り(W1)                 |
| H | 庇上面 高圧洗浄 77樹脂モルタル塗り(W4)                              |
| I | 庇小口庇裏 高圧洗浄 樹脂モルタル薄塗 t=3                              |
| J | 77樹脂モルタル塗り(W4)                                       |
| K | 既存高圧洗浄                                               |
| L | 新規外壁 押出成形モルタル t=60 複数塗材E塗り(ゆず肌)                      |
| M | 新規地覆モルタル刷毛引き仕上                                       |

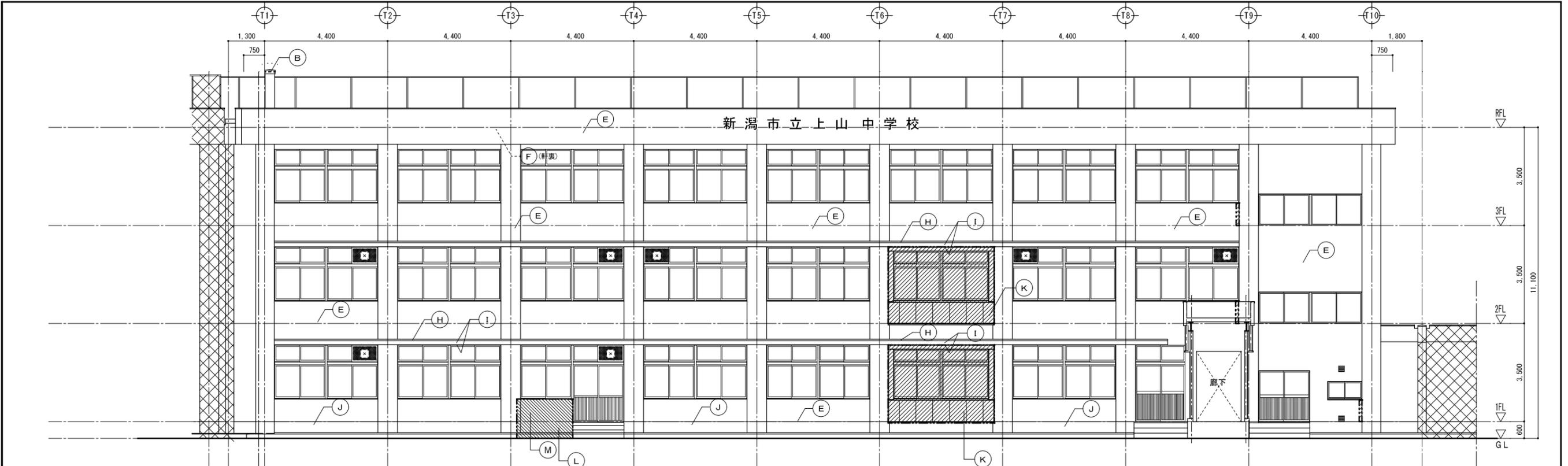
	対象外工事部分を示す
	耐震工事部分を示す

新潟市建築設計協同組合 担当設計事務所  
管理建築士一級建築士第69716号 今井 孝一 (株) 堤建築設計事務所

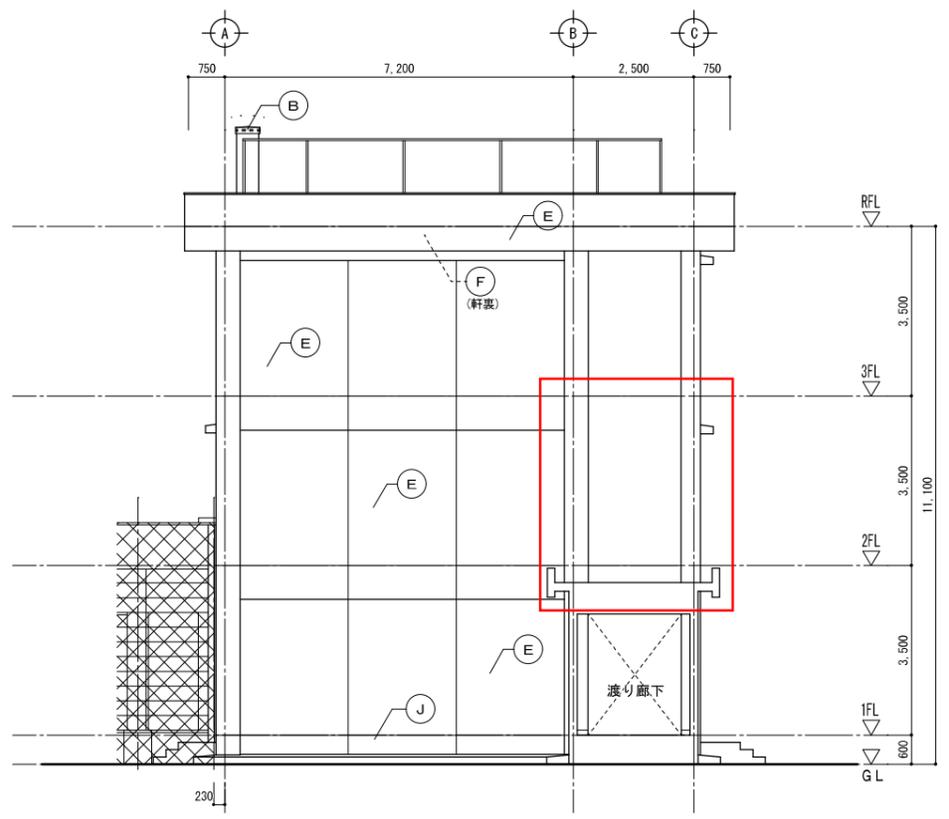
新潟市建築部公共建築第2課

工事名 上山中学校大規模改造・耐震補強工事

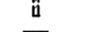
図名 特別教室棟 1階・2階 天井伏図(改修後)  
年月日 2010.3 縮尺 1/100 図面番号 特D-11



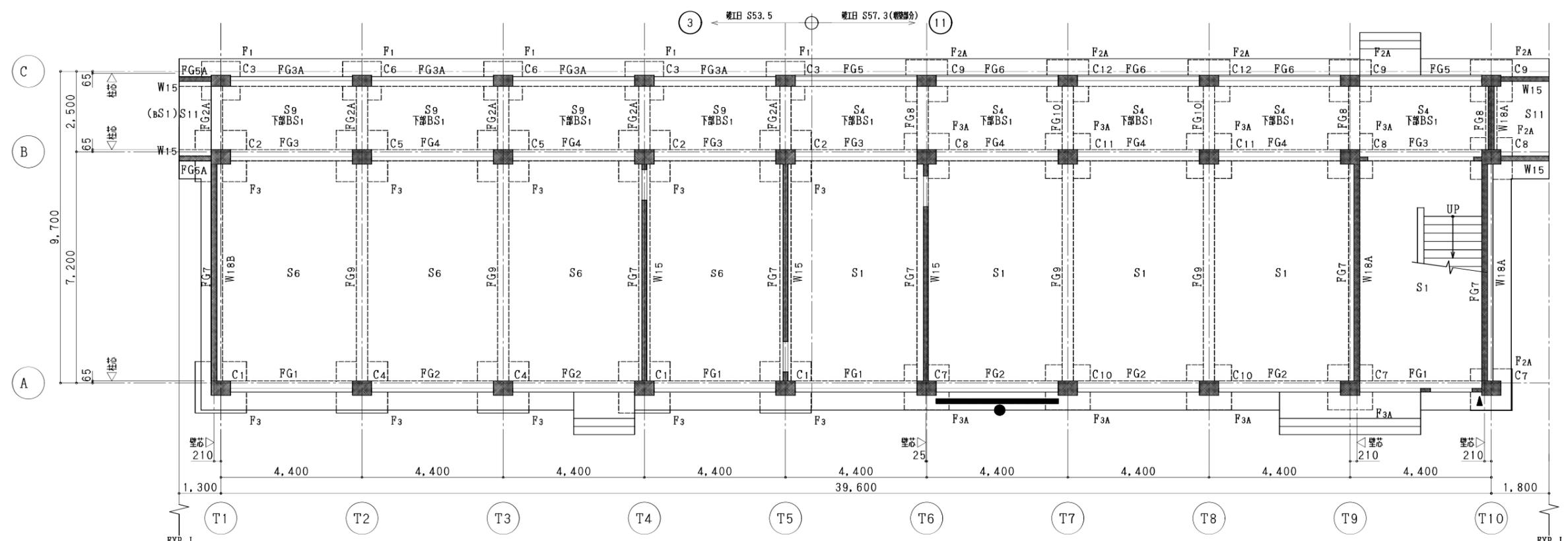
南側立面図（改修後） S=1/100



東側立面図（改修後） S=1/100

-  対象外工事部分を示す
-  耐震工事部分を示す
-  一般改修工事躯体等撤去部分を示す
-  耐震スリット部分を示す
-  ランマ：アルミパネル及び換気扇位置を示す。建具表を参照

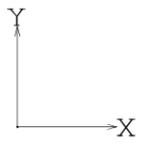
改修リスト		特記なきものは、下記に依る。
(A)	新規 犬走りコンクリート打ち即時金網仕上t=150 鉄筋D10@250タテ・ヨコ共再生CR t=100敷込	
(B)	新規 煙突天端役物加工：スチール(SUS304) PL=1.5加工	
(C)	新規 高圧洗浄の上 樹脂モルタル塗りt5 複層塗材E塗り(ゆず肌)	
(D)	剥離部ピン注入工法処理後高圧水洗浄 ポリマーセメント系塗膜防水塗	
(E)	在来塗膜除去(3種カシ) 高圧水洗浄 下地調整 外装仕上塗材塗り(複層仕上塗材Eゆず肌) (W2)(W3)	
(F)	在来塗膜除去(3種カシ) 高圧水洗浄 下地調整 外装仕上塗材塗り(薄付仕上塗材E砂壁状) (W1)	
(G)	在来塗膜除去(種カシ) 高圧水洗浄 下地調整 77%樹脂モルタル塗り (W1)	
(H)	底上面 高圧水洗浄 77%樹脂モルタル塗り (W4)	
(I)	底小口、庇裏 高圧水洗浄 樹脂モルタル薄塗 t=3 77%樹脂モルタル塗り (W4)(W1)	
(J)	既存高圧水洗浄	
(K)	新規外壁 押出成形セメント板 t=60 複層塗材E塗り(ゆず肌)	
(L)	新規地覆モルタル刷毛引き仕上	
(M)	新規モルタル補修 外装仕上材塗り(複層仕上材Eゆず肌)	

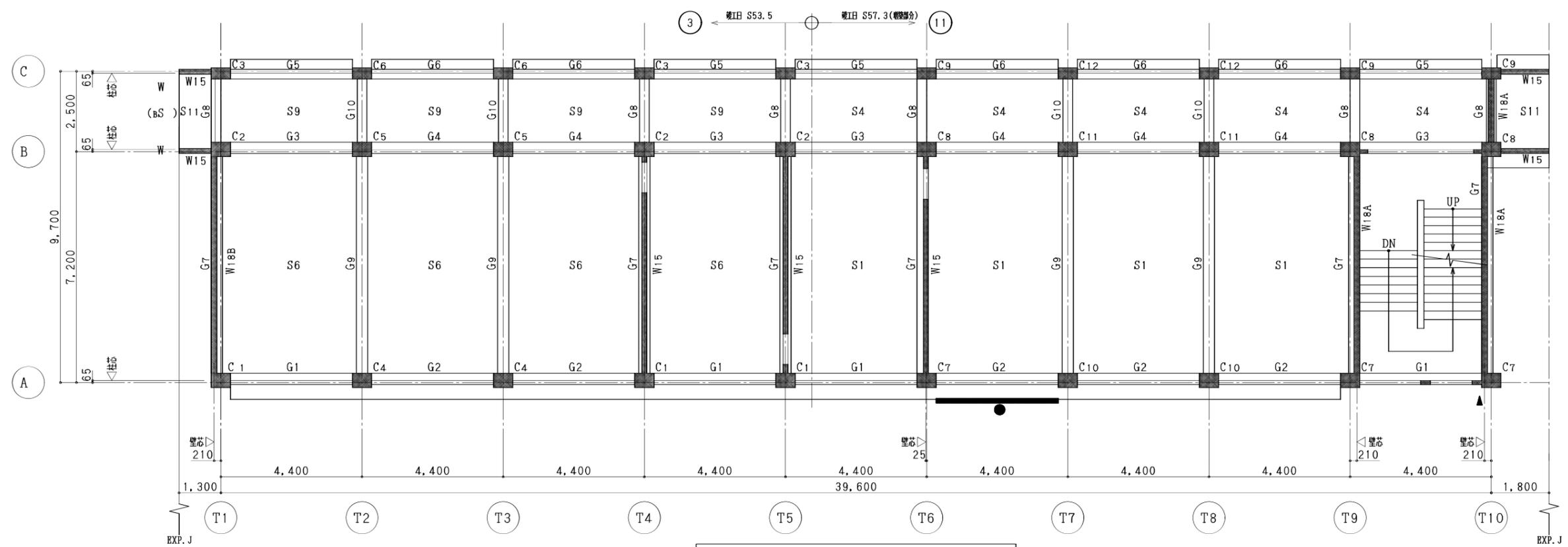


基礎・基礎梁 伏図 S=1/100

記事

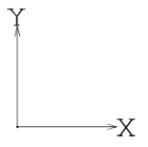
1. 特記なき限り、壁の厚さはW12とする。
2. ●は新設鉄骨ブレース(sV<sub>1</sub>)H-175×175×7.5×11を示す。
3. ▲は耐震スリット設置箇所を示す。





記事

1. 特記なき限り、壁の厚さはW12とする。
2. ●は新設鉄骨ブレース(sV<sub>1</sub>)H-175×175×7.5×11を示す。
3. ▲は耐震スリット設置箇所を示す。

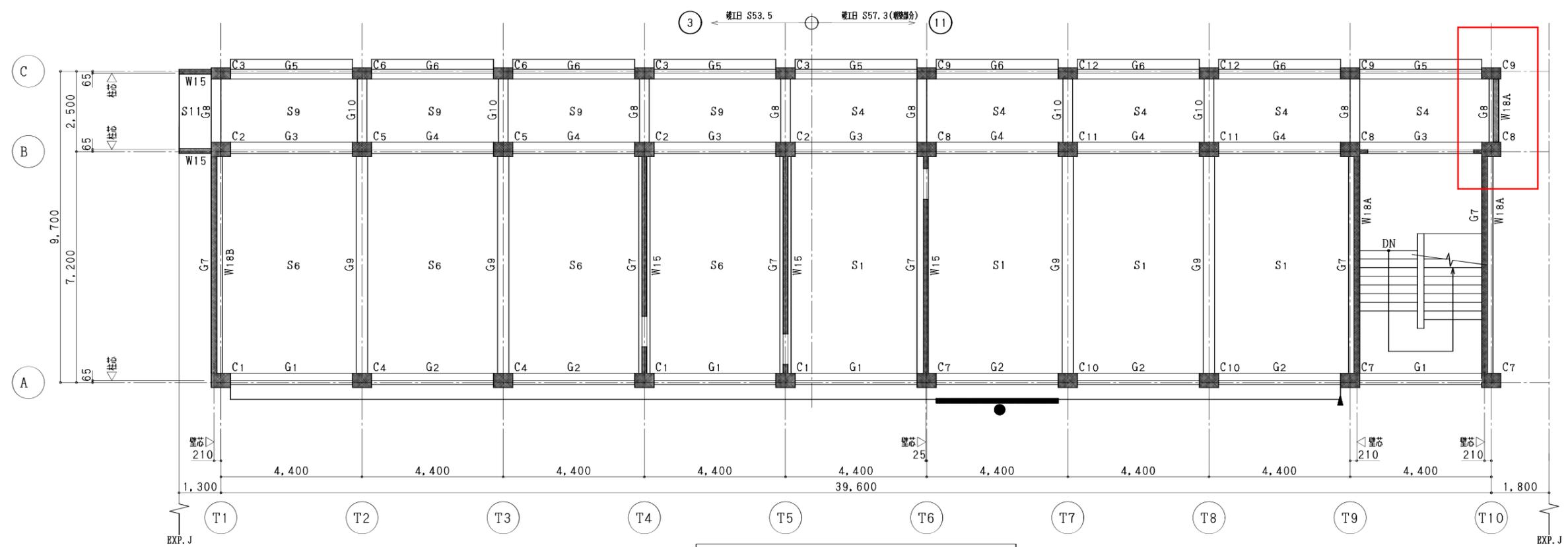


新潟市建築設計協同組合 担当設計事務所  
 管理建築士一級建築士第89716号 今井 孝一 (株)NSK建築構造研究所

新潟市建築部公共建築第2課

工事名  
 上山中学校大規模改造・耐震補強工事

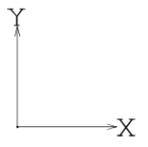
図名  
 特別教室棟 1階壁柱・2階床梁伏図  
 年月日 2010.3 縮尺 1/100 図面番号 特S-02



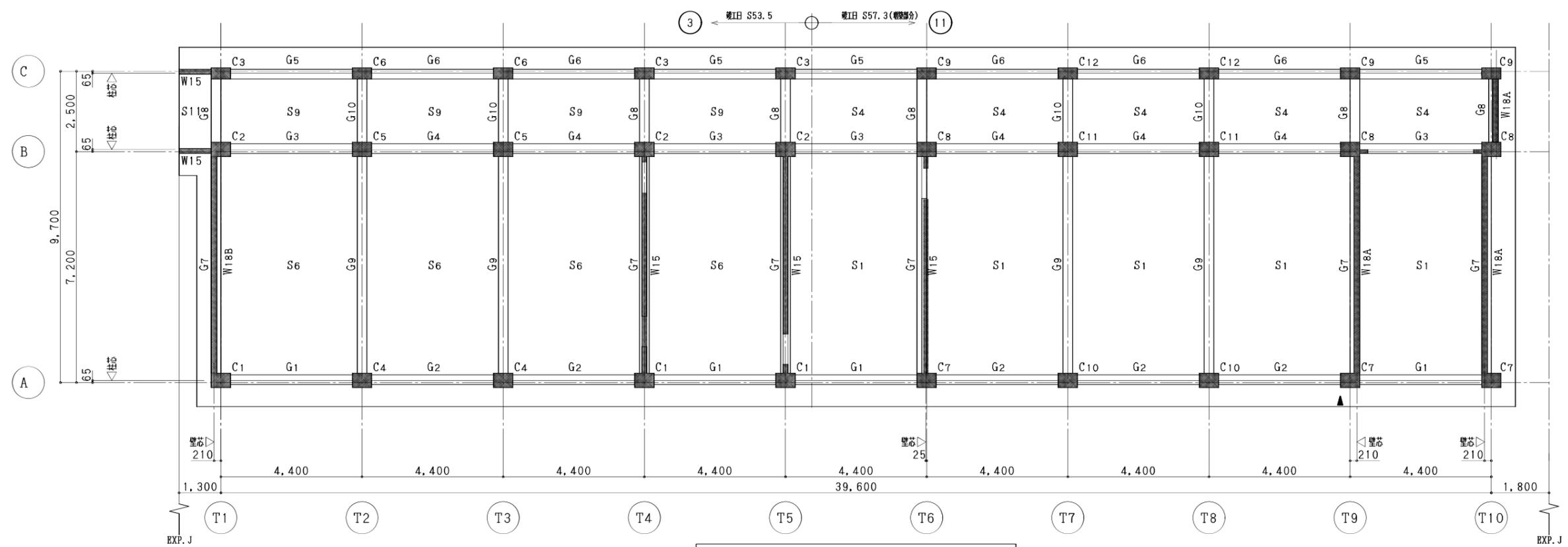
2階壁柱 3階床梁 伏図 S=1/100

記事

1. 特記なき限り、壁の厚さはW12とする。
2. ●は新設鉄骨ブレース(sV<sub>1</sub>)H-175×175×7.5×11を示す。
3. ▲は耐震スリット設置箇所を示す。



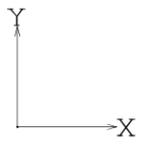
新潟市建築設計協同組合 管理建築士一級建築士第89716号 今井 孝一	担当設計事務所 (株)NSK建築構造研究所	新潟市建築部公共建築第2課	工事名 上山中学校大規模改造・耐震補強工事	図名 特別教室棟 2階壁柱・3階床梁伏図		
				年月日	縮尺	図面番号
				2010.3	1/100	特S-03

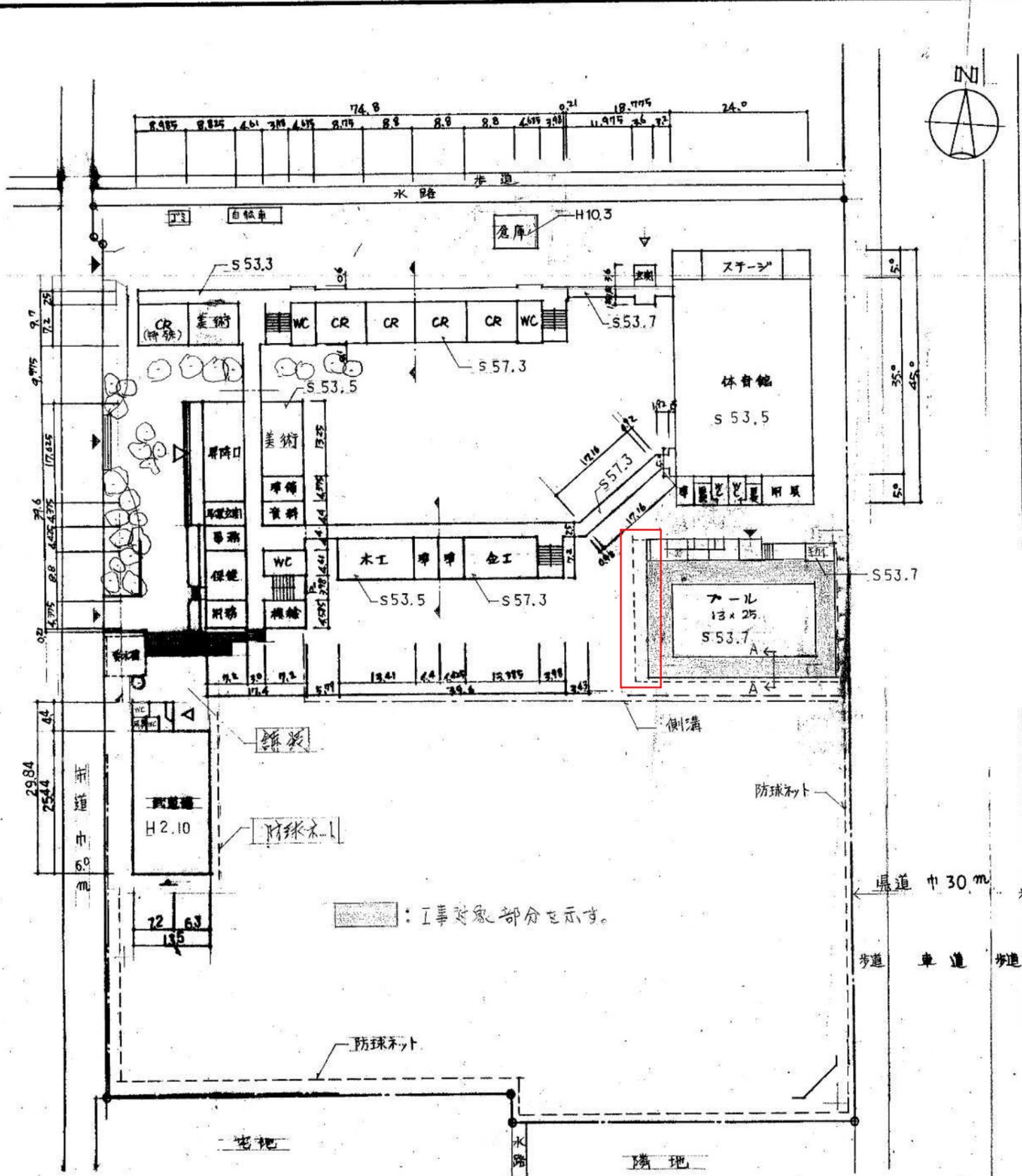


3階壁柱 RFL階床梁 伏図 S=1/100

記事

1. 特記なき限り、壁の厚さはW12とする。
2. ▲ は耐震スリット設置箇所を示す。

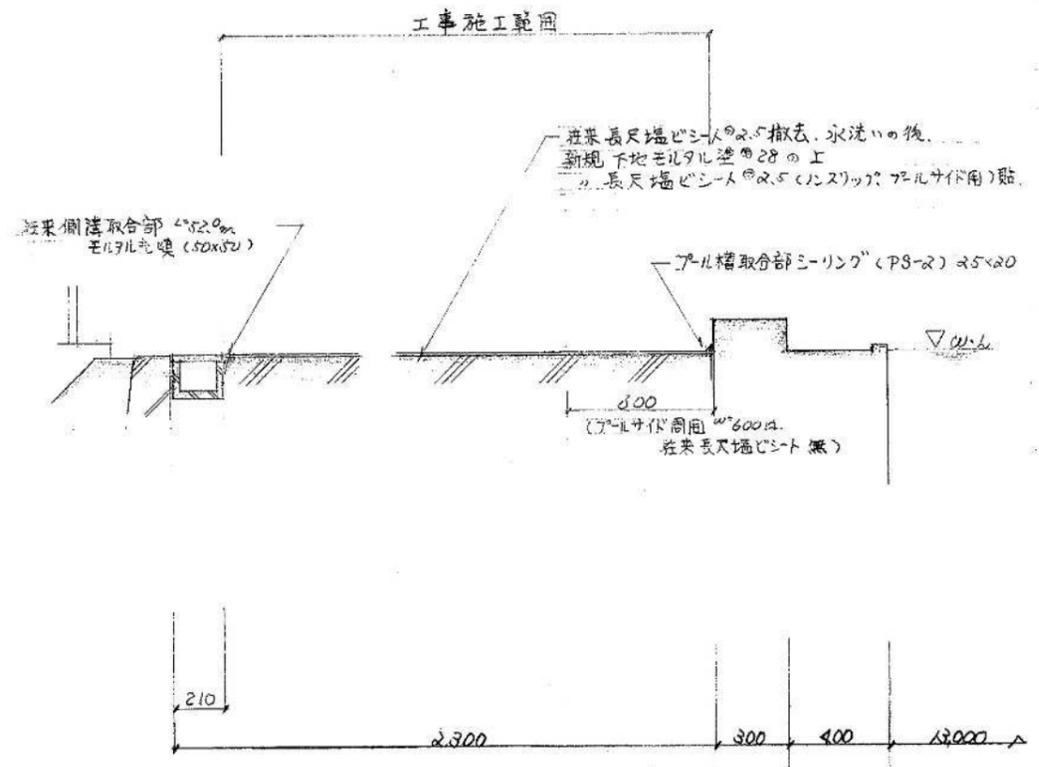




配置・1階平面図 S=1:600

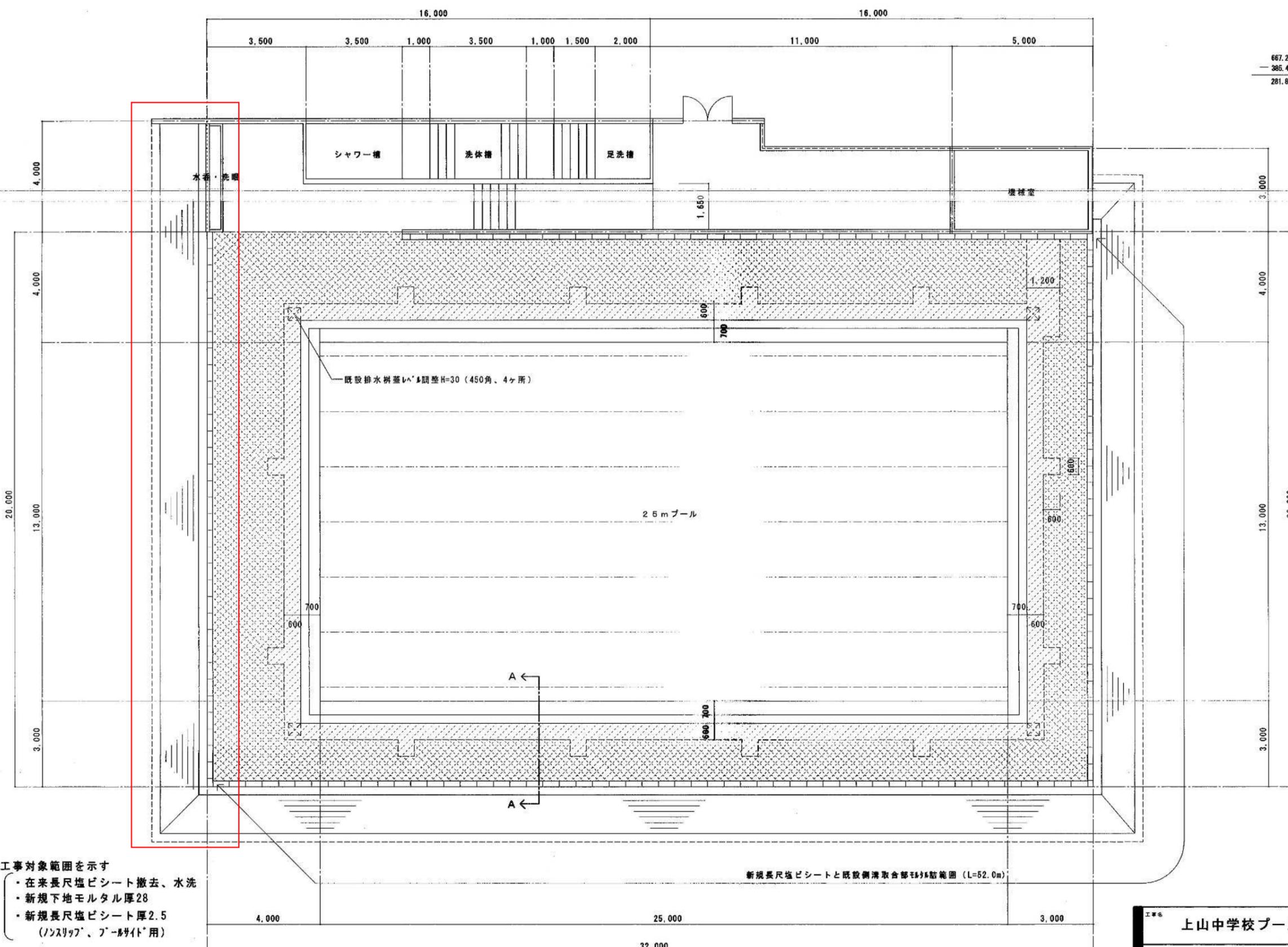
武道場 375.12㎡

A~A 断面図 1:20



工事名	上山中学校プールサイド改修 工事		
図名	配置図・断面図		
年月	H14.2	縮尺	1:600, 1:20
製図	水沢	製図番号	1
新潟市教育委員会学校教育部施設課			

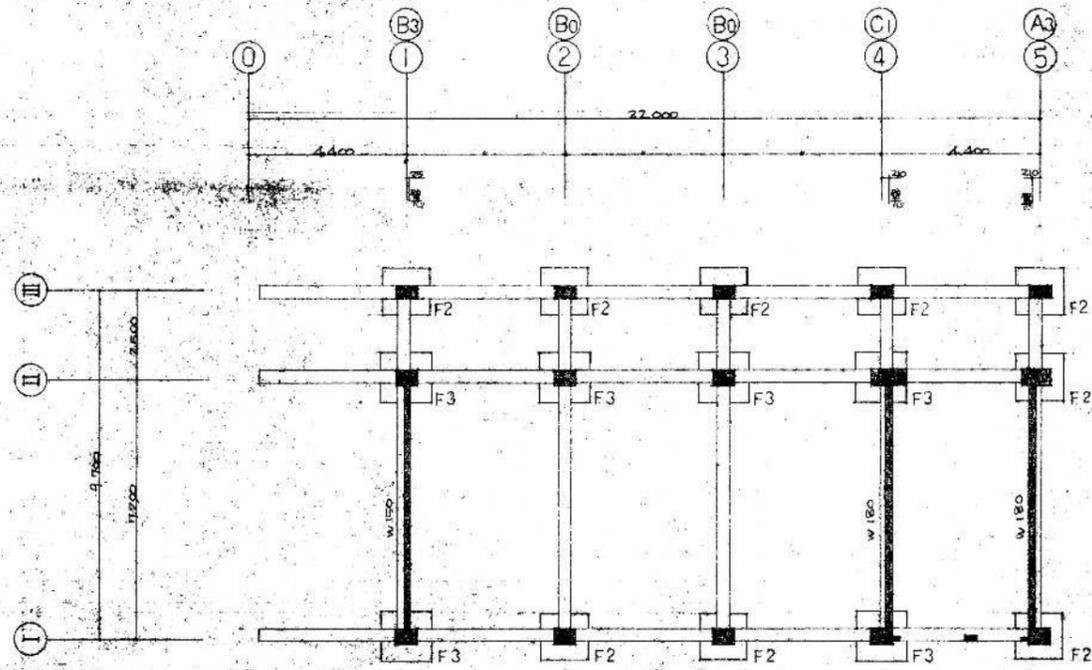
667.286m<sup>2</sup>  
 385.440m<sup>2</sup>  
 281.846m<sup>2</sup>



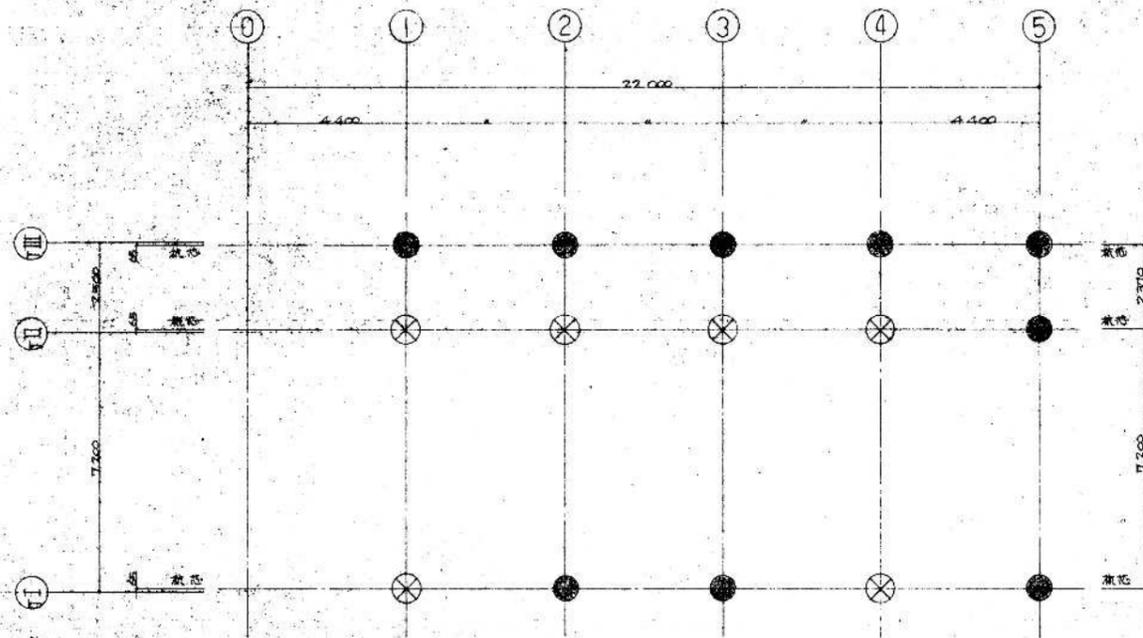
- 凡例**
- 工事対象範囲を示す
    - ・在来長尺塩ビシート撤去、水洗
    - ・新規下地モルタル厚28
    - ・新規長尺塩ビシート厚2.5 (ノンスリップ、プールサイド用)

※ は在来長尺塩ビシート未施工範囲を示す

工 事 名			
上山中学校プールサイド改修 工 事			
図 名			
平 面 図			
年月	縮 尺	頁 数	製 図 者
H14.2	1:100	2	(印)
新潟市教育委員会学校教育部施設課			

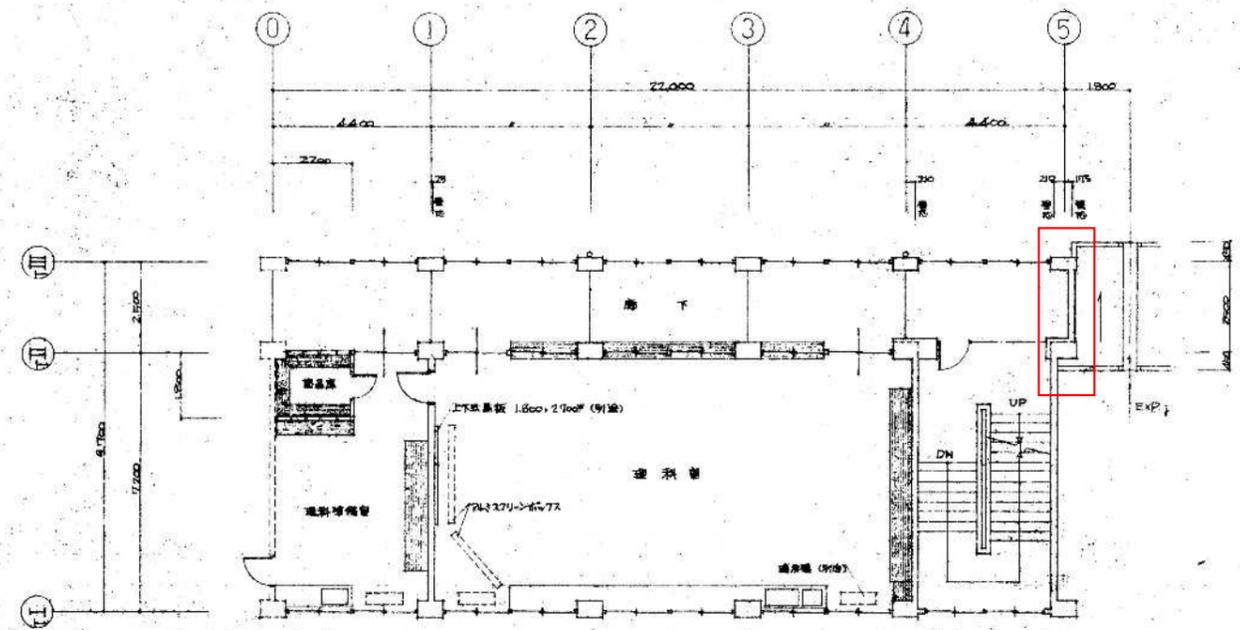


基礎伏図 S-1:100

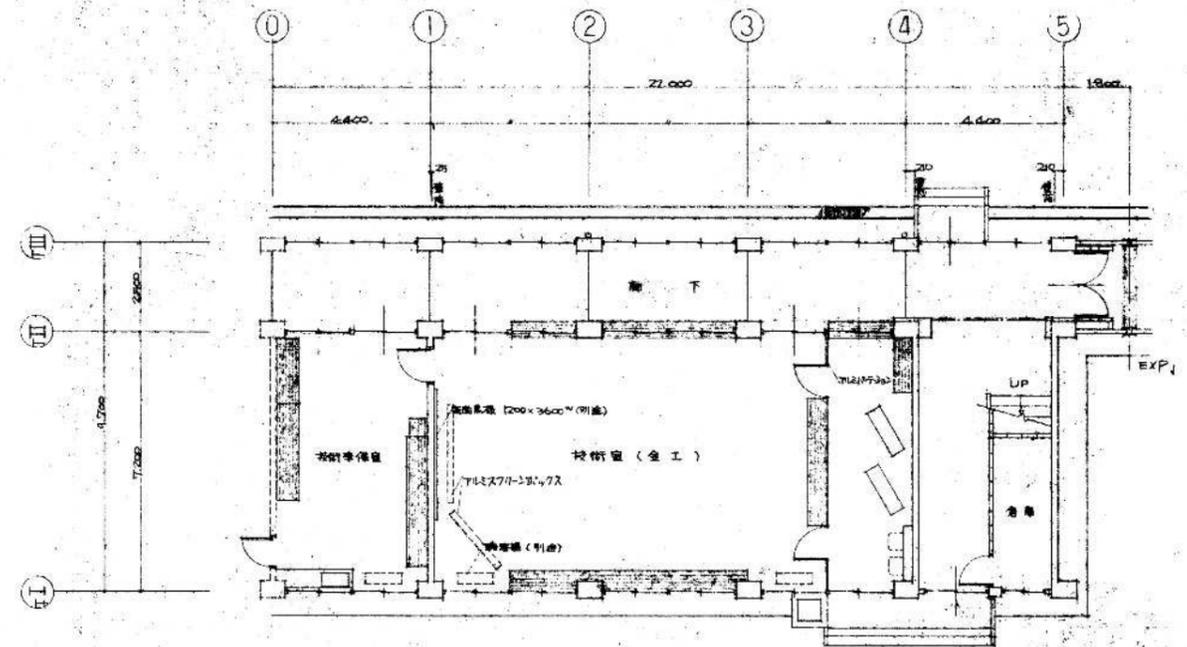


柱伏図 S-1:100

記号	規格	材種	根木数
F2	φ1700	45°	4*
F3	φ2000	125°	6*
			計 15*



2階平面図 S-1:100

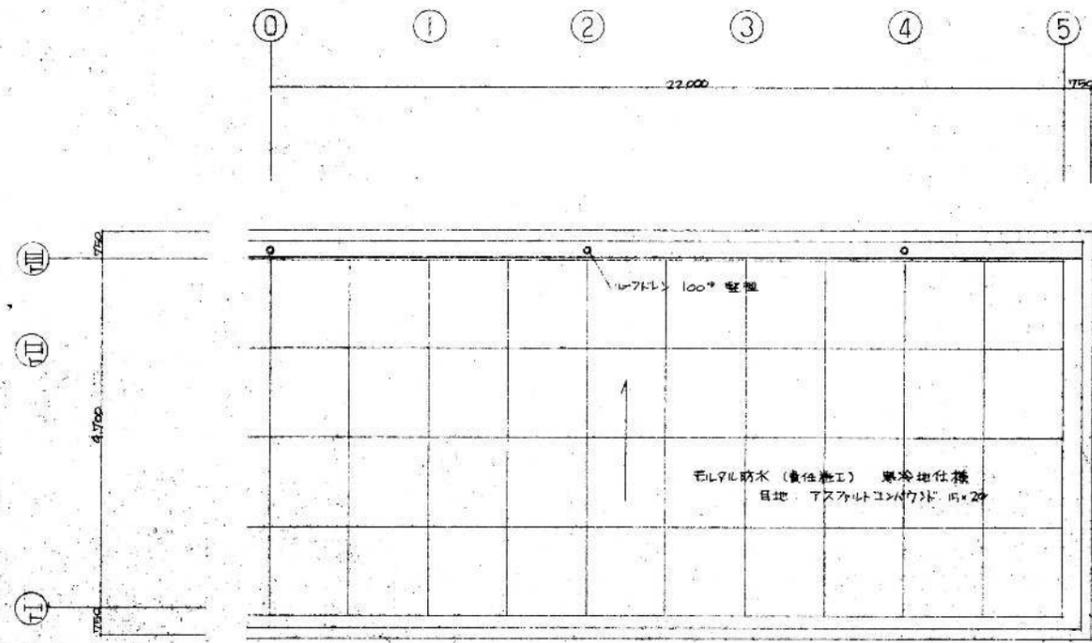


1階平面図 S-1:100

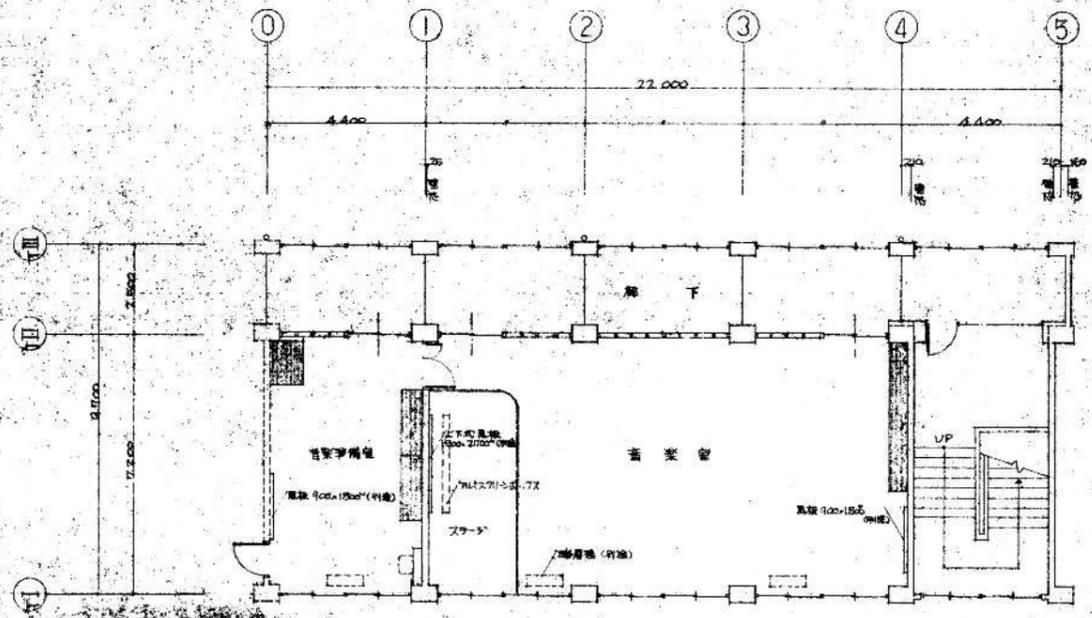
特別指定図

工事名	上山中学校 校舎増築工事		
図名	柱伏図 基礎伏図	1階 2階平面図	
年月日	1/100	8	

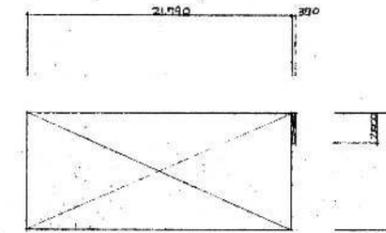
新潟市建設局 営繕課



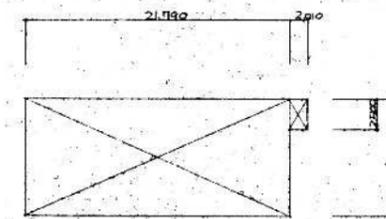
R階平面図 5・1:100



3階平面図 5・1:100



2,3階



1階

面積表		(㎡)	
1階	4,700 x 21,790	211,369	計
	2,500 x 2,010	5,025	
			216,394
2階	4,700 x 21,790	211,369	計
	2,500 x 0,970	0,475	
			212,209
3階			212,238
		合計	640,964
建築面積		216,394 ㎡	延床面積
			640,964 ㎡

特別教室棟

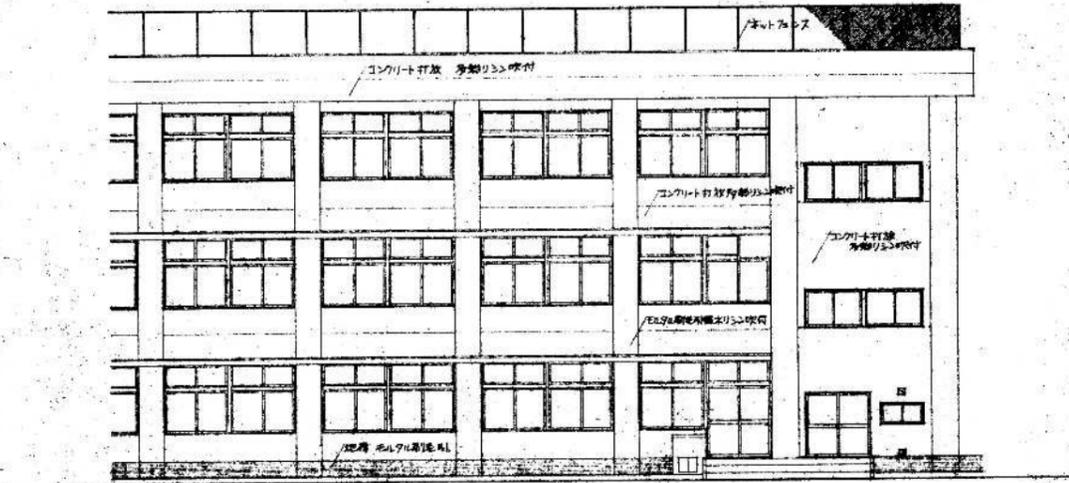
工事名 上山中学校 校舎増築工事

図名 3階 R階平面図 面積表

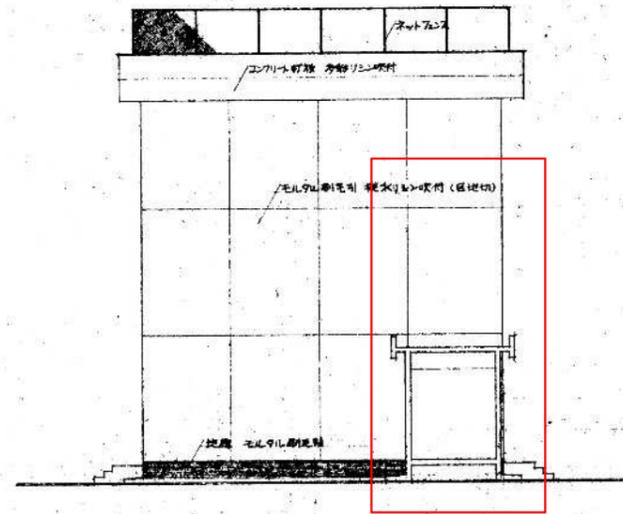
年月日 図尺 1/100 図番 9

新潟市建設局 営繕課

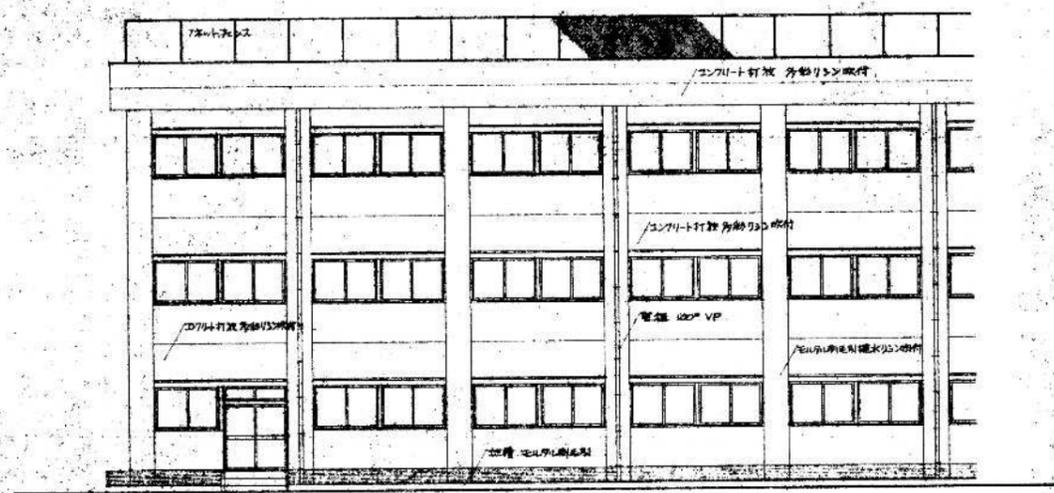
主任 副主任 技師 技士 技士 技士



南面立面図 S=1:100



東面立面図 S=1:100

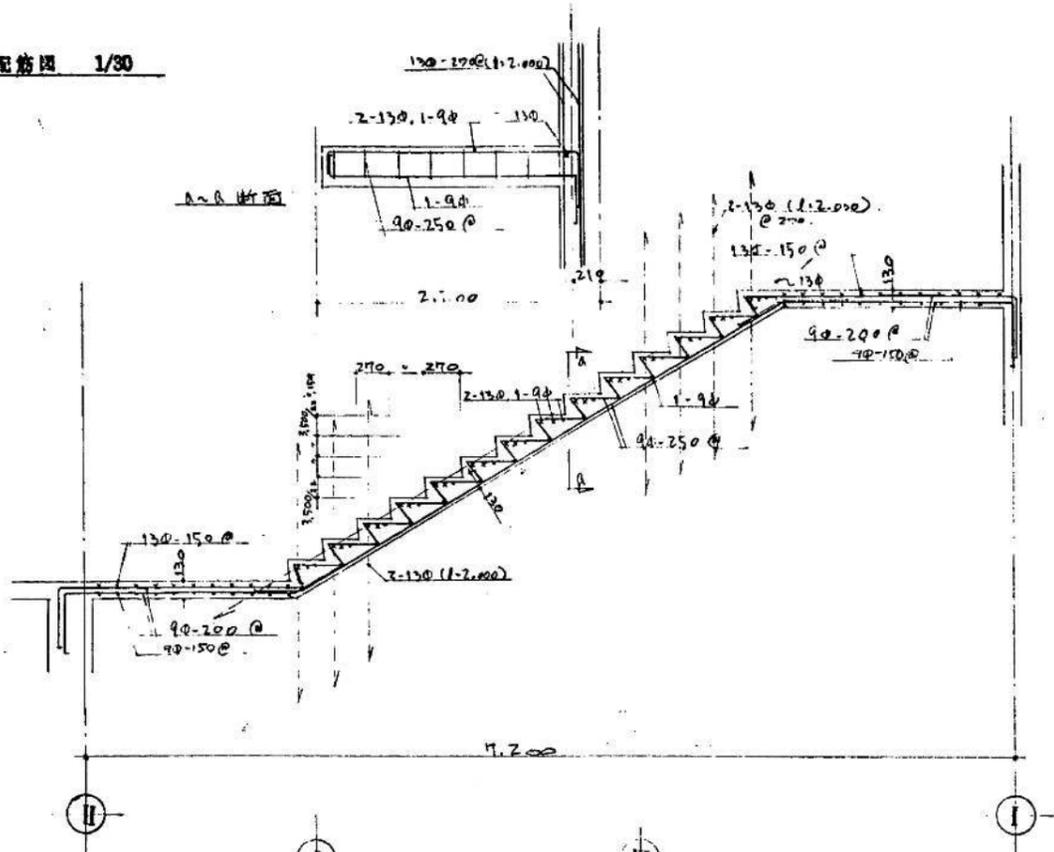


北面立面図 S=1:100

特別教室棟

工事名	上山中学校 校舎増築工事		
図名	立面図		
年月日	縮尺	1/100	図號番号
			10
新潟市建設局 営繕課			
課長	主任	係長	技士

階段配筋図 1/30

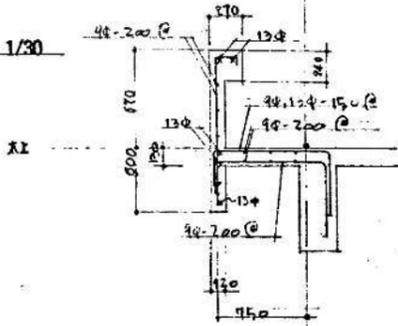


壁断面表 1/30

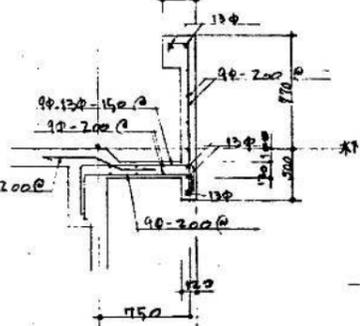
スラブ壁 開口部補強詳細	符号	W18A	W15 W18B	W12	WB
	断面				
	横筋	9φ-200φ	9φ-250φ (7.1.4)	9φ-100φ	9φ-600φ
	縦筋	9φ-200φ	9φ-250φ (7.1.4)	9φ-200φ	9φ-400φ
	斜筋	2×3-13φ	2×3-13φ		
	開口部補強筋	2-13φ	2-13φ	1-13φ	1-13φ

P.H. 控壁 底層 W<sub>0</sub>-34

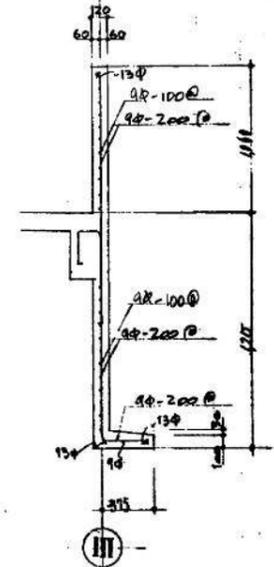
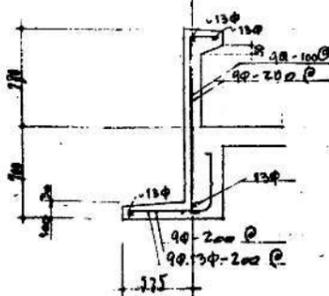
パラペット詳細 1/30



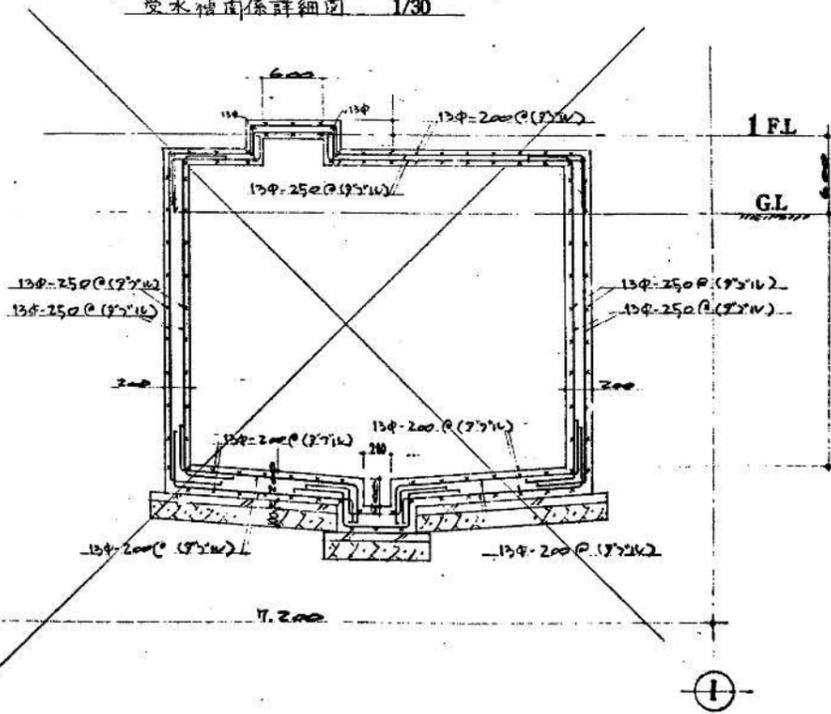
補強筋 9φ-200φ



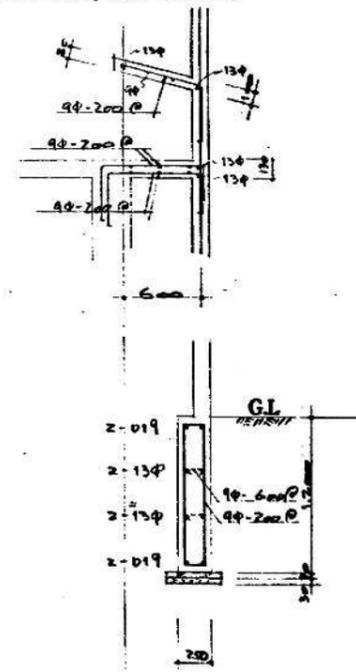
庇詳細 1/30



受水補内係詳細図 1/30

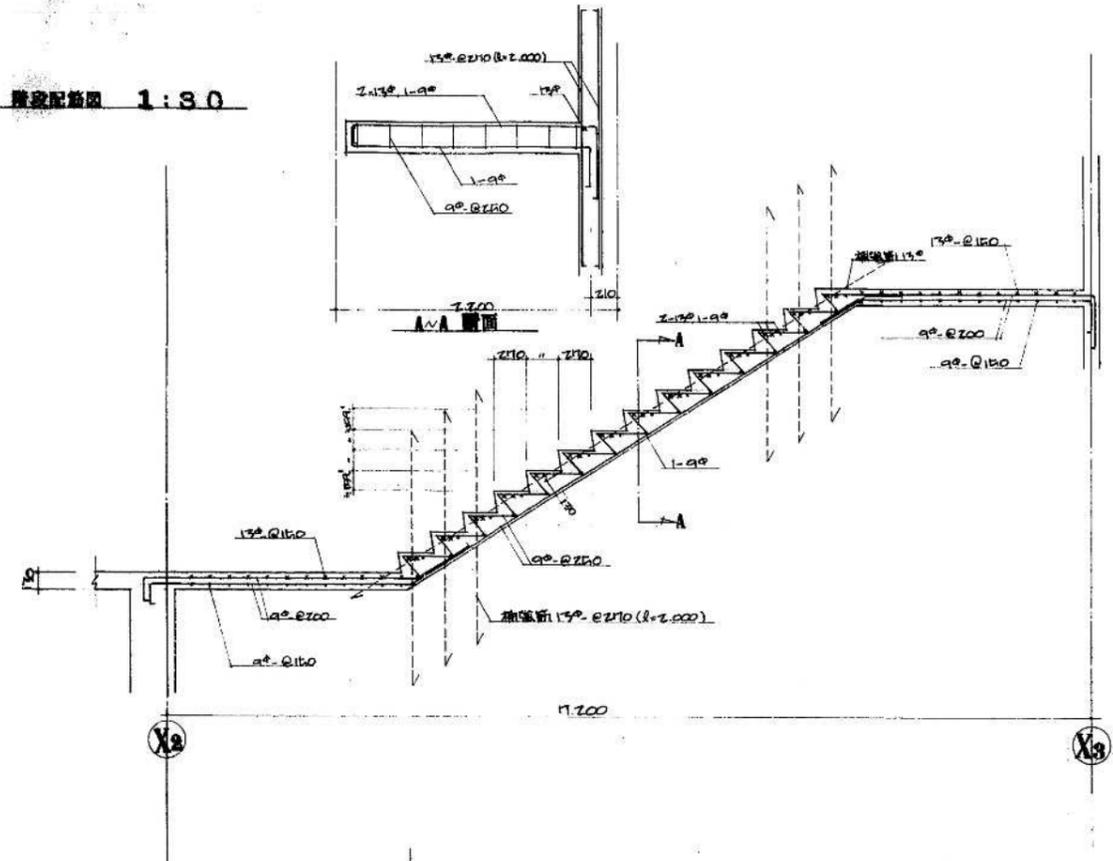


水取場受台及基礎詳細図 1/30



工事 学校建築標準図 工事  
 図名 各配筋図  
 年月日 48.4. 補尺 図番 C-9  
 新潟市建設局建築課  
 課長 補尺 補尺 補尺

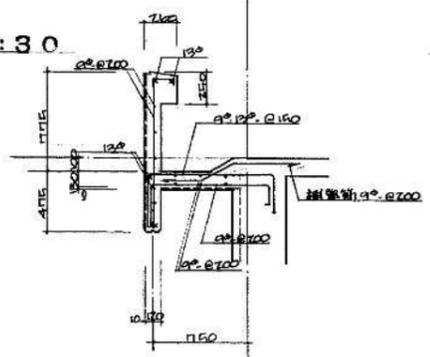
階段配筋図 1:30



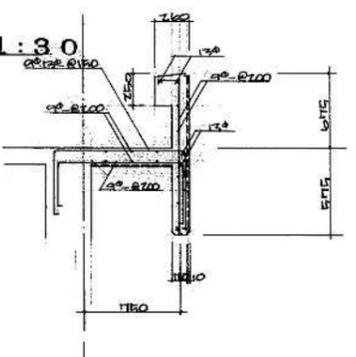
壁断面リスト 1:30

スラブ・壁開口部補強詳細	符号	W18	W15	W12	W8
	断面				
	床前	9φ-@200	9φ-@200 (+1φ)	9φ-@200	9φ-@600
	壁前	9φ-@200	9φ-@150 (+1φ)	9φ-@200	9φ-@600
	床後	X2φ20-13φ	X2φ20-13φ		
	開口部補強前	Z-13φ	Z-13φ	1-13φ	1-13φ

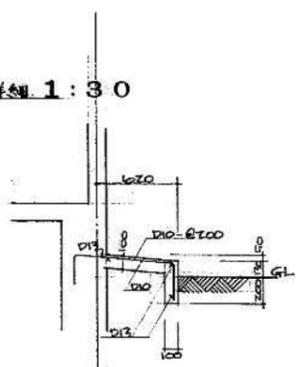
バタバット詳細 1:30



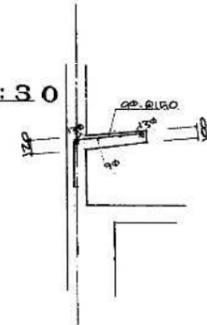
バタバット詳細 1:30



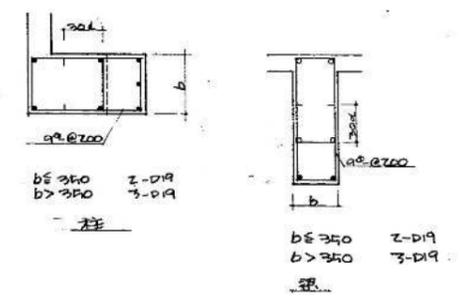
大花川詳細 1:30



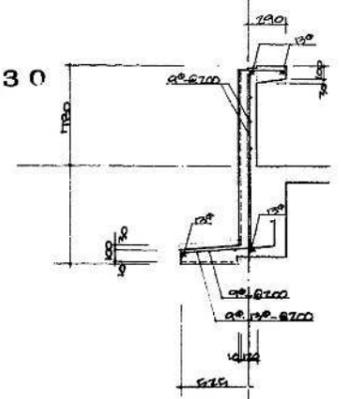
流し台詳細 1:30



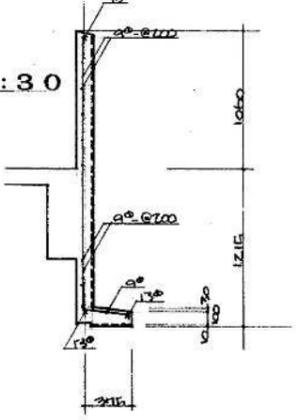
柱梁コンクリート埋打詳細 1:30



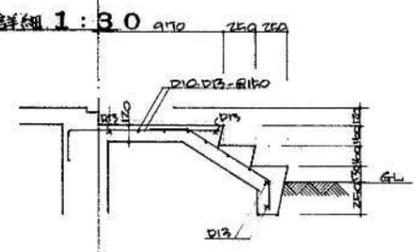
庇詳細 1:30



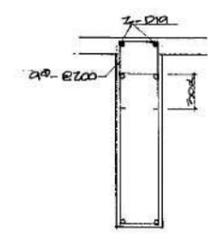
庇詳細 1:30



土口詳細 1:30



1階地中梁埋打部詳細 1:30



工名 木二無層中階鉄(鉄筋)構造新築工事  
 図名 階段配筋図  
 年月日 5/16 縮尺 1:30 図番 C-15  
 新潟市役所建設局営繕課  
 設計者 新潟市役所建設局  
 株式会社 真建築研究所  
 一級建築士 登録番号 34825 三 番 章

## 【電気設備工事仕様書】

### 1. 一般事項

#### 1) 電線・ケーブル

- ・使用する電線及びケーブル類はエコマテリアル仕様とすること。

#### 2) 電線管

- ・屋内隠蔽配管はP F一重管とすること。
- ・防火上主要な間仕切壁及び防火区画は、貫通部措置は1時間の耐火性能を考慮すること。
- ・ケーブルの壁内配線は保護管に収納すること。但し、L G S・木軸下地壁の部分は除く。

#### 3) 位置ボックス・ジョイントボックス

- ・合成樹脂製アウトレットボックス（カバー付）中四角D 4 4浅型とすること。

### 2. 電灯・動力幹線

#### 1) 電灯・動力電源は、既存校舎のキュービクルにブレーカを新設し接続すること。

また本建物に専用電灯動力盤を設置すること。

#### 3) 電圧降下は、内線規程により、需要率は電灯・動力とも100%とすること。

#### 4) 配線の許容電流は、建築設備設計基準によること。

#### 5) 電気容量は電灯15kVA、動力5kVA以下とすること。

### 3. 動力設備

#### 1) 機器の直近にメンテナンス用の手元開閉器を設置すること。

#### 2) 動力盤を設置する場合、主幹ブレーカはMCCB、分岐ブレーカはELCBとする。

### 4. 電灯設備

#### 1) 電灯分岐

ア) スイッチ用ボックスは、樹脂製スイッチボックスとし、高さはF L +1,100mmとすること。

スイッチはネーム付を使用すること。

#### イ) 普通教室、多目的室

- ・設計照度は500lxとすること。
- ・L S S 1-4-65-L Xの3列3台配置を基本とし、明るさセンサー2台により廊下側2列、窓側1列の照明の調光を行うこと。
- ・黒板灯はL S S 1 3-4-29-L Nとし、黒板幅 4,500mmで3灯設置すること。

#### ウ) トイレ

- ・トイレの設計照度は200lxとすること。
- ・照明及び換気扇の制御方法は人感センサーによるものとする。

#### エ) 廊下

- ・廊下の設計照度は100lxとすること。
- ・廊下はL S S 1-4-37-L Nを設置し、ちどり点滅とすること。

#### オ) 分電盤

- ・国土交通省仕様とすること。
- ・主幹ブレーカはMCCBとし、分岐ブレーカはELCBとすること。
- ・函体と分岐ブレーカELCBのアースは分けること。

## 2) コンセント分岐

- ア) コンセントは2P15A×2E付、高さはFL+400mmを基本とすること。
- イ) 負荷が固定されているもの、内線規程に定められているものはEET付とすること。
- ウ) 弱電設備と併設する場合は、セパレータを設けボックスを共用すること。
- エ) 普通教室、多目的室
  - ・埋込コンセント2P15A×2E付を黒板下200mmに2個、普通教室背面に1個設置すること。
  - ・上記のほかにタブレット充電保管庫の設置場所に応じて、コンセントを設置すること。
  - ・回路構成については、1教室で1回路を基本とすること。
- オ) 各階廊下にコンセントを2か所設けること。
- カ) トイレの暖房便座用電源は教務室で一括電源管理できるようにすること。

## 5. 拡声設備

- 1) 非常放送設備が必要な施設のため、スピーカー配置および配線は消防法に適合させること。
- 2) 配線は、管理・特別普通教室2階放送室にあるデスクアンプに接続し、教務室の防災アンプと連動させること。
- 3) 廊下のスピーカーは、SC4Hi-1V3とすること。
- 4) 普通教室、多目的室のスピーカーは、SW2Hi-1V0とし、ATTは黒板下に設置すること。

## 6. 構内情報通信網設備

- 1) 幹線は管理棟1階職員室にあるGIGA系L2スイッチに接続し、本建物に分岐用L2スイッチを設置すること。
- 2) アクセスポイント（バッファロー製：WAPM-2133TR）を廊下天井面に設置（1階1個、2階1個）すること。
- 3) ケーブルはEM-UTPO、5-4Pカテゴリ6A（ケーブル色：緑）とする。
- 4) 分岐用L2スイッチは、PoE給電機能付、VLAN機能付、1000BASE-T以上とする。  
（参考型番：バッファロー製BS-GS2008）
- 5) 情報機器収納箱を設け、分岐用L2スイッチおよびL2スイッチ用コンセントを収納すること。  
コンセントは本建物に設置する専用電灯動力盤より単独回路で送ること。

## 7. 自動火災報知設備・防排煙設備・誘導灯設備

- 1) 普通教室棟1階教務室の既存受信機に空窓が無いため、増築棟分も加味した窓数に対応可能な受信機を新設し接続すること。
- 2) 消防法に基づき設置すること。
- 3) 本建物での警戒区域は、消防法に基づき決定すること。
- 4) 特定防火設備用の感知器を設けること。

## 8. テレビ共同受信設備

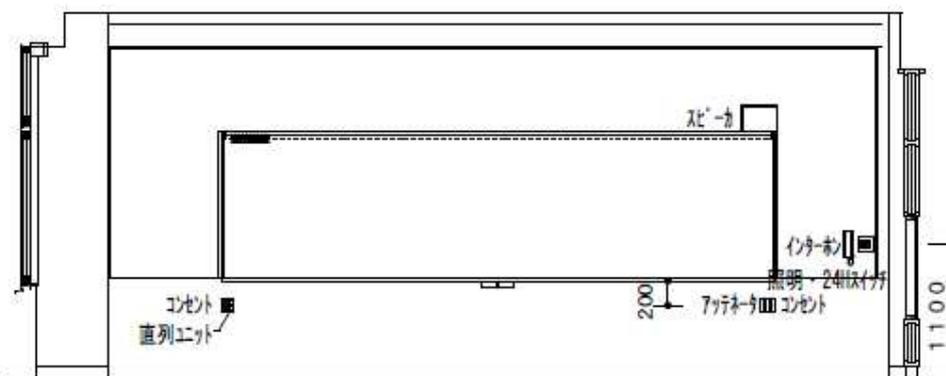
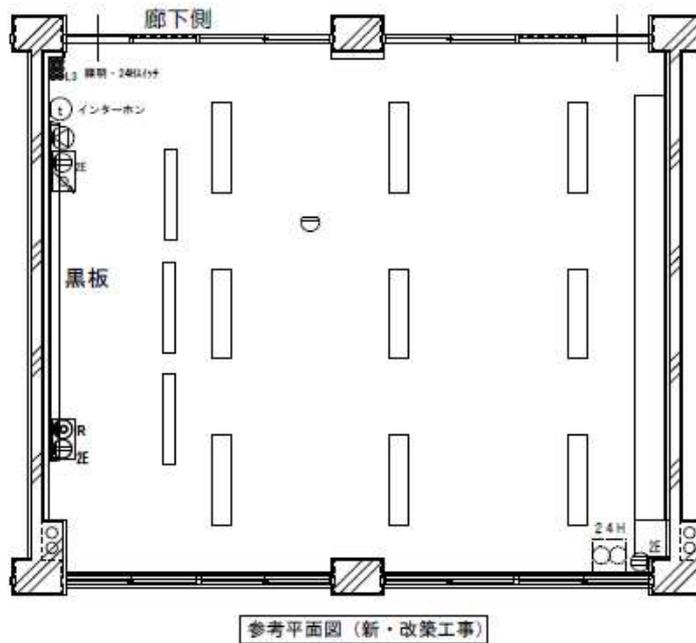
- 1) 普通教室、多目的室にそれぞれテレビ端子を設けること。
- 2) 普通教室棟4階のテレビ機器収納箱にテレビ幹線を接続すること。  
レベルが不足する場合はブースターを設けること。

## 9. インターホン設備

- 1) 普通教室にそれぞれ電話型インターホン子機を設置し、管理棟1階職員室に接続すること。  
（親子式とする）
- 2) 設定および番号表作成を行うこと。

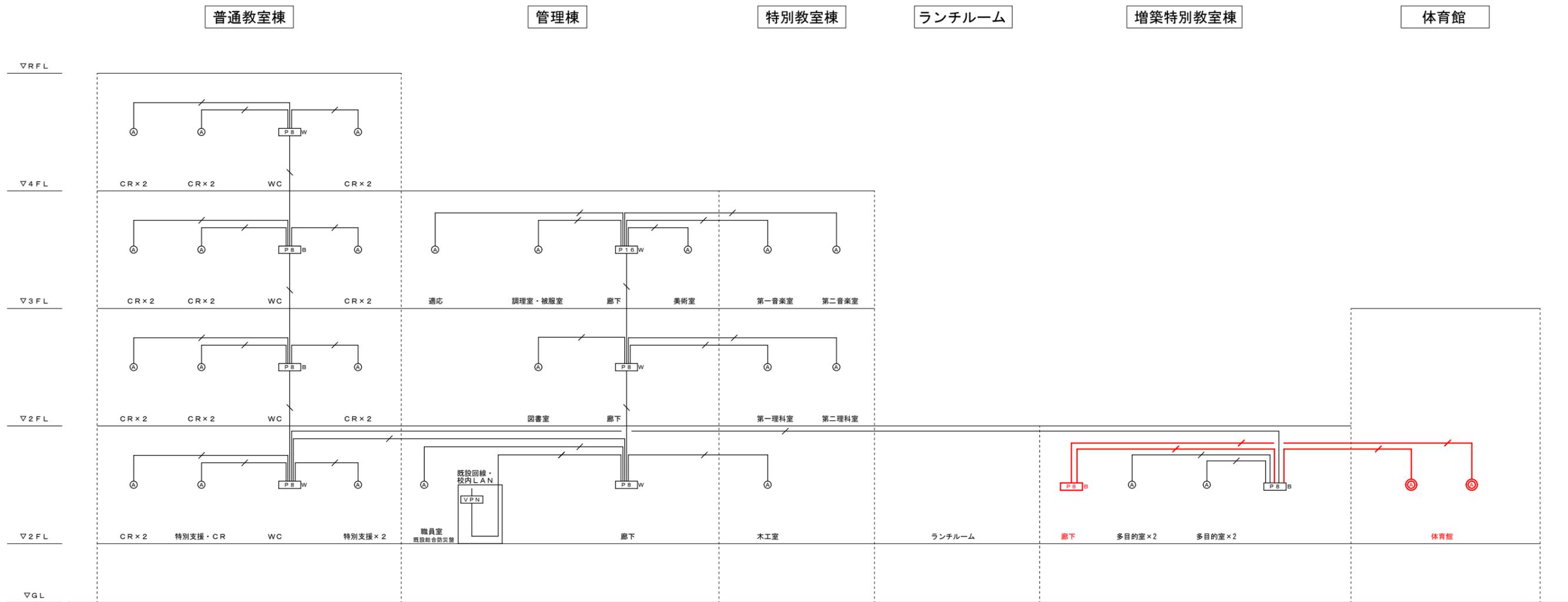
10. その他

- 1) 本建物の建設に伴い、支障となる屋外散水設備用電源は本工事で切回し工事を行う。
- 2) 普通教室の機器配置は下図を参考とすること（3列配置の台数は照度計算により決定する）。



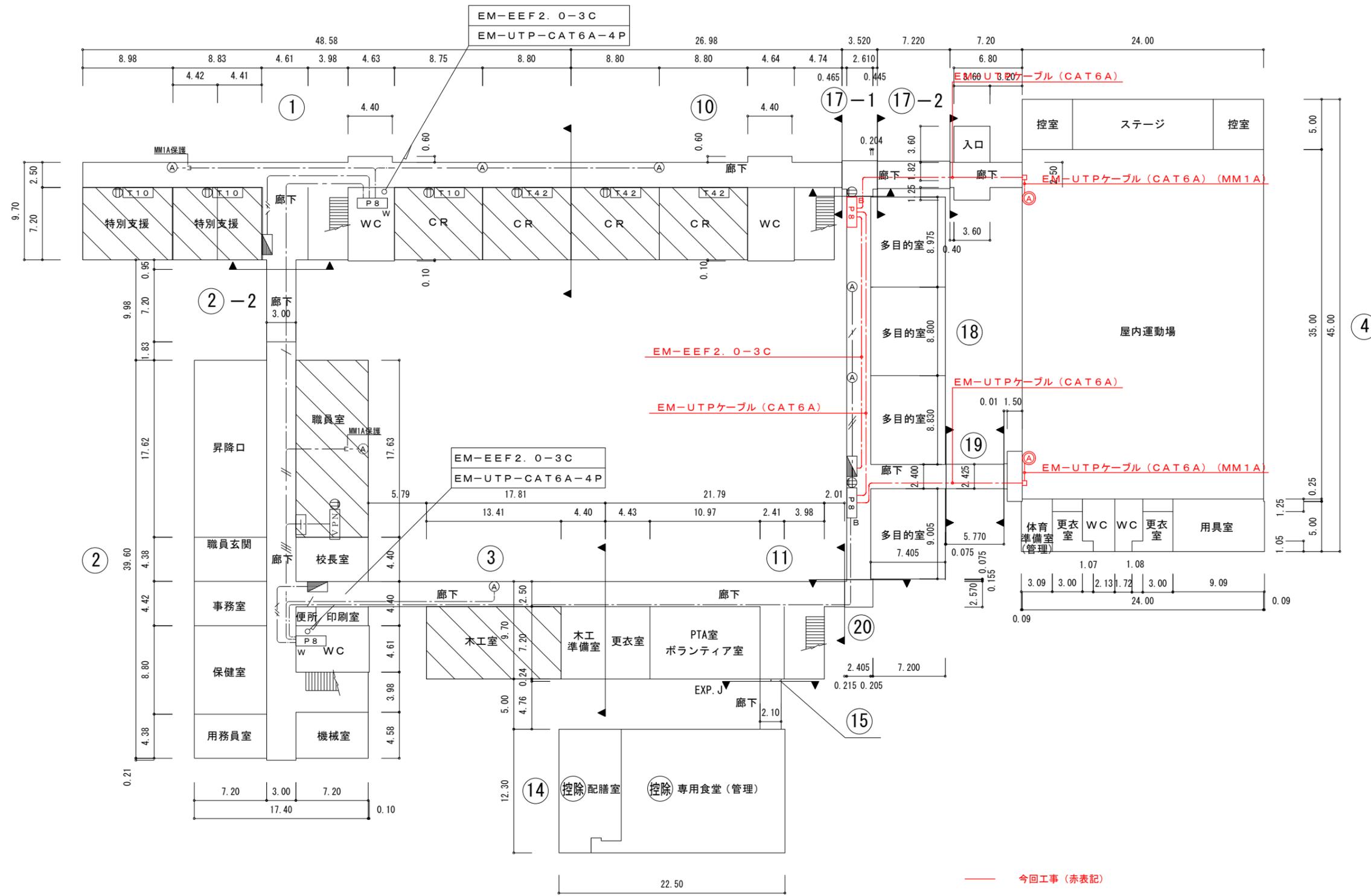
参考黒板側展開図（新・改築工事）

※廊下が反対側の場合は、機器配置の反転を検討する



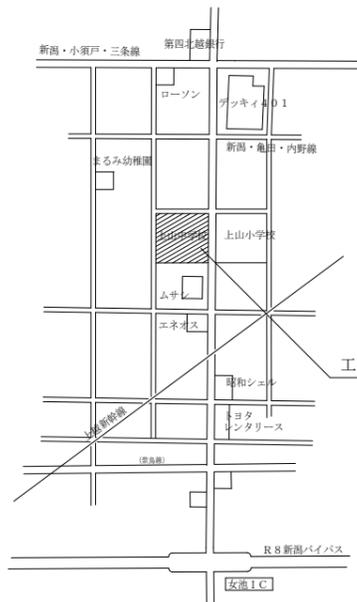
校内LAN系統図

— 今回工事 (赤表記)



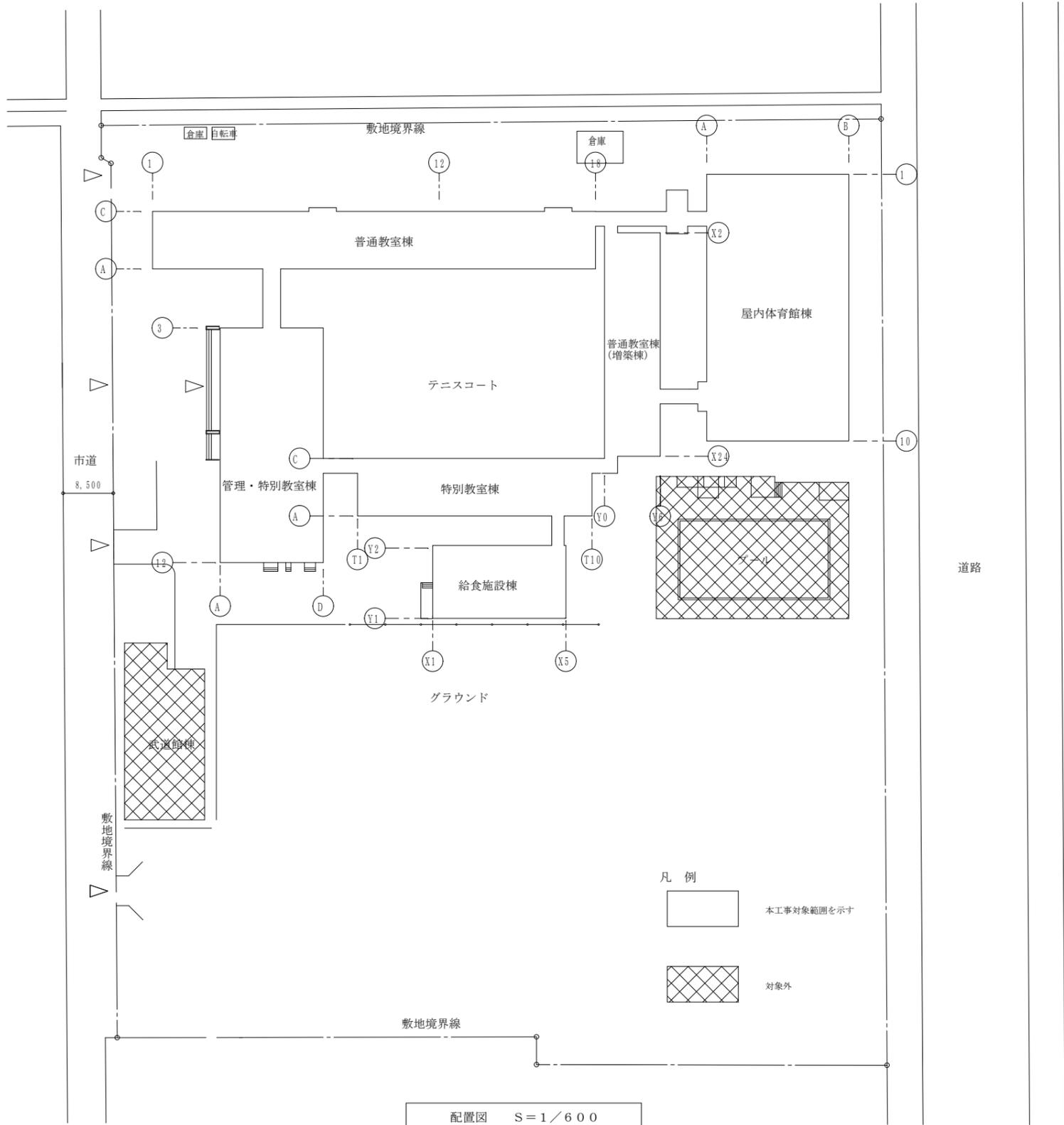
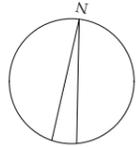
- 今回工事 (赤表記)
- Ⓐ 無線LANアクセスポイント (ポリカーボネート製防球ガード付) (バッファロー: WAPM-2133TR)
- ⓐ P8<sup>B</sup> L2スイッチ (HUB) PoE給電 (100V・E) 及び機器収納箱 (コンセント共)

1 階 平 面 図

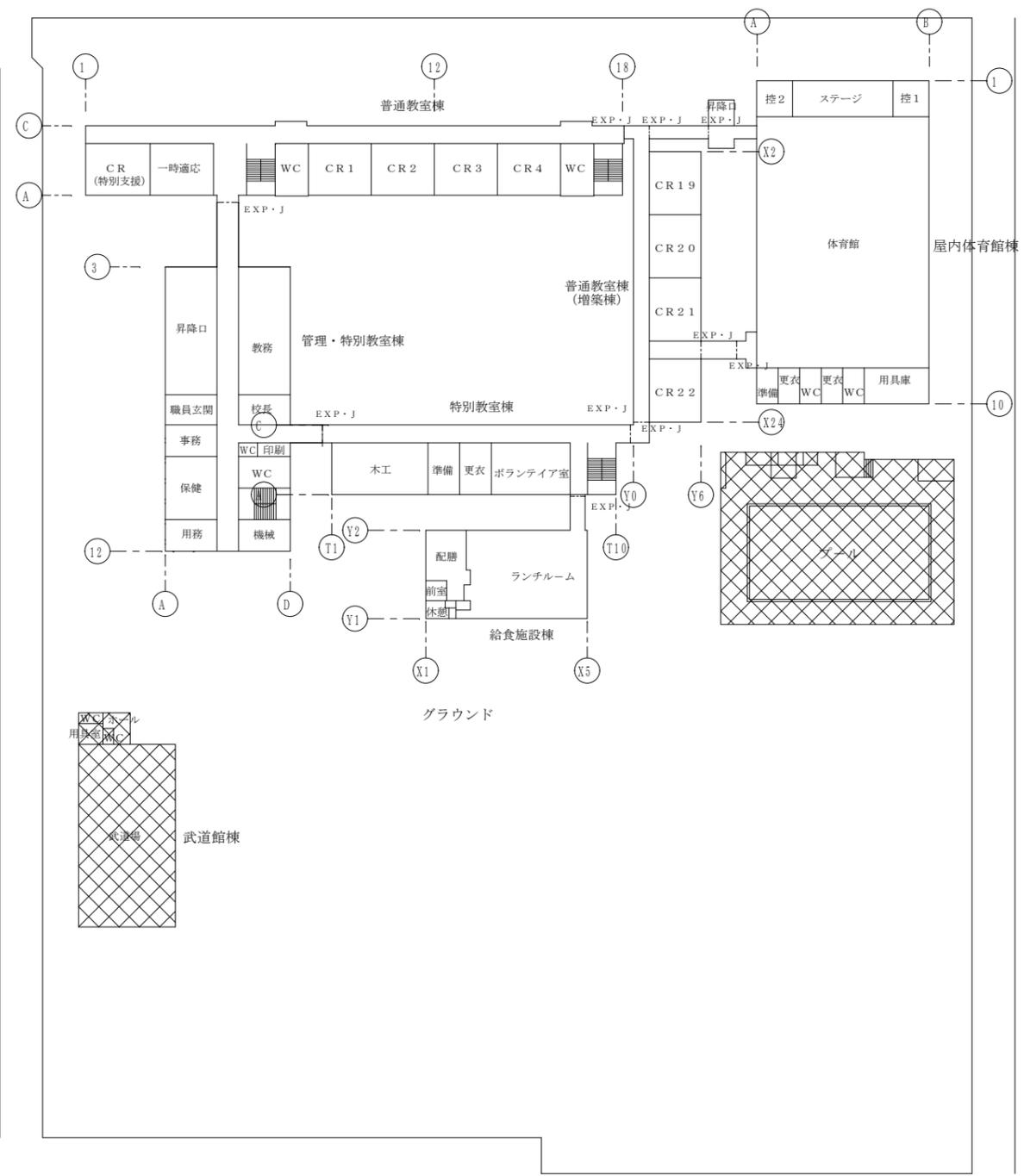
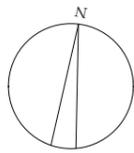


工事場所：新潟市中央区女池上山5丁目地内

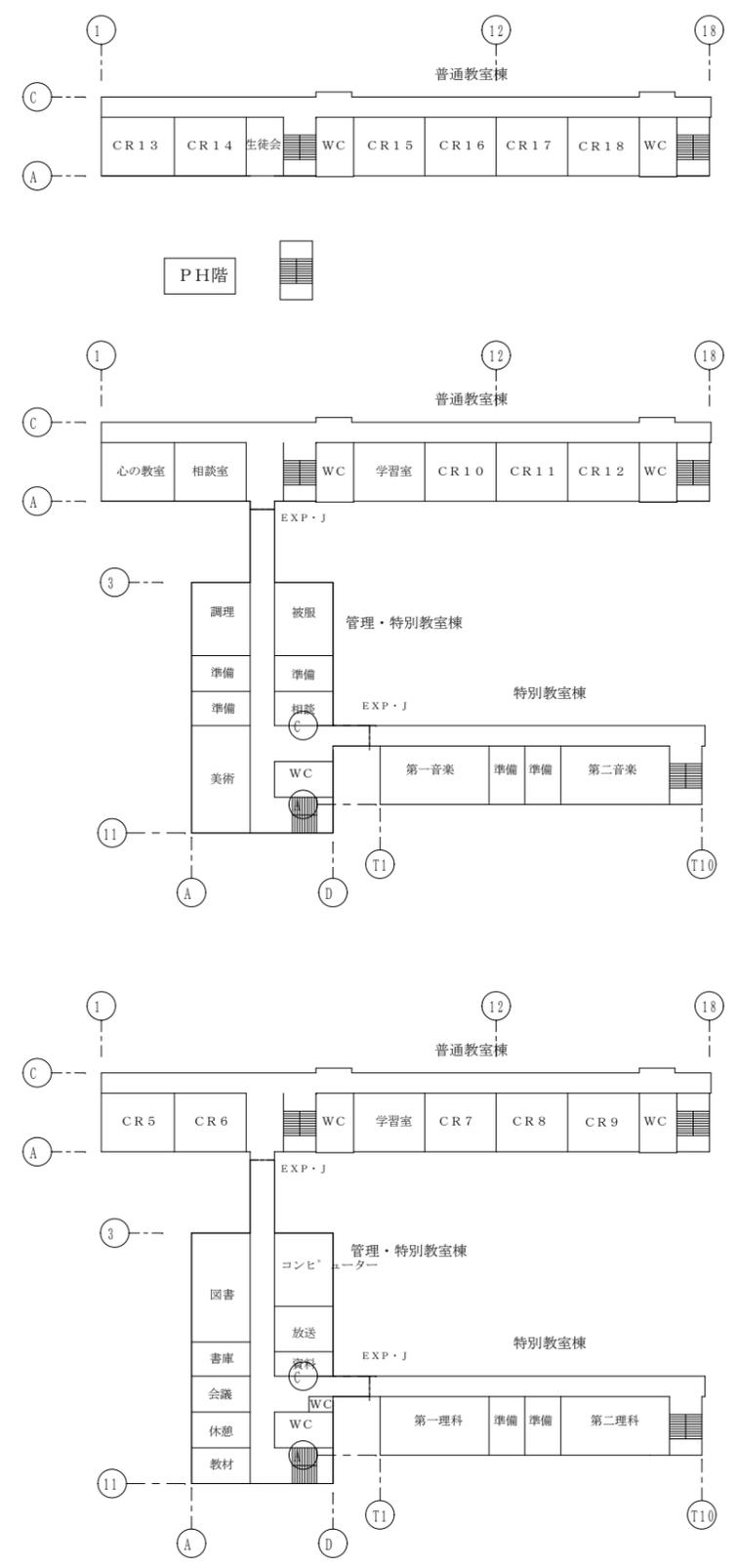
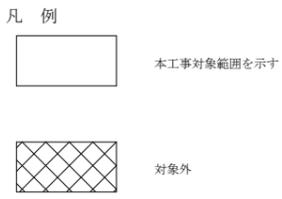
付近見取図



配置図 S = 1 / 600



配置図・1階平面図 S=1/600



4階平面図 S=1/600

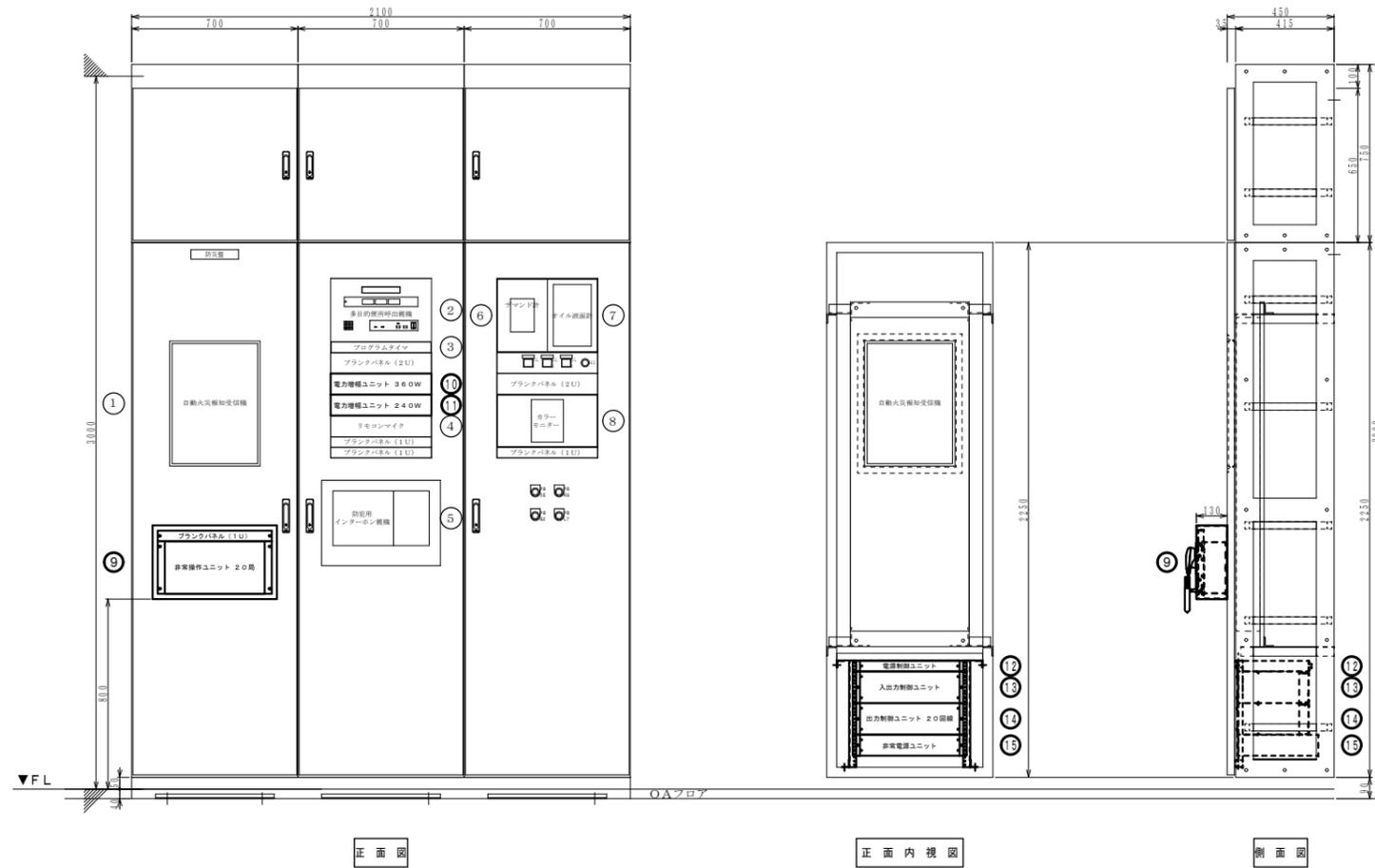
3階平面図 S=1/600

2階平面図 S=1/600

株式会社 応用電業社

工事名  
 上山中学校非常放送設備設置 工事

図名  
 全体平面図  
 年月日 2022.3 縮尺 A2:1/600 図面番号 E-03



正面図

正面内視図

側面図

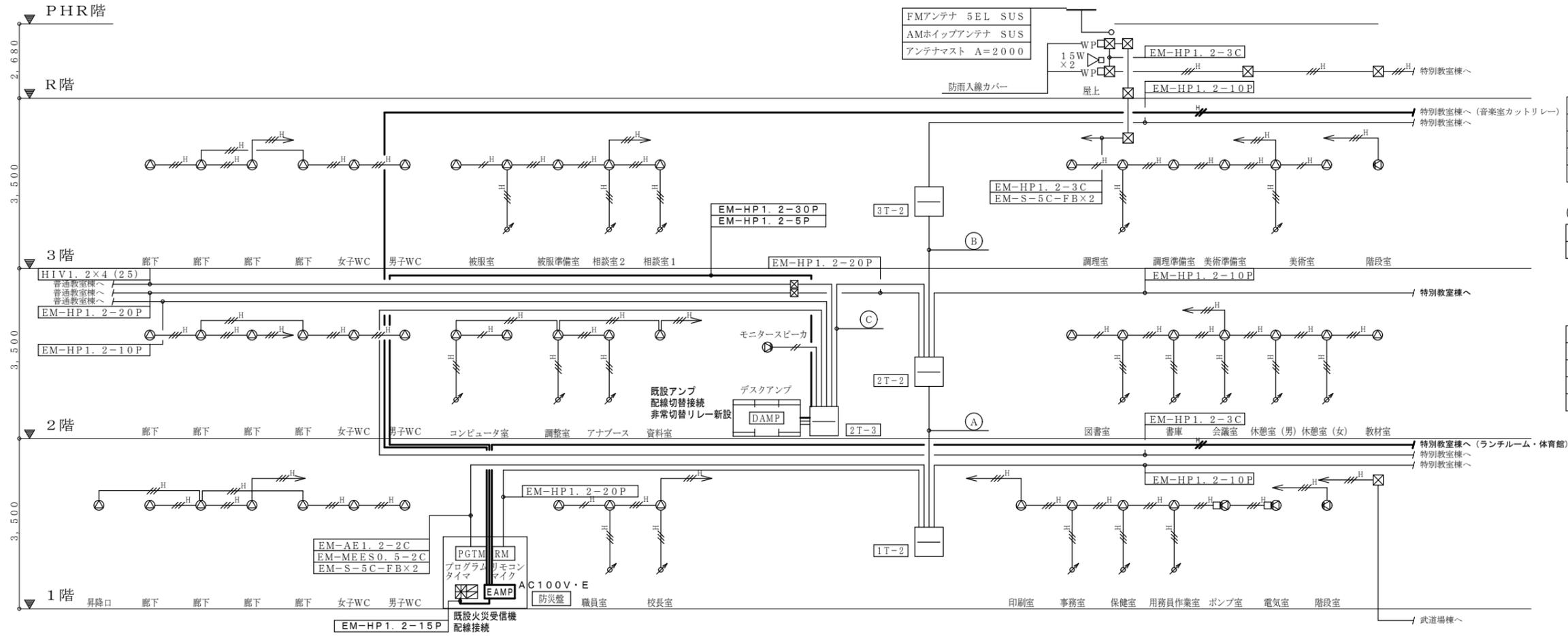
①	自動火災報知受信機
②	多目的便所呼出視機
③	プログラムタイマー
④	リモコンマイク
⑤	防犯用インターホン視機
⑥	デマンド計
⑦	オイル液面計
⑧	カラーモニター

⑨	非常操作ユニット 20局
⑩	電力増幅ユニット 360W
⑪	電力増幅ユニット 240W
⑫	電源制御ユニット
⑬	入出力制御ユニット
⑭	出力制御ユニット 20回線
⑮	非常電源ユニット
	非常切替リレーユニット 30局 (2階 デスクランプ内設置)

OL1	満油
OL2	満油
OL3	遮断
PB5E	非常停止
PBR S	復帰
PBBZ	ブザー停止
PBLT	ランプテスト

註記

1 細線及び明朝体文字は既設、太線及びゴシック体文字は新設を示す。



①

EM-HP1. 2-10P	(E51)	放送
EM-HP1. 2-20P		リモコンマイク
EM-MEES0. 5-2C	(E51)	チャイム出力
EM-AE1. 2-2C		チャイム制御
EM-S-5C-FB		ラジコン

②

EM-HP1. 2-10P	(E51)	放送
EM-S-5C-FB×2		AM・FM

③

EM-HP1. 2-30P		放送
EM-HP1. 2-20P		リモコンマイク
EM-MEES0. 5-2C		チャイム出力
EM-AE1. 2-2C		チャイム制御
EM-S-5C-FB×2		AM・FM

盤名称	仕様	拡声設備
1T-2	鋼板製 埋込型	20P
2T-2	鋼板製 埋込型	30P
2T-3	鋼板製 埋込型	400W×300H ×120D 下部ケーブル引出孔
3T-2	鋼板製 埋込型	10P

凡		例	
記号	名称	仕様	要
⊙	天井埋込スピーカー	既設	SC1Hi-3V0-M L級
⊙	壁掛スピーカー	既設	SW2Hi-3V0 L級
⊙	ホーンスピーカー	既設	L級
⊙	音量調整器	既設	
⊙	火災受信機	既設	
⊙	分電盤	既設	
⊙	プルボックス	既設	
⊙	位置ボックス	既設	
[EAMP]	非常放送アンプ (防災盤姿図参照)	新設	ラック形 600W 20回線・回線切替器共 (リレーユニット・2階 デスクアンプ内設置)
⊙(n)	耐火処理・はつり補修: 壁	新設	国土交通大臣認定工法 (n)
⊙(n)	耐火処理・はつり補修: 床	新設	国土交通大臣認定工法 (n)

1 特記なき配線は、下記による。



2 細線及び明朝体文字は既設、太線及びゴシック体文字は新設を示す。

(参考)  
 既存デスクアンプ  
 [DAMP] 仕様  
 地震速報対応型(地震速報第1優先、チャイム消音とする。) 停電時もリモコンマイクが使用可能なシステムとする。

機器名称		JVCケンウッド
電力増幅器	600W	EM-A364・EM-A244
主電源ユニット		EM-P11
リモコンリレーボックス		PAM-112内蔵
同上電源ユニット		
出力制御ユニット	増設	PAM-112内蔵
緊急放送I/F		PAM-112内蔵
バッテリー装置		EM-N112×2+NB-60×3
操作卓		PAM-112
ラジオチューナーユニット		PA-F2-G
袖卓		PAM-100C ×2
カセットデッキ		202MK5
DVDプレーヤー		XV-P390

株式会社 応用電業社

工事名

上山中学校非常放送設備設置

工事

図名

管理・特別教室棟 凡例・系統図

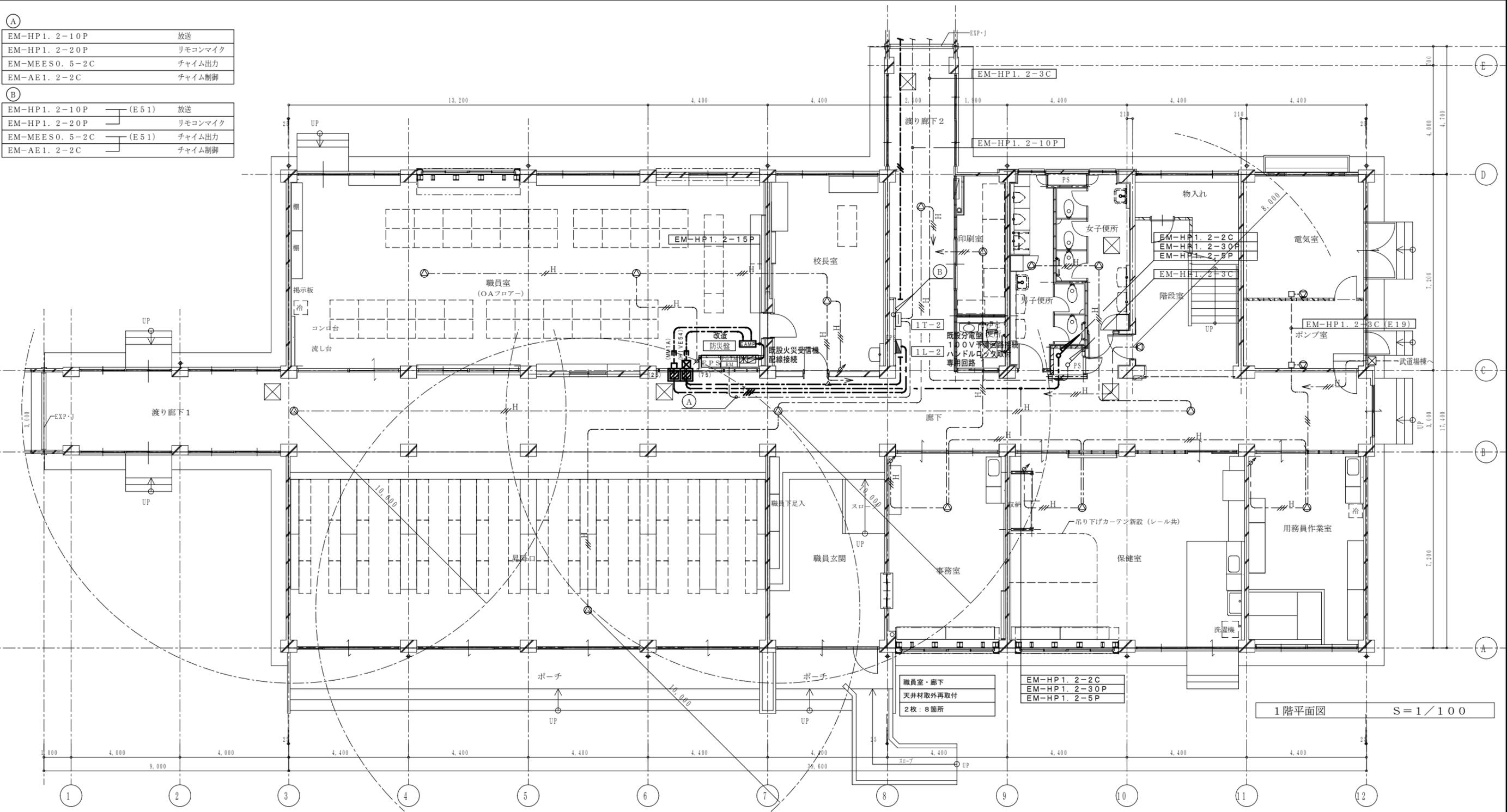
年月日 2022.3

縮尺 A2:N.S

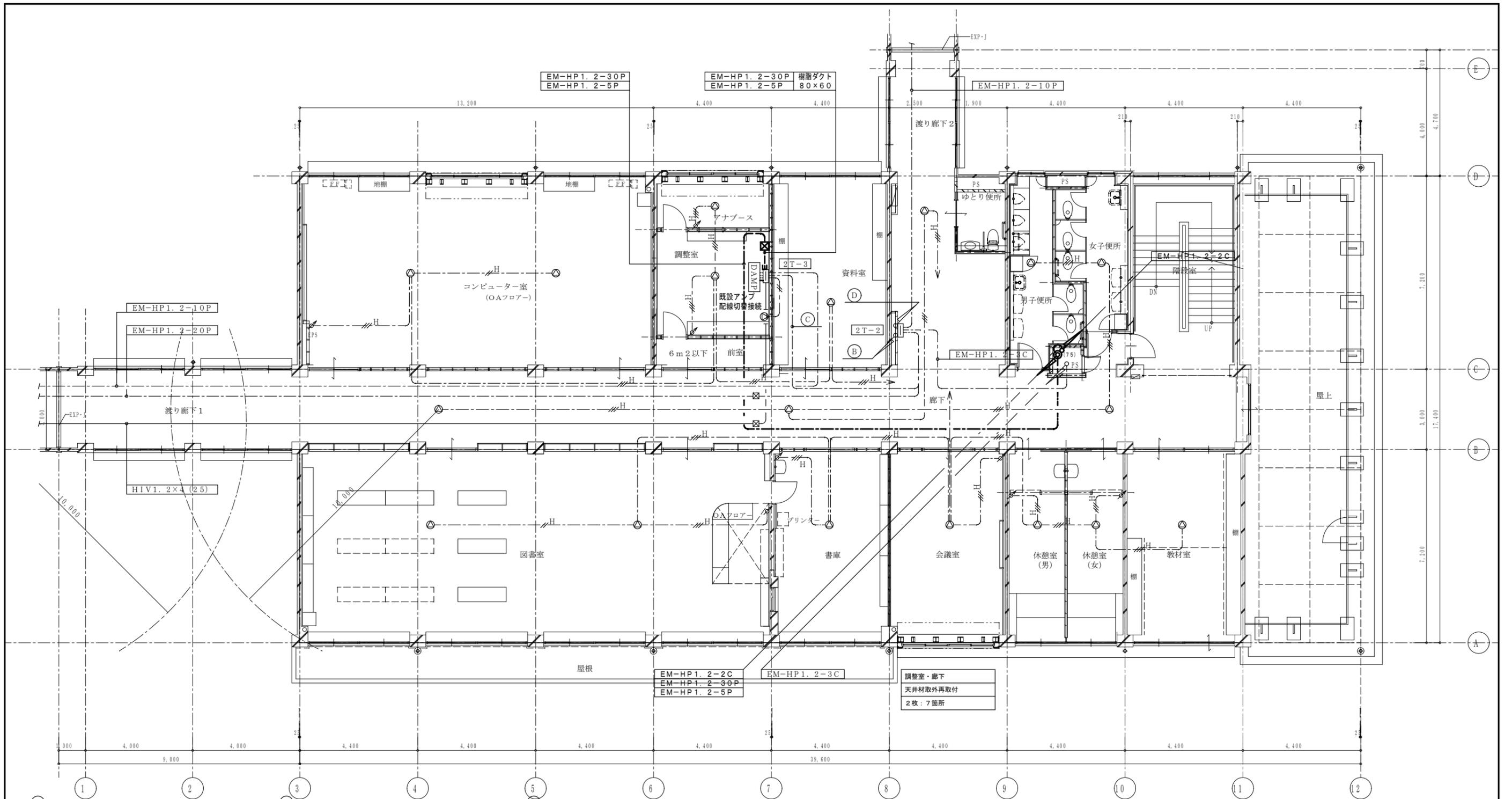
図面番号 E-05

EM-HP1. 2-10P	放送
EM-HP1. 2-20P	リモコンマイク
EM-MEES0. 5-2C	チャイム出力
EM-AE1. 2-2C	チャイム制御

EM-HP1. 2-10P	(E51)	放送
EM-HP1. 2-20P	(E51)	リモコンマイク
EM-MEES0. 5-2C	(E51)	チャイム出力
EM-AE1. 2-2C	(E51)	チャイム制御



1階平面図 S=1/100

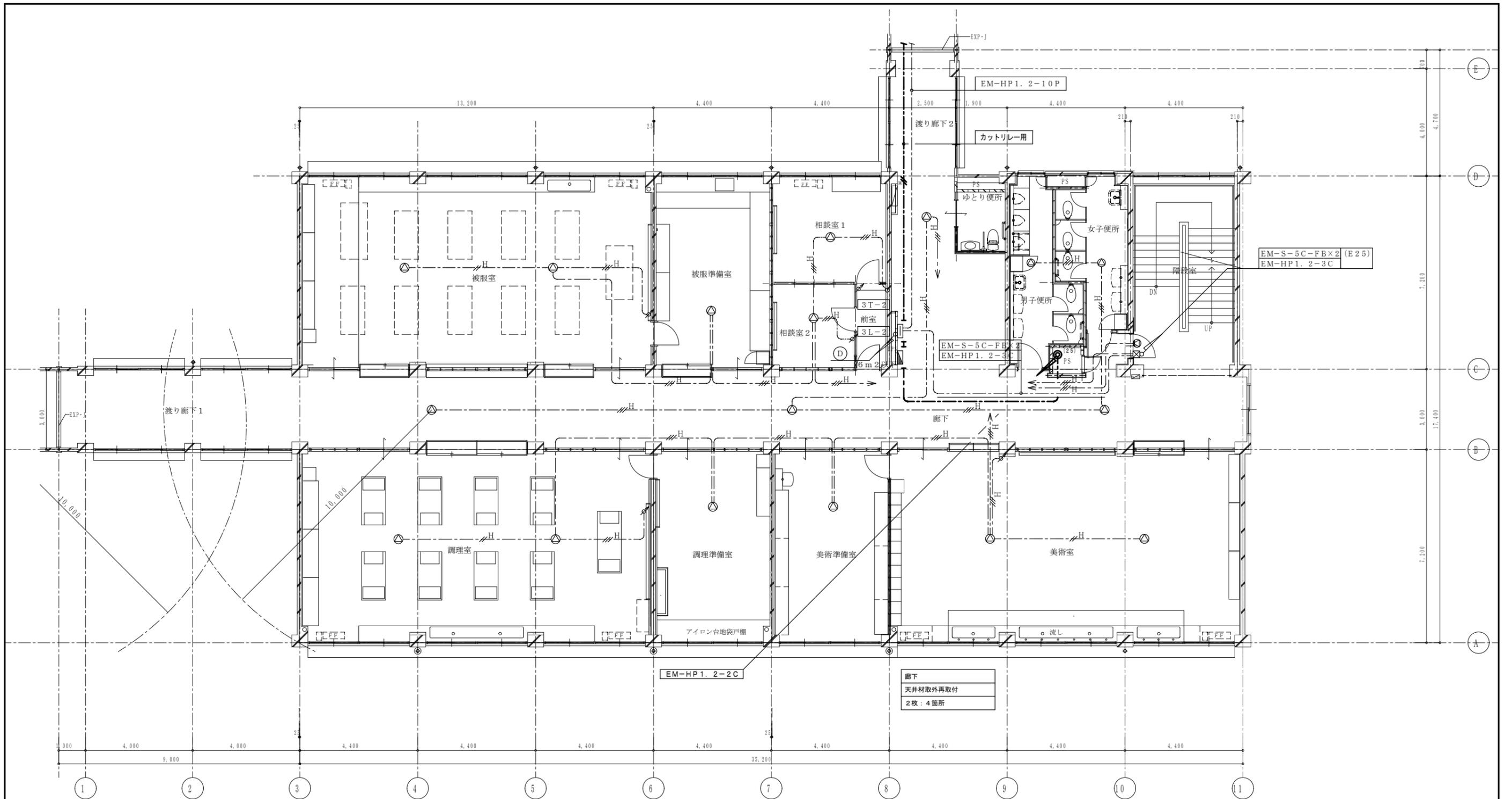


EM-HP1. 2-10P	(E51)	放送
EM-HP1. 2-20P		リモコンマイク
EM-MEES0. 5-2C	(E51)	チャイム出力
EM-AE1. 2-2C		チャイム制御

EM-HP1. 2-30P		放送
EM-HP1. 2-20P		リモコンマイク
EM-MEES0. 5-2C		チャイム出力
EM-AE1. 2-2C		チャイム制御
EM-S-5C-FBx2		AM・FM

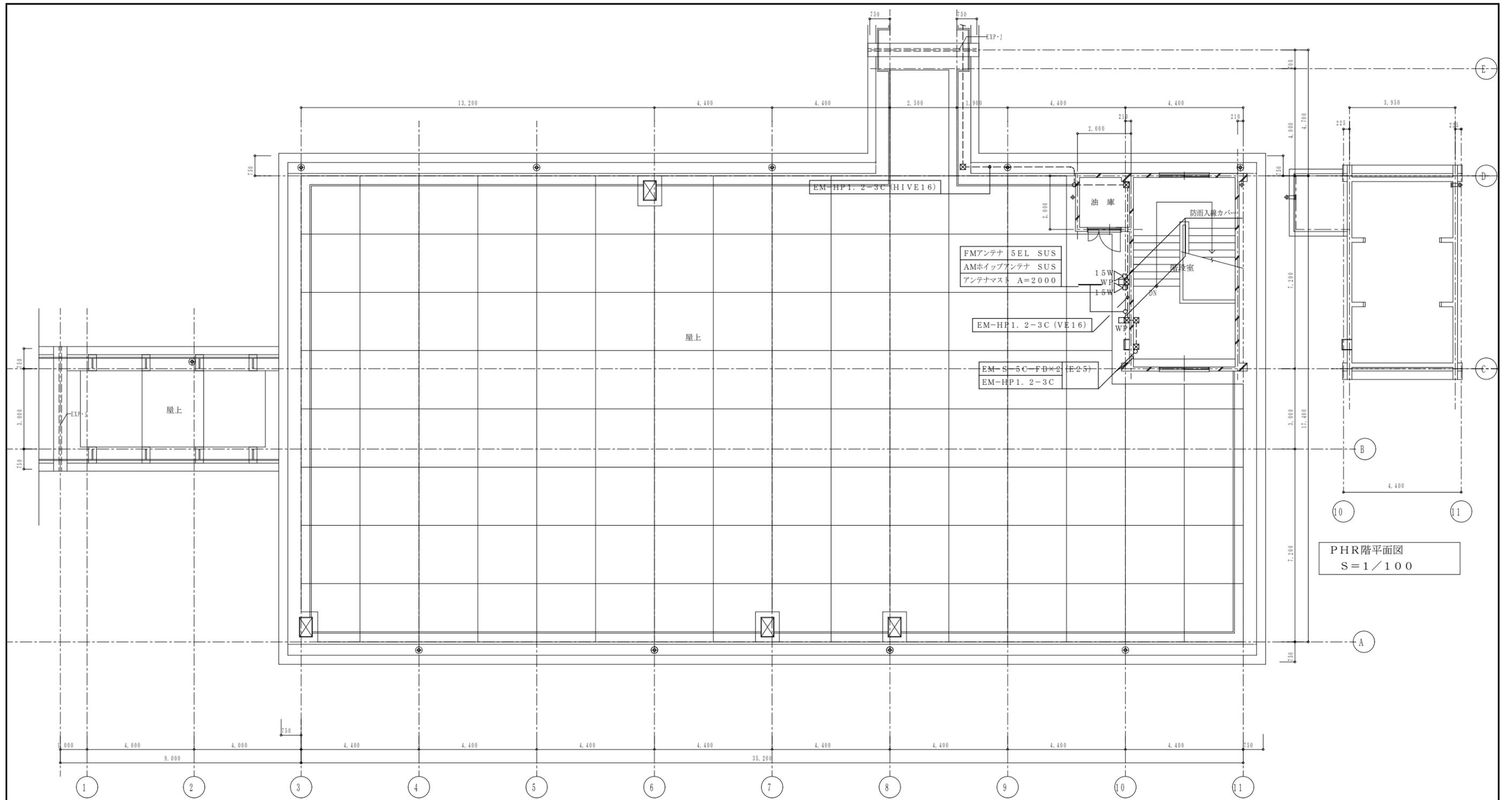
EM-HP1. 2-10P	(E51)	放送
EM-S-5C-FBx2		AM・FM

2階平面図 S=1/100

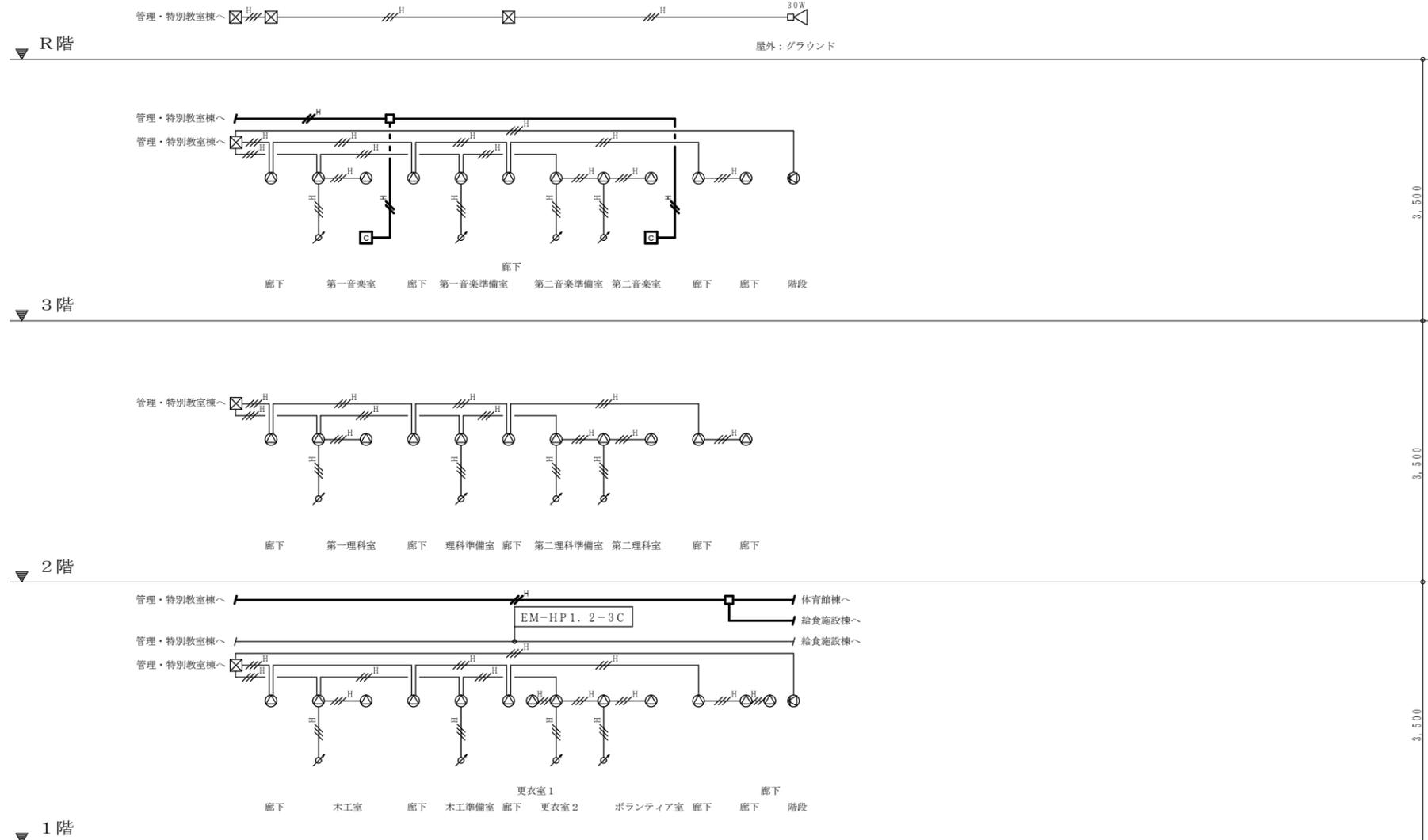


3階平面図 S=1/100

EM-HP1.2-10P	(E51)	放送
EM-S-5C-FBx2		AM・FM



R階平面図 S = 1 / 100



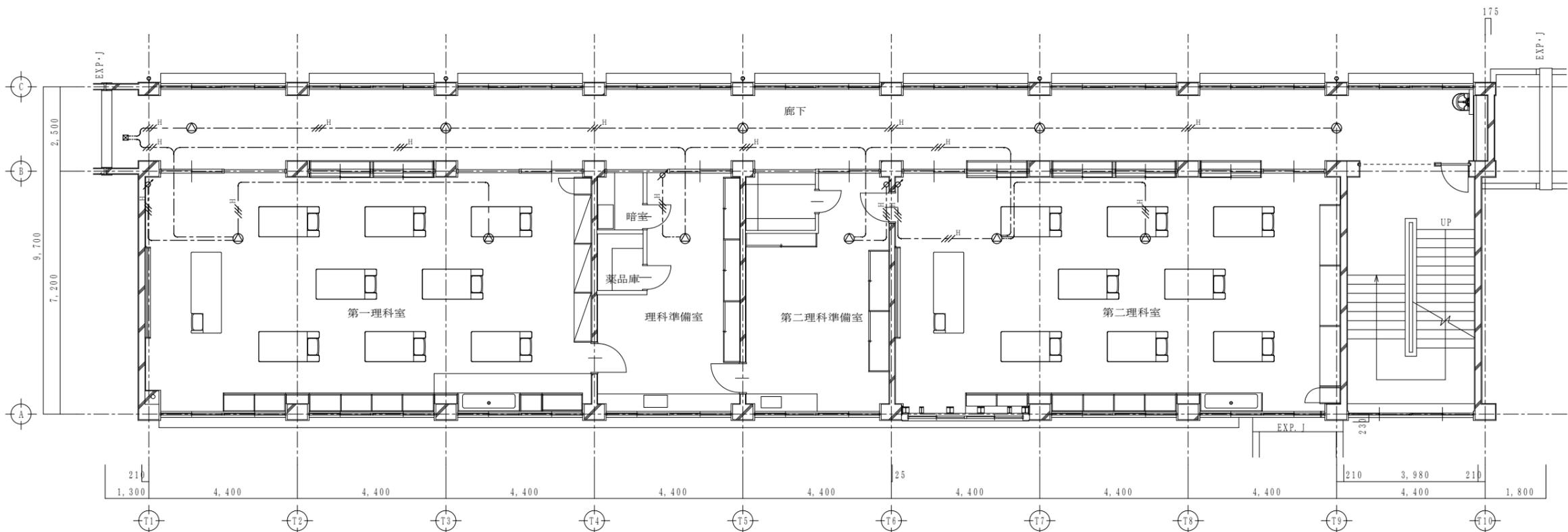
拡声設備 系統図

凡 例				
記号	名称	称	摘	要
●	天井埋込スピーカ	既設	SC1Hi-1V0-M	L級
○	壁掛スピーカ	既設	SW2Hi-1V0	L級
△	ホーンスピーカ	既設		L級
▽	音量調整器	既設		
■ P3	コンセント: 情報・TV共	既設	2P15A100V	2口 接地端子付
amp	ローカル放送アンプ	既設		
☒	ブルボックス	既設		
□	電源制御器	新設		非常時AC100V供給遮断
□	位置ボックス	新設		
☒ (n)	耐火処理・はつり補修: 壁	新設	国土交通大臣認定工法	(n)

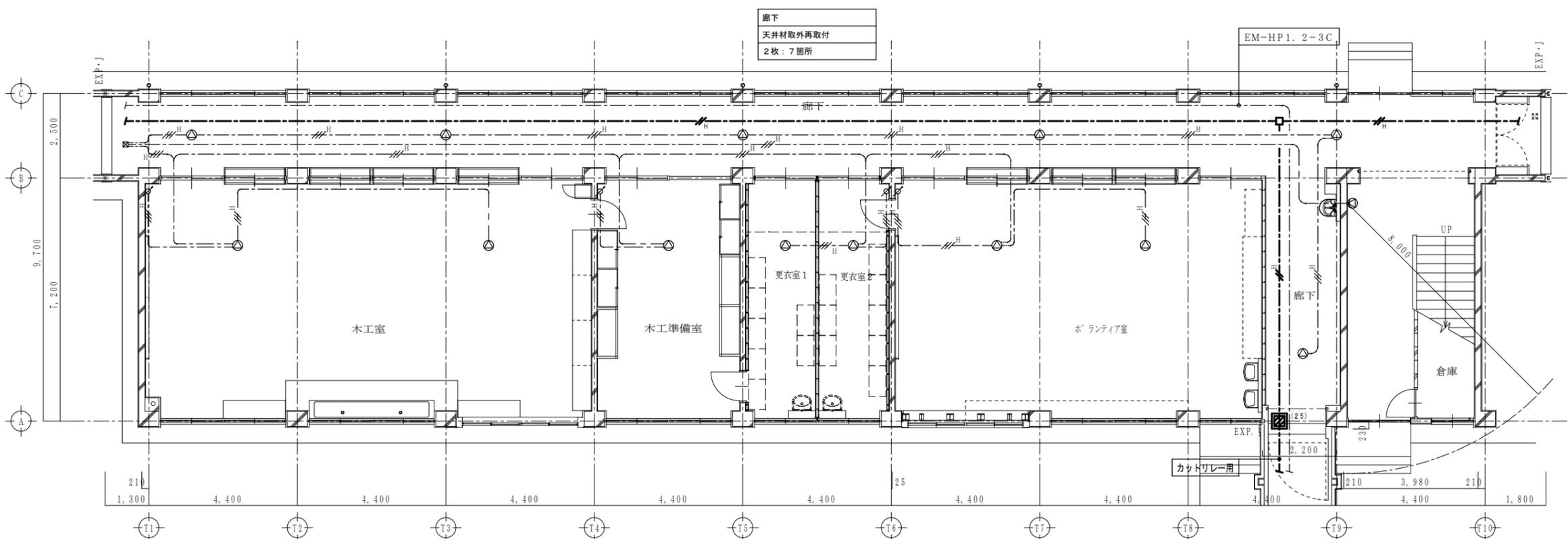
註 記

- 特記なき配線は、下記による。
 

	HP 1. 2-2C	既設
	HP 1. 2-3C	既設
	EM-HP 1. 2-2C	新設
	EM-EEF 2. 0-3C	新設
	1種金属線び A型	新設
	天井内	
	配管: 隠べい	
	配管: 露出	
- 細線及び明朝体文字は既設、太線及びゴシック体文字は新設を示す。



2階平面図 S=1/100



1階平面図 S=1/100

株式会社 応用電業社

工事名

上山中学校非常放送設備設置

工事

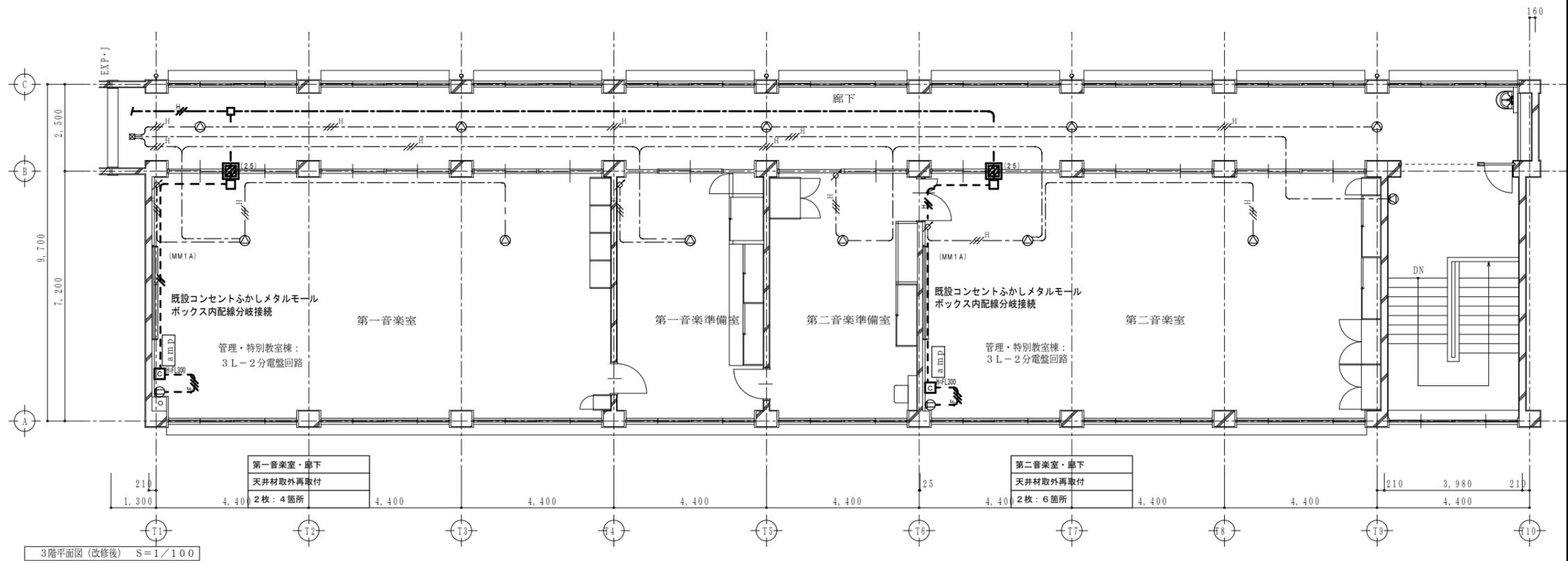
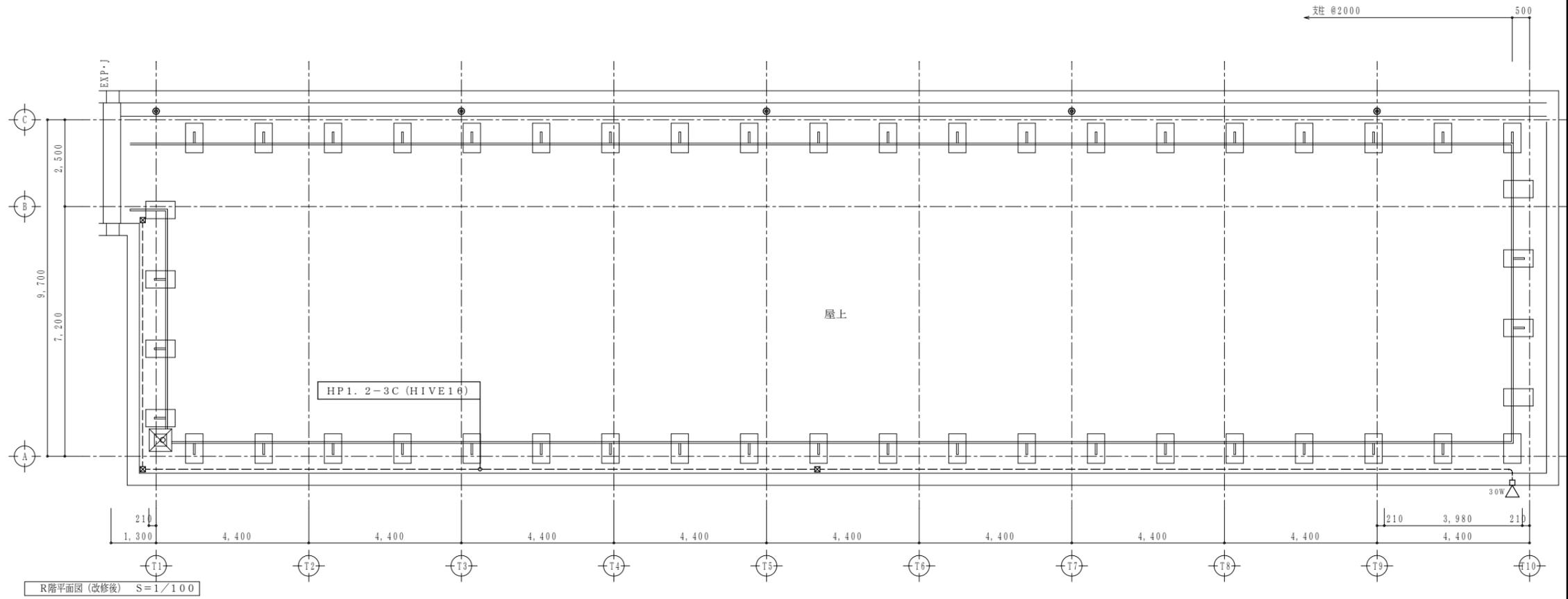
図名

特別教室棟 1・2階平面図

年月日 2022. 3

縮尺 A2:1/100

図面番号 E-11



株式会社 応用電業社

工事名

上山中学校非常放送設備設置 工事

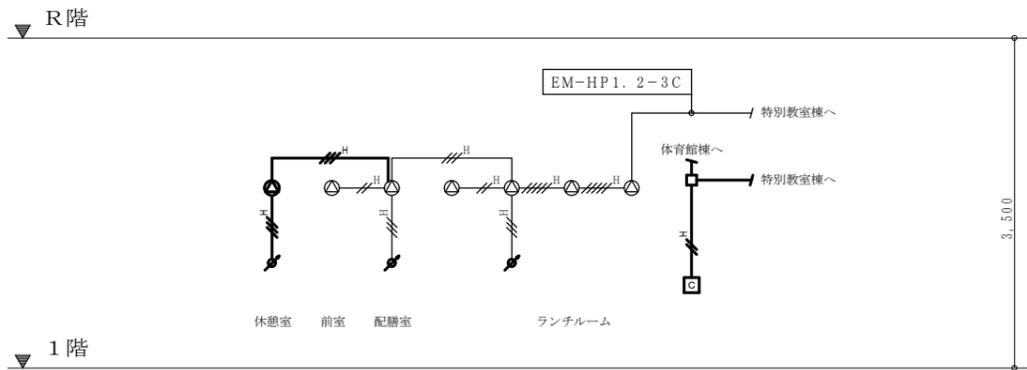
図名

特別教室棟 3・R階平面図

年月日 2022. 3

縮尺 A2: 1/100

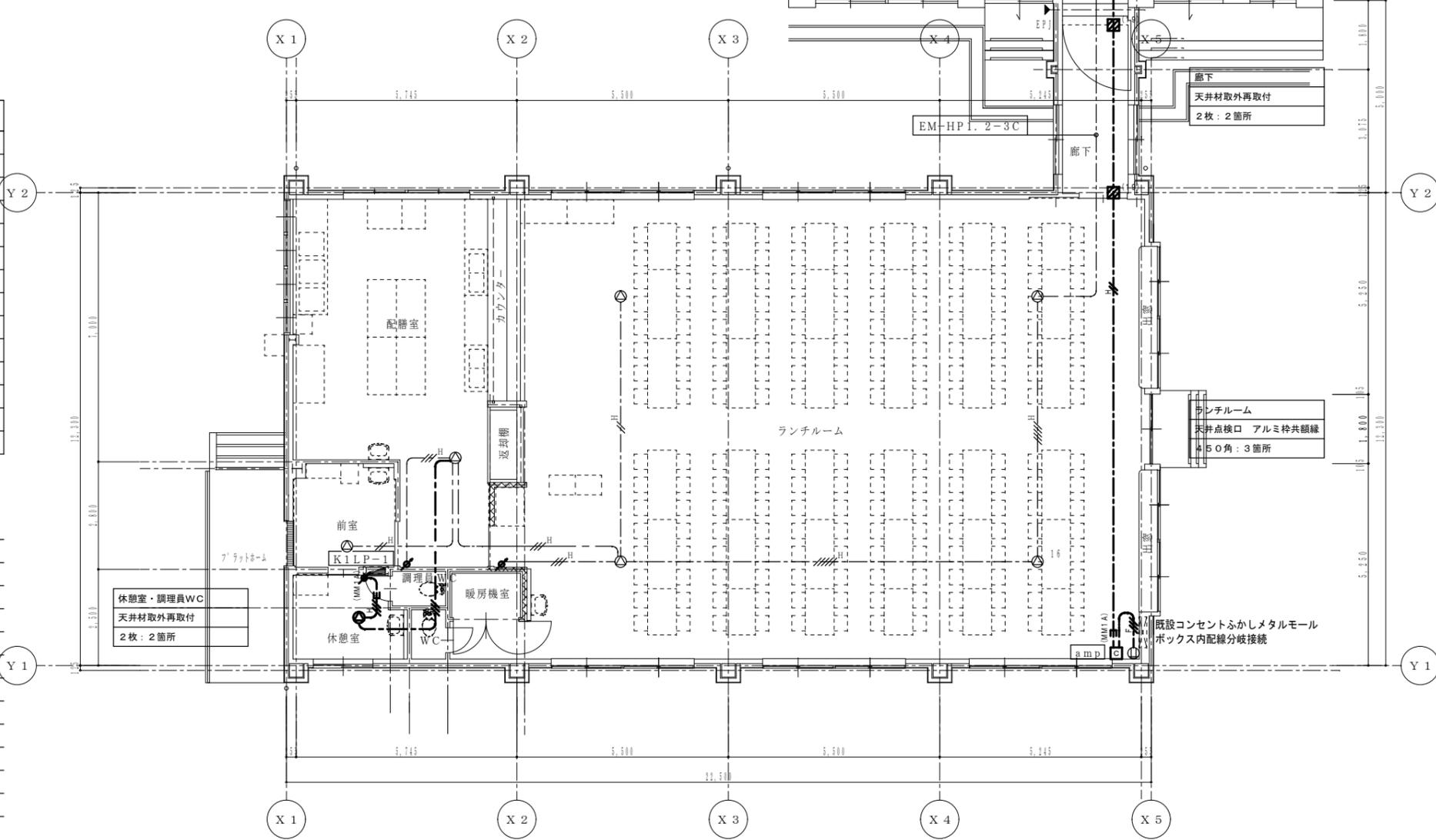
図面番号 E-12



拡声設備 系統図

記号	名称	摘要
●	天井埋込スピーカ	既設 SC3Hi-5V0-M L級
⚙	音量調整器	既設
📌	分電盤	既設
Ⓜ	コンセント	既設 2P15A100V 2口 接地端子付
📡	ローカル放送アンプ	既設
●	天井埋込スピーカ	新設 SC4Hi-1V0-M L級
⚙	音量調整器	新設 V-1S
🔌	電源制御器	新設 非常時AC100V供給遮断
📦	位置ボックス	新設
🧱	耐火処理：壁	新設 国土交通大臣認定工法 (n)

- 註記
- 1 特記なき配線は、下記による。
- EM-HP1, 2-2C 既設・新設
  - EM-HP1, 2-3C 既設・新設
  - EM-HP1, 2-5C 既設
  - EM-EEF2, 0-3C 新設
  - 1種金属線び A型 新設
  - 天井内
  - 配管：隠べい
  - 配管：露出
- 2 細線及び明朝体文字は既設、太線及びゴシック体文字は新設を示す。



平面図 S=1/100

端子盤表

盤名称	仕様	拡声設備
1T-1	鋼板製 埋込型	10P
2T-1	鋼板製 埋込型	20P
3T-1	鋼板製 埋込型	20P
4T-1	鋼板製 埋込型	10P

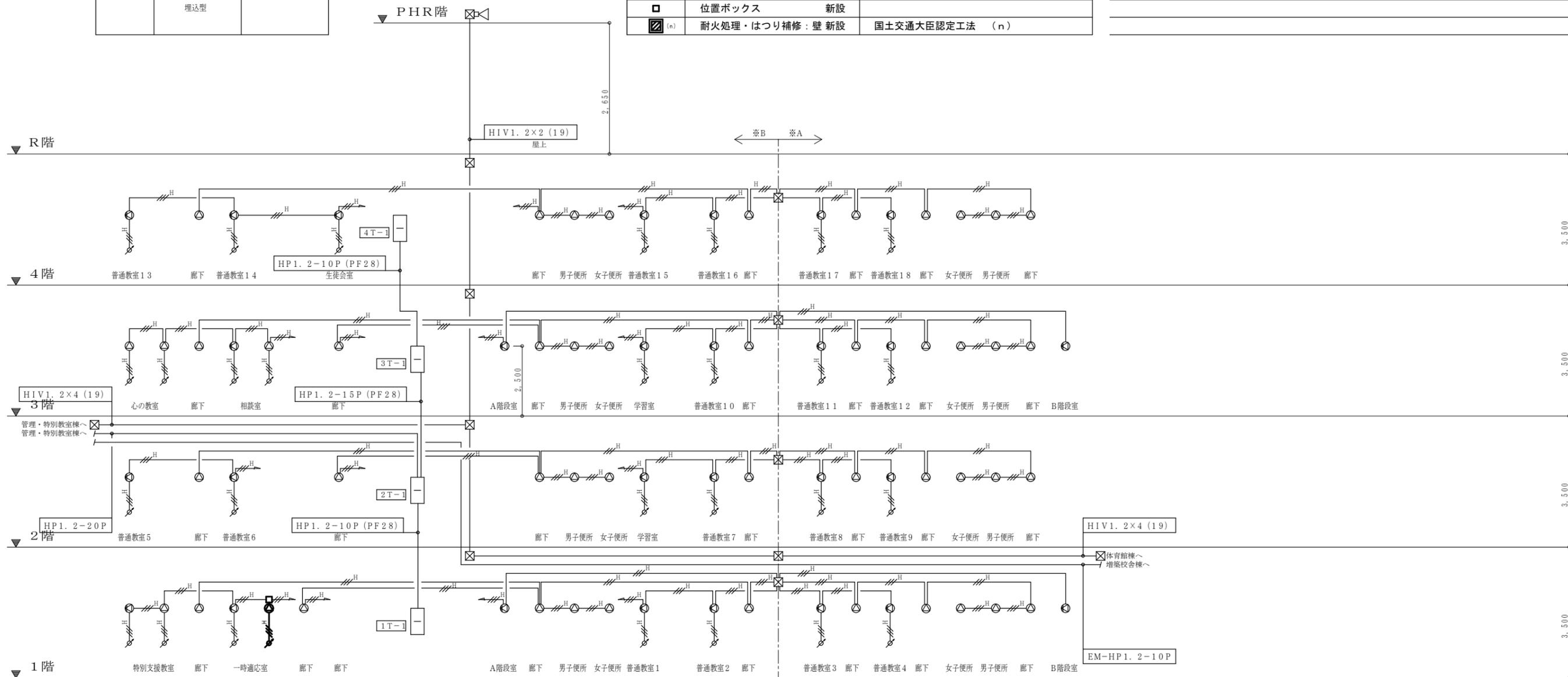
凡 例		
記号	名称	摘要
⊙	天井埋込スピーカ ※A	既設 SC1Hi-1V0-M L級
⊙	天井埋込スピーカ ※B	既設 SC1Hi-3V0-M L級
⊙	壁掛スピーカ ※A	既設 SW2Hi-1V0 L級
⊙	壁掛スピーカ ※B	既設 SW2Hi-3V0 L級
⊙	ホーンスピーカ	既設
⊙	音量調整器	既設
☒	プルボックス	既設
⊙	天井埋込スピーカ	新設 SC4Hi-1V0-M L級
⊙	音量調整器	新設 V-1S
□	位置ボックス	新設
☒(n)	耐火処理・はつり補修：壁	新設 国土交通大臣認定工法 (n)

註 記

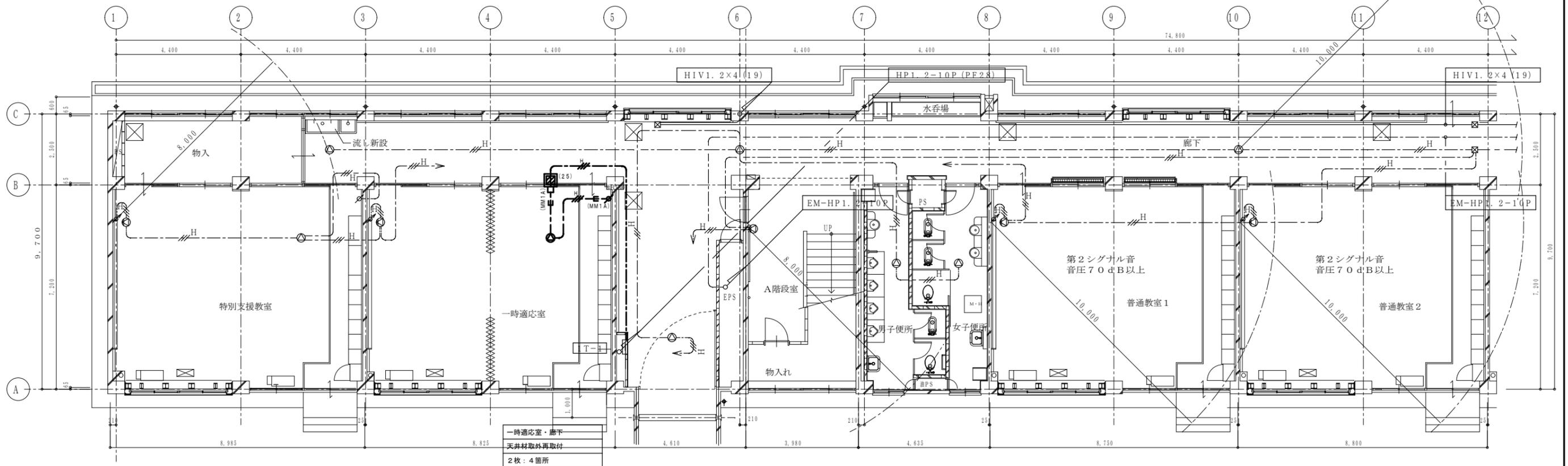
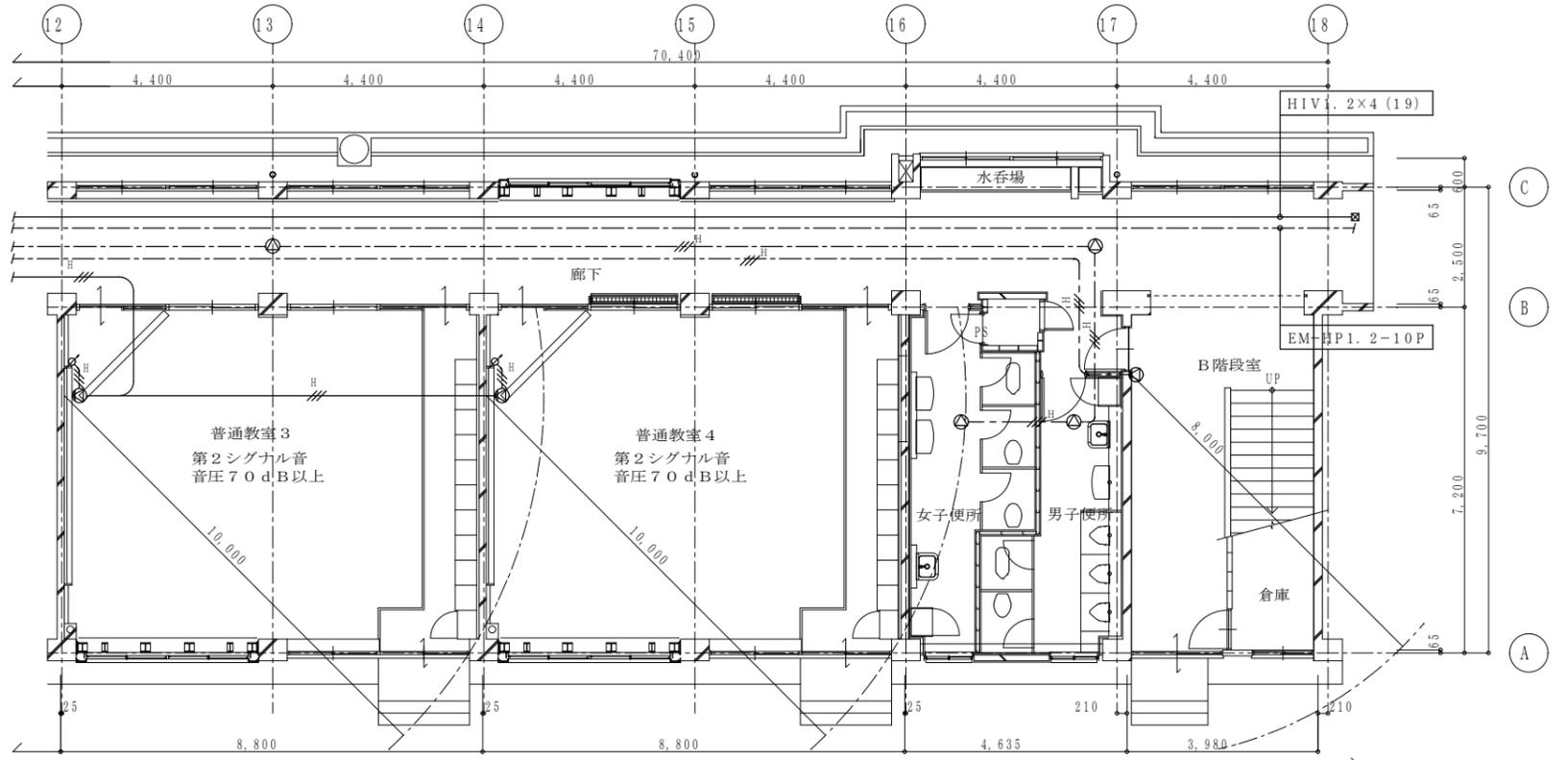
1 特記なき配線は、下記による。

	HP1.2-2C	既設
	HP1.2-3C	既設
	EM-HP1.2-3C	新設
	1種金属線び A型	新設
	天井内	
	配管：隠べい	
	配管：露出	

2 細線及び明朝体文字は既設、太線及びゴシック体文字は新設を示す。



拡声設備 系統図



普通教室棟1階平面図 S=1/100

株式会社 応用電業社

工事名

上山中学校非常放送設備設置 工事

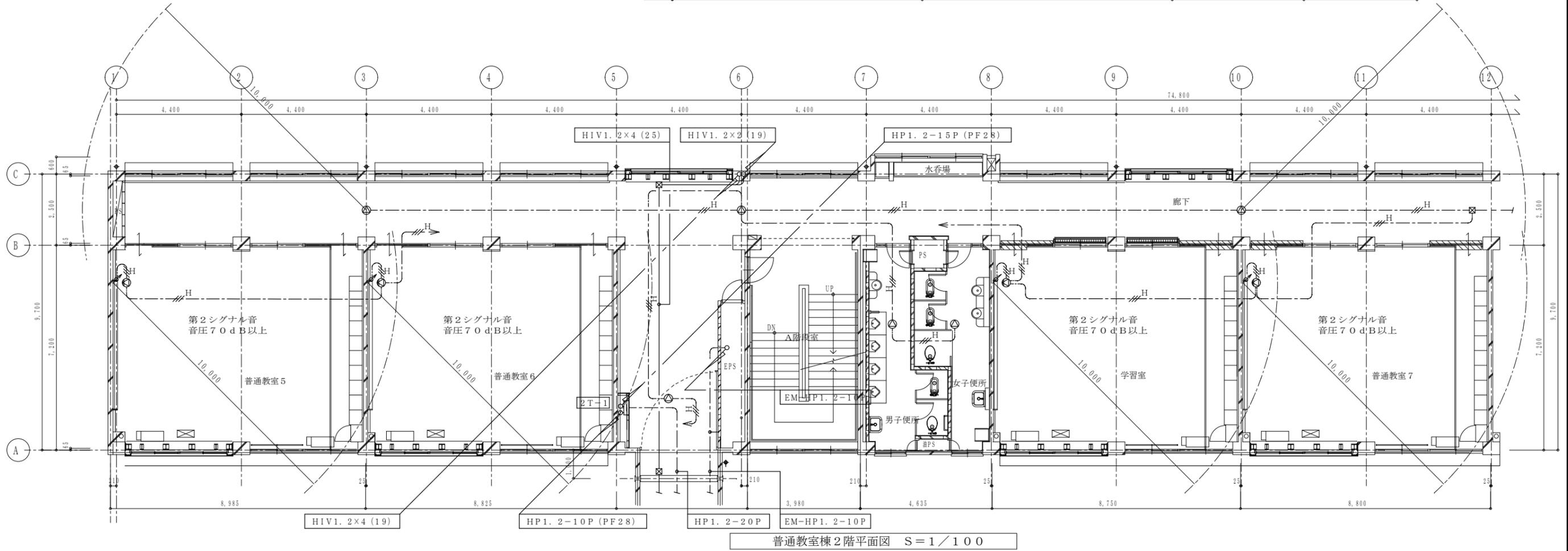
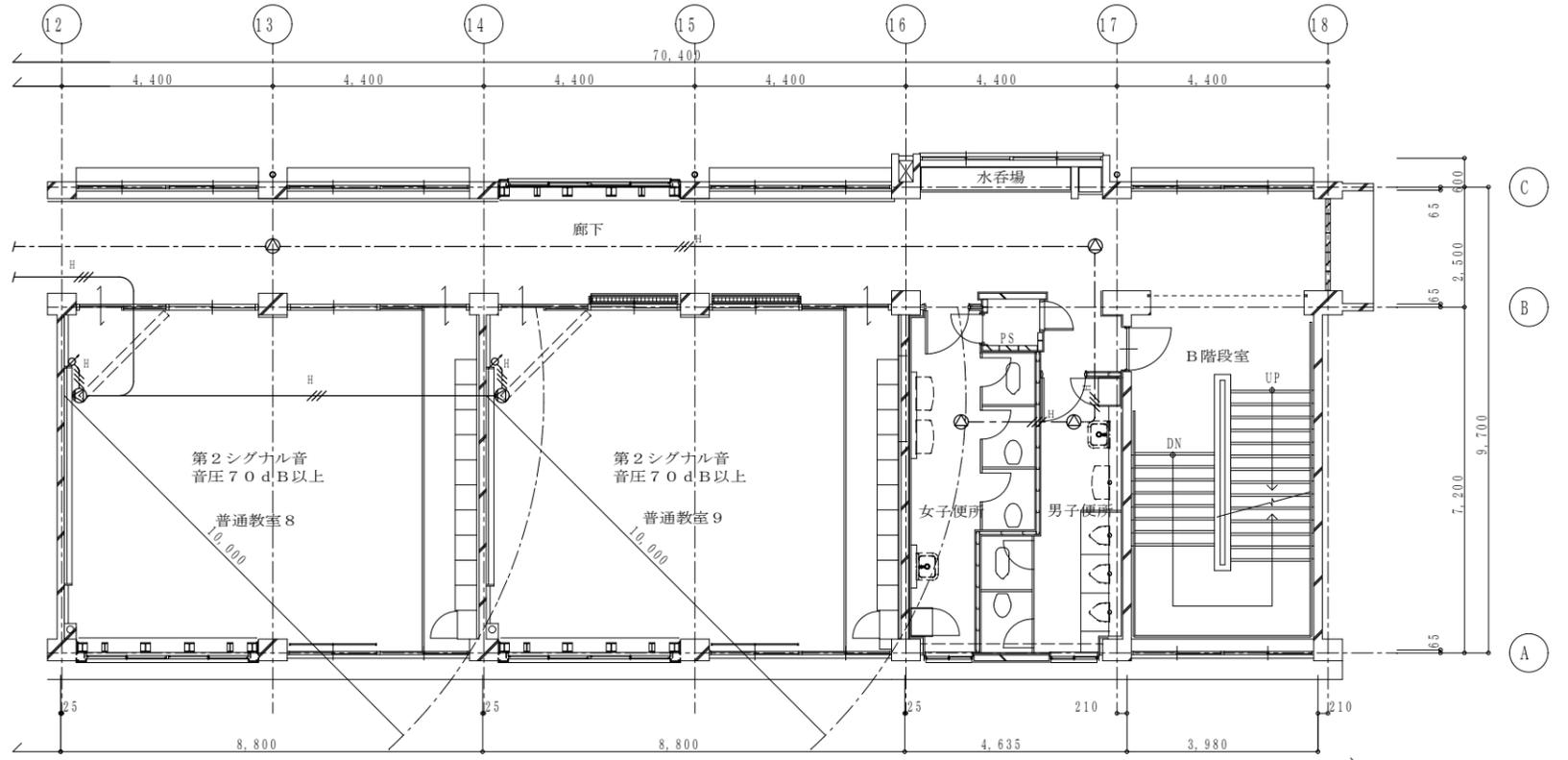
図名

普通教室棟 1階平面図

年月日 2022.1

縮尺 A2:1/100

図面番号 E-15



株式会社 応用電業社

工事名

上山中学校非常放送設備設置 工事

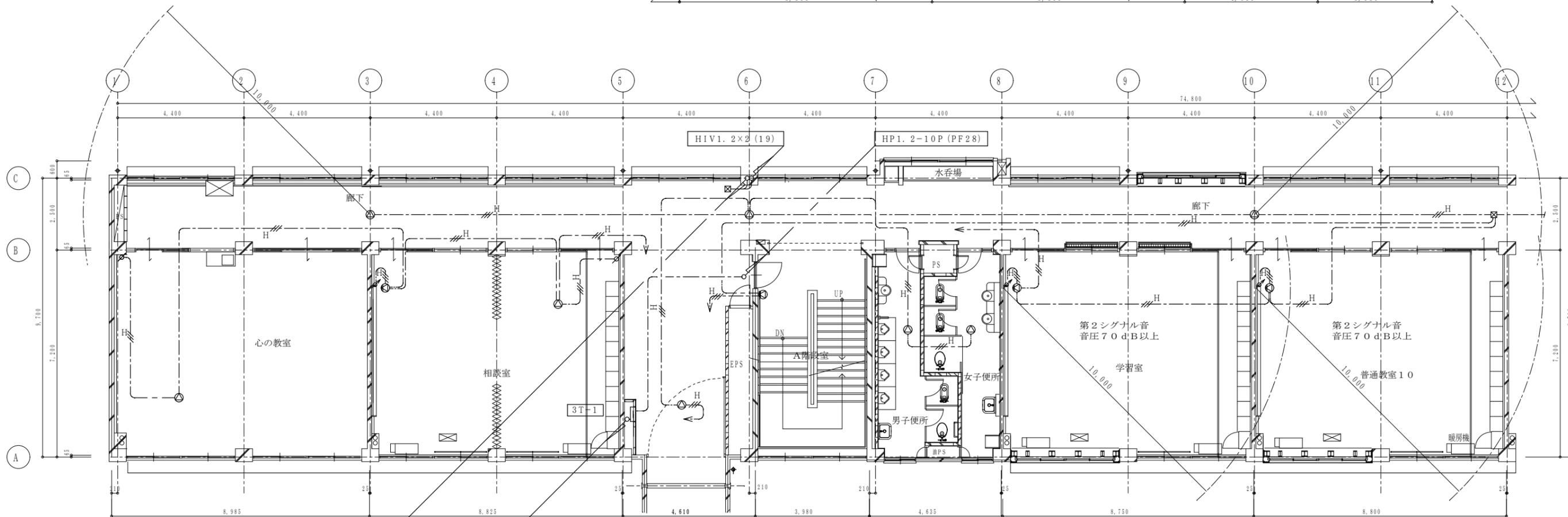
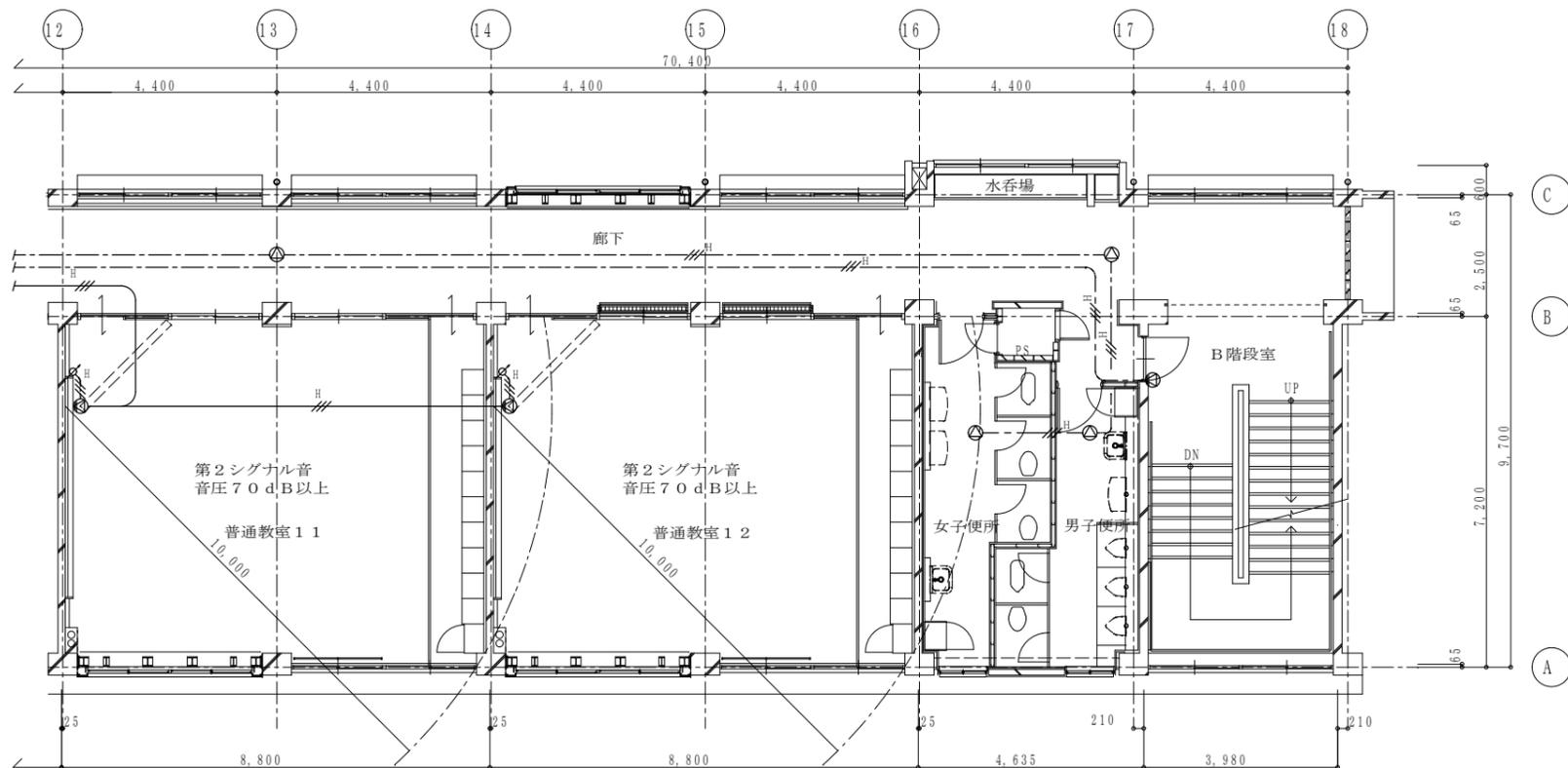
図名

普通教室棟 2階平面図

年月日 2022.3

縮尺 A2:1/100

図面番号 E-16



普通教室棟3階平面図 S=1/100

株式会社 応用電業社

工事名

上山中学校非常放送設備設置 工事

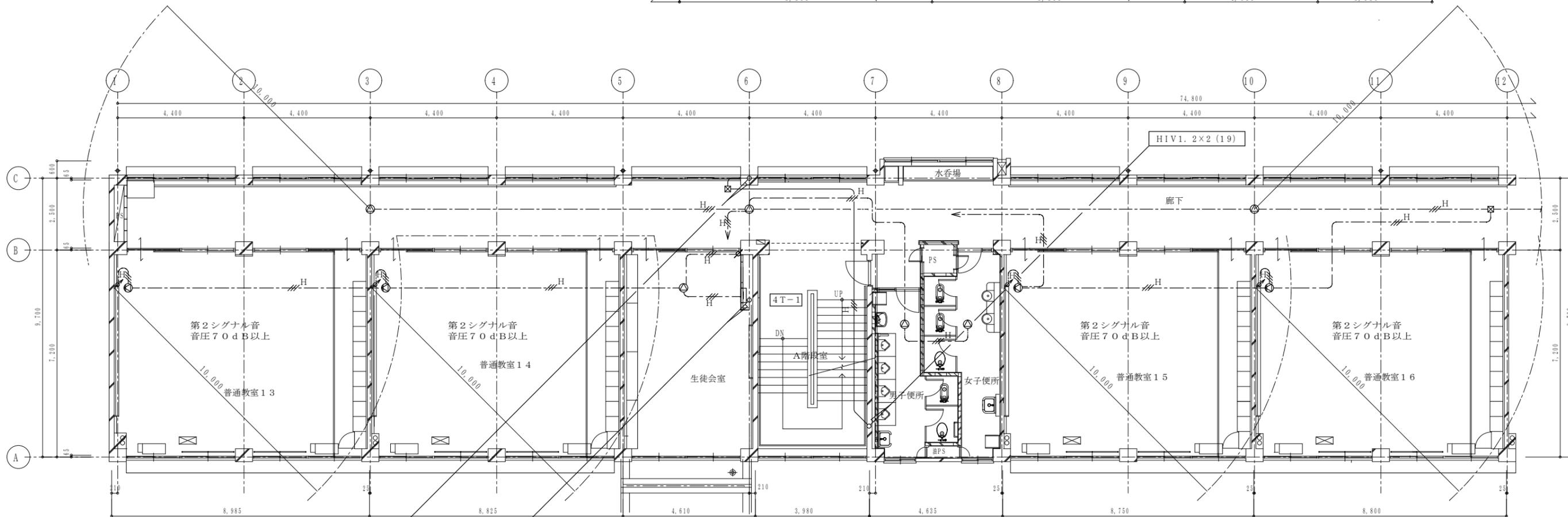
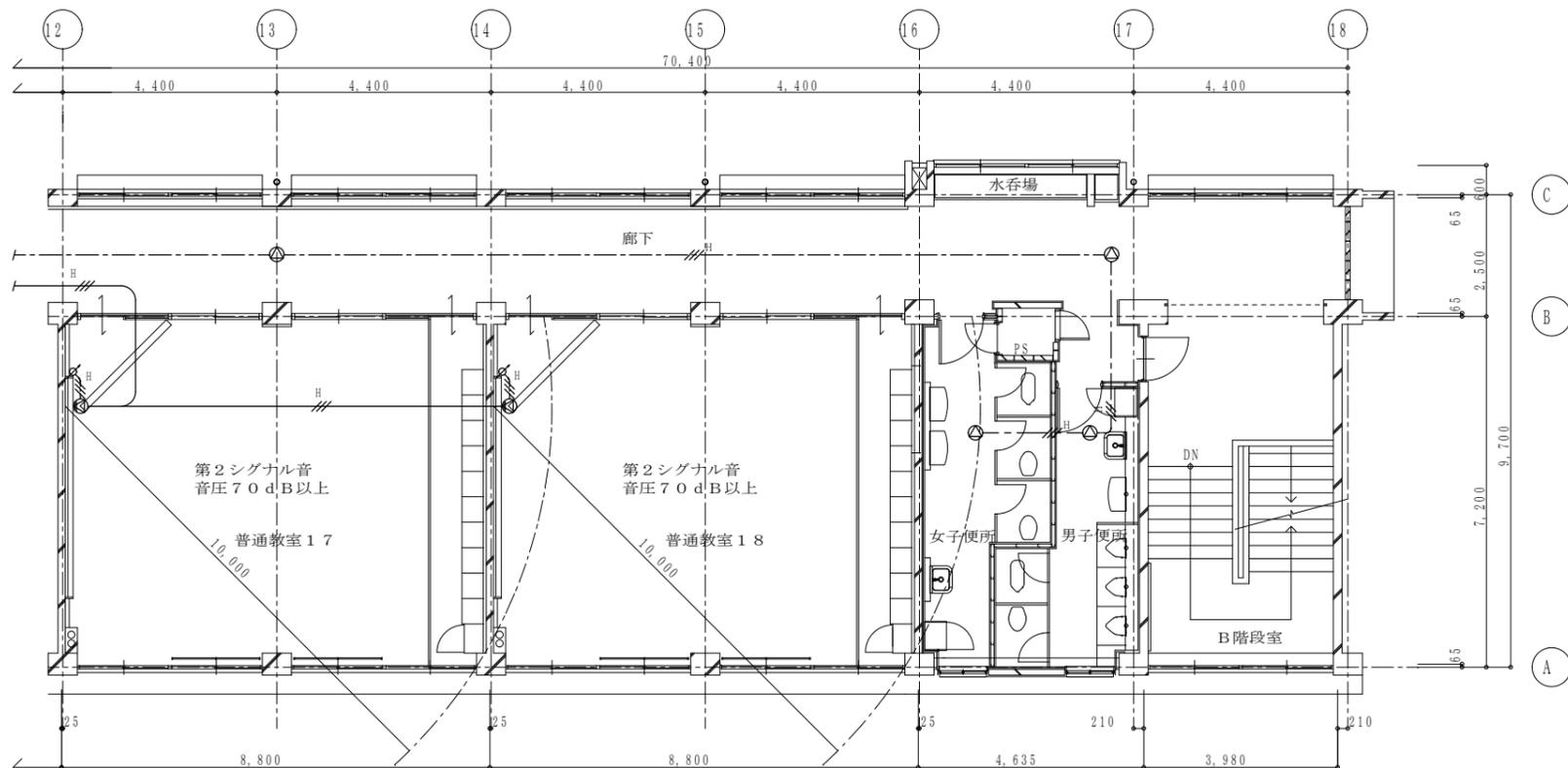
図名

普通教室棟 3階平面図

年月日 2022.3

縮尺 A2:1/100

図面番号 E-17



普通教室棟4階平面図 S=1/100

株式会社 応用電業社

工事名

上山中学校非常放送設備設置 工事

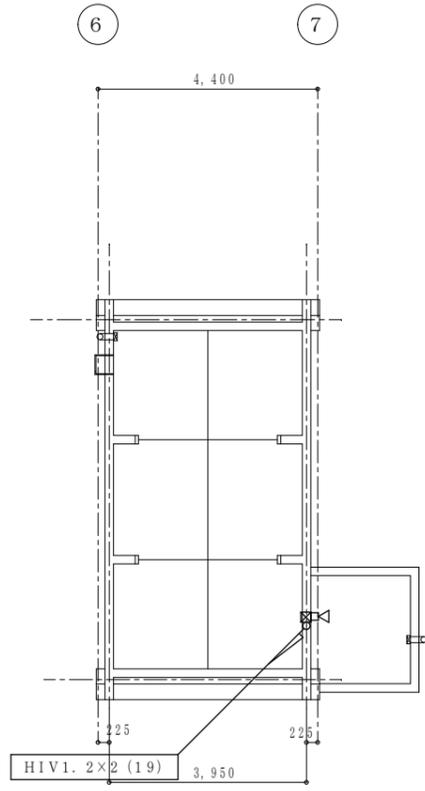
図名

普通教室棟 4階平面図

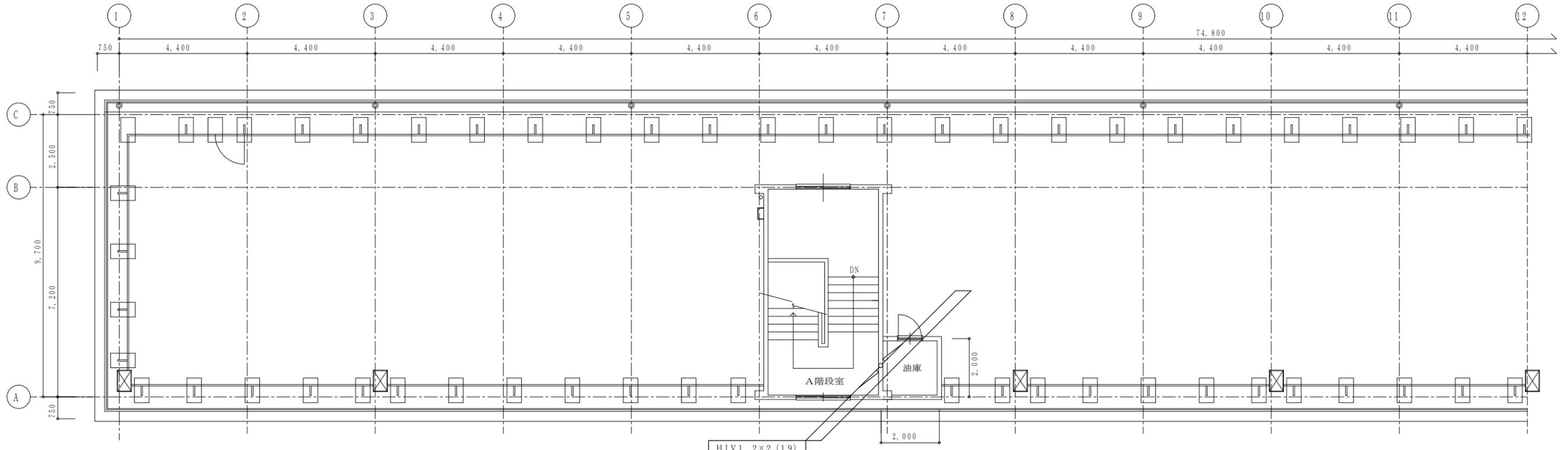
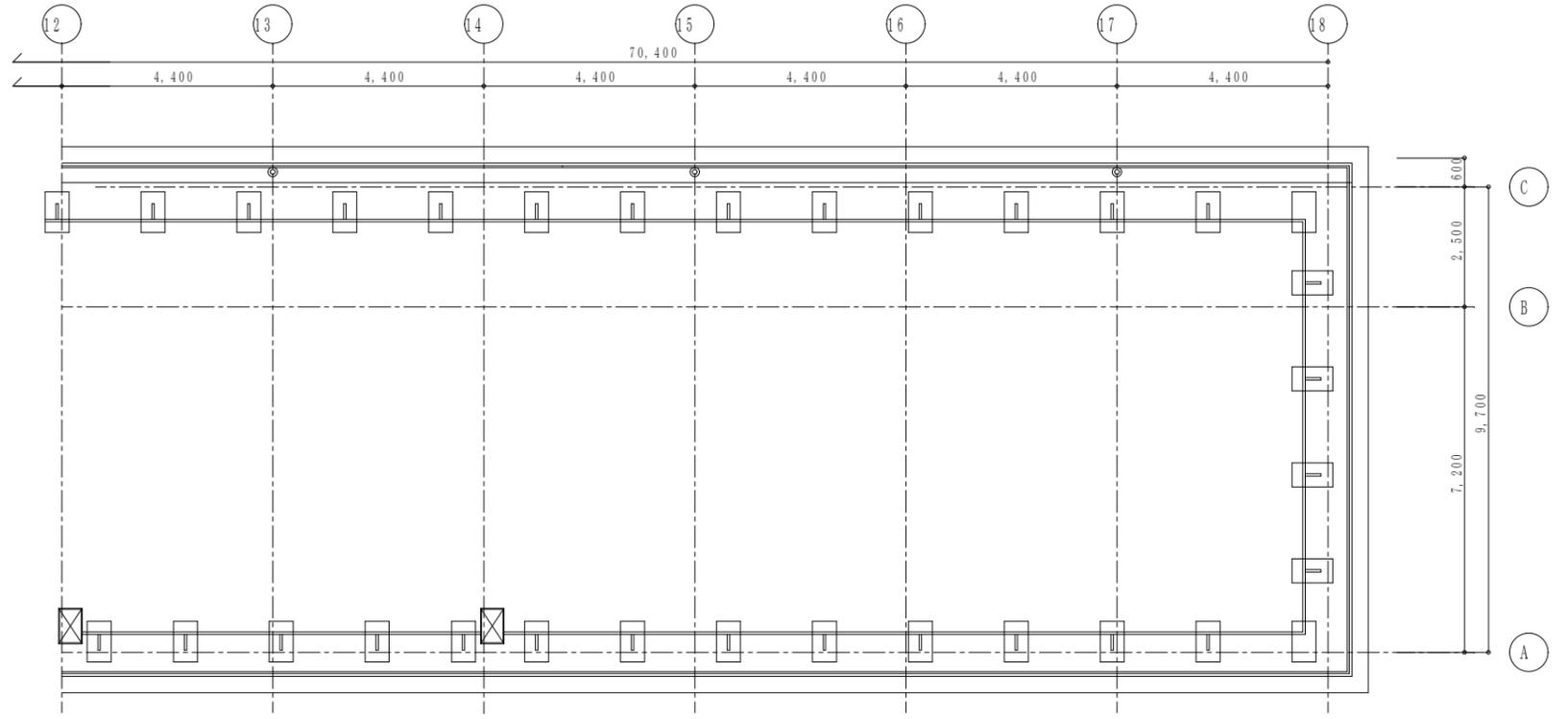
年月日 2022. 3

縮尺 A2:1/100

図面番号 E-18



A階段室 PHR階平面図 S = 1 / 100



普通教室棟R階平面図 S = 1 / 100

株式会社 応用電業社

工事名

上山中学校非常放送設備設置 工事

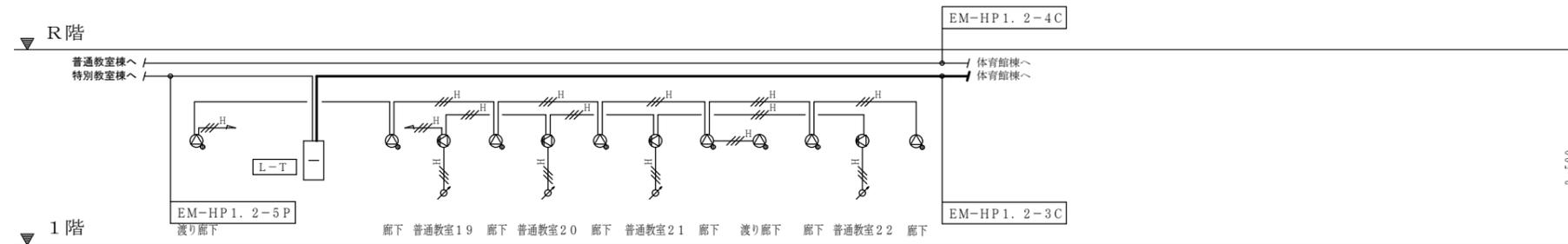
図名

普通教室棟 R階平面図

年月日 2022. 3

縮尺 A2 : 1 / 100

図面番号 E-19



拡声設備 系統図

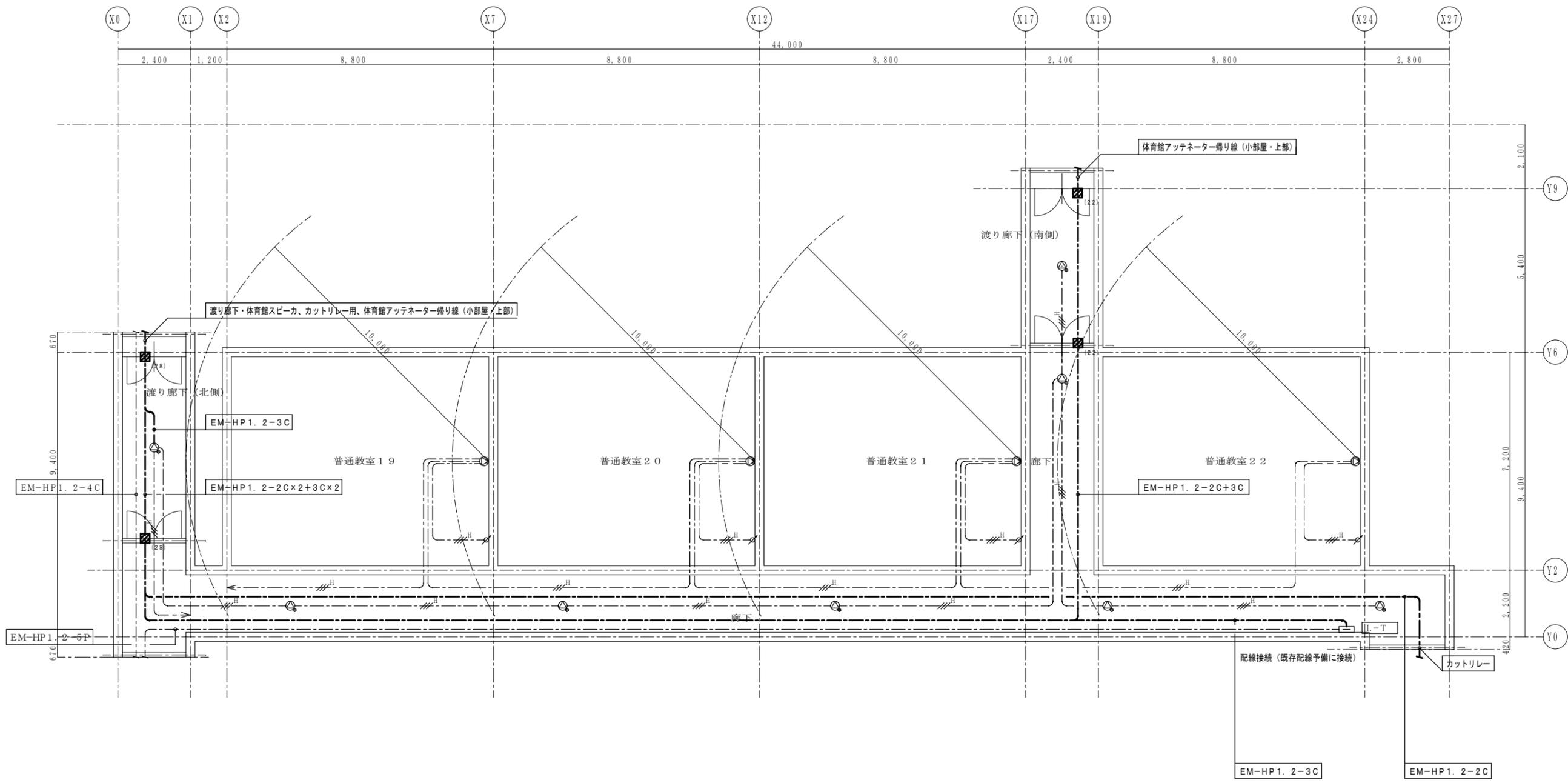
凡 例				
記号	名称	称	摘	要
🔊	天井埋込スピーカ	既設	SC4Hi-1V3-M	L級
🔊	壁掛スピーカ	既設	SW2Hi-1V0	L級
🔊	音量調整器	既設		
☑	プルボックス	既設		
☑ <sup>(n)</sup>	耐火処理：壁	新設	国土交通大臣認定工法	(n)

註 記

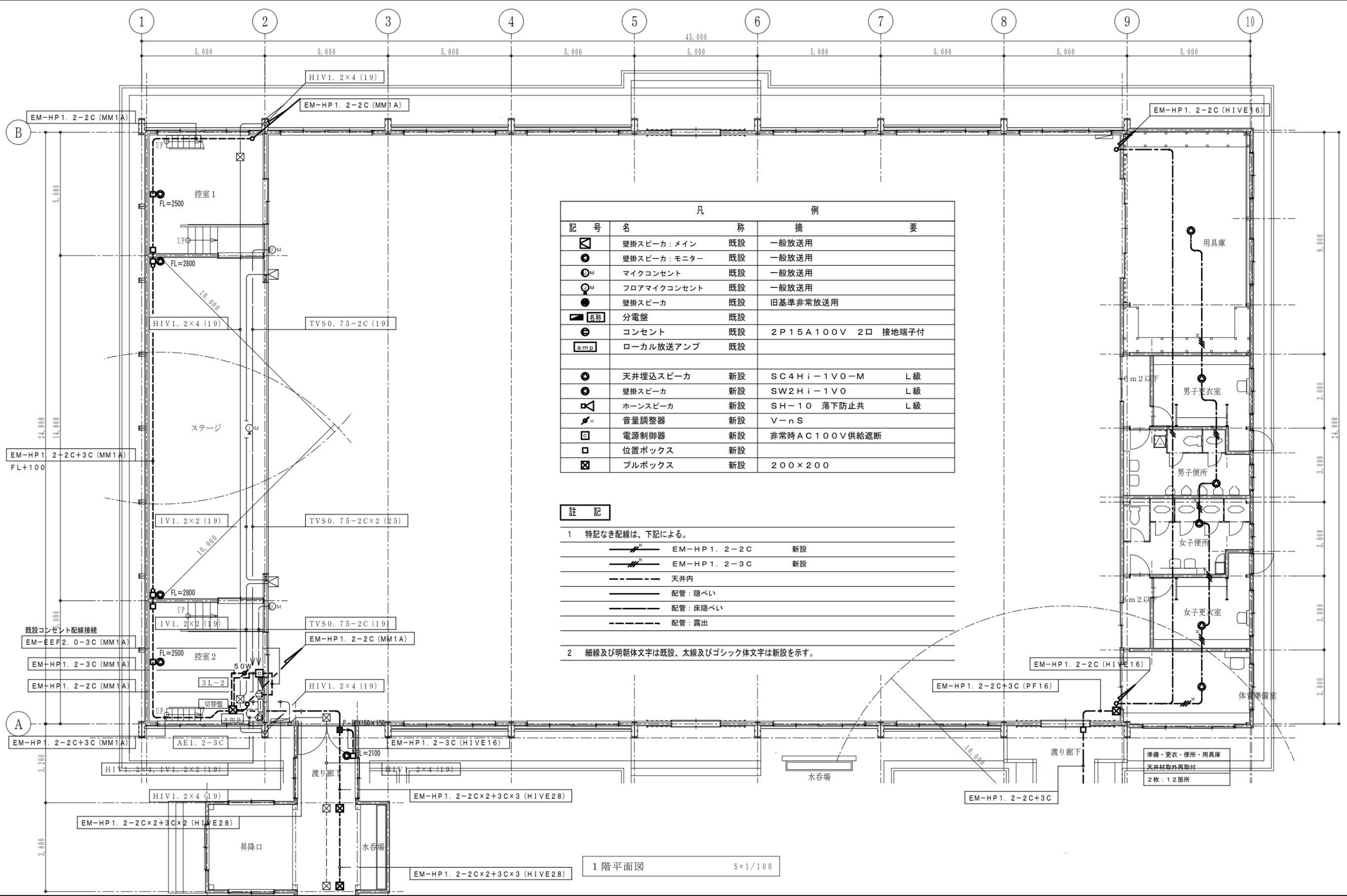
- 特記なき配線は、下記による。
- 細線及び明朝体文字は既設、太線及びゴシック体文字は新設を示す。

端子盤表

盤名称	仕様	拡声設備
L-T	鋼板製 埋込型	10P



普通教室棟 (増築棟) 1階平面図 S=1/100

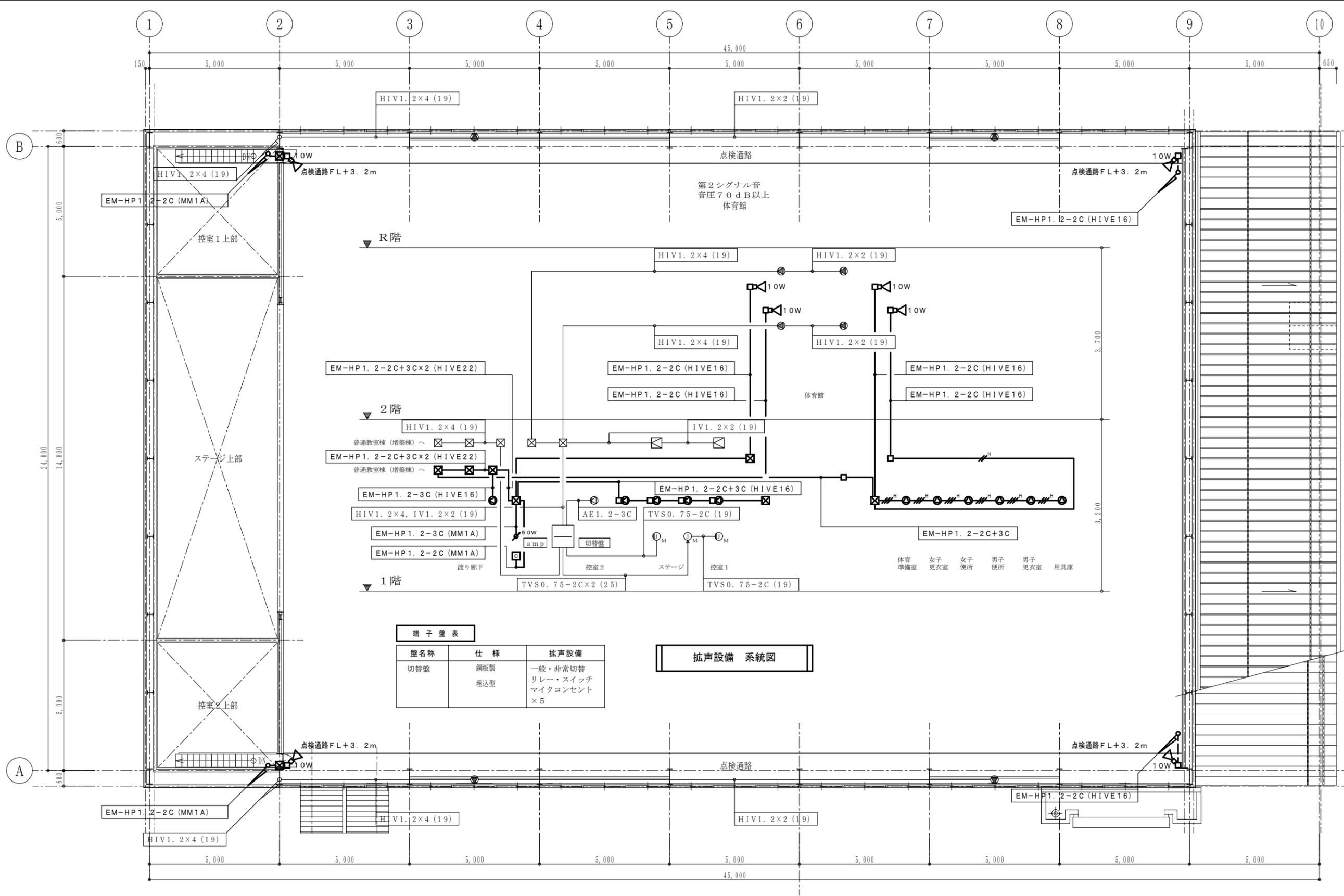


凡 例			
記号	名称	種別	要 求
☒	壁掛スピーカ：メイン	既設	一般放送用
⊙	壁掛スピーカ：モニター	既設	一般放送用
⊙ <sup>M</sup>	マイクコンセント	既設	一般放送用
⊙ <sup>M</sup>	フロアマイクコンセント	既設	一般放送用
●	壁掛スピーカ	既設	旧基準非常放送用
☒	分電盤	既設	
⊙	コンセント	既設	2P15A100V 2口 接地端子付
amp	ローカル放送アンプ	既設	
⊙	天井埋込スピーカ	新設	SC4Hi-1V0-M L級
⊙	壁掛スピーカ	新設	SW2Hi-1V0 L級
⊙	ホーンスピーカ	新設	SH-10 落下防止共 L級
⊙ <sup>n</sup>	音量調整器	新設	V-nS
⊙	電源制御器	新設	非常時AC100V供給遮断
□	位置ボックス	新設	
☒	プルボックス	新設	200×200

註 記

- 特記なき配線は、下記による。
  - EM-HP1. 2-2C 新設
  - EM-HP1. 2-3C 新設
  - 天井内
  - 配管：隠べい
  - 配管：床隠べい
  - 配管：露出
- 細線及び明朝体文字は既設、太線及びゴシック体文字は新設を示す。

1階平面図 S=1/100



2階平面図 S=1/100

株式会社 応用電業社

記号	名称	仕様	備考
<b>【電灯設備】</b>			
■ L-K	電灯分電盤	鋼板製壁埋込型	
□ S	動力 手元開閉器	鋼板製壁掛け型	
⊕ EET	埋込コンセント	2P-15A E ET付	合成樹脂製中4浅型BOX 新金属プレート
⊕ 2E	埋込コンセント	2P-15A×2 E	合成樹脂製中4浅型BOX 新金属プレート
		コンセントの高さは、H=400	
		図中記入無きコンセントの高さは、H=400	
		教室黒板下は、H=700(黒板下-200)	教室黒板下端:H900でご指定
○	照明器具	LED 20W型 直付及び埋込器具	
○	照明器具	LED 40W-1型 直付及び埋込器具	
○	照明器具	LED 40W-2型 直付及び埋込器具	
◎	照明器具	LED ダウンライト	
●	埋込スイッチ	1P-15A	合成樹脂製SWBOX 新金属プレート NP付
●●	埋込スイッチ	1P-15A×2	合成樹脂製SWBOX 新金属プレート NP付
●●●	埋込スイッチ	1P-15A×3	合成樹脂製SWBOX 新金属プレート NP付
●●●●	埋込スイッチ	1P-15A×4	合成樹脂製SWBOX 新金属プレート NP付
● <sup>3</sup>	埋込スイッチ	3W-15A	合成樹脂製SWBOX 新金属プレート NP付
●● <sup>33</sup>	埋込スイッチ	3W-15A×2	合成樹脂製SWBOX 新金属プレート NP付
●●● <sup>3</sup>	埋込スイッチ	1P-15A×2+3W-15A×1	合成樹脂製SWBOX 新金属プレート NP付
● <sup>24H</sup>	埋込スイッチ	1P-15A×2(換気扇24H標示付 強弱)	機械設備支給品
		埋込スイッチ H:1,100	
<b>&lt;配管配線&gt;</b>			
—	EM-EEF1.6-2C	天井コログシ配線	
—//—	EM-EEF1.6-3C	天井コログシ配線	
—//—	EM-EEF1.6-3C	天井コログシ配線	1線アース
—//—	EM-EEF2.0-2C	天井コログシ配線	
—//—	EM-EEF2.0-3C	天井コログシ配線	1線アース
<b>【テレビ共聴設備】</b>			
⊕ <sup>R</sup>	直列ユニット	H=600(黒板下-200)	コンセント共用BOX S付
—FB—	EM-S-5C-FB	天井コログシ配線	
▽	増幅器		T-Kに収納
<b>【放送設備】</b>			
⊙	壁掛型スピーカー	SW2Hi-1V0	
⊙	天井埋め込み型スピーカー	SC4Hi-1V3	ATT付
↗	アッテネーター	H=700(黒板下-200)	コンセント共用BOX S付
—HP—	EM-HP1.2-3C	天井コログシ配線	

記号	名称	仕様	備考
<b>【校内情報通信設備】</b>			
⊕			H:2,500
			幹線は管理棟職員室にある生徒系L-2スイッチに接続し、本建物に分岐用L-2スイッチ設置すること
			各教室の廊下窓側にLANケーブル取り出し口を設け(合計4箇所)ケーブル端部にケーブル端部にCat6A対応RJ-45コネクタを取付けすること。
			取り出し口端部はノズルプレートとしケーブル1mは余裕を見込む
—UTP—	EM-UTP0.5-4P カゴリ-6A		ケーブル色:緑 天井コログシ配線
□ T-K	情報機器端子箱(壁埋込型)		単独回路 コンセント収納
			分岐用L2スイッチ及びL2スイッチ用PoE給電機能付、PoE各ポート最大0.30W 全ポート最大給電電力17.9W
			コンセントを収納
			VLAN機能付、RJ45ポート 10BASE-T,100BASE-T,1000BASE-T
			型番:パッファロー製 BS-GS2008P コンセントはL-K盤より単独回路
⊕	インターホニ機		教室に設置 716TB-SE 壁掛・据置両用 電源は親機から供給
⊕	インター親機		職員室に設置 716TC-10M 壁掛・据置両用 AC100V 子機10台まで接続可
<b>【共通】</b>			
—E—			防火主要間仕切り内PF保護 鋼製BOX耐火処理
			防火主要間仕切り貫通は、鋼管を1m以上突き出す
			1m以上突出し以外は、フィブブロックを使用
■			フィブブロック:PS060WL-0268 フィブブロック:PS060WL-0672
<p>片面せっこうボード(厚さ21、21、2枚張) 鋼管+ケーブル壁貫通</p>		<p>片面せっこうボード(厚さ21、21、2枚張) 断面図</p>	

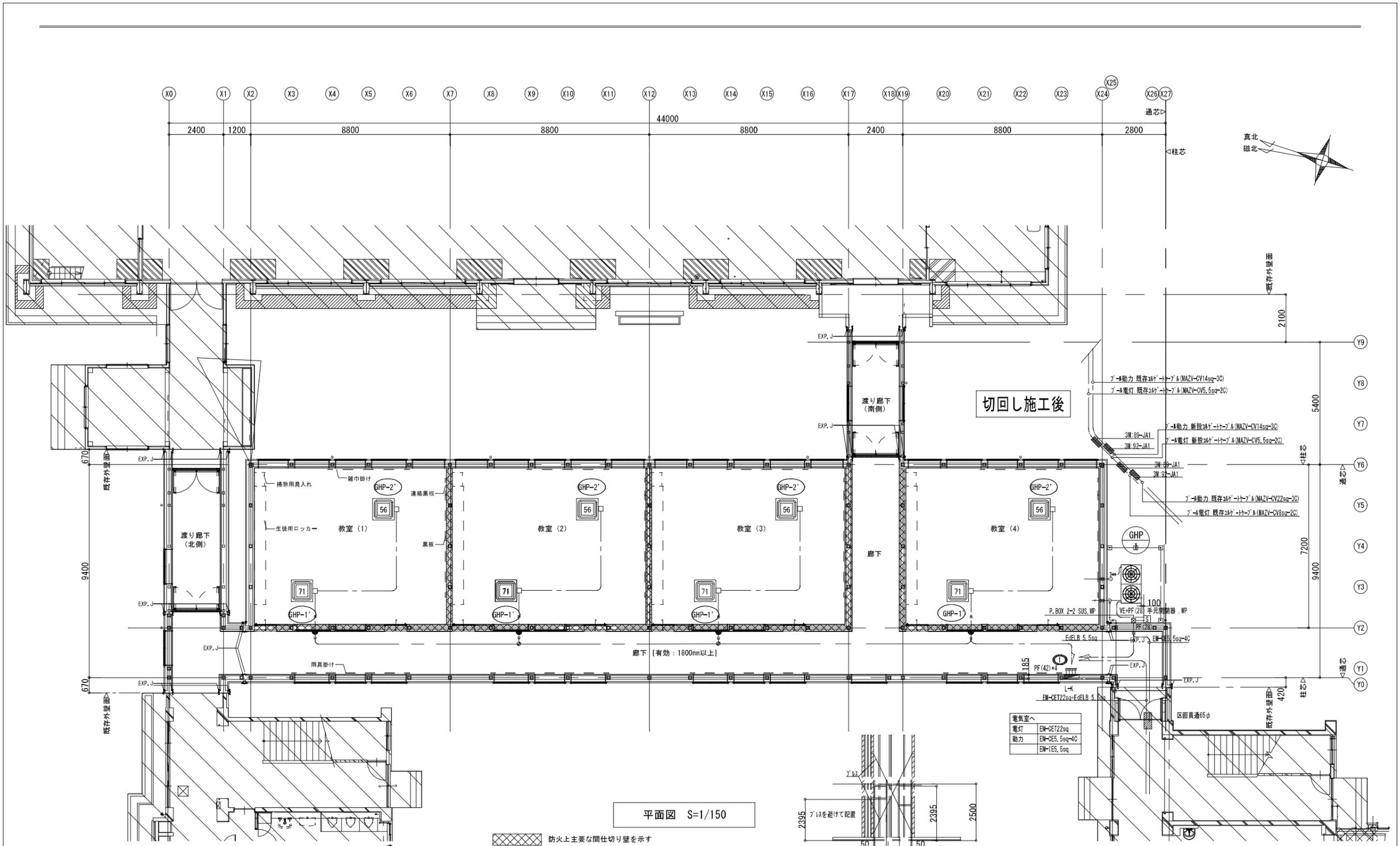
訂正事項	年月日	担当	訂正事項	年月日	担当	大和リース株式会社 新築支店 一級建築士事務所 一級建築士事務所 新潟県知事登録(字)1668号	大和リース株式会社 一級建築士 第364478号 代表となる設計者 我妻 薫					工事名称 新潟市立上山中学校校舎増築工事	受領印		
						大和リース株式会社 一級建築士 第319254号 その他の設計者 小川 秀一						図面名称 特記仕様	縮尺 A1:NS A3:NS		
												作成年月日 2021.03.15	換版番号 70-NIG-0006	図面番号 E-01	年月日

盤名称	結線	回路番号	電圧 (V)	分岐 (AF/AT)	負荷容量 (VA)	負荷名称	備考
既存校舎QB ブレーカ増設	 MCCB 3P100AF/75AT 取替		200/100			L-K盤	EM-CE122sq
			200	ELCB 3P 20A	890	S盤 : GHP室外機	EM-CE5, 5sq-3C
L-K	 MCCB 3P 60AF/60AT 4,794VA 鋼板製	①	200	ELCB 2P 20A	555	GHP室内機電源	
		①	100	ELCB 2P 20A	585	照明	教室(1), (2)
		②	100	ELCB 2P 20A	585	照明	教室(3), (4)
		③	100	ELCB 2P 20A	227	照明	廊下
		④	100	ELCB 2P 20A	216	換気扇	教室(1), (2)
		⑤	100	ELCB 2P 20A	216	換気扇	教室(3), (4)
		⑥	100	ELCB 2P 20A	450	コンセント	教室(1)
		⑦	100	ELCB 2P 20A	450	コンセント	教室(2)
		⑧	100	ELCB 2P 20A	450	コンセント	教室(3)
		⑨	100	ELCB 2P 20A	450	コンセント	教室(4)
		⑩	100	ELCB 2P 20A	300	コンセント	廊下
		⑪	100	ELCB 2P 20A	300	コンセント	端子盤
			100	ELCB 2P 20A		予備	
			100	ELCB 2P 20A		予備	
手元開閉器	 EM-CE3, 5sq-4C ELCB 3P50AF/20AT 鋼板製 WP		200	ELCB 3P 20A	750	GHP室外機 手元開閉器	EM-CE5, 5sq-4C

## 照明器具 姿図

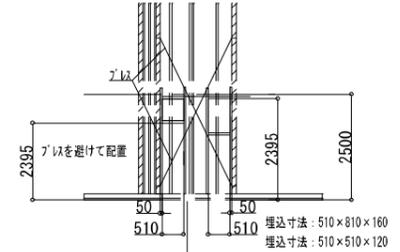
A	LSS1-4-37-LN	B	LSR12-4-29-LN
<p>LED ライトユニット形へースライト 三菱 MY-L440330/N</p>		<p>LED×1 ライトユニット形へースライト 三菱 MY-N430240/N</p>	
<p>Myシリーズ 昼白色 (5000K) Ra85 100V~242V共用タイプ ハイブリッドテクノロジー (埃やすす汚れ防止コーティング) ライトユニット 光源寿命: 40,000時間 光束: 4000lm 消費電力: 24.9W 消費効率: 160.6lm/W (200V) 消費電力: 25.1W 消費効率: 159.3lm/W (100V)</p>		<p>Myシリーズ 昼白色 (5000K) Ra85 100V~242V共用タイプ 本体: 鋼板・白色仕上 (高反射白色塗装) 光源寿命: 40,000時間 光束: 2980lm 消費電力: 22.4W 消費効率: 133lm/W</p>	

訂正事項	年月日	担当	訂正事項	年月日	担当	大和リース株式会社 新潟支店 一級建築士事務所 一級建築士事務所 新潟県知事登録 (字) 1688号	大和リース株式会社 一級建築士 第364478号 代表となる設計者 我妻 薫	大和リース株式会社 一級建築士 第319254号 その他の設計者 小川 勇一	工事名称 新潟市立上山中学校校舎増築工事	図面名称 盤図・照明器具姿図	縮尺 A1:1/75 A3:1/150	作成年月日 2021.03.15	図面番号 E-02	受領印
------	-----	----	------	-----	----	----------------------------------------------------------	----------------------------------------------	----------------------------------------------	-------------------------	-------------------	---------------------------	---------------------	--------------	-----



平面図 S=1/150

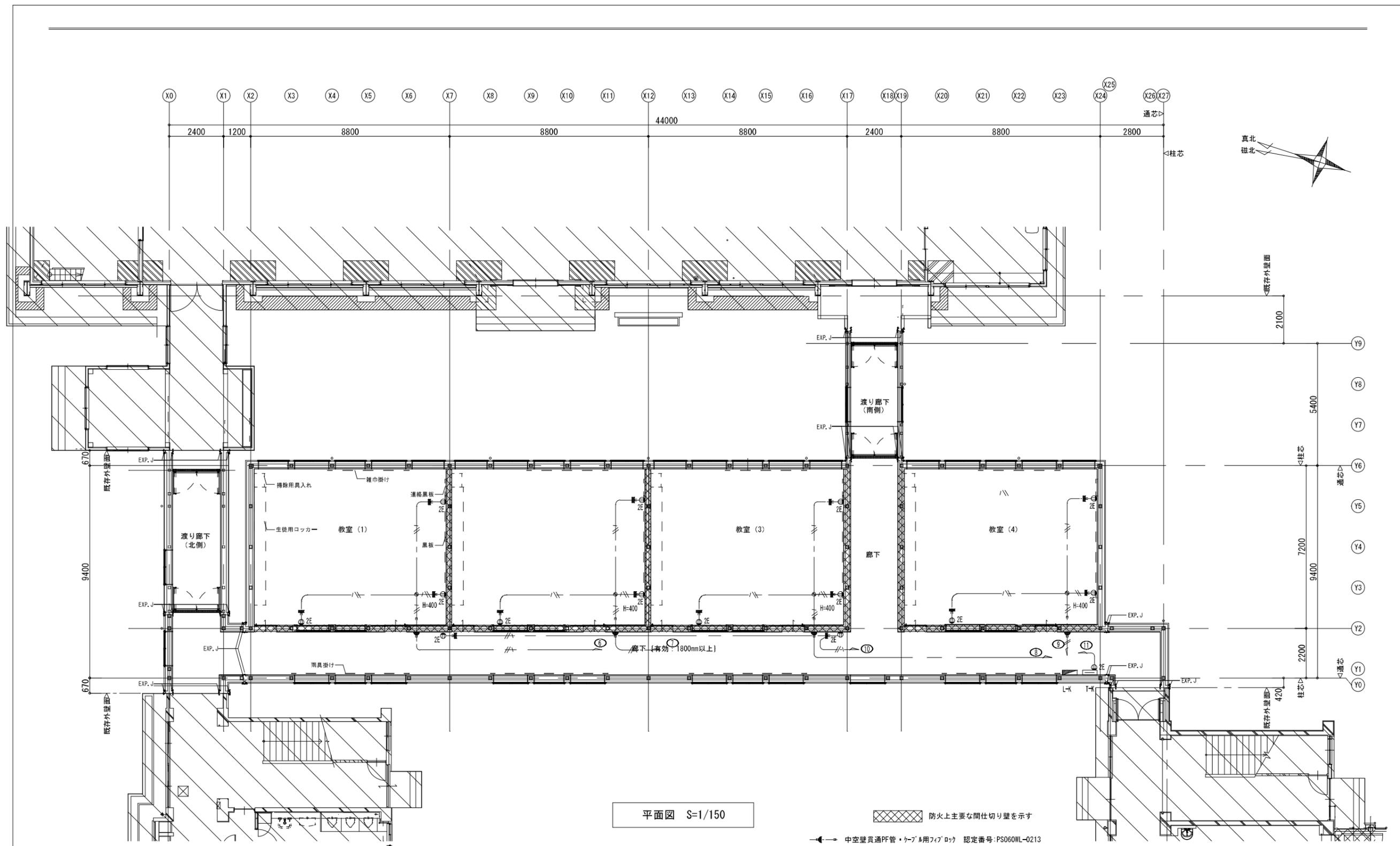
- 防火上主要な間仕切り壁を示す
- 中空壁貫通PF管・ケーブル用フック 認定番号:PS060WL-0213
- 中空壁貫通 金属BOX+PF管用フック 認定番号:PS060WL-0712



埋込開口補強図

訂正事項	年月日	担当	訂正事項	年月日	担当	大和リース株式会社	大和リース株式会社	工事名称	受領印
						大和リース株式会社 代表となる設計者 我妻 真	大和リース株式会社 代表となる設計者 我妻 真	新潟市立上山中学校校舎増築工事	年 月 日
						大和リース株式会社 一級建築士 第319254号 その他の設計者 小川 勇一	大和リース株式会社 一級建築士 第364478号 代表となる設計者 我妻 真	図面名称 幹線・空調設備図 縮尺 A1:1/75 A3:1/150	
								作成年月日 2021.03.15 図面番号 E-03	

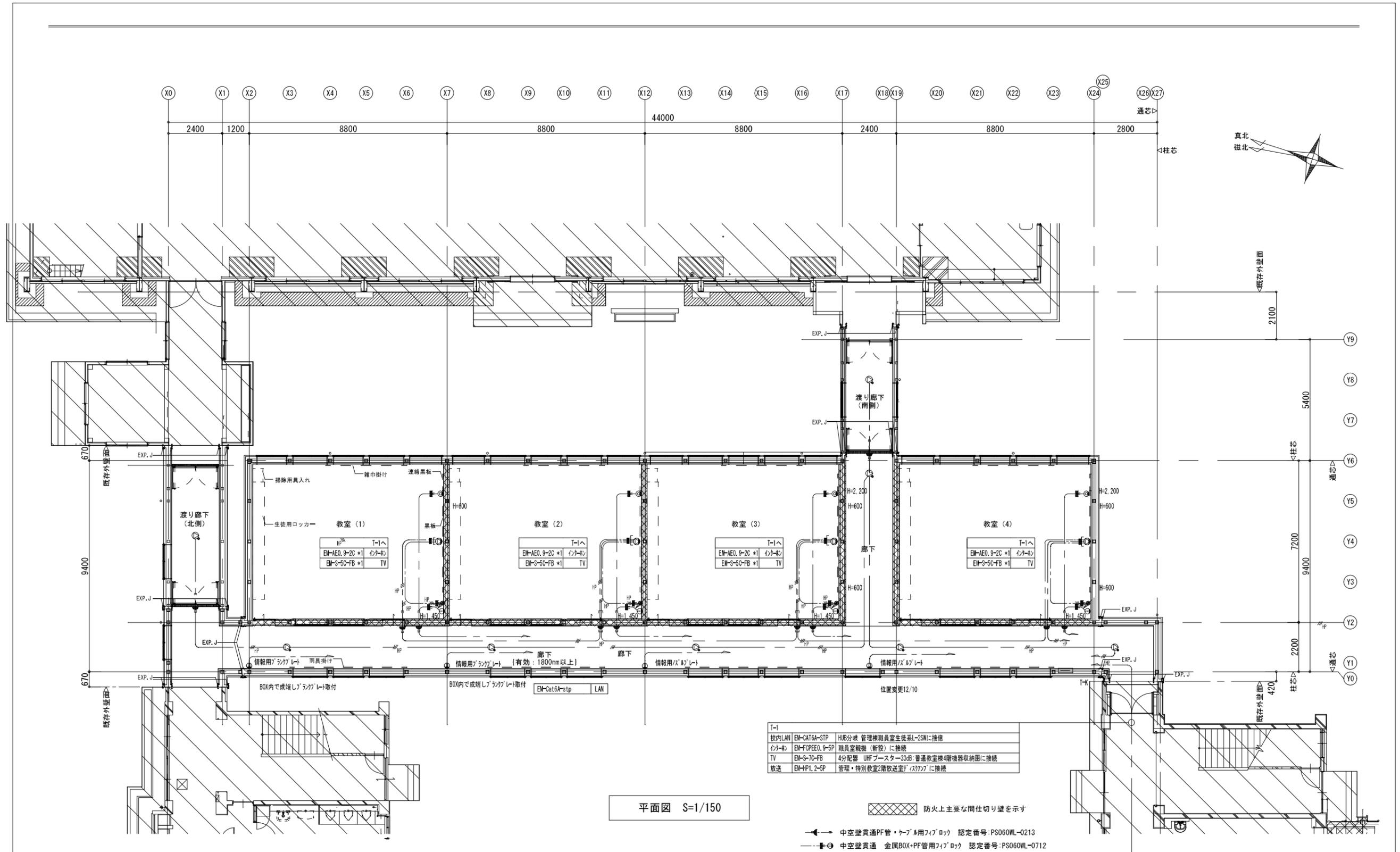




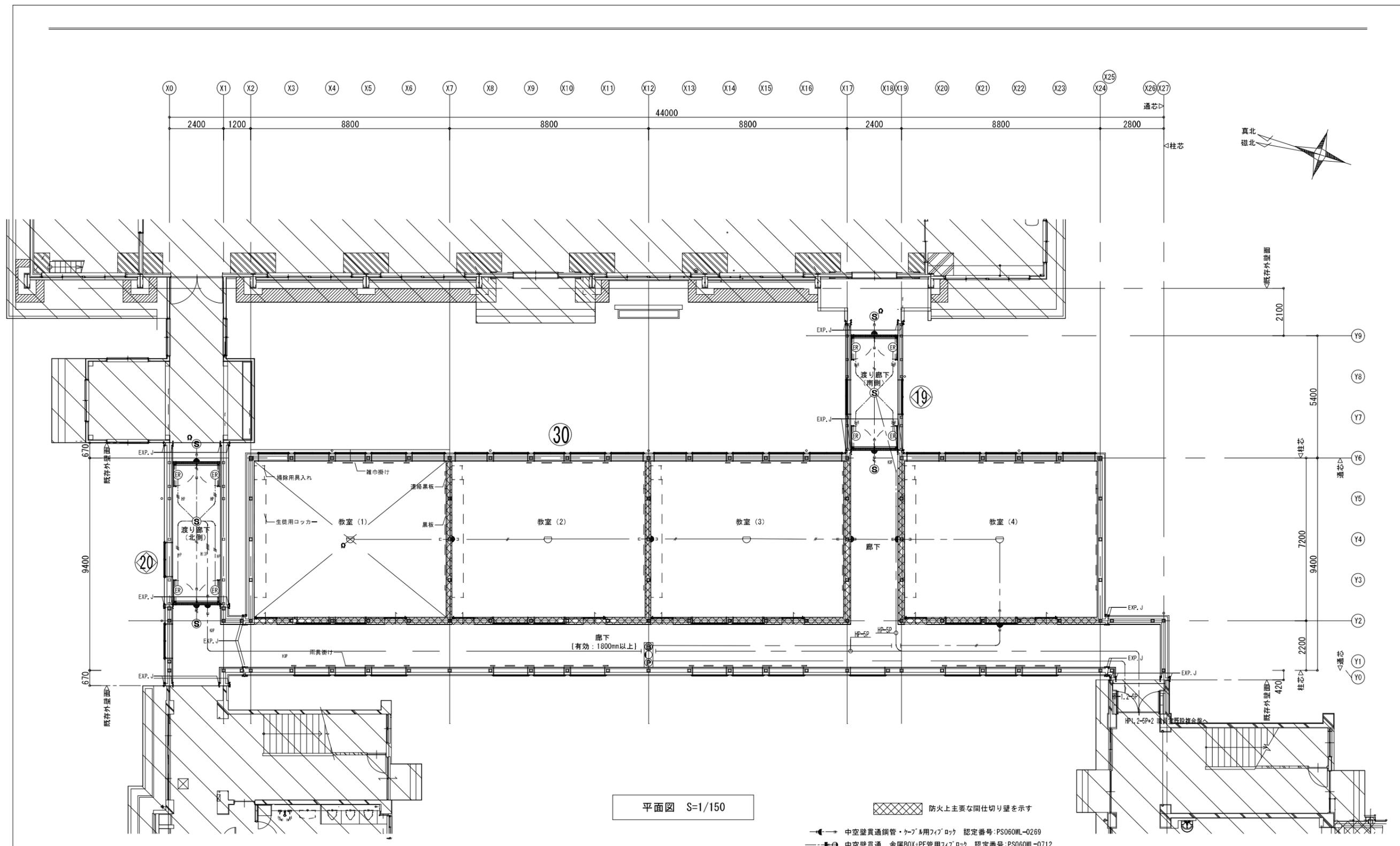
訂正事項	年月日	担当	訂正事項	年月日	担当

<b>大和リース株式会社</b> 新潟支店 一級建築士事務所 一級建築士事務所 新潟県知事登録 (特) 1668号		大和リース株式会社 一級建築士 第364476号 代表となる設計者 表裏 直	
大和リース株式会社 一級建築士 第319254号 その他の設計者 小川 秀一			

工事名称	新潟市立上山中学校校舎増築工事	受領印
図面名称	コンセント設備図	縮尺 A1:1/75 A3:1/150
作成年月日	2021.03.15	図面番号 E-05
依頼番号	70-NIG-0006	年月日

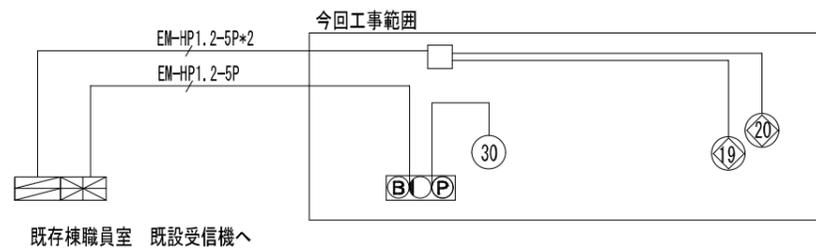


訂正事項	年月日	担当者	訂正事項	年月日	担当者	大和リース株式会社 新高安店 一級建築士事務所 一級建築士事務所 新潟県知事登録 (号) 1668号	大和リース株式会社 一級建築士 第364478号 代表となる設計者 表裏 兼	大和リース株式会社 一級建築士 第319254号 その他の設計者 小川 勇一	工事名称 新潟市立上山中学校校舎増築工事	図面名称 弱電設備図	縮尺 A1:1/75 A3:1/150	受領印
									作成年月日 2021.03.15	依頼番号 70-NIG-0006	図面番号 E-06	年月日



訂正事項	年月日	担当	訂正事項	年月日	担当	大和リース株式会社				工事名称	受領印		
						大和リース株式会社 一般建築士事務所 茨城県 茨城県 茨城県 代表となる設計者 代表者 代表者 大和リース株式会社 一般建築士事務所 茨城県 茨城県 茨城県 代表となる設計者 代表者 代表者				新潟市立上山中学校校舎増築工事	縮尺 A1:1/75	A3:1/150	年 月 日
						大和リース株式会社 一般建築士事務所 茨城県 茨城県 茨城県 代表となる設計者 代表者 代表者				自動火災報知設備図	図面番号 E-07		
										作成年月日 2021-03-15	依頼番号 70-NIG-0006	図面番号 E-07	年 月 日

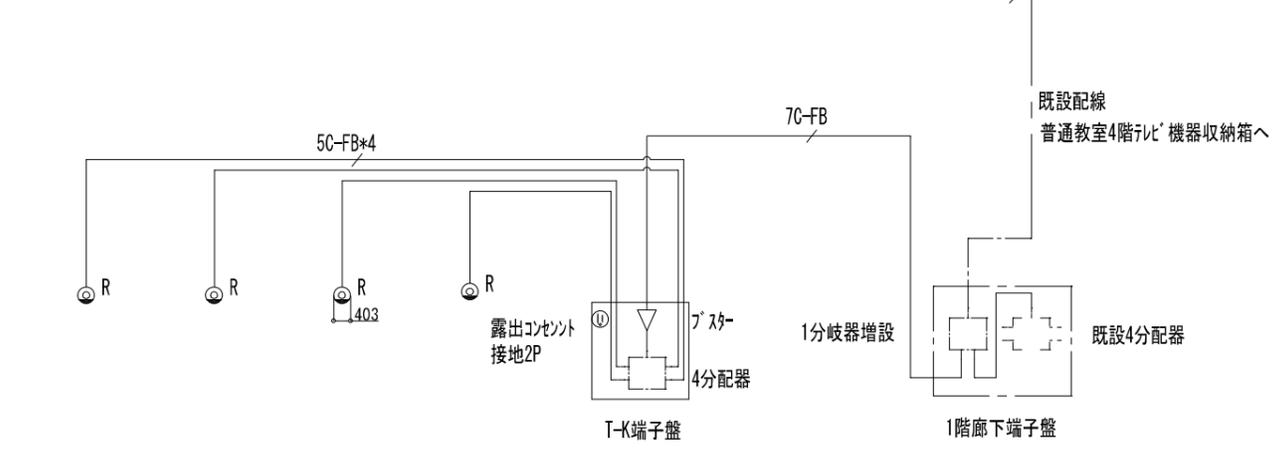
凡 例		
記 号	名 称	備 考
☒	受信機	既存受信機
ⓑⓐⓓ	総合盤	ⓑⓐⓓ 組込
ⓐ	発信機	P型 1級
ⓐ	表示灯	AC24V LED式
ⓑ	ベル	DC24V
ⓑ	差動式スポット型感知器	2種
ⓑ	光電式スポット型感知器	2種 天井ウラ取付
Ω	終端抵抗	
ⓓ	自火報警戒区域番号	平面区画
☒	防火戸制御盤	既存制御盤
ⓔⓓ	防火戸ロック	ラッチ式
ⓐ	煙感知器	3種
ⓓ	防火戸警戒区域	
注 記		
<ul style="list-style-type: none"> <li>地区ベル鳴動方式は一斉鳴動（逐次鳴動）方式とする。</li> <li>図中特記なき感知器の配管配線は下記とする。</li> </ul>		



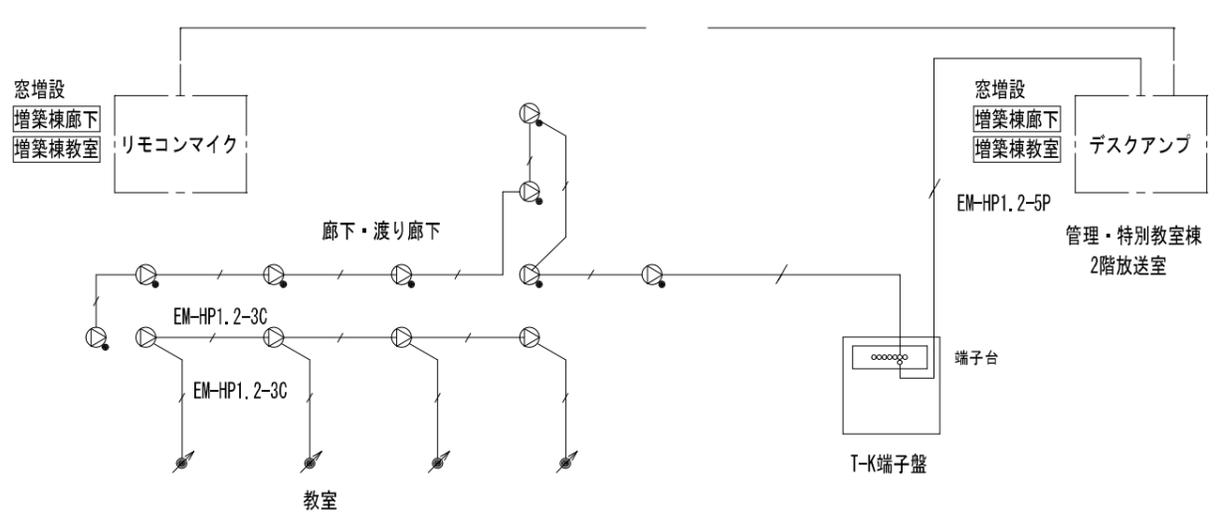
系統図

訂正事項	年月日	担当	訂正事項	年月日	担当	<b>大和リース株式会社</b> <small>新潟支店 一級建築士事務所</small> <small>一級建築士事務所 新潟県知事登録 (字) 1668号</small>	<small>大和リース株式会社</small> <small>一級建築士 第364478号</small> <small>代表となる設計者 我妻 薫</small>	<small>大和リース株式会社</small> <small>一級建築士 第319254号</small> <small>その他の設計者 小川 秀一</small>	工事名称	新潟市立上山中学校校舎増築工事	受領印				
									図面名称	自動火災報知設備仕様書・系統図	縮尺	A1:NS A3:NS			
									作成年月日	2021.03.15	図面番号	70-NIG-0006	図番	E-08	年月日

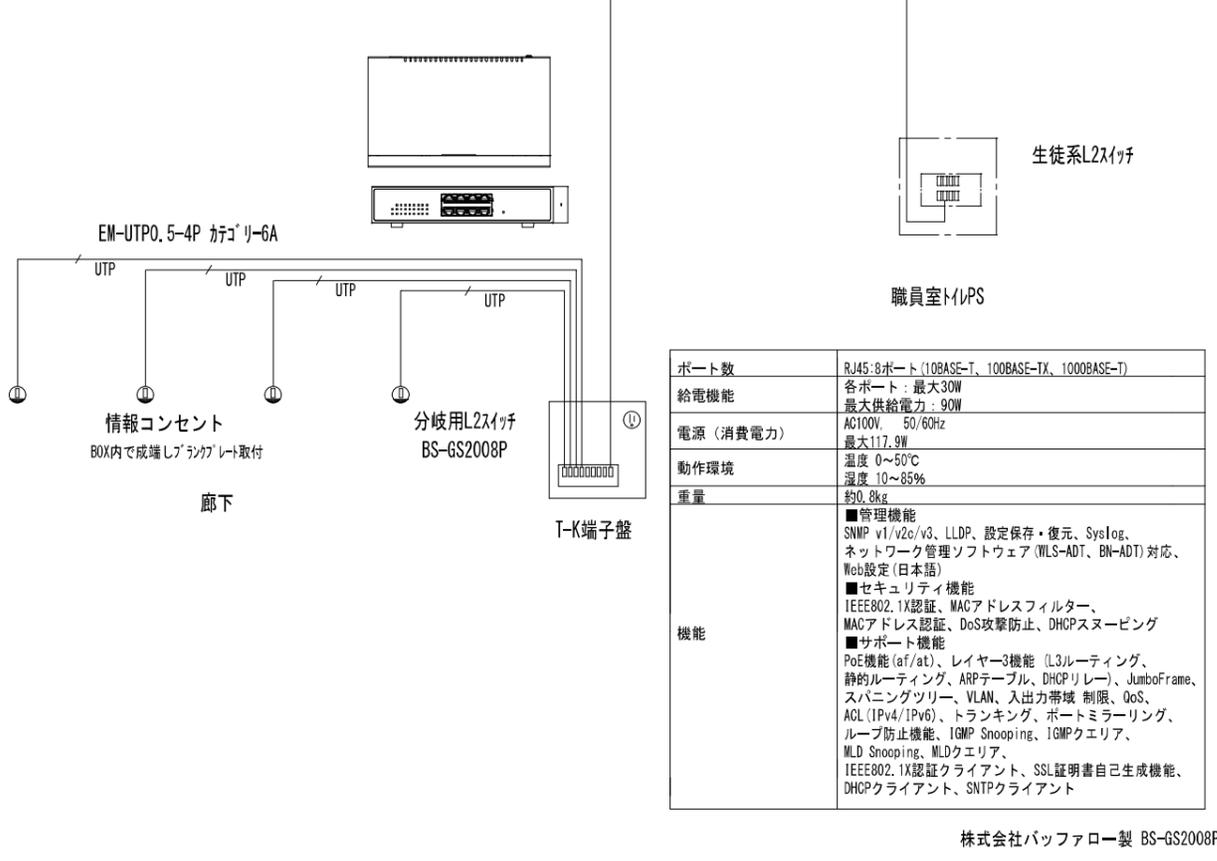
TV共同聴視設備系統図



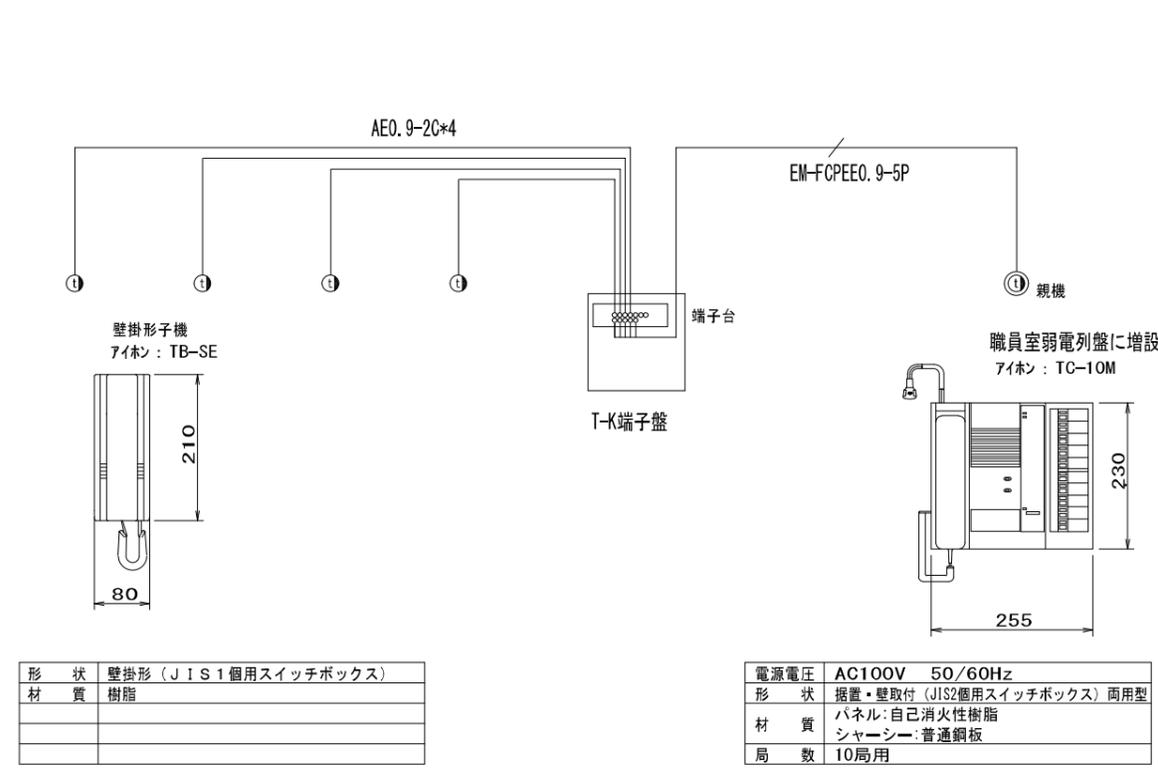
(非常) 放送設備



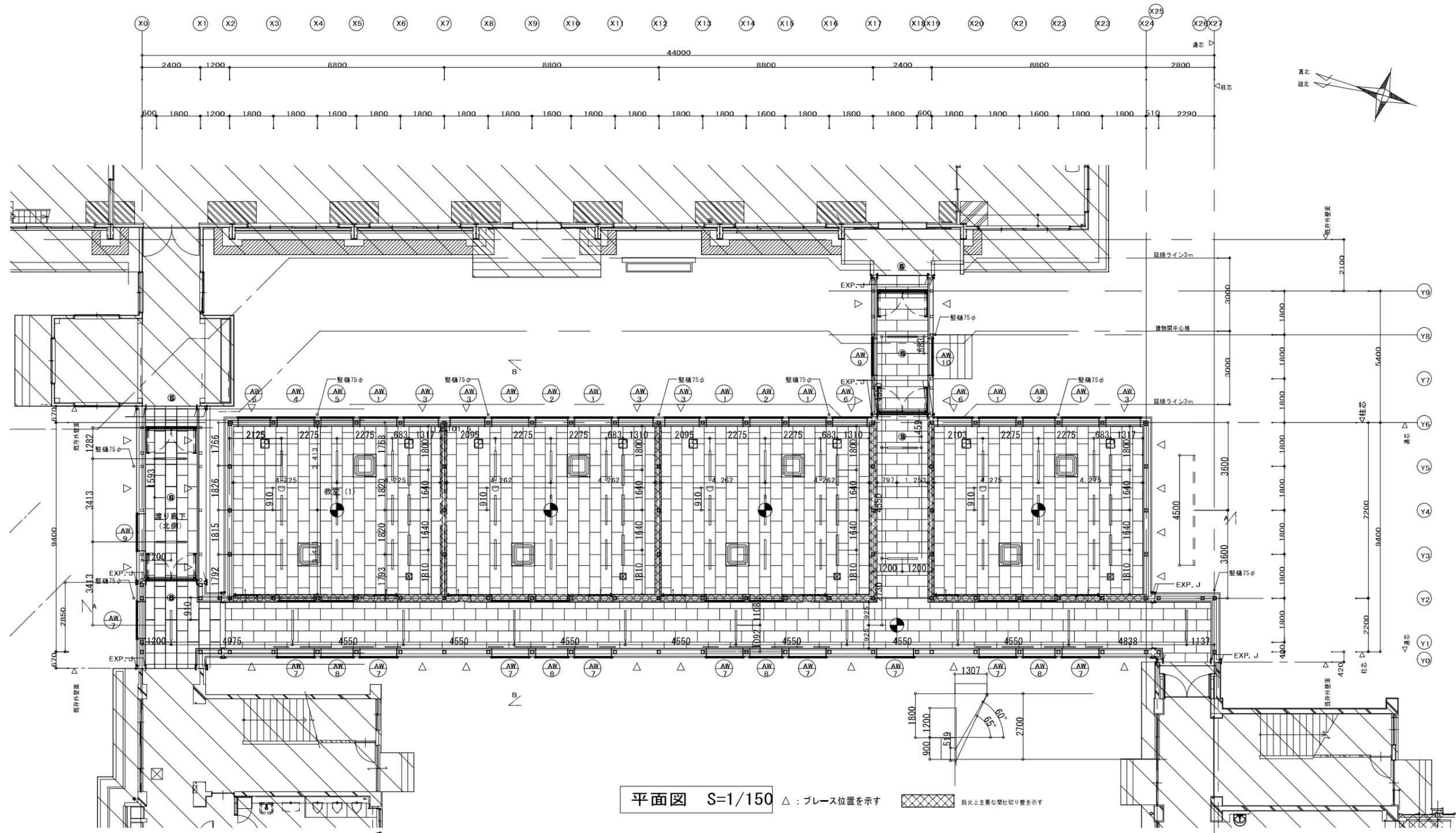
校内情報通信設備



インターホン設備

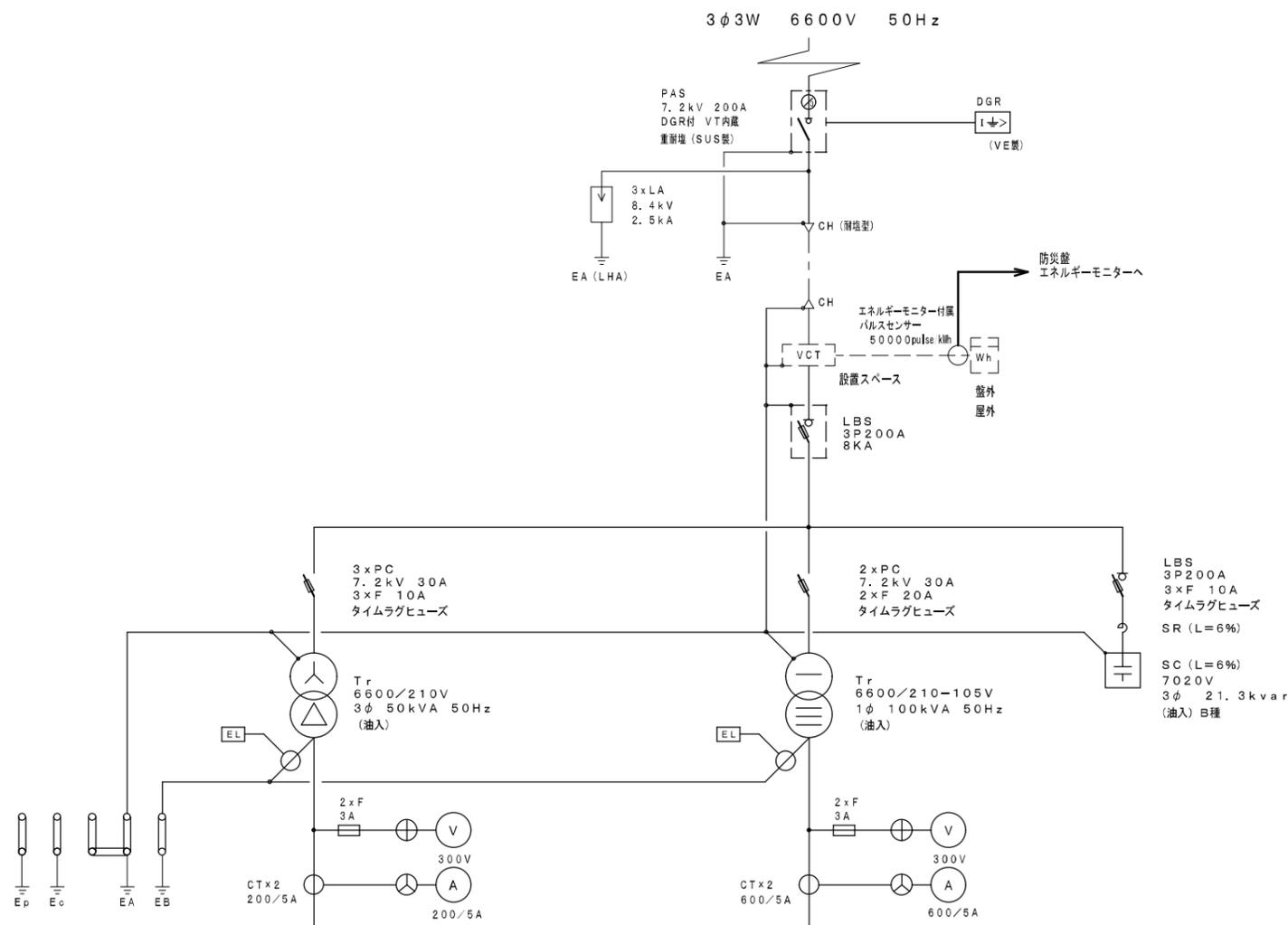


訂正事項	年月日	担当	訂正事項	年月日	担当	大和リース株式会社	大和リース株式会社	工事名称	新潟市立上山中学校校舎増築工事	受領印
						代表となる設計者 我妻 薫	代表となる設計者 我妻 薫	図面名称	弱電設備系統図	縮尺 A1: NS A3: NS
						大和リース株式会社	大和リース株式会社	作成年月日	2021.03.15	図面番号 E-09
						一級建築士事務所 新潟県知事登録 (字) 1668号	一級建築士事務所 新潟県知事登録 (字) 1668号	換版番号	70-NIG-0006	年月日



平面図 S=1/150 △ : プレース位置を示す XXXX 防火上主要な間仕切り壁を示す

訂正事項	年月日	担当	訂正事項	年月日	担当	<b>大和リース株式会社</b> 大和リース株式会社 一級建築士 第364478号 代表となる設計者 我妻 薫 大和リース株式会社 一級建築士 第319254号 その他の設計者 小川 秀一	工事名称 新潟市立上山中学校校舎増築工事 図面名称 照明・空調・換気設備天井伏図 作成年月日 2021-03-15 換機番号 70-NIG-0006 図面番号 E-10	縮尺 A1:1/75 A3:1/150 年 月 日



負荷名称	負荷容量 kW	配線用遮断器
P-2	0.4	MCCB 3P 50AF 20AT
S-1	2.2	MCCB 3P 50AF 30AT
給水ポンプ	11.0	MCCB 3P 100AF 75AT
消火栓ポンプ	5.5	MCCB 3P 100AF 75AT
プール・散水	11.0	MCCB 3P 100AF 75AT
KLP-1	21.7	MCCB 3P 225AF 125AT
LP-C	7.7	MCCB 3P 100AF 100AT
予備スペース		MCCB 3P 225AF
合計	51.8kW	

R2年度プレハブ増築工事でブレーカ増設  
MCCB 3P 100/30AT (別紙 校舎増築工事図面参照)

負荷名称	負荷容量 kVA	配線用遮断器
1L-1 (CR)	28.9	MCCB 3P 225AF 150AT
3L-1 (CR)	30.69	MCCB 3P 225AF 150AT
1L-2	37.66	MCCB 3P 225AF 150AT
2L-2、CPU分電盤	50.72	MCCB 3P 225AF 200AT
3L-2	29.51	MCCB 3P 225AF 150AT
1L-3 (躯体)	14.64	MCCB 3P 100AF 100AT
プール	1.0	MCCB 3P 50AF 20AT
KLP-1	7.8	MCCB 3P 50AF 50AT
武道場	6.1	MCCB 3P 50AF 50AT
受水槽室	0.5	MCCB 2P 50AF 20AT
予備		MCCB 3P 100AF 100AT
予備スペース		MCCB 3P 100AF
所内電源		MCCB 2P 50AF 20AT
合計	201.87kVA	

R2年度プレハブ増築工事でブレーカ増設  
MCCB 3P 100/75AT (別紙 校舎増築工事図面参照)

受変電設備仕様

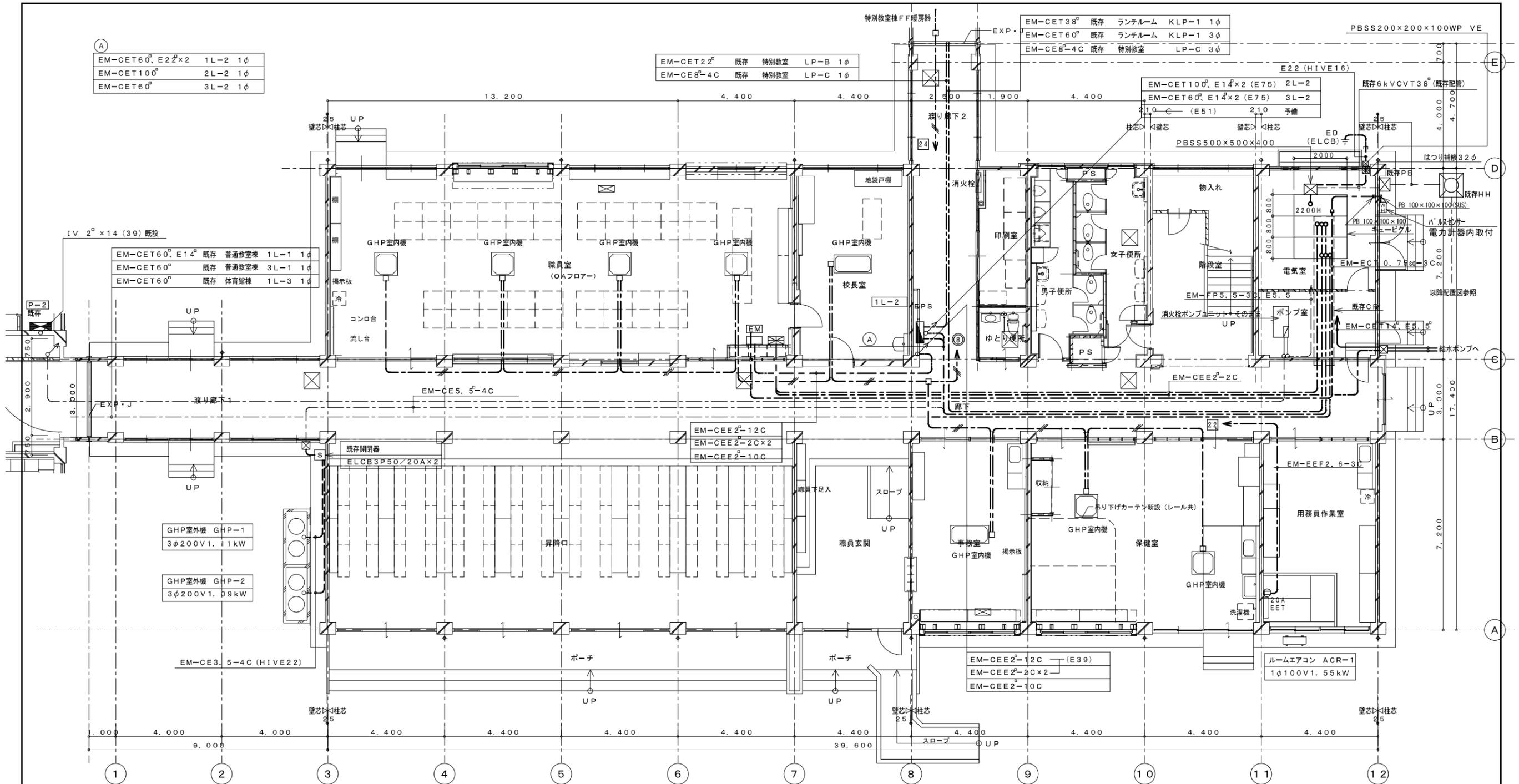
分類	摘要	備考	
受電方式	受電電圧	6kV	
	周波数	50Hz	
	制御方式	手動(直接)	
受電盤	配電盤形式	キュービクル式	屋内形
	主遮断装置	PFS	
	遮断器種類	LBS	
	定格遮断電流	8kA	
低圧	配電盤形式	キュービクル式	屋内形
	面数	2面	
配電器	相別	単相	三相
	電圧	200/100V	200V
	容量	100kVA	50kVA
	台数	1台	1台
	種別	油入形	油入形

・塗装はメーカー標準色とする。

故障表示項目

項目	配電盤		受信機
	表示ランプ	ブザー	
限流ヒューズ溶断	○		
地絡過電流警報器(EL)	○	○	○
高圧進相コンデンサ	○		
直列リアクトル(高圧進相コンデンサ用)	○		

- 注記
- 表示項目を各盤に表示すると共に外部警報端子(一括)を設ける。
  - ブザーは電子ブザーとし、自動停止回路を設ける。(動作時間:5分)
  - ドアスイッチ運動の照明器具を設置する。
  - JIS-C4620(キュービクル式高圧受電設備)に適合のこと。



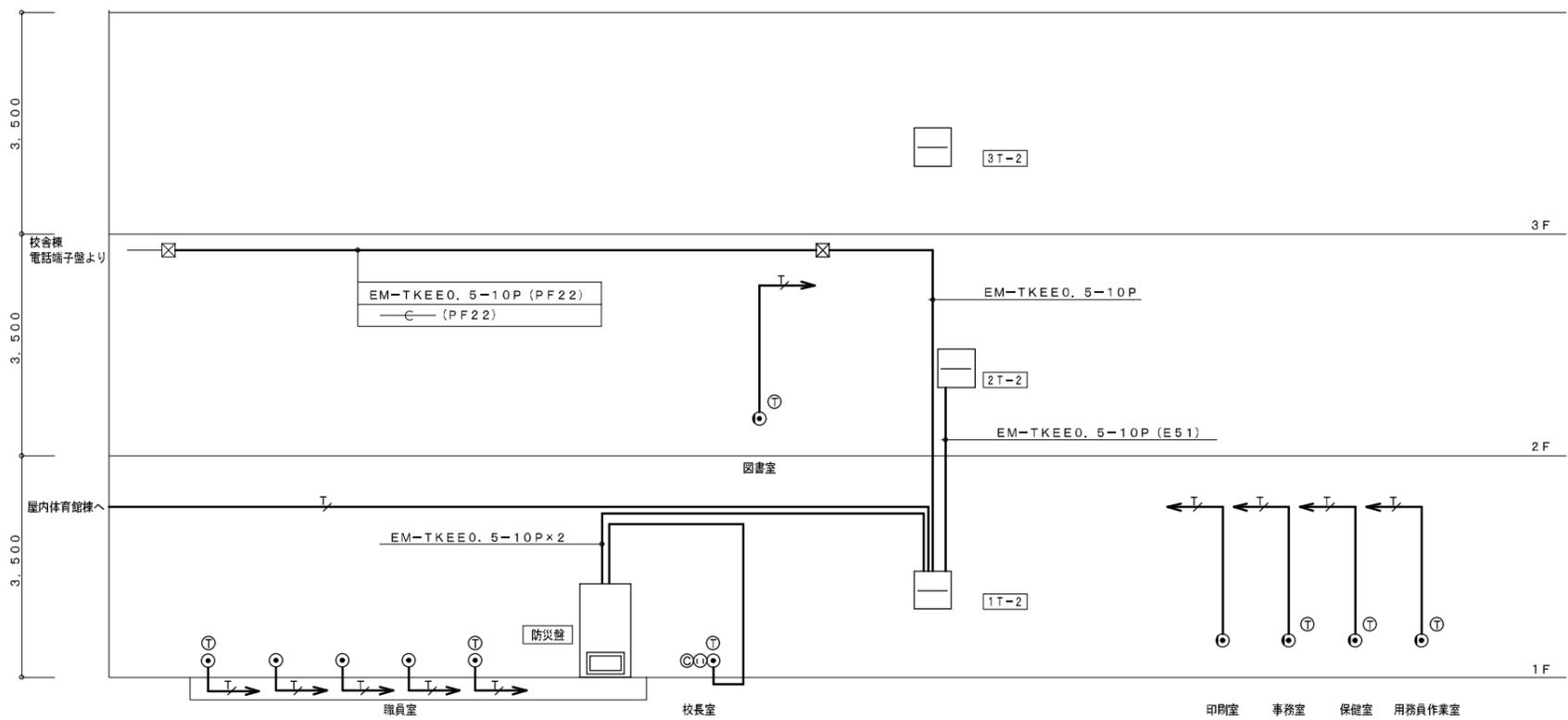
1階平面図 S=1/100

注記 (改修後)

- 図中特記なき配管配線は下記による。  
 EM-EEF2.0-3C コロガシ
- 図中シンボルは下記による。  
 □ アウトレットボックス 中深 樹脂製  
 [EM] 電力計測装置

電力計測装置

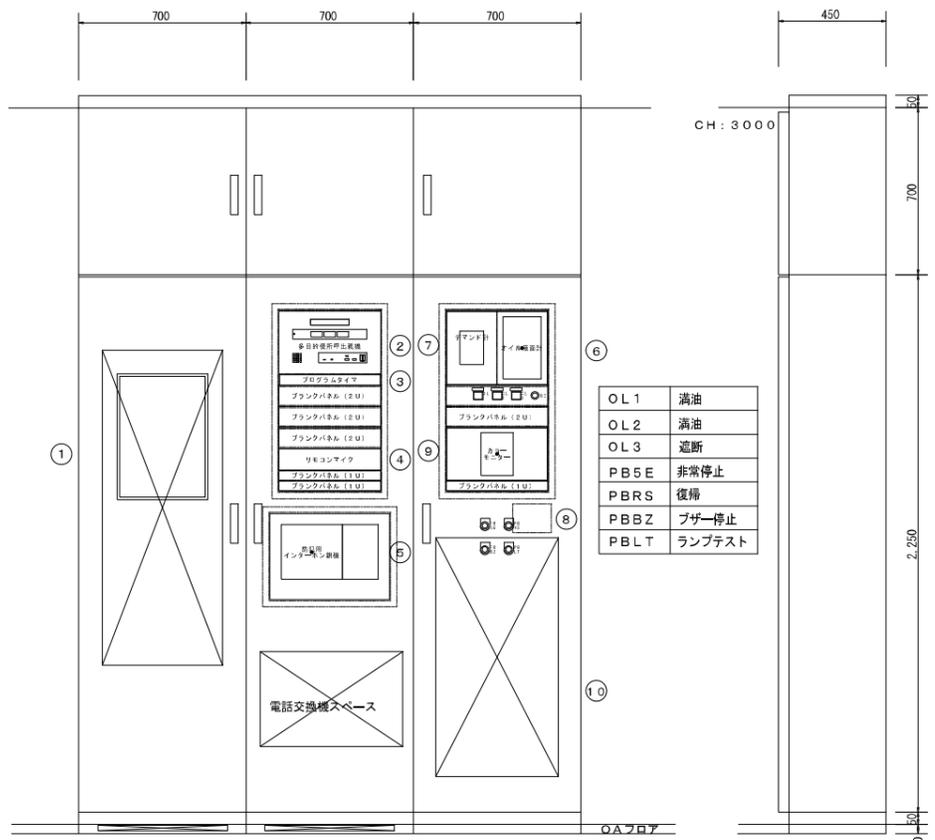
計測項目	電力
表示装置	防災盤表面に取付
その他	LAN接続が可能なこと



電話設備系統図 電話機器は既存品再取付とする

端子盤表

盤名称	仕様	電話	放送	テレビ	情報	インターホン	電源	スペース
1T-2	鋼板製 埋込型	20P	20P	CS-D4	食券用HUBSP	10P	露出コンセント 2P15A×2	20P
2T-2	鋼板製 埋込型	20P	30P	CS-C4		10P	露出コンセント 2P15A	20P
2T-3	鋼板製 埋込型		400W×300H ×120D 下部ケーブル引出孔					
3T-2	鋼板製 埋込型		10P	U-35dB CS-C2			露出コンセント 2P15A	20P



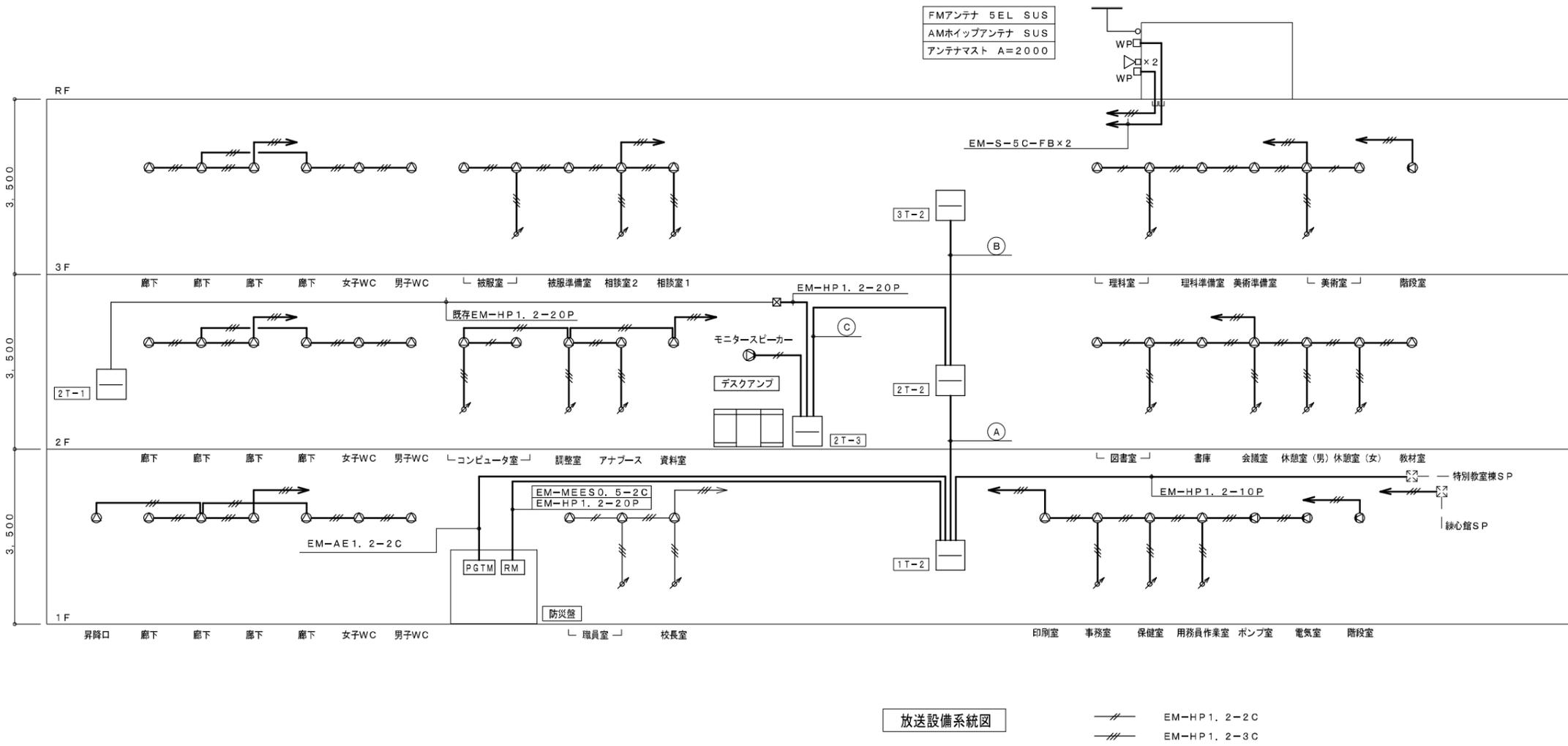
OL1	満油
OL2	満油
OL3	遮断
PB5E	非常停止
PBR5	復帰
PBBZ	プザー停止
PBLT	ランプテスト

- ① 自動火災報知受信機
- ② 多目的便所呼出機
- ③ プログラムタイマー 既存品
- ④ リモコンマイク
- ⑤ 防犯用インターホン親機
- ⑥ オイル液面計
- ⑦ デマンド計
- ⑧ 電気錠コントローラー
- ⑨ カラーモニター
- ⑩ 木板

防災盤参考図

正面図

側面図



FMアンテナ 5EL SUS  
AMホイップアンテナ SUS  
アンテナマスト A=2000

(A)

EM-HP1. 2-10P	(E51)	放送
EM-HP1. 2-20P		リモコンマイク
EM-MEES0. 5-2C	(E51)	チャイム出力
EM-AE1. 2-2C		チャイム制御
EM-S-5C-FB×2		ラジコン

(B)

EM-HP1. 2-10P	(E51)	放送
EM-S-5C-FB×2		AM・FM

(C)

EM-HP1. 2-30P		放送
EM-HP1. 2-20P		リモコンマイク
EM-MEES0. 5-2C		チャイム出力
EM-AE1. 2-2C		チャイム制御
EM-S-5C-FB×2		AM・FM

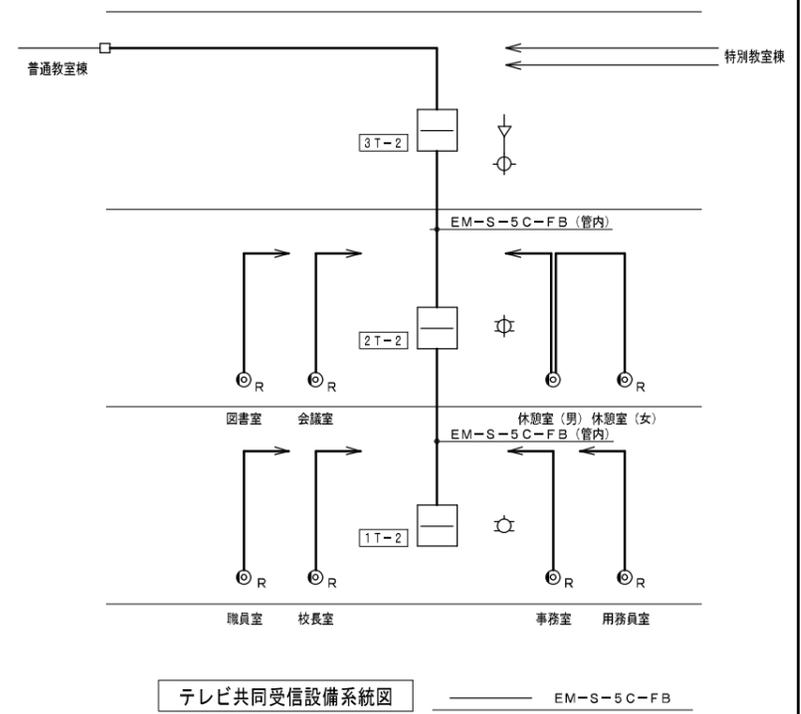
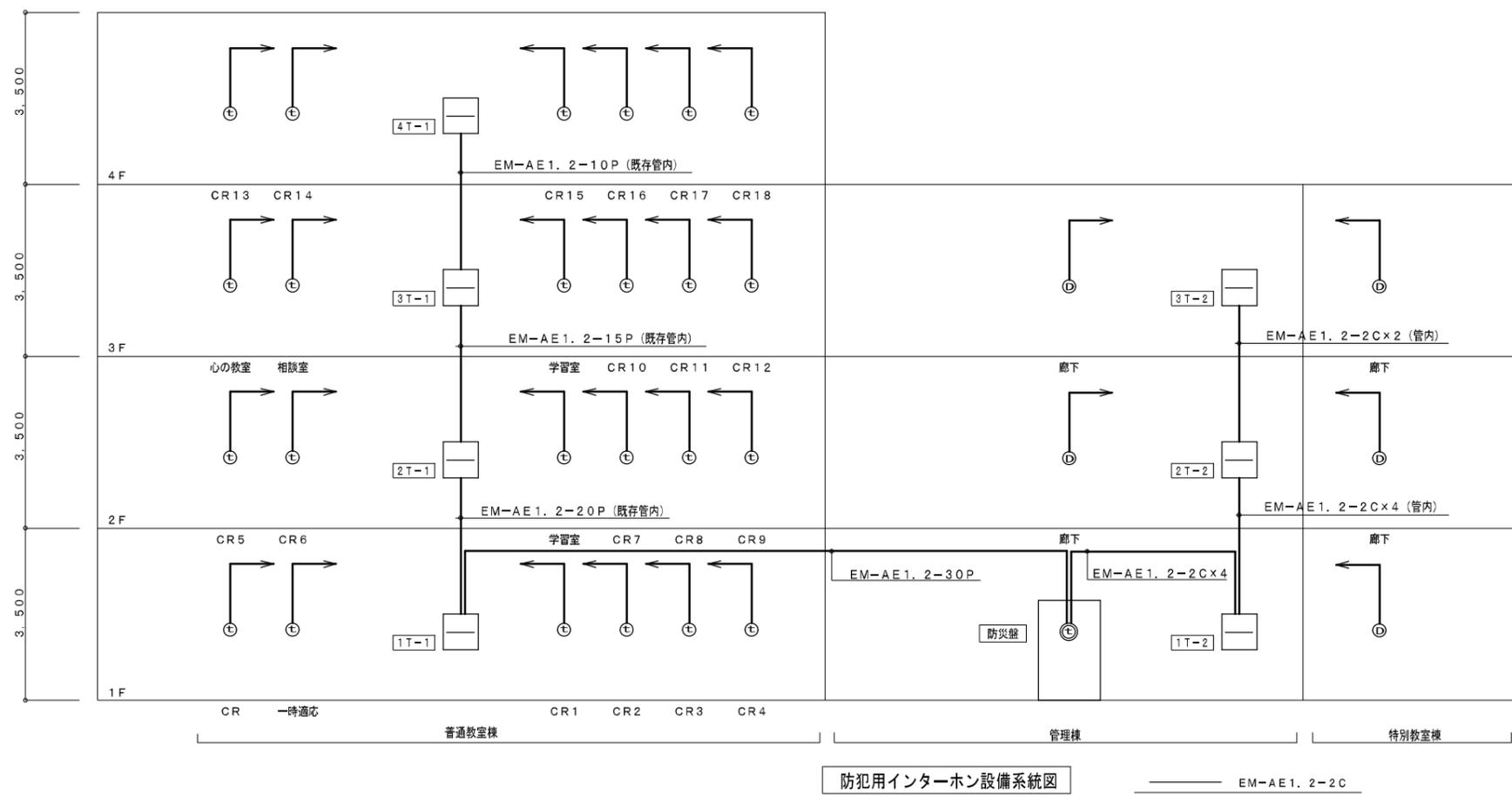
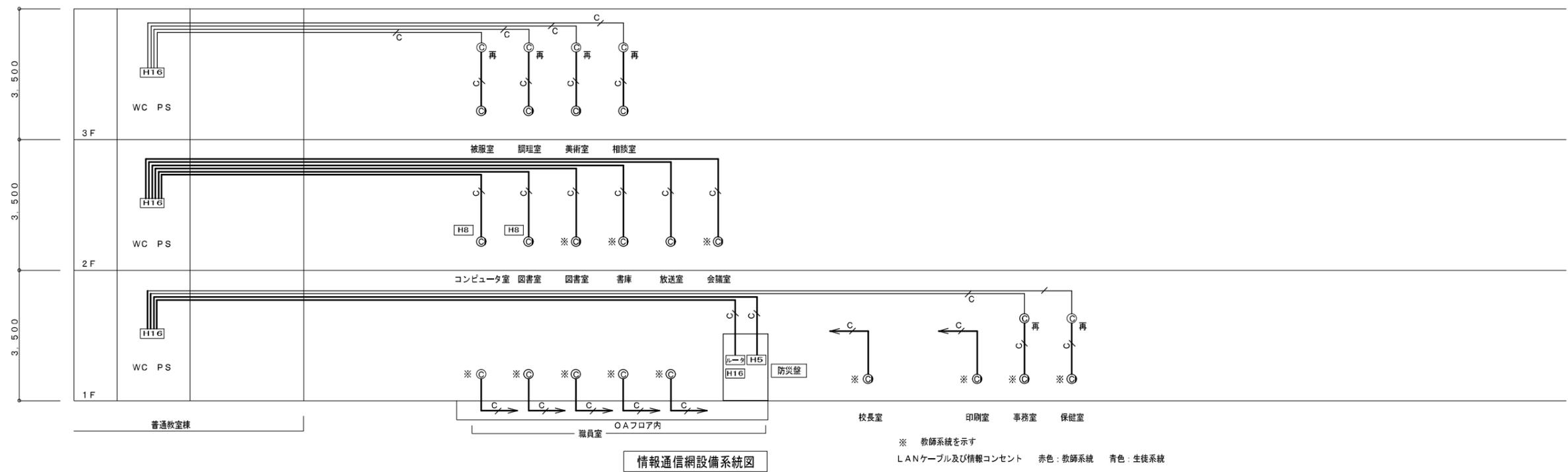
放送設備系統図

—— EM-HP1. 2-2C  
—— EM-HP1. 2-3C

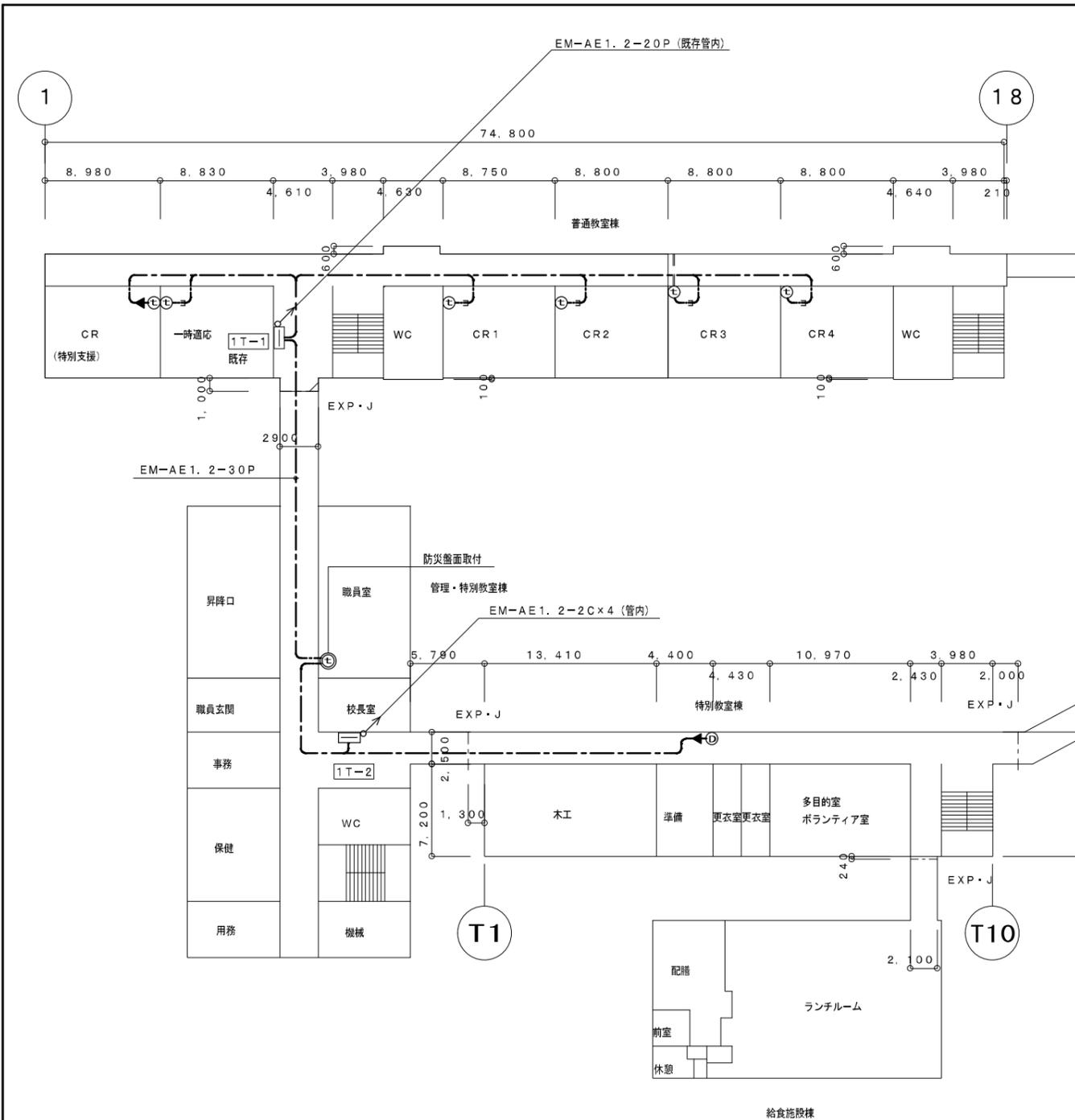
調整卓 (デスクアンプ)

地震速報対応型 (地震速報第1優先、チャイム消音とする。) 停電時リモコンマイクが使用可能なシステムとする。

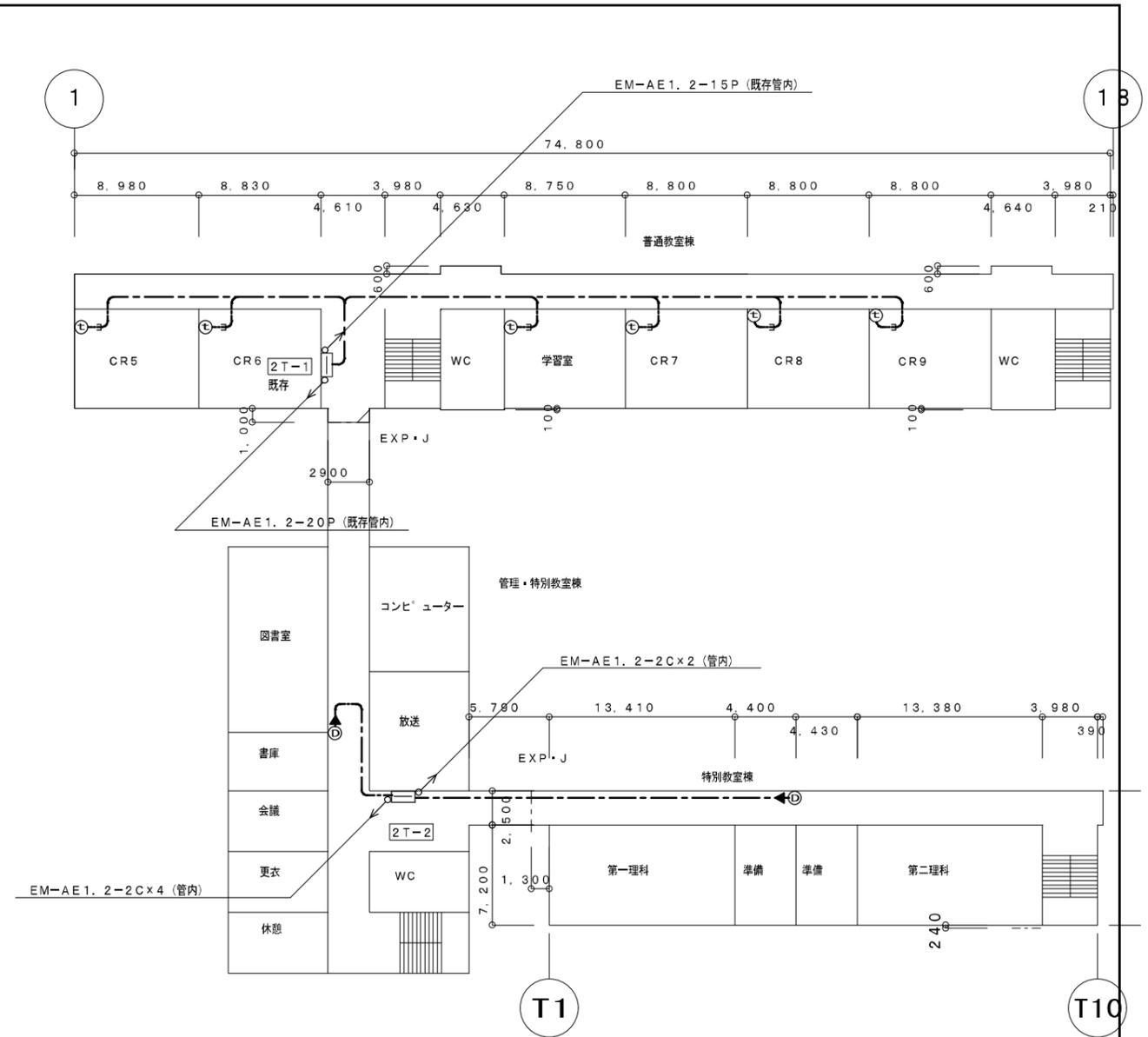
機器名称	JVCケンウッド	
電力増幅器	600W	EM-A364・EM-A244
主電源ユニット		EM-P11
リモコンリレーボックス		PAM-112内蔵
同上電源ユニット		——
出力制御ユニット	増設	PAM-112内蔵
緊急放送1/F		PAM-112内蔵
バッテリー装置		EM-N112×2+NB-60×3
操作卓		PAM-112
ラジチューナーユニット		PA-F2-G
袖卓		PAM-100C ×2
カセットデッキ		2Q2MK5
DVDプレーヤー		XV-P390







1階平面図 S=1/300



2階平面図 S=1/300

注記(改修後)

1. 図中特記なき配管配線は下記による。

--- EM-AE1.2-2C コロガシ

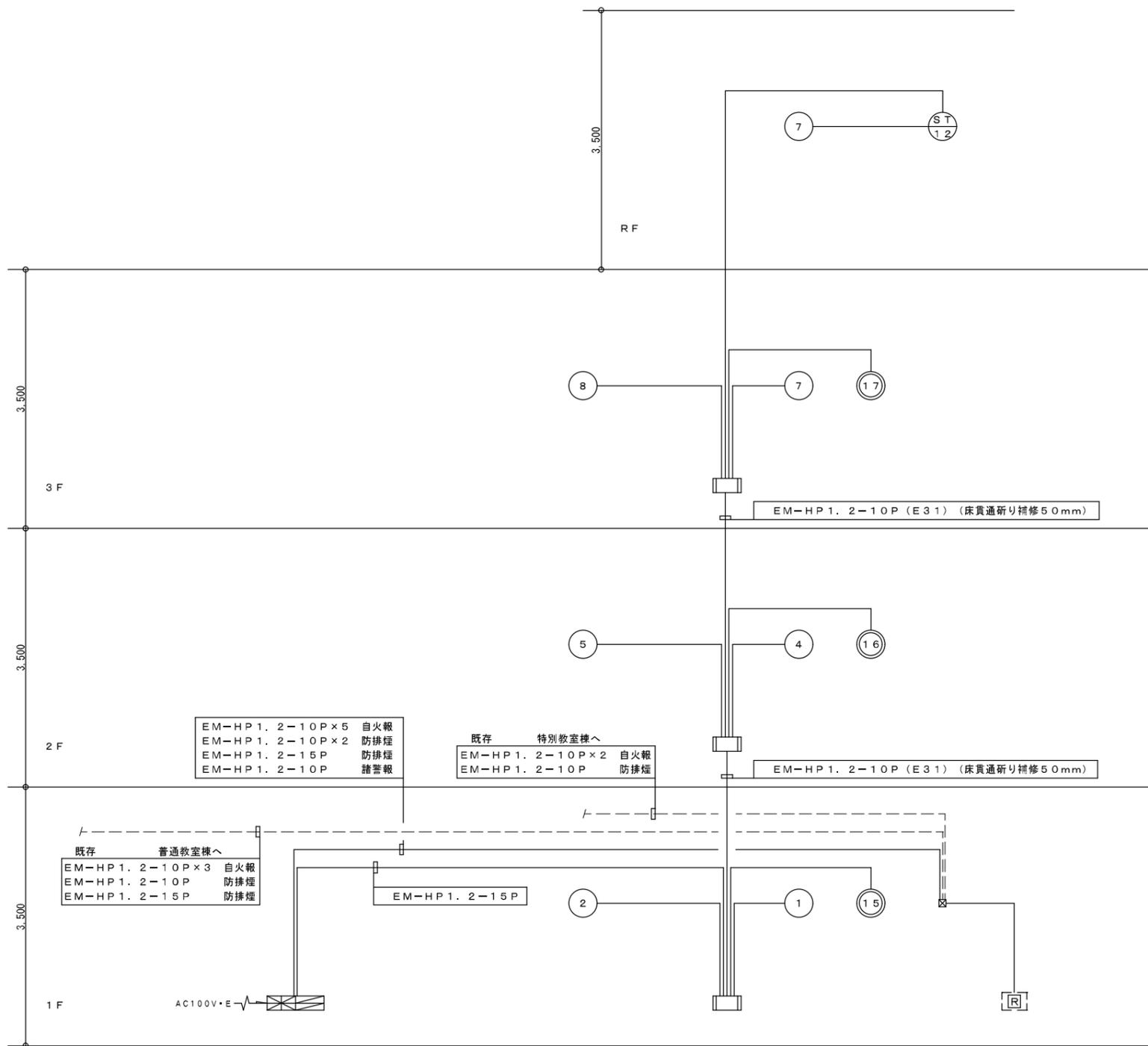
← ケーブル立下部MM1A保護

-c- ケーブル立下部既存PF管保護
2. 図中シンボルは下記による。

Ⓢ 親子式インターホン 親機 壁掛型 10局 増設選局機 20局 ドアホンアダプター10局用

Ⓣ 親子式インターホン 子機 壁掛型

Ⓧ 親子式インターホン ドアホン子機



配線系統図

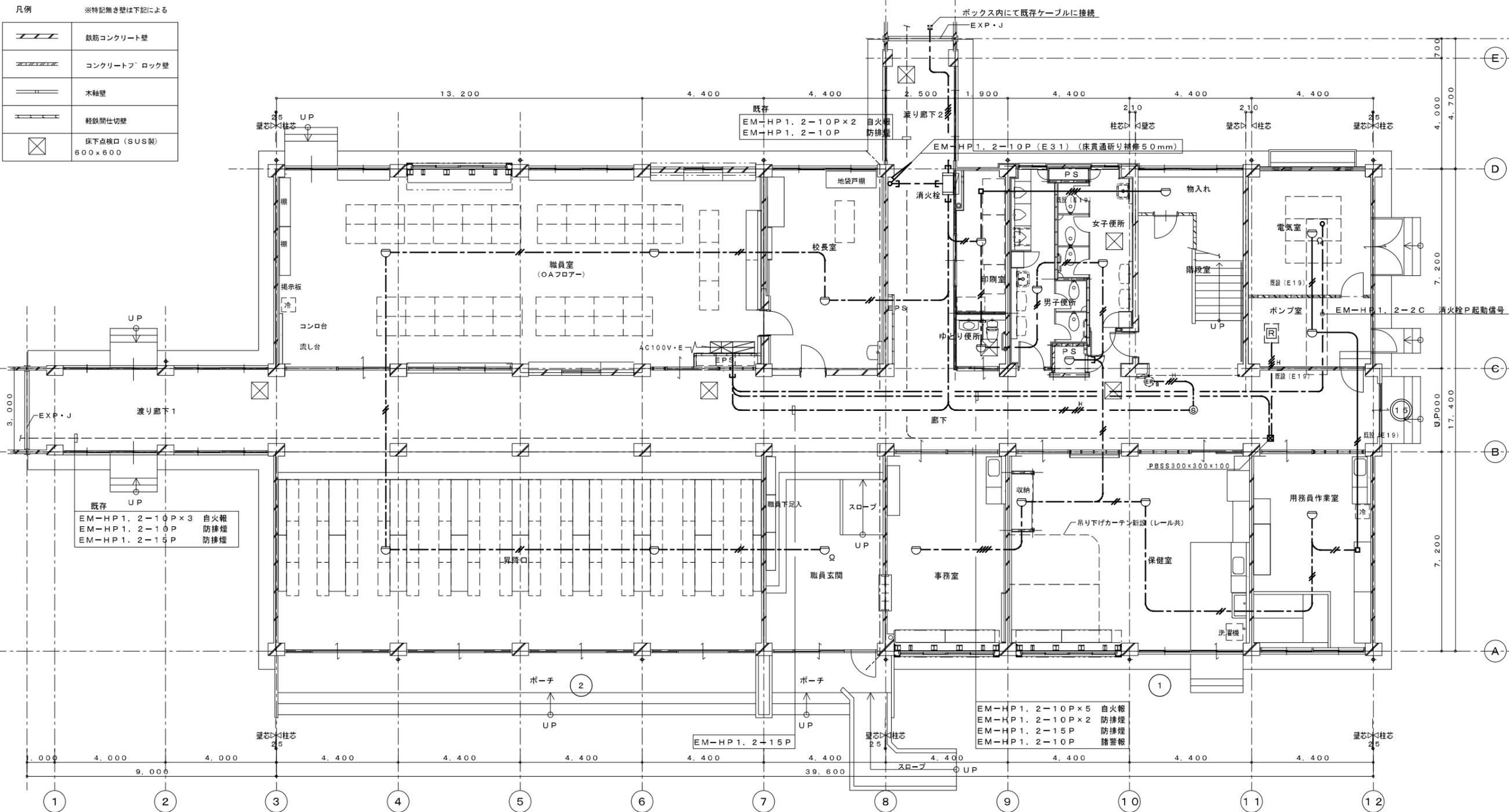
記号	名称	摘要
	複合盤	註記参照
	機器収容箱	①②内蔵 消火栓組込型
Ⓟ	発信機	P型1級
Ⓛ	表示灯	AC24V LED
Ⓢ	電鈴	DC24V
Ⓢ	差動式スポット型感知器	2種
Ⓢ	定温式スポット型感知器	防水型 1種
Ⓢ	定温式スポット型感知器	防爆型 1種
Ⓢ	光電式スポット型感知器	非蓄積型 2種
Ω	終端器	
Ⓢ	光電式スポット型感知器	非蓄積型 3種
Ⓢ	自動閉鎖装置	防火シャッター 別途建築工事
	消火栓起動用リレー	
---	警戒区域線	
○ <sub>NO</sub>	警戒区域番号	自火報
⊙ <sub>NO</sub>	制御番号	防排煙

註記

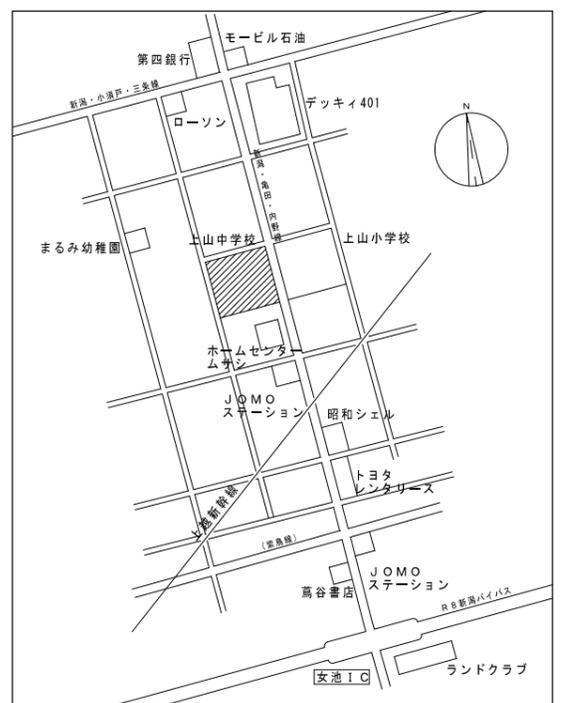
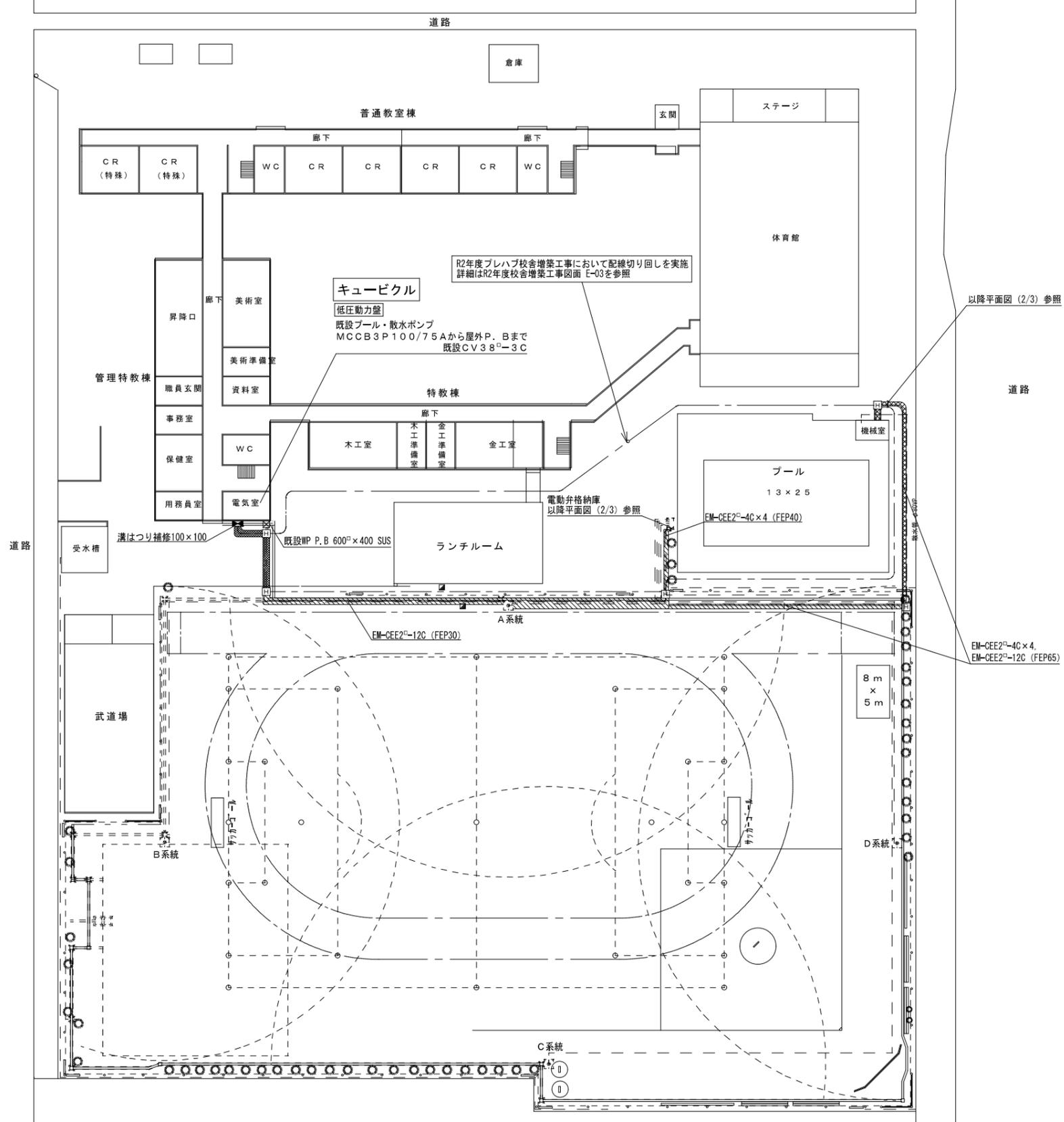
- 1 図中点線は、既設を示す。
- 2 特記なき配線は、下記による。  
 ---//--- EM-AE0. 9-2C (ころがし) 保護管 (E19)  
 ---//--- EM-AE0. 9-4C (ころがし) 保護管 (E19)  
 ---//<sup>H</sup>--- EM-HP1. 2-3C (ころがし) 保護管 (E19)  
 ---//<sup>H</sup>--- EM-AE0. 9-2C+HP1. 2-3C (ころがし) 保護管 (E25)  
 ---[ ]--- 防火区画処理部分
- 3 壁、床等の防火区画貫通部分は防火区画処理 (金属管用) を施す。
- 4 複合盤の仕様及び表示内容は、下記による。  
 P型1級60回線 壁掛型 蓄積型 窓式  
 自火報 27回線  
 防排煙 18回線  
 諸警報 7回線  
 予備 8回線  
 合計 60回線

凡例 ※特記無き壁は下記による

	鉄筋コンクリート壁
	コンクリートブロック壁
	木軸壁
	軽鉄間仕切壁
	床下点検口 (SUS製) 600×600



1階平面図 S=1/100



案内図

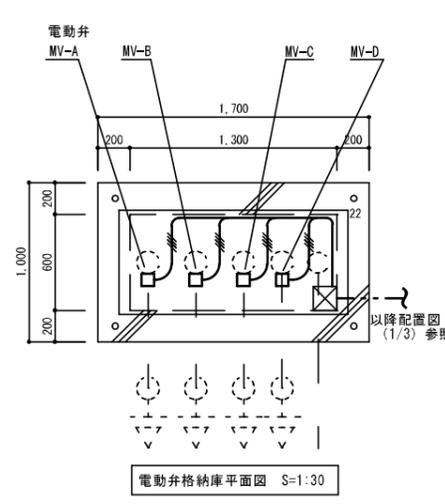
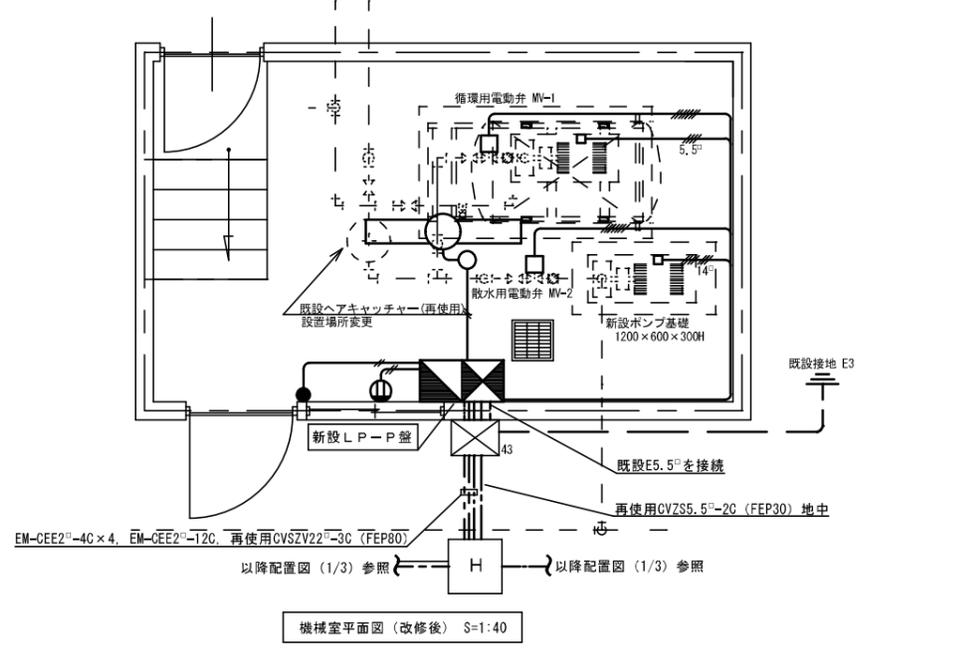
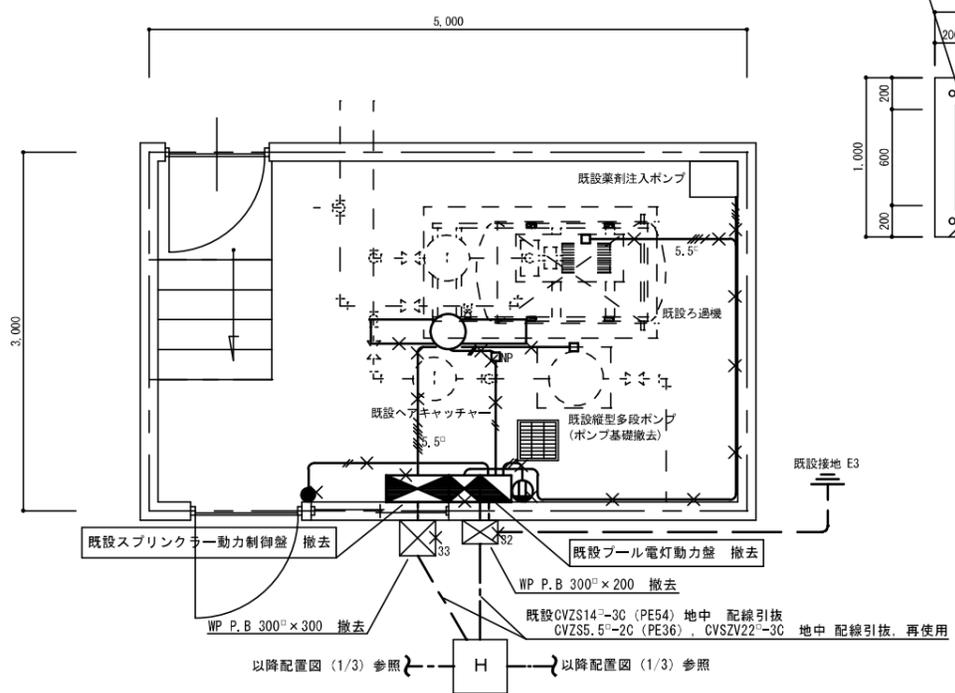
・作業工程について、関連する別途工事の関係機関とよく協議したうえで作業すること。  
 ・その他設計図書に記載無き事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）平成16年版並びに係員との打ち合わせによる。

幹線・動力設備凡例

記号	名称	摘要	備考
☒	遠方操作盤	図面 (3/3) 参照	
⊗	根切埋戻し部	埋設深さは600mm以上	
⊘	根切埋戻し共用部	機械設備工事に含む	別途機械設備工事
⊞	アスファルトカット、復旧	埋設深さは舗装下面から600mm以上	
■	既設地中線埋設標	コンクリート製	
▣	地中線埋設標	コンクリート製	
□	既設ハンドホール	450 <sup>□</sup> ×600 (中耐防水蓋)	
□	ハンドホール	H1-6+R2K-60	
○	散水ノズル		別途機械設備工事

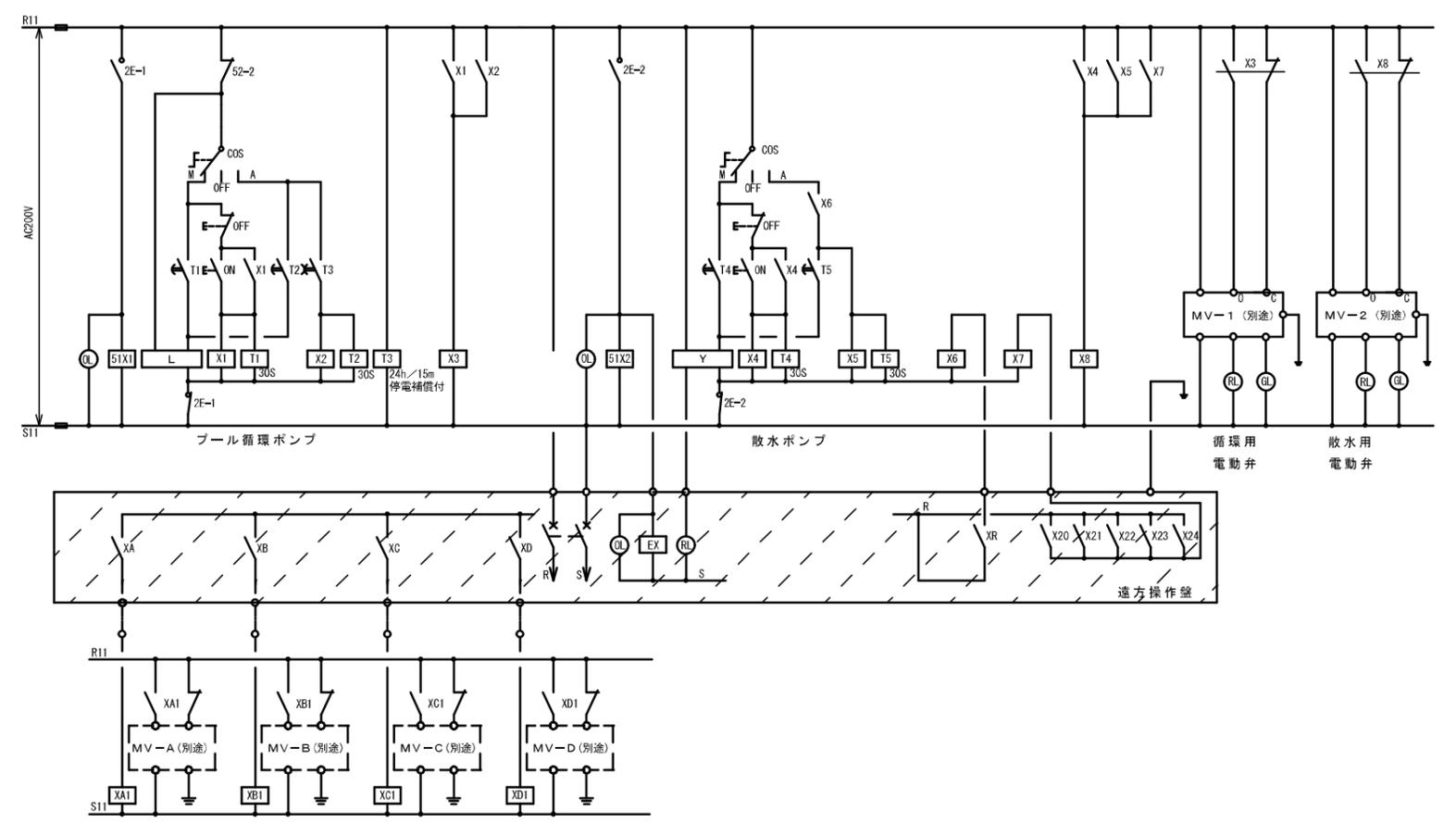
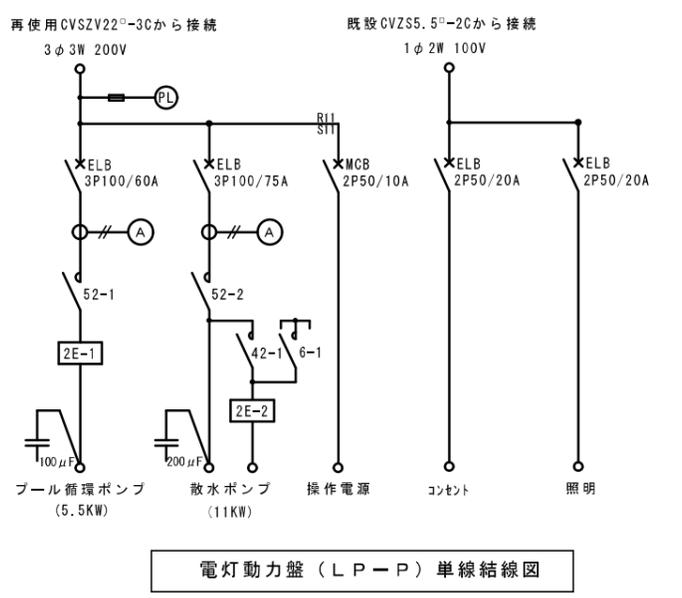
注記

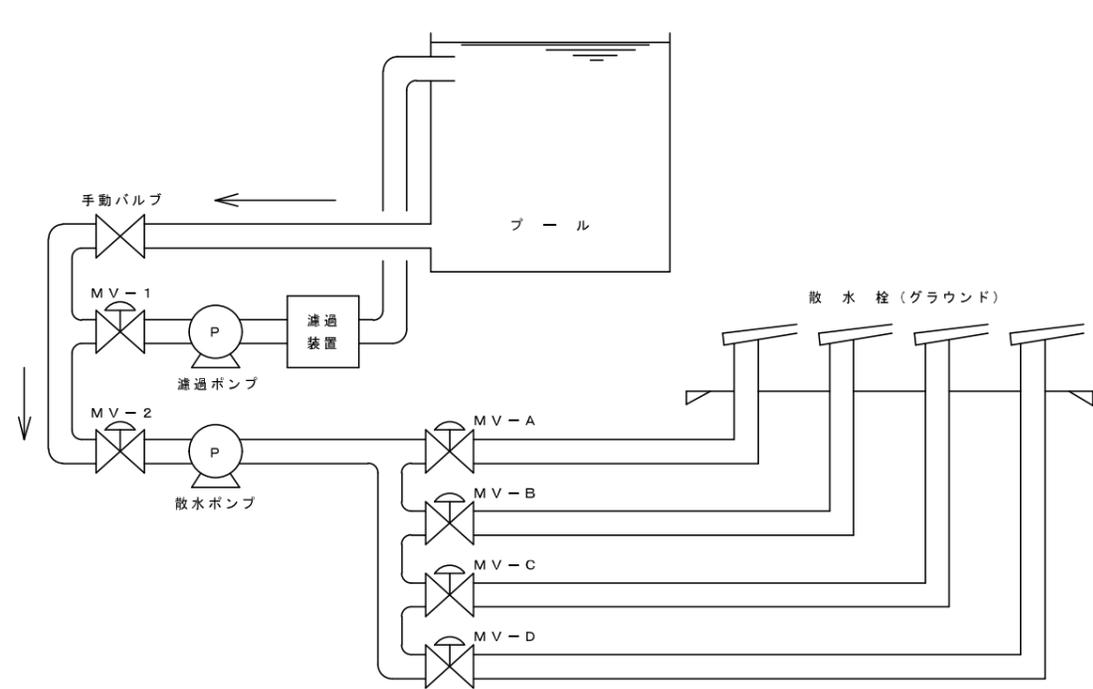
- 特記なき配管配線は、下記による。
  - 既設CVZS14<sup>□</sup>-3C (PE54), CVZS5.5<sup>□</sup>-2C (PE36) 地中そのまま
  - 既設CVSZV22<sup>□</sup>-3C 地中そのまま
  - EM-CEE2<sup>□</sup>-12C (FEP30) 地中
  - EM-CEE2<sup>□</sup>-4C×4 (FEP40) 地中
  - EM-CEE2<sup>□</sup>-12C, EM-CEE2<sup>□</sup>-4C×4 (FEP65) 地中
  - - - 新規散水管 (別途機械設備工事)
  - - - - 新規雨水貯留槽関係 (別途雨水貯留施設設置工事)



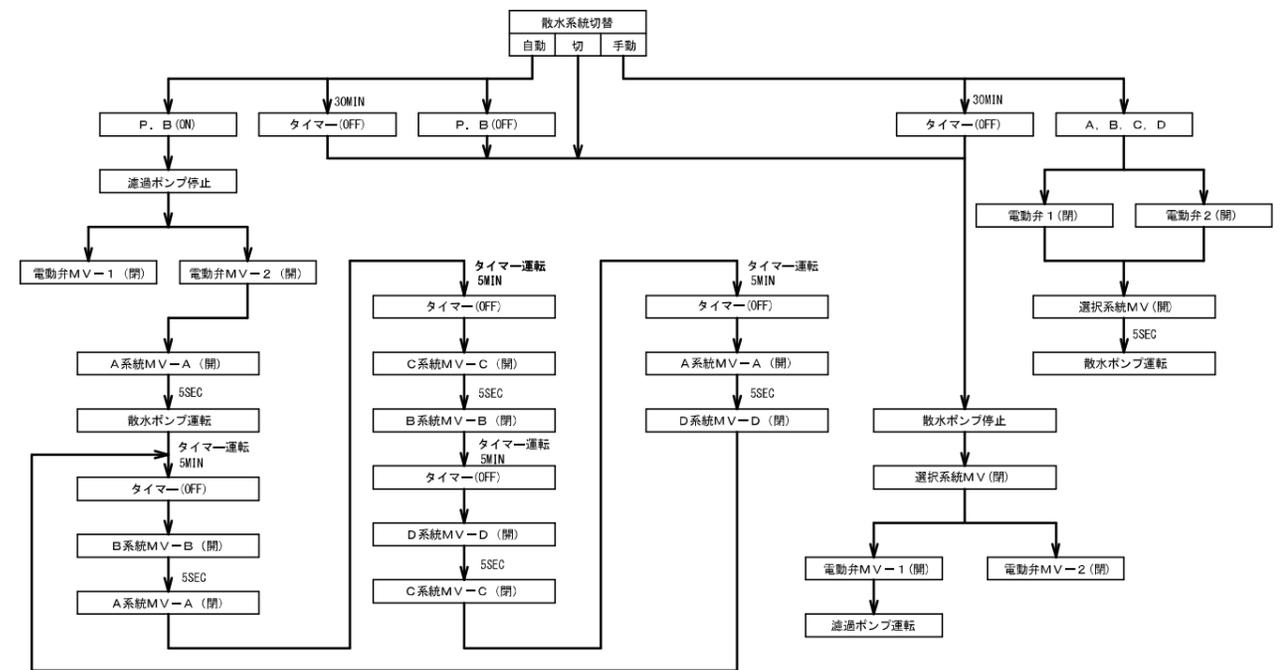
凡例

記号	備考
<del>—</del>	IV1.6×2 (19) 配線撤去
<del>—</del>	IV2.0×2 (19) 配線撤去
<del>—</del>	IV1.6×3, E1.6 (19) 配線撤去
<del>—</del>	IV5.5 <sup>φ</sup> ×3, E2.0 (25) 配線撤去
<del>—</del>	IV5.5 <sup>φ</sup> ×6, E2.0 (36) 配線撤去
<del>—</del>	VVF1.6-2C 架空配線 撤去
X	撤去部分を示す
	既設蛍光灯FL40W×1 (反射笠付) 撤去
	既設タンプスイッチ 1P15A×1撤去
	既設露出スイッチボックス ノズルプレート付 撤去
	既設コンセント 2P15A×2撤去
	EM-CE5.5 <sup>φ</sup> -4C (VE28) 露出
	EM-CE14 <sup>φ</sup> -3C, EM-CE14 <sup>φ</sup> -4C (VE54) 露出
	EM-CEE2 <sup>φ</sup> -7C (VE22) 露出
	EM-CEE2 <sup>φ</sup> -4C (VE22) 露出
	EM-EEF1.6-2C (VE16) 露出
	EM-EEF2.0-2C (VE16) 露出
	蛍光灯 FSS8MP-321-PHH
	防水埋込スイッチ 1P15A×1
	防水コンセント 2P15A×2, ETx1
	合成樹脂製 露出丸形ボックス 16 二方出
	VE製SS プルボックス 400 <sup>φ</sup> ×300 WP
	VE製SS プルボックス 200 <sup>φ</sup> ×200 WP



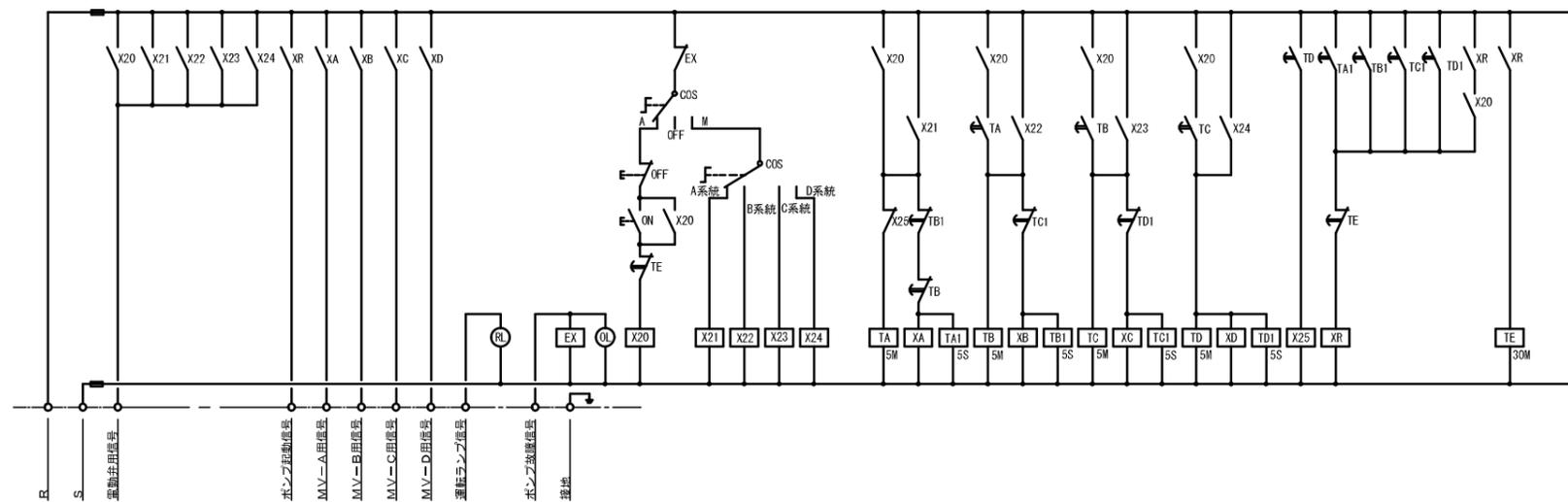


散水装置系統図

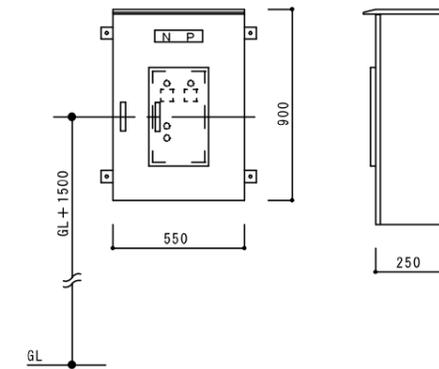


※ 但し、濾過ポンプが自動運転されている場合、各時間設定は可変出来ること。

散水制御フロー図



遠方操作盤制御回路図



型式：屋外用壁掛け型  
材質：ステンレス製、指定色仕上げ（5 Y 7 / 1）

遠方操作盤図 1 : 2 0

## 【機械設備工事仕様書】

## 1. 共通仕様

- (1)適用欄に○印のついたものを適用する。  
 (2)各選択項目は、○のあるものを適用し、○印のない場合は、※印のあるものを適用する。  
 (3)本仕様書に記載されてなき事項は、次によるほか、監督員との協議による。  
 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) 令和4年版(以下「標仕」という。)  
 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修 公共建築工事標準図(機械設備工事編) 令和4年版(以下「標準図」という。)  
 新潟市機械設備工事共通図(以下「市共通図」という。)

適用	仕様
○	配管工事は、標仕による。
○	管の埋設深さは、原則として鋼管300mm以上、樹脂管は(φ300 ※600)mm以上とする。(ただし排水管は除く)
○	埋め戻し土は、(○市共通図による。(敷地内) ・すべて山砂の類で行う。(敷地外公道部) )
○	機器の仕様は、メーカー標準品とする。
○	総合調整は、下記に示すものを行う。 (○水量調整 ○風量調整 ○室内外空気の温湿度測定 ○騒音の測定 ○初期運転状態の記録 )
○	次に示す機器に使用するアンカーは、耐震計算を行い選定する。( GHP室外機 )
○	天井吊り機器の振れ止めは、市共通図による。

## 使用配管材料

用途・種別・施工部位	適用	仕様
給水管	露出部	○ 一般配管用ステンレス鋼管(JIS G 3448) 拡管式継手又は圧縮プレス式継手
	隠ぺい部	○ 一般配管用ステンレス鋼管(JIS G 3448) 拡管式継手又は圧縮プレス式継手
	地中埋設(50A以下)	○ 水道用ポリエチレン二層管(JIS K 6762) メカニカル継ぎ手
給湯管	地中埋設(75A以上)	○ 水道配水用ポリエチレン管(JWWA K 144、PTC K 03、PWA 001) 電気融着(EF)
	露出部	○ 一般配管用ステンレス鋼管(JIS G 3448) 拡管式継手又は圧縮プレス式継手
排水管及び通気管	隠ぺい部	○ 一般配管用ステンレス鋼管(JIS G 3448) 拡管式継手又は圧縮プレス式継手
	屋内隠ぺい・露出	○ 硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6741) VP 接着式継ぎ手
	屋外露出	○ 硬質ポリ塩化ビニル管(耐候性カラーVP) 接着式継ぎ手
消火管	地中埋設	○ 硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6741) 50A以下VP、65A以上VU 接着式継ぎ手
	隠ぺい・露出	○ 配管用炭素鋼管(JIS G 3452) 白管 ねじ 消火管用ポリエチレン管(HPPE) 電気融着(EF)日本消防設備安全センター性能認定取得品
空調用ドレン排水管	冷媒管	○ 断熱材被覆銅管(JCDA0009) 保温厚:ガス管20mm、液管10mmただし9.5φ以下は8mm
	屋内隠ぺい	○ 硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6741)VP 又は 保温材付硬質ポリ塩化ビニル管 接着式継ぎ手
	屋外露出	○ 硬質ポリ塩化ビニル管(耐候性カラーVP) 接着式継ぎ手
	地中埋設	○ 硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6741) VP 接着式継ぎ手
ガス管(都市ガス)	○ 別途ガス供給事業者の規定による。	
プロパンガス管(露出・隠蔽部)	○ ポリエチレン被覆鋼管(JIS G 3469) 黒管 ねじ込み式継手(外面に樹脂を被覆したもの)	
プロパンガス管(地中埋設)	○ ガス用ポリエチレン管(JIS K 6774) EF継手	
油配管	○ 被覆銅管 外部露出(基礎立ち上がり部露出、出入口部は塩ビ管で保護)とする。	

## 2. 衛生器具設備

適用	仕様		
○	衛生器具は全て新品とするほか、詳細については下記による。		
○	器具名	規格(参考型番)	備 考
	洋風便器	C1210S	防露式密結型ロータンク(手洗無)、暖房便座、SUS製棚付二連紙巻器
	小便器	(UFSS900WR/U-A51MP)	低リップ形壁掛ストール、感知FV一体形(自己発電式)、尿石・におい抑制機能付
	手洗器	(L270DM/L-275N)	アンダーカウンター式楕円形(2つ穴)、自動水栓(自己発電式)、排水金具(PTラップ)、アングル止水栓
	化粧鏡		450×600
	掃除流し	S210	横水栓20A、STラップ排水金具(ゴム共栓付、白色粉体塗装)
	混合水栓		シングルレバー式
	単水栓	13-F7	吐水口回転式
	単水栓	13-F4	
	ガーデンプラン		600型(コンクリート根巻き施工共)
	不凍水栓柱		1.2m、アルミ合金製
○	水呑場の水栓間隔は450mm以上とし、水量調整バルブを設ける。		
○	トイレ内の手洗器の高さはFL+750mmとし、化粧鏡の高さは鏡の下端でFL+1200mmとする。		
○	小便器、洋風便器各1ヶ所に樹脂被服タイプの手すりを設けること。		
○	衛生器具数は、使用する生徒数に応じた次の基準にて算出した数量以上とする。 女子大便器:20人/台、男子大便器:50人/台、男子小便器25人/台、洗面器:50人/台		

## 3. 給水設備

適用	仕様
○	給水方式 ○水道直結 ○受水槽 (○加圧給水方式 ・高置水槽方式 )
○	給水管取り出し方法 ・公道部新規 ○敷地内既設管(別図参照)
○	メーターは、(・水道事業者貸与品 ・本工事設置(参考メーター))を設置する。 メーター設置位置と口径は、機器の配置、個数を考慮し水力計算を行った上で、監督員と協議し決定する。
○	給水管の埋設部分には埋設表示テープ及び埋設表示杭を施工する。
○	給水装置の工事施工にあたり、必要な手続きは、受注者が滞滞なく行う。
○	給水工事検査手数料、水道加入金差額等の費用は(○・本工事に含む ・別途とする)

## 4. 排水設備

適用	仕様
○ 建物外放流先	
○ 汚水	○直放流下水道 ・合併処理浄化槽 ・単独処理浄化槽
○ 雑排水	○直放流下水道 ・合併処理浄化槽 ・側溝
○ 排水管取り出し方法	・公道部新規 ・公設樹に接続(別図参照) ○敷地内既設(別図参照)
公設樹新設の場合に必要な手続きは、受注者が遅滞なく行う。必要に応じ、監督員と協議を行う。	
○ 樹	※小口径塩ビ樹(インバート樹)
○ 樹蓋	○塩ビ製(土部) ○鑄鉄製(アスファルト・コンクリート舗装部) ・耐荷重仕様(別図車道部)
○ 中継ポンプ槽	FRP製とする。 ポンプ槽容量は、時間平均流量に基づき、計算を行った上で、監督員と協議し決定する。 ポンプは、汚水汚物用水中モーターポンプとする。 ポンプ運転方式は自動交互単独運転とし、異常満水時は、並列運転とする。 制御盤(警報付)は、壁掛形とし、建物外壁に取り付ける。 ポンプ1台あたりの排水能力は、排水槽の有効容量を10～20分程度で排出できる能力とする。
○ 自然流下(重力排水)部分	については、下水道推奨基準を確保する。
○ 排水設備設置等確認申請手続き	は、受注者が遅滞なく行う。

## 5. 雨水設備

適用	仕様
○ 雨水配管接続先	○敷地内側溝 ・敷地内雨水樹 ・敷地内汚水樹(合流) ・雨水浸透樹 ・道路側溝
○ 樹	○小口径塩ビ樹(インバート樹) ○小口径塩ビ樹(浸透樹)
○ 樹蓋	○塩ビ製(土部) ○鑄鉄製(アスファルト・コンクリート舗装部) ・耐荷重仕様(別図車道部)
○ 既設及び新設の雨水排水	については、側溝に接続とする。

## 6. 消火設備

適用	仕様
○ 消火設備等の種類	・易操作性1号 ・1号 ・2号 ○パッケージ型消火栓
○ 屋内消火栓箱	・HB-1A(埋込型) ・HB-1B(露出型)
○ 屋外消火栓箱	・HB-21 ・HB-20
○ 消防設備の工事施工	にあたり、諸官庁へ必要な手続きは受注者が遅滞なく行う。
○ 工事中、既存建物の消火設備が停止する場合は、その期間の防災措置について管轄の消防署及び学校、監督員と協議を行い、必要となる処置は受注者が行う。	

## 7. 冷暖房設備

適用	仕様																			
○ 冷暖房方式	ヒートポンプエアコン (○GHP ・EHP高暖房型) 冷房、暖房共運転できるものを選定する。																			
○ 冷媒の種類	※R410-A ※R-32																			
○ 室内機	天井カセット型4方向、ドレンアップ機能付き、天井パネル																			
○ 室外機	※耐塩害仕様 ※電源は3相とする。 設置方法は、(・壁掛け ○平置き)とし、設置位置は、学校及び監督員と協議し決定する。 付属品: 標準付属品、防雪ネット(溶融亜鉛メッキ)、防振ゴムパッド、冷媒分岐管 ※室外機の基礎はコンクリート基礎とし、アルミフェンスを設置する。																			
○ リモコン	・ワイヤレスリモコン ○ワイヤードリモコン ・集中コントローラー(ON/OFF)教務室設置																			
○ FF式温風暖房機(ガス)	燃料種別 (・都市ガス ・プロパンガス) 付属品 (※鍵付操作パネル ※吹出口ガード ※SUS製排気筒保護ガード(※1階に設置する機器 ・すべて))																			
○ FF式温風暖房機(石油)	燃料種別 (※灯油(オイルタンクから配管にて暖房機に接続する方式とする。)) 付属品 (※鍵付操作パネル ※吹出口ガード ※SUS製排気筒保護ガード(※1階に設置する機器 ・すべて) ※給油バルブセット ※バルブボックス付ストープ台)																			
○ オイルタンク	容量 材質 付属品																			
玄関脇(風除室など)に給油小出バルブ(バルブカバー、鍵付き)を設置する。																				
○ 設計温湿度条件	は下記表によるものとし、換気負荷は0として熱負荷計算を行い、冷暖房機器の能力を選定する。																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">外気</th> <th colspan="2">室内</th> </tr> <tr> <th>乾球温度</th> <th>相対湿度</th> <th>乾球温度</th> <th>相対湿度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期</td> <td>33.6℃</td> <td>57.4%</td> <td>28.0℃</td> <td>成行き</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>-1.2℃</td> <td>76.8%</td> <td>20.0℃</td> <td>成行き</td> </tr> </tbody> </table>	区分	外気		室内		乾球温度	相対湿度	乾球温度	相対湿度	夏期	33.6℃	57.4%	28.0℃	成行き	冬期	-1.2℃	76.8%	20.0℃	成行き
区分	外気		室内																	
	乾球温度	相対湿度	乾球温度	相対湿度																
夏期	33.6℃	57.4%	28.0℃	成行き																
冬期	-1.2℃	76.8%	20.0℃	成行き																
○ 屋内・屋外露出の冷媒配管の保温外装	は保温化粧ケース(樹脂製)とする。																			
○ 屋内露出のドレン配管は、保温化粧ケース(樹脂製)内又は保温材付硬質ポリ塩化ビニル管とする。																				
○ 室外機接続部分は、管が露出しないようラッキングするなど処置すること。																				

## 8. 換気設備

適用	仕様		
○	各室諸元表の「換気形態」の種別により、下記表による換気設備を設けること		
	換気形態	有効換気量(m <sup>3</sup> /h)	備考
	①	30×居室の床面積×0.2人/㎡	居室の人員密度
	②	20m <sup>3</sup> /h×人員	
	③	容積m <sup>3</sup> ×5回/h	必要換気回数
	④	容積m <sup>3</sup> ×15回/h	必要換気回数
	⑤	40×K・Q	火気使用室の換気
○	給気用ベンドキャップ	◎SUS製深型フード(防鳥網・指定色焼付塗装)	・耐外風フード(防鳥網・指定色焼付塗装)
○	排気用ベンドキャップ	◎SUS製深型フード(防鳥網・指定色焼付塗装)	・耐外風フード(防鳥網・指定色焼付塗装)
○	天井換気扇	◎低騒音型	
○	換気ダクトの保温範囲は、OA全て、EA外壁から1mの範囲とする。		
○	換気形態①及び②の換気扇は、24時間換気スイッチ付とする。		
○	5号ガス湯沸器に、換気扇連動スイッチを設置する。		
○	建築基準法(シックハウス対策)に定める居室に、必要な給気が行われるよう計画する。		

## 9. ガス設備

適用	仕様	
○	ガス種別	◎都市ガス ・プロパンガス
○	ガス管取り出し方法	・公道部新規 ◎敷地内既設管(別図参照) 取り出し位置は、ガス供給事業者の規定によるほか、監督員と協議し決定する。
○	メーター及び調整器	◎ガス事業者貸与品 ・本工事設置品 設置位置は、監督員と協議し決定する。
○	事務室内にガス漏れ警報器を設置すること。(プロパンガスの場合)	
○	その他記載なき事項については、ガス供給事業者の規定による。	

## 10. その他特記事項

適用	仕様	
○	防火上主要な間仕切り壁を貫通する配管及びダクトは、建築基準法施行令第112、113、114条による構造とすること。	
○	本増築工事において、必要な既設配管の切り回しは本工事にて行う。なお、それに付随して発生する断水やガス停止については、施工計画を作成し、学校及び監督員の了解を得た上で実施すること。	

## ◆各室諸元表

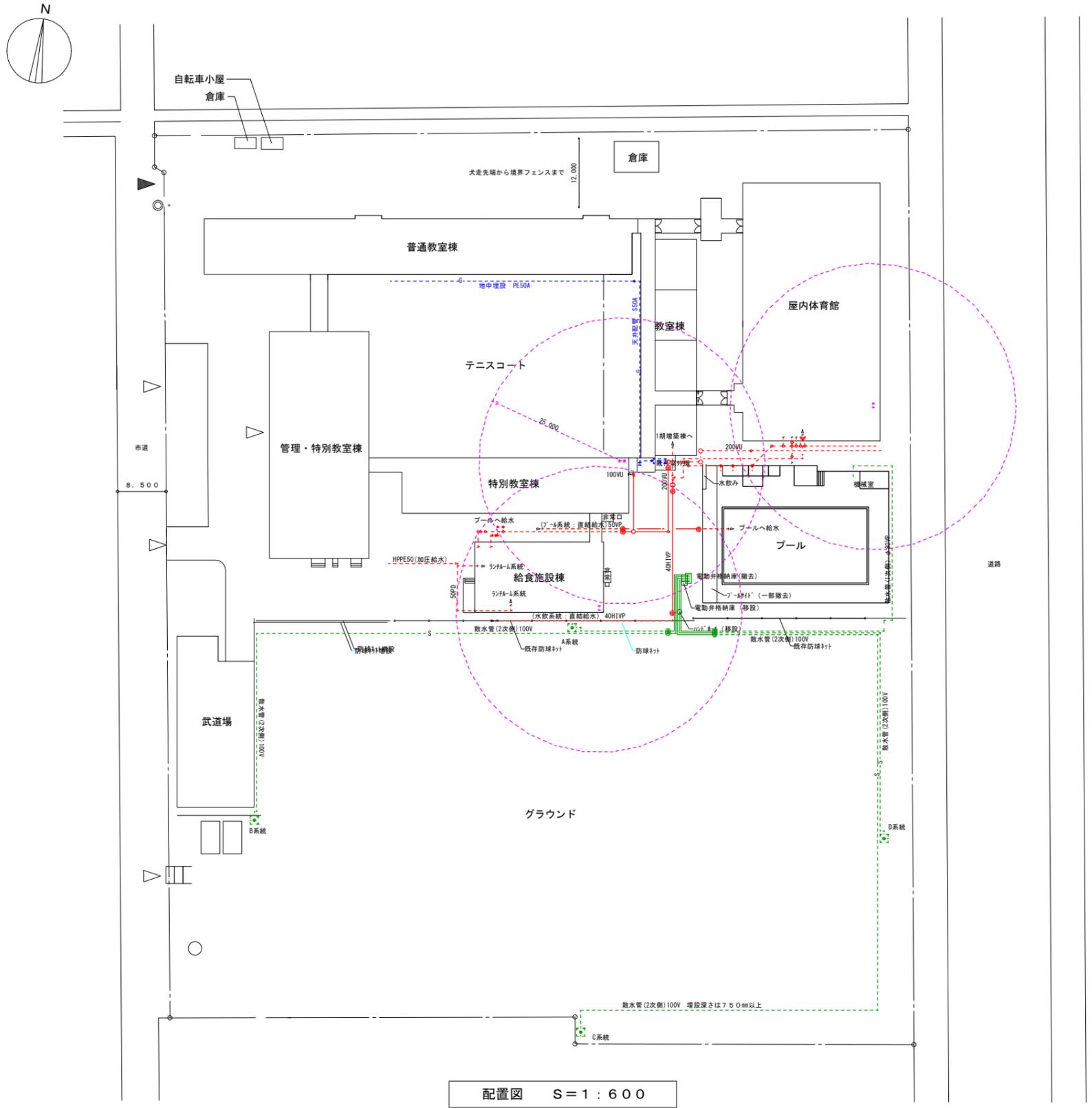
階	室名	水栓金具・他		冷暖房設備		暖房設備		換気設備		
		器具名称	数量	名称	台数	名称	台数	仕様	換気形態	台数
1	普通教室			GHP室内機	2			天井換気扇	②	2
1	普通教室			GHP室内機	2			天井換気扇	②	2
2	普通教室			GHP室内機	2			天井換気扇	②	2
2	多目的室			GHP室内機	2			天井換気扇	②	2
1	トイレ	小便器	4					消音ボックス付送風機天井スレー型	④	1
		大便器	6							
		洗面器、化粧鏡	4							
2	トイレ	小便器	4					消音ボックス付送風機天井スレー型	④	1
		大便器	6							
		洗面器、化粧鏡	4							
1	水飲み場	単水栓(13-F7)	5							
		単水栓(13-F4)	1							
2	水飲み場	単水栓(13-F7)	5							
		単水栓(13-F4)	1							

# 機械設備平面図 参考図 (改修前)

(1) 凡例	
実線：撤去	給水
破線：既設	排水
	G ガス
	S 散水
	GHP室外機
	消火栓
	R5増築予定建物を示す

(2) 工事内容	
給水設備	既設の直結給水管の切り直しを行う。 なお、プールはグラウンド散水の水源となるため、配管を再接続する。
排水設備	既設の排水管の切り直しを行う。
消火設備	2期増築棟へパッケージ型消火栓を新設する。
散水設備	電磁弁格納庫の撤去・新設を行う。また増築の支障となる地中散水管の切り直しを行う。
冷暖房設備	各教室へGHPの新設を行う。
換気設備	各教室へ換気扇の新設を行う。
ガス設備	既存のバルブ止め位置からGHPへのガス配管延長を行う。
その他	トイレ、水飲み場の新設 → 1期増築棟の廊下の加圧給水系統及び屋外の直結給水系統を使用する

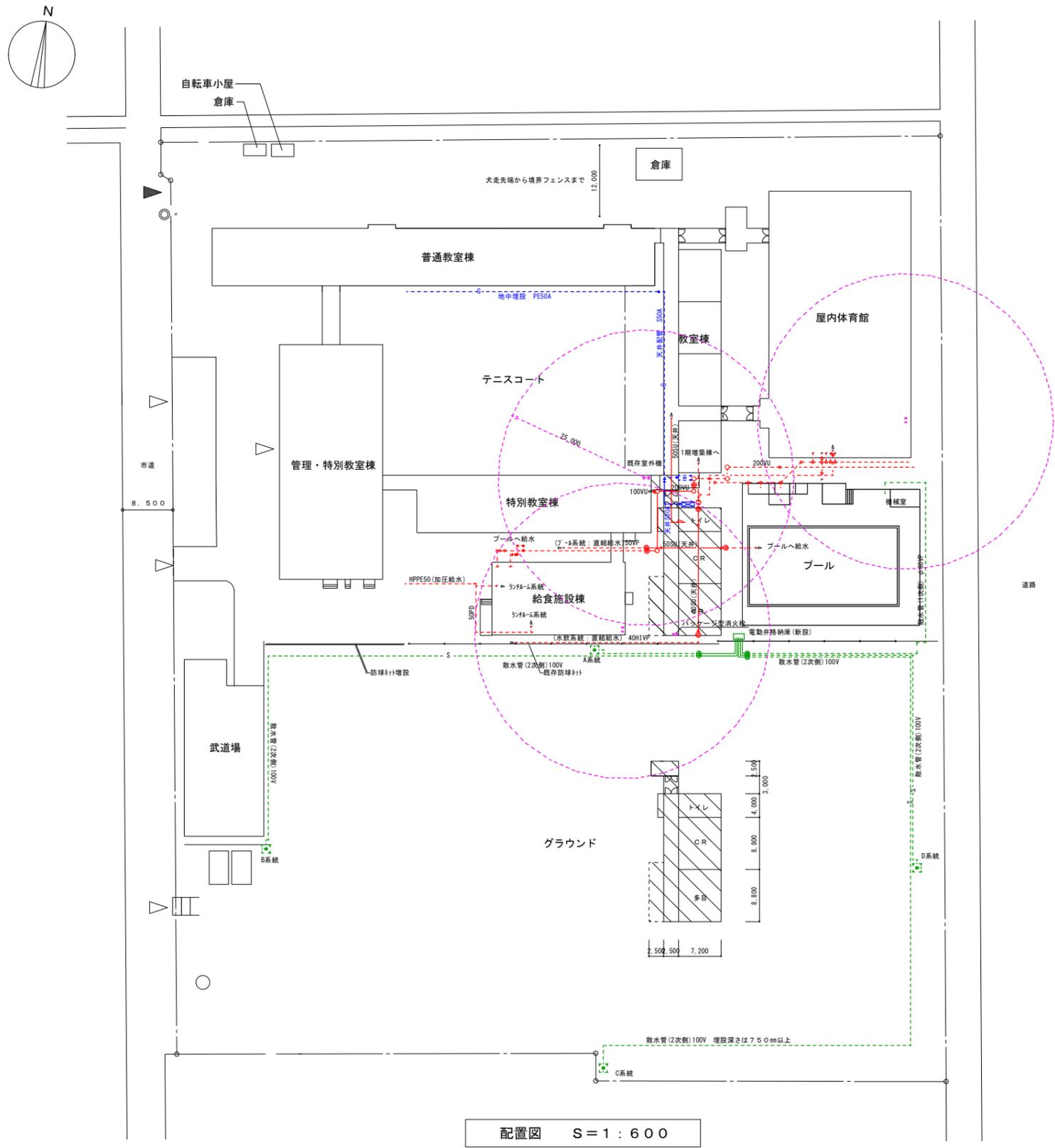


# 機械設備平面図 参考図 (改修後)

(1) 凡例	
実線：新設	給水
破線：既設	排水
	G ガス
	S 散水
	GHP室外機
	消火栓
	R5増築予定建物を示す

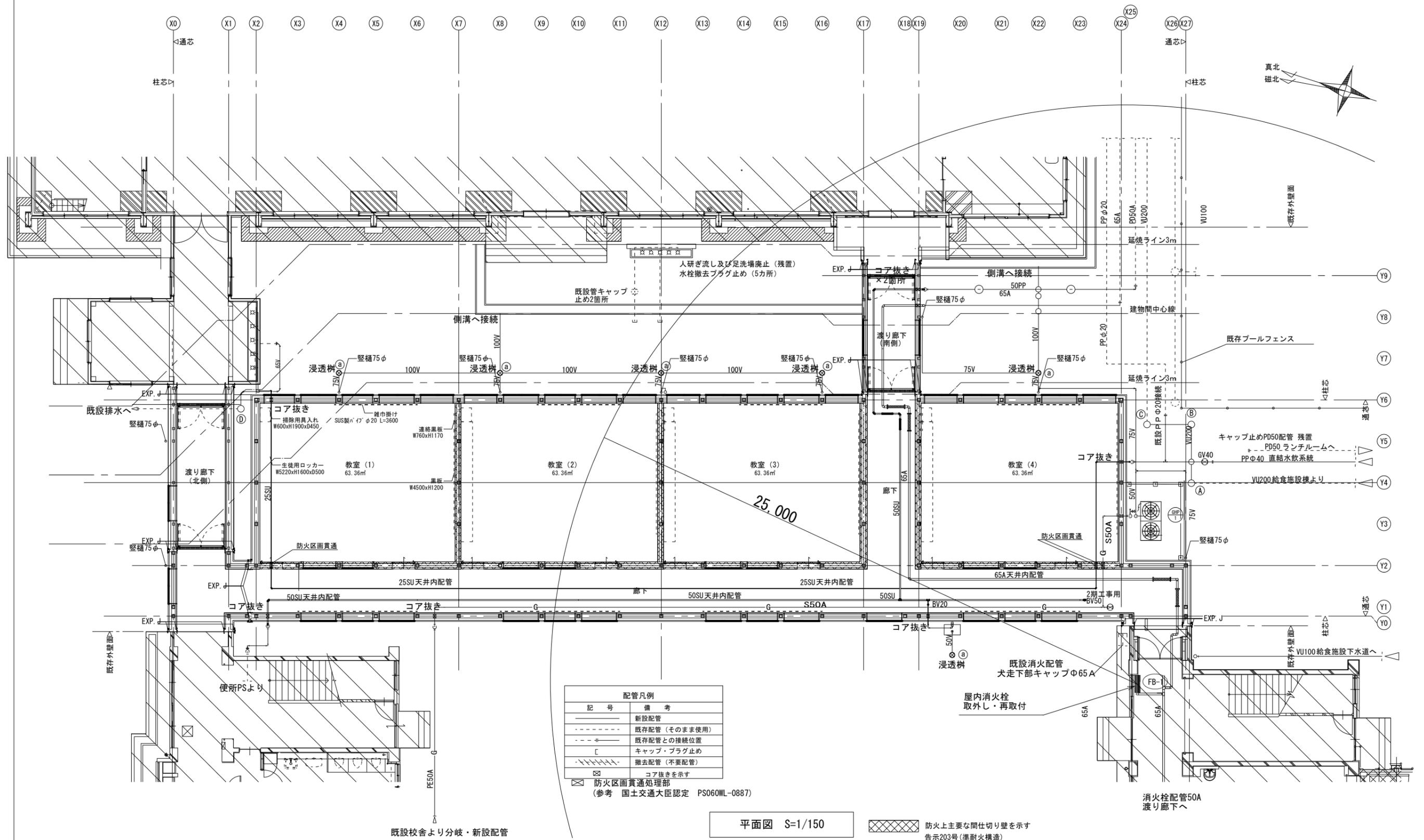
  

(2) 工事内容	
給水設備	既設の直結給水配管の切り直しを行う。 なお、プールはグラウンド散水の水源となるため、配管を再接続する。
排水設備	既設の排水管の切り直しを行う。
消火設備	2期増築棟へパッケージ型消火栓を新設する。
散水設備	電磁弁格納庫の撤去・新設を行う。また増築の支障となる地中散水配管の切り直しを行う。
冷暖房設備	各教室へGHPの新設を行う。
換気設備	各教室へ換気扇の新設を行う。
ガス設備	既存のバルブ止め位置からGHPへのガス配管延長を行う。
その他	トイレ、水飲み場の新設 → 1期増築棟の廊下の加圧給水系統及び屋外の直結給水系統を使用する





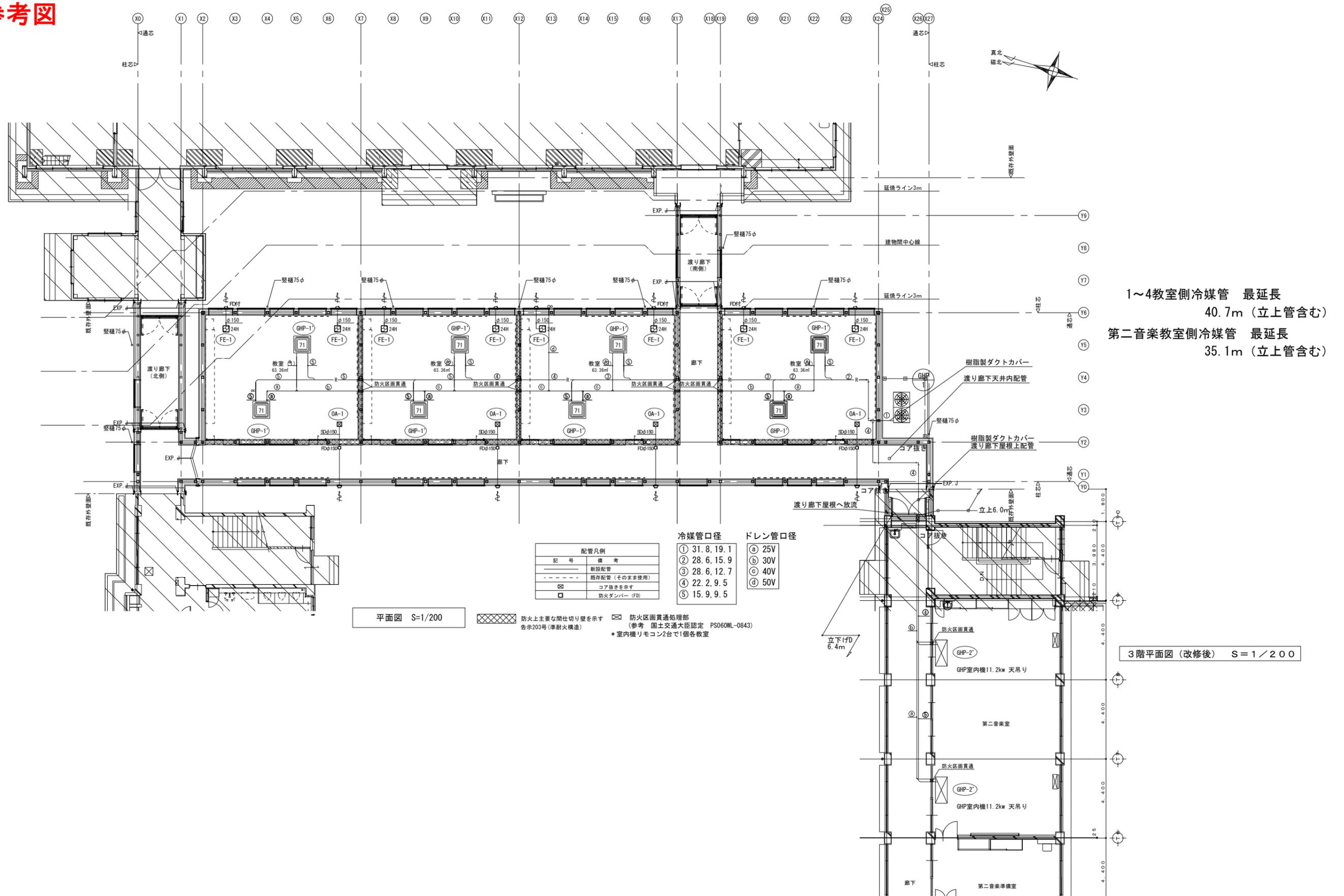
# 既存参考図



配管凡例	
記号	備考
—	新設配管
- - -	既存配管 (そのまま使用)
- - - +	既存配管との接続位置
[	キャップ・プラグ止め
· · · · ·	撤去配管 (不要配管)
☒	コア抜きを示す
☒	防火区画貫通処理部 (参考 国土交通大臣認定 PS060WL-0887)

訂正事項	年月日	担当	訂正事項	年月日	担当	<b>大和リース株式会社</b> 新潟支店 一級建築士事務所 一級建築士事務所 新潟県知事登録 (チ) 1668号 代表となる設計者 我妻 重 大和リース株式会社 一級建築士 第319254号 その他の設計者 小川 秀一	工事名称	新潟市立上山中学校校舎増築工事	受領印
							図面名称	衛生設備 平面図	縮尺 A1:1/75 A3:1/150
							作成年月日	2021-03-15	図面番号

# 既存参考図



1~4教室側冷媒管 最延長  
40.7m (立上管含む)  
第二音楽教室側冷媒管 最延長  
35.1m (立上管含む)

配管凡例	
記号	備考
---	新設配管
- - - -	既存配管 (そのまま使用)
□	コア抜きを示す
■	防火ダンパー (FD)

- 冷媒管口径
- ① 31.8, 19.1
  - ② 28.6, 15.9
  - ③ 28.6, 12.7
  - ④ 22.2, 9.5
  - ⑤ 15.9, 9.5
- ドレン管口径
- Ⓐ 25V
  - Ⓑ 30V
  - Ⓒ 40V
  - Ⓓ 50V

平面図 S=1/200

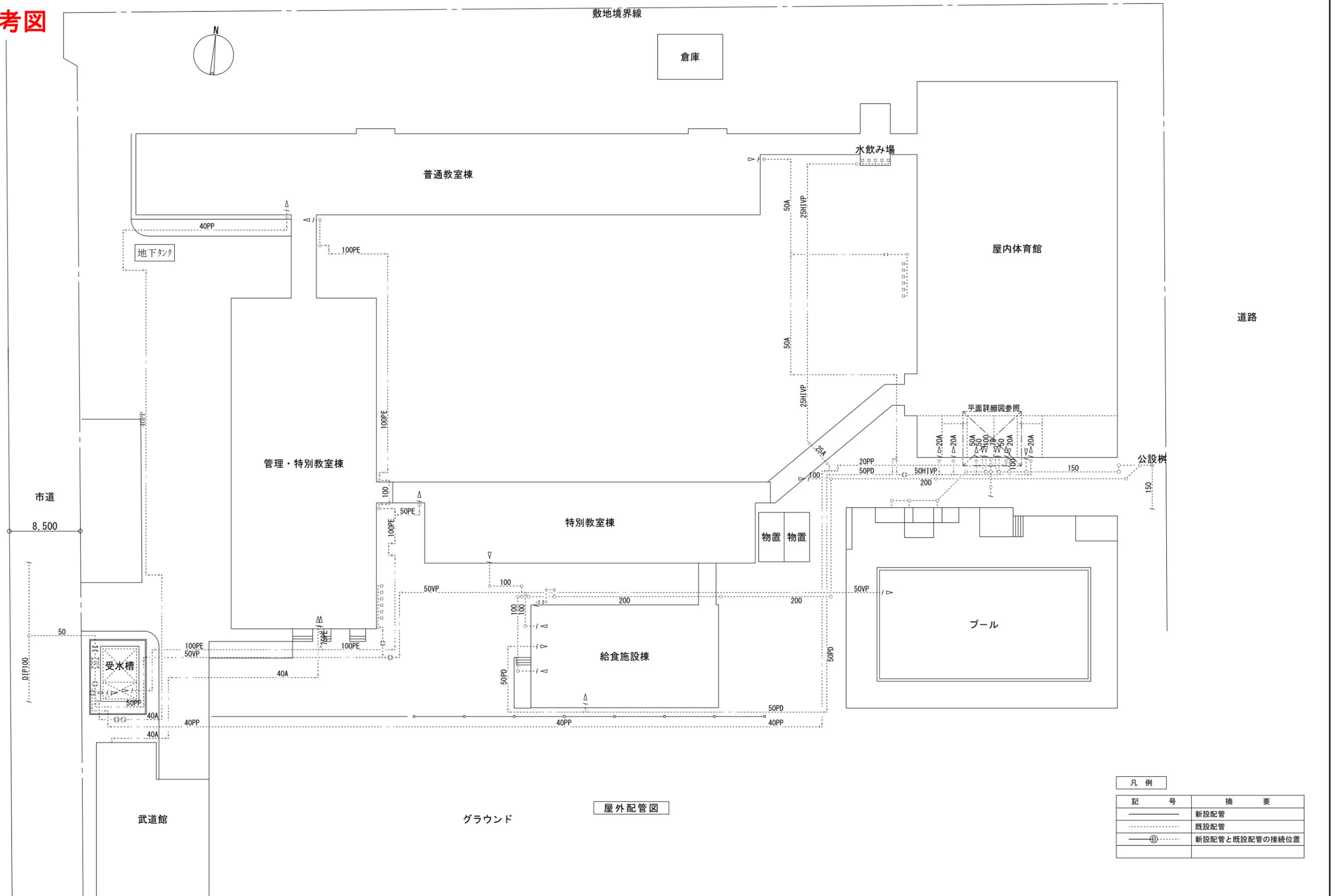
防火上主要な間仕切り壁を示す  
告示203号 (準耐火構造)

防火区画貫通処理部  
(参考 国土交通大臣認定 PS060ML-0843)  
\*室内機リモコン2台で1個各教室

3階平面図 (改修後) S=1/200

訂正事項	年月日	担当	訂正事項	年月日	担当	<b>大和リース株式会社</b> 新潟支店 一級建築士事務所 一級建築士事務所 新潟県知事登録 (チ) 1668号 照査 担当	大和リース株式会社 一級建築士 第364478号 代表となる設計者 我妻 薫 大和リース株式会社 一級建築士 第319254号 その他の設計者 小川 秀一	工事名称	新潟市立上山中学校校舎増築工事	受領印			
								図面名称	空調・換気設備 平面図	縮尺	A1:1/100 A3:1/200	年月日	
								作成年月日	2021.03.15	依頼番号	70-NIG-0006		図面番号

既存参考図



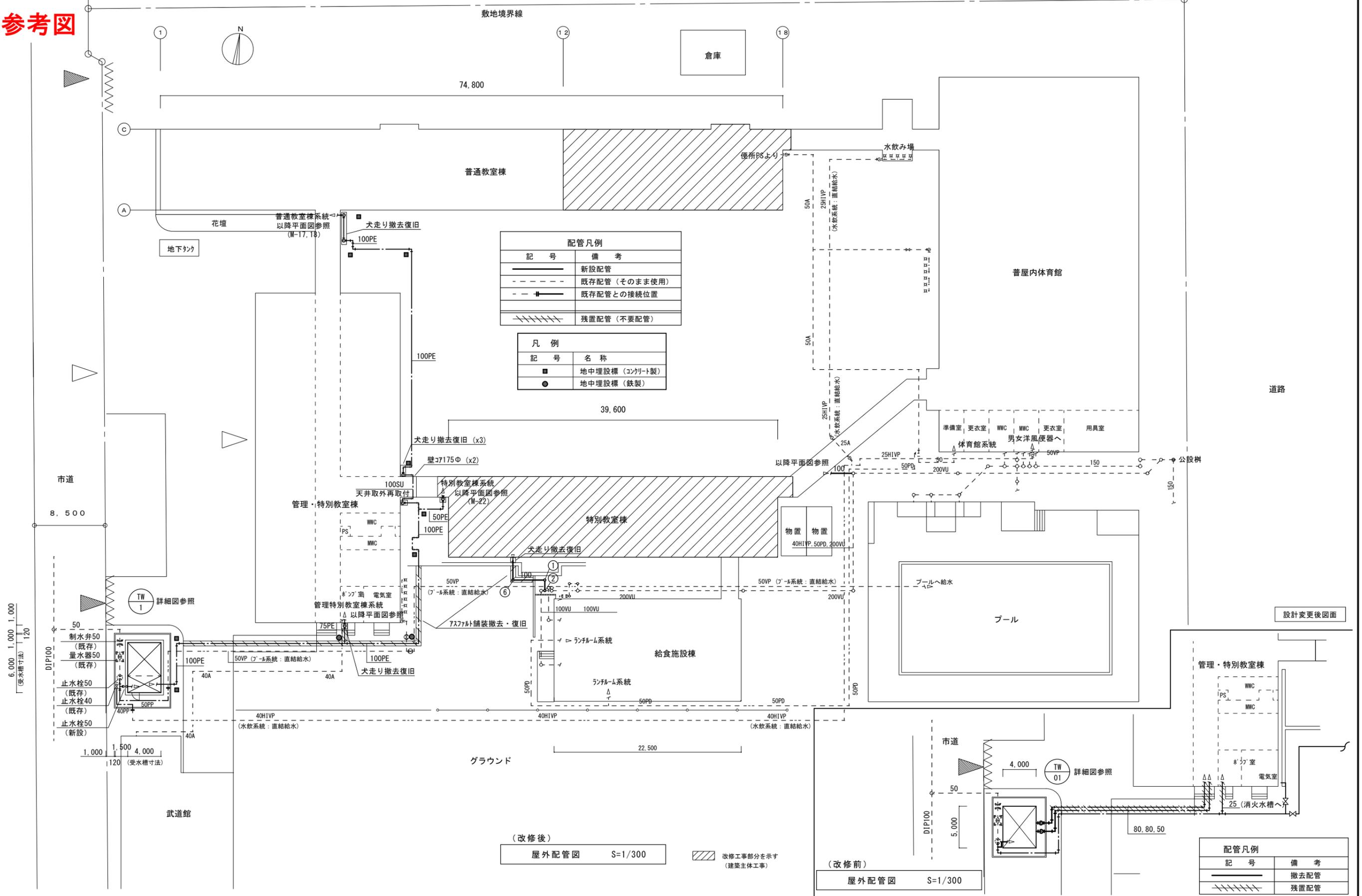
凡例	
記号	摘要
—	新設配管
---	既設配管
⊕---	新設配管と既設配管の接続位置

株式会社八幡設備工業

工事名 上山中学校体育館トイレ改修衛生換気設備工事

図名 屋外配管図  
 年月日 2020.01 縮尺 S=1:300 図面番号 M-06

既存参考図



配管凡例	
記号	備考
—	新設配管
- - -	既存配管 (そのまま使用)
- - +	既存配管との接続位置
- / - / -	残置配管 (不要配管)

凡例	
記号	名称
■	地中埋設標 (コンクリート製)
●	地中埋設標 (鉄製)

(改修後)  
屋外配管図 S=1/300

(改修前)  
屋外配管図 S=1/300

配管凡例	
記号	備考
—	撤去配管
- / - / -	残置配管

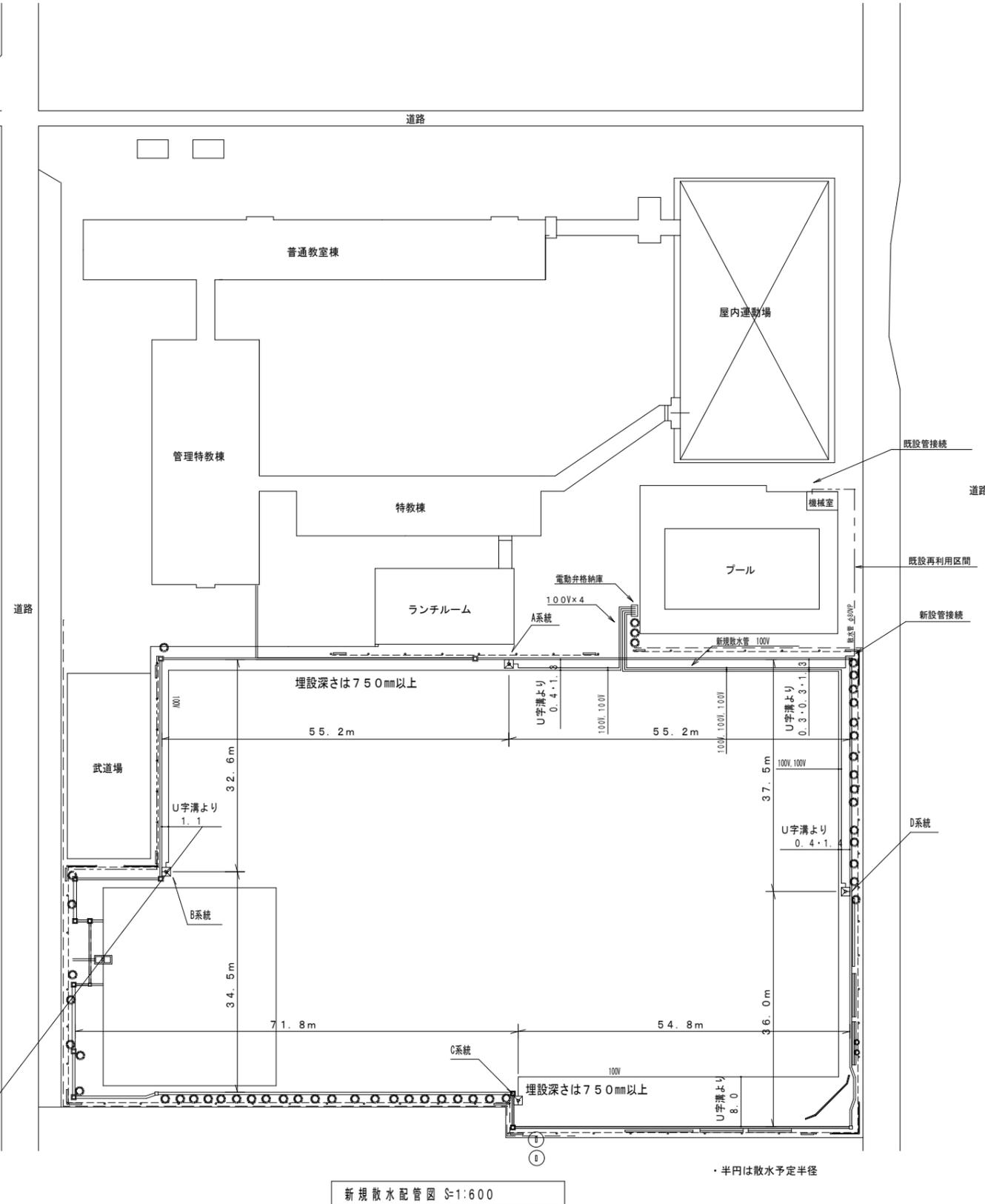
新潟市建築設計協同組合  
担当設計事務所  
管理建築士一級建築士第69716号 今井 孝一  
株式会社 伊藤設備設計

新潟市建築部公共建築第2課

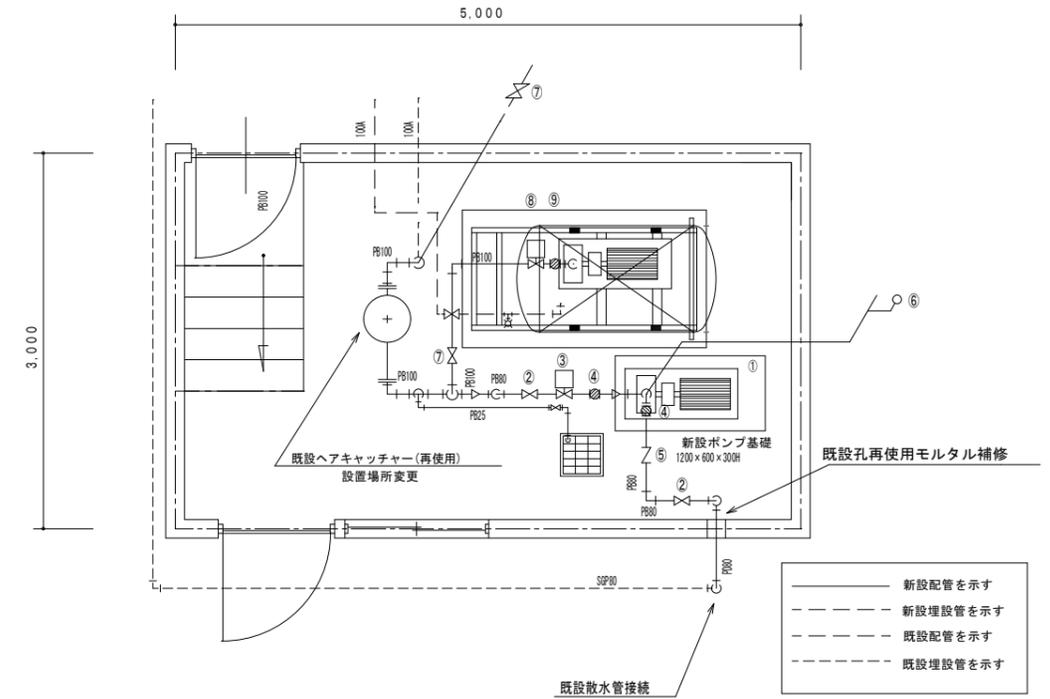
工事名  
上山中学校大規模改造・耐震補強 衛生暖房設備工事

図名  
屋外配管図  
年月日 2010.3 縮尺 1/300 図面番号 M-05

# 既存参考図



新規散水配管図 S=1:600



機械室平面図(改修後) S=1:40

## 仕様

### 1. 配管仕様

- ガンダ'散水管(屋外埋設) : 硬質塩化ビニル管(VP)  
但し散水ヘッド埋設深さ450H以内は、ホリ粉体ライニング鋼管(PD)とする。
- 既設ガンダ'散水管(屋外埋設) : 硬質塩化ビニル管(VP)

### 2. 根切埋戻し

- ・原則として機械作業とし、塩ビ管の埋設深さは750mm以上、鋼管は450mm以上とする。
- ・屋外埋設管全域に地中埋設表示シートを設置する。

### 3. その他

- ・作業工程について、関連する別途工事の関係機関とよく協議したうえで作業すること。
- ・その他設計図書に記載無き事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)平成16年版及び新潟市機械設備工事共通仕様書による。

